

## 第4 夫婦全般に関する調査（既婚者調査）

### 調査結果詳細

## 【目次】

第4 夫婦全般に関する調査（既婚者調査） 調査結果詳細 .....	第4- 1
1 あなたご自身について（属性） .....	第4- 1
2 あなた方ご夫婦について（属性） .....	第4- 3
問3 子どもの数 .....	第4- 5
問4 結婚からの経過期間 .....	第4- 7
問5 職業 .....	第4- 8
問6 世帯年収 .....	第4- 10
3 結婚について .....	第4- 12
問7 交際期間・同棲期間 .....	第4- 12
問8 知り合ったきっかけ .....	第4- 21
4 妊娠・出産について .....	第4- 28
問9-1 不妊についての不安や悩み .....	第4- 28
問9-2 不妊治療の経験 .....	第4- 33
問9-3 不妊治療の結果、子どもが生まれたか .....	第4- 37
問9-4 実施した不妊治療 .....	第4- 42
問10-1 不育についての不安や悩み .....	第4- 43
問10-2 不育症治療の経験 .....	第4- 48
問10-3 不育症治療の結果、子どもが生まれたか .....	第4- 53
問11 ぐんま女性の健康・妊娠SOS相談センターの認知度 .....	第4- 54
問12 ぐんま女性の健康・妊娠SOS相談センターの認知手段 .....	第4- 59
問13 群馬県不妊・不育専門相談センターの認知度 .....	第4- 60
問14 群馬県不妊・不育専門相談センターの認知手段 .....	第4- 65
5 子どもについて .....	第4- 66
問15 理想の子どもの数 .....	第4- 66
問16 子どもがいなくてもよい理由 .....	第4- 71
問17 予定の子どもの数 .....	第4- 72
問18 「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない理由 .....	第4- 80
問19 子どもの生まれた時期 .....	第4- 85
6 結婚、仕事と子育て、家庭等について .....	第4- 93
問20 自分自身の仕事と子育てについての希望 .....	第4- 93
問21 自分自身の仕事と子育てについての実際 .....	第4- 93
問22 パートナーの仕事と子育てについての希望 .....	第4- 93
問23 結婚前までの身近な状況 .....	第4-103
問24 里親制度の認知度 .....	第4-116
問25 里親制度で手当や養育費が支給されることの認知度 .....	第4-120
問26-1 特別養子縁組制度の認知度 .....	第4-124
問26-2 特別養子縁組制度の利用経験 .....	第4-128

<b>7 少子化対策について.....</b>	<b>第 4-132</b>
問 27 少子化対策としての重要度.....	第 4-132
問 28 少子化対策の各施策の取組状況.....	第 4-133
問 29 少子化対策関連の制度や事業の認知度.....	第 4-138
問 30-1 ぐーちょきパスポート・コンパスの所持.....	第 4-144
問 30-2 ぐーちょきパスポート・コンパスの利用頻度.....	第 4-151
問 30-3 ぐーちょきパスポート・コンパスを利用したことがない理由.....	第 4-157
問 31 少子化対策として必要な経済的支援.....	第 4-158
問 32 行政施策に意見が反映されている実感.....	第 4-165
問 33 子育て支援や少子化対策への日頃の考えや行政に対する要望等.....	第 4-170
<b>8 子どもの未来について.....</b>	<b>第 4-172</b>
問 34 子どもたちの 10 年後、20 年後の未来.....	第 4-172
問 35 子どもたちの 10 年後、20 年後の不安.....	第 4-177

## 第4 夫婦全般に関する調査（既婚者調査） 調査結果詳細

### 1 あなたご自身について（属性）

SC1 あなたの性別をお答えください。

SC2 あなたの年齢をお答えください。

SC3 あなたがお住まいの都道府県をお答えください。

SC4 あなたがお住まいの市町村をお答えください。

SC5 あなたは現在結婚をしていますか。

SC5-1 婚姻状況を教えてください。

問2 あなた方ご夫婦それぞれについて、最後に卒業された（あるいは在学中の）学校をお答えください。

問5 あなた方ご夫婦それぞれの職業をお答えください。（回答はそれぞれ1つ）  
（各ライフイベントの時点ごとにお答えください。）

#### 【性別】

	総数	男性	女性	その他
全体	700 (100.0%)	323 (46.1%)	375 (53.6%)	2 (0.3%)

#### 【年齢】

	総数	男性	女性	その他
全体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
20～24歳	3 (0.4)	0 (-)	3 (0.8)	0 (-)
25～29歳	49 (7.0)	9 (2.8)	40 (10.7)	0 (-)
30～34歳	105 (15.0)	36 (11.1)	68 (18.1)	1 (50.0)
35～39歳	158 (22.6)	47 (14.6)	111 (29.6)	0 (-)
40～49歳	385 (55.0)	231 (71.5)	153 (40.8)	1 (50.0)

#### 【居住地域】

	総数	男性	女性	その他
全体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
中部地域	256 (36.6)	121 (37.5)	135 (36.0)	0 (-)
西部地域	204 (29.1)	97 (30.0)	107 (28.5)	0 (-)
吾妻地域	10 (1.4)	3 (0.9)	7 (1.9)	0 (-)
利根沼田地域	16 (2.3)	7 (2.2)	9 (2.4)	0 (-)
東部地域	214 (30.6)	95 (29.4)	117 (31.2)	2 (100.0)

【婚姻状況】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
婚姻届を提出している	693 ( 99.0)	319 ( 98.8)	372 ( 99.2)	2 (100.0)
婚姻届は提出していない	7 ( 1.0)	4 ( 1.2)	3 ( 0.8)	0 ( -)

【初再婚の別】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
初婚	655 ( 93.6)	297 ( 92.0)	356 ( 94.9)	2 (100.0)
再婚	45 ( 6.4)	26 ( 8.0)	19 ( 5.1)	0 ( -)

【最終学歴】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
中学校	15 ( 2.1)	9 ( 2.8)	6 ( 1.6)	0 ( -)
高校	148 ( 21.1)	63 ( 19.5)	84 ( 22.4)	1 ( 50.0)
専修・専門学校（高卒後）	112 ( 16.0)	47 ( 14.6)	64 ( 17.1)	1 ( 50.0)
短大・高専	81 ( 11.6)	17 ( 5.3)	64 ( 17.1)	0 ( -)
大学	306 ( 43.7)	160 ( 49.5)	146 ( 38.9)	0 ( -)
大学院	38 ( 5.4)	27 ( 8.4)	11 ( 2.9)	0 ( -)
その他	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)

【職業】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
正規雇用者（正規）	405 ( 57.9)	288 ( 89.2)	117 ( 31.2)	0 ( -)
非正規雇用者（パート・ アルバイト・派遣等）	152 ( 21.7)	6 ( 1.9)	145 ( 38.7)	1 ( 50.0)
自営業（家族従業者含む）	32 ( 4.6)	24 ( 7.4)	8 ( 2.1)	0 ( -)
学生	1 ( 0.1)	0 ( -)	1 ( 0.3)	0 ( -)
無職・家事	105 ( 15.0)	3 ( 0.9)	101 ( 26.9)	1 ( 50.0)
その他	5 ( 0.7)	2 ( 0.6)	3 ( 0.8)	0 ( -)

## 2 あなた方ご夫婦について（属性）

問1 あなたのパートナー（配偶者）の年齢、初再婚の別をお答えください。

問2 あなた方ご夫婦それぞれについて、最後に卒業された（あるいは在学中の）学校をお答えください。

問5 あなた方ご夫婦それぞれの職業をお答えください。（回答はそれぞれ1つ）  
（各ライフイベントの時点ごとにお答えください。）

問6 あなたとパートナーの収入を合わせた、世帯の年間収入を教えてください。

### 【パートナー（配偶者）の年齢】

	総数	男性	女性	その他
全体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
19歳以下	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)
20～24歳	2 ( 0.3)	0 ( -)	2 ( 0.5)	0 ( -)
25～29歳	58 ( 8.3)	19 ( 5.9)	39 ( 10.4)	0 ( -)
30～34歳	101 ( 14.4)	43 ( 13.3)	57 ( 15.2)	1 ( 50.0)
35～39歳	157 ( 22.4)	62 ( 19.2)	95 ( 25.3)	0 ( -)
40～44歳	168 ( 24.0)	88 ( 27.2)	79 ( 21.1)	1 ( 50.0)
45～49歳	153 ( 21.9)	80 ( 24.8)	73 ( 19.5)	0 ( -)
50～59歳	58 ( 8.3)	31 ( 9.6)	27 ( 7.2)	0 ( -)
60～69歳	3 ( 0.4)	0 ( -)	3 ( 0.8)	0 ( -)
70歳以上	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)

### 【パートナー（配偶者）の初再婚の別】

	総数	男性	女性	その他
全体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
初婚	642 ( 91.7)	302 ( 93.5)	338 ( 90.1)	2 (100.0)
再婚	58 ( 8.3)	21 ( 6.5)	37 ( 9.9)	0 ( -)

### 【パートナー（配偶者）の最終学歴】

	総数	男性	女性	その他
全体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
中学校	19 ( 2.7)	2 ( 0.6)	17 ( 4.5)	0 ( -)
高校	190 ( 27.1)	88 ( 27.2)	102 ( 27.2)	0 ( -)
専修・専門学校（高卒後）	114 ( 16.3)	58 ( 18.0)	55 ( 14.7)	1 ( 50.0)
短大・高専	81 ( 11.6)	67 ( 20.7)	13 ( 3.5)	1 ( 50.0)
大学	255 ( 36.4)	100 ( 31.0)	155 ( 41.3)	0 ( -)
大学院	40 ( 5.7)	7 ( 2.2)	33 ( 8.8)	0 ( -)
その他	1 ( 0.1)	1 ( 0.3)	0 ( -)	0 ( -)

【パートナー（配偶者）の職業】

	総数	男性	女性	その他
全 体	700 (100.0%)	323 (100.0%)	375 (100.0%)	2 (100.0%)
正規雇用者（正規）	478 ( 68.3)	142 ( 44.0)	334 ( 89.1)	2 (100.0)
非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）	120 ( 17.1)	113 ( 35.0)	7 ( 1.9)	0 ( -)
自営業（家族従業者含む）	35 ( 5.0)	12 ( 3.7)	23 ( 6.1)	0 ( -)
学生	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)	0 ( -)
無職・家事	65 ( 9.3)	55 ( 17.0)	10 ( 2.7)	0 ( -)
その他	2 ( 0.3)	1 ( 0.3)	1 ( 0.3)	0 ( -)

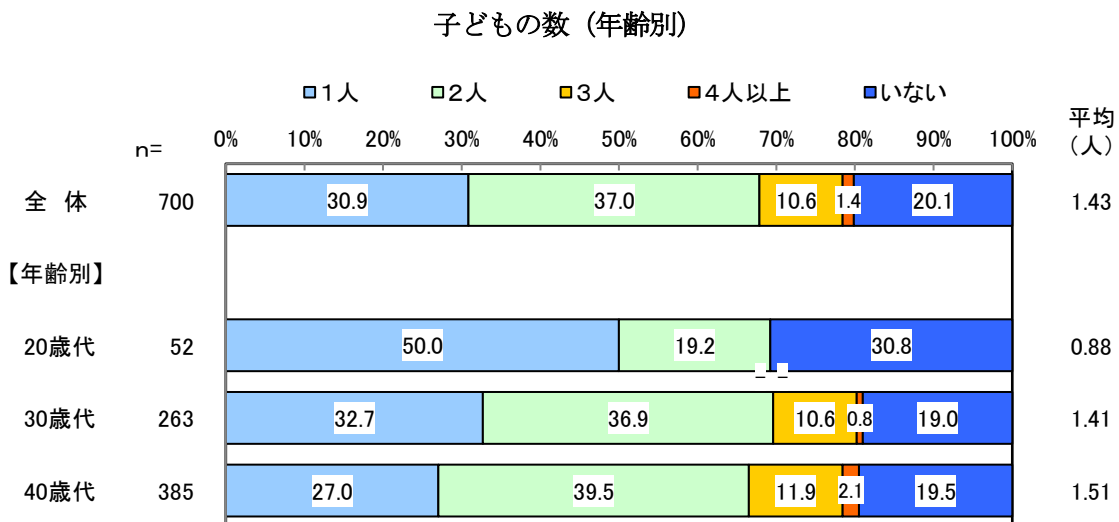
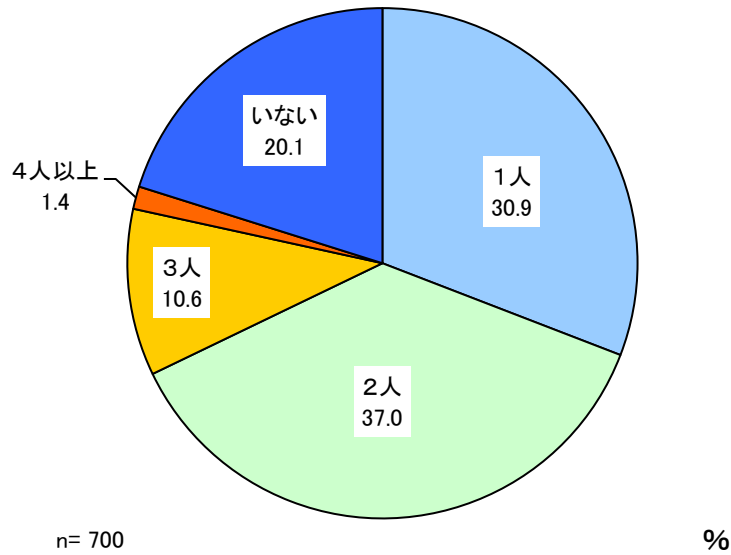
【世帯年収】

	総数
全 体	700 (100.0%)
50万円未満	4 ( 0.6)
50万円～100万円未満	3 ( 0.4)
100万円～150万円未満	1 ( 0.1)
150万円～200万円未満	5 ( 0.7)
200万円～250万円未満	6 ( 0.9)
250万円～300万円未満	25 ( 3.6)
300万円～400万円未満	53 ( 7.6)
400万円～500万円未満	108 ( 15.4)
500万円～600万円未満	123 ( 17.6)
600万円～700万円未満	95 ( 13.6)
700万円～800万円未満	114 ( 16.3)
800万円～900万円未満	54 ( 7.7)
900万円～1000万円未満	33 ( 4.7)
1000万円以上	76 ( 10.9)

※本調査ではパートナーの性別は聞いていないが、男性回答者のパートナーを女性、女性回答者のパートナーを男性とみなして分析している。

問3 あなた方ご夫婦の間に生まれたお子さんはいらっしゃいますか。  
 お子さんがいらっしゃる方は生まれたお子さんの人数を教えてください。

子どもの有無・数は「2人」が37.0%で最も高く、次いで「1人」が30.9%、「いない」が20.1%となっている。平均は1.43人となっている。

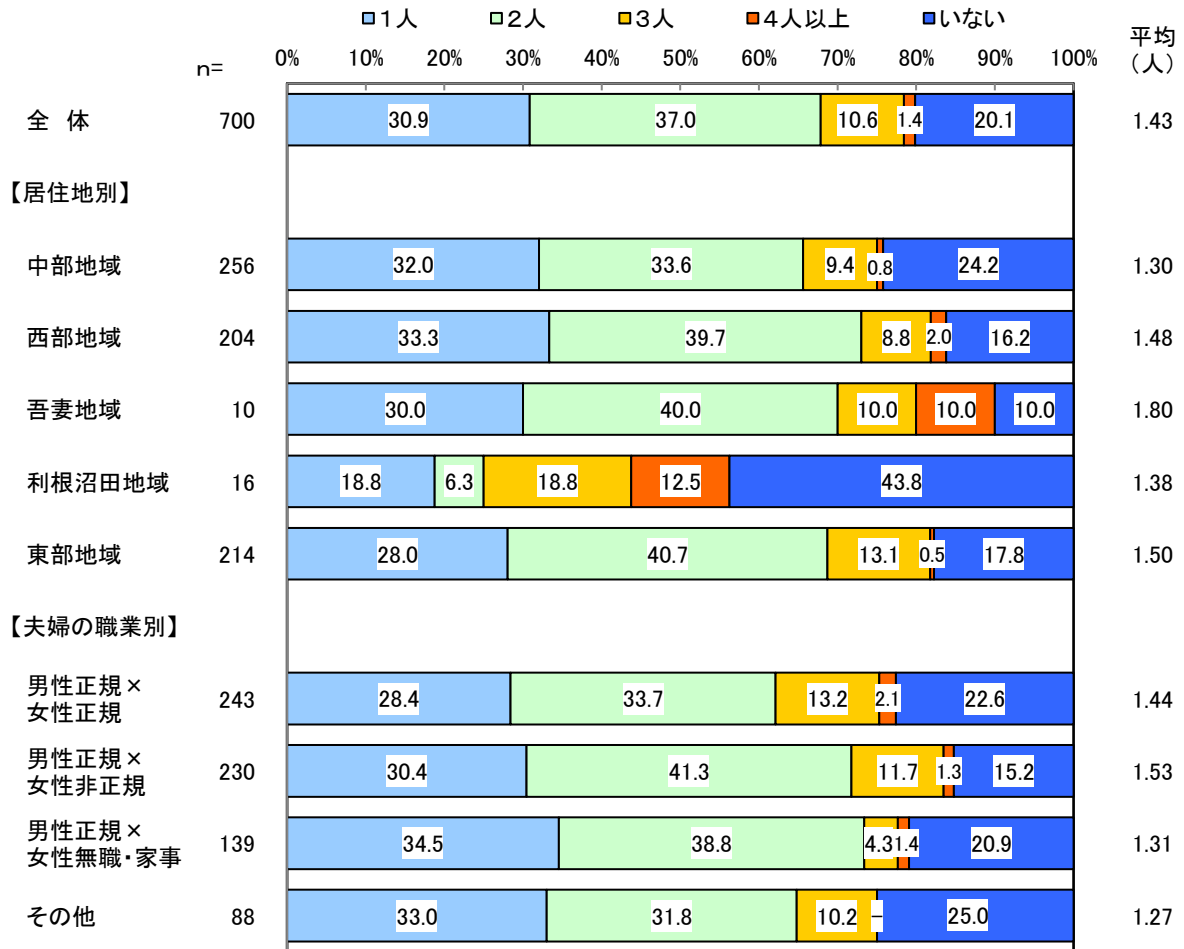


【年齢別】

年齢別で見ると、「1人」は20歳代で50.0%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。一方、「2人」は年齢が上がるほど高くなり、40歳以上で39.5%となっている。



### 子どもの数（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

#### 【居住地別】

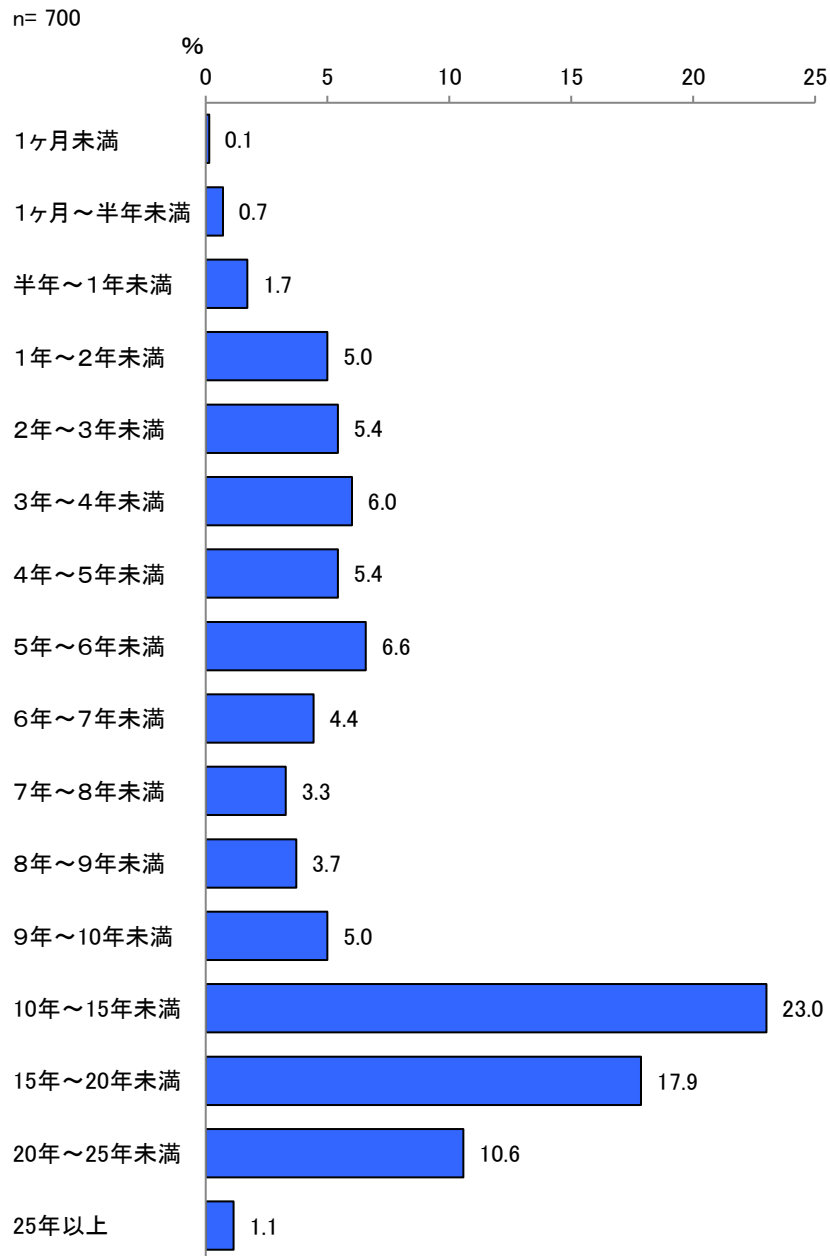
居住地別でみると、地域による大きな差はみられない。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「2人」は男性正規×女性非正規で41.3%と高くなっている。

問4 あなた方ご夫婦の結婚からの経過期間についてお答えください。

結婚からの経過期間は「10年～15年未満」が23.0%で最も高く、次いで「15年～20年未満」が17.9%、「20年～25年未満」が10.6%となっている。



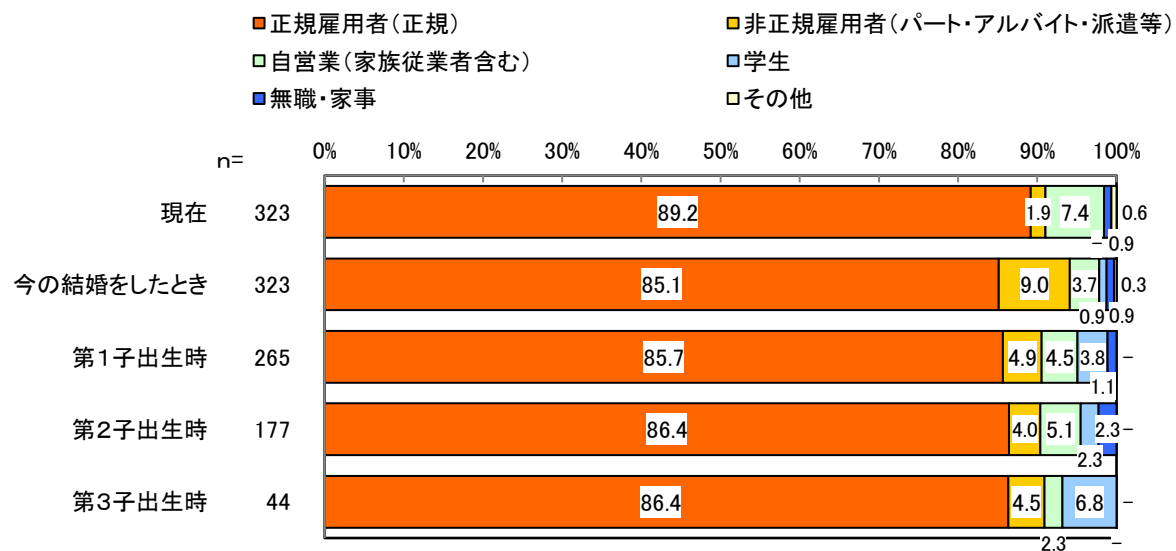
問5 あなた方ご夫婦それぞれの職業をお答えください。(回答はそれぞれ1つ)  
(各ライフイベントの時点ごとにお答えください。)

【男性回答者】

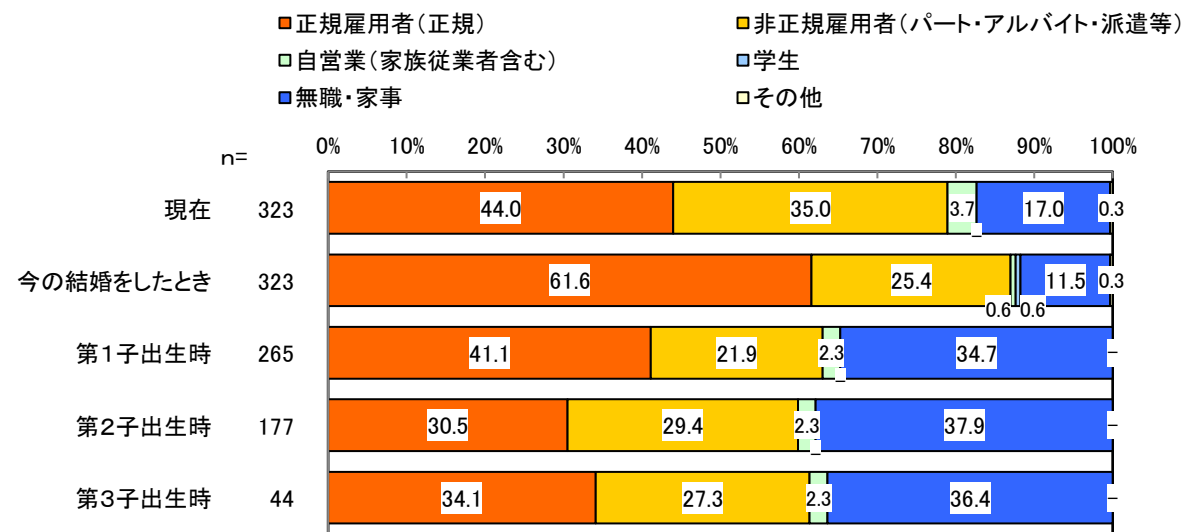
回答者が男性の場合、自分自身の職業は、いずれの時点でも「正規雇用者（正規）」が8割台となっている。

パートナーの職業は、“今の結婚をしたとき”は「正規雇用者（正規）」が61.6%で最も高くなっているが、“第1子出生時”以降は3～4割台となり、“第1子出生時”から“第3子出生時”は「無職・家事」、 “現在”は「非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）」がそれぞれ3割台となっている。

〈自分自身〉



〈パートナー〉

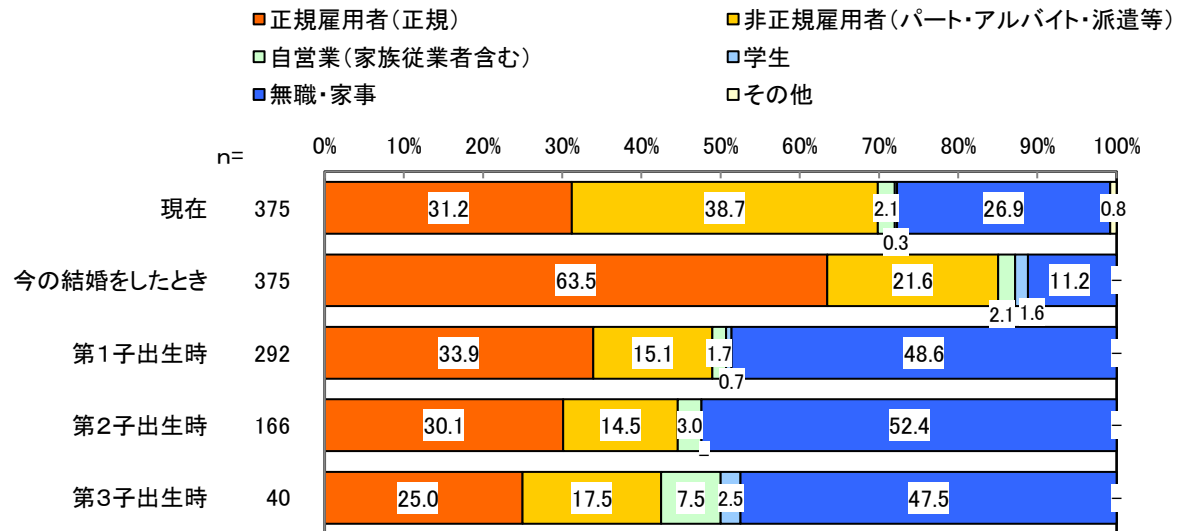


## 【女性回答者】

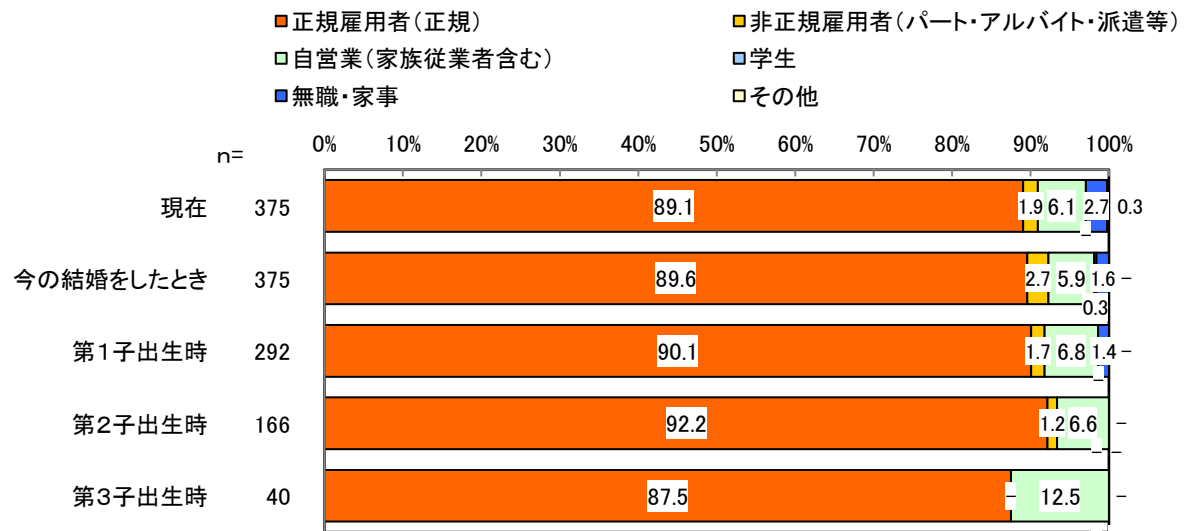
回答者が女性の場合、自分自身の職業は、「正規雇用者（正規）」が“今の結婚をしたとき”に63.5%と最も高くなっているが、“第1子出生時”以降は3割前後となり、“第1子出生時”から“第3子出生時”は「無職・家事」が5割前後、“現在”は「非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣等）」が38.7%で最も高くなっている。

パートナーはいずれの時点でも「正規雇用者（正規）」が9割前後となっている。

### 〈自分自身〉

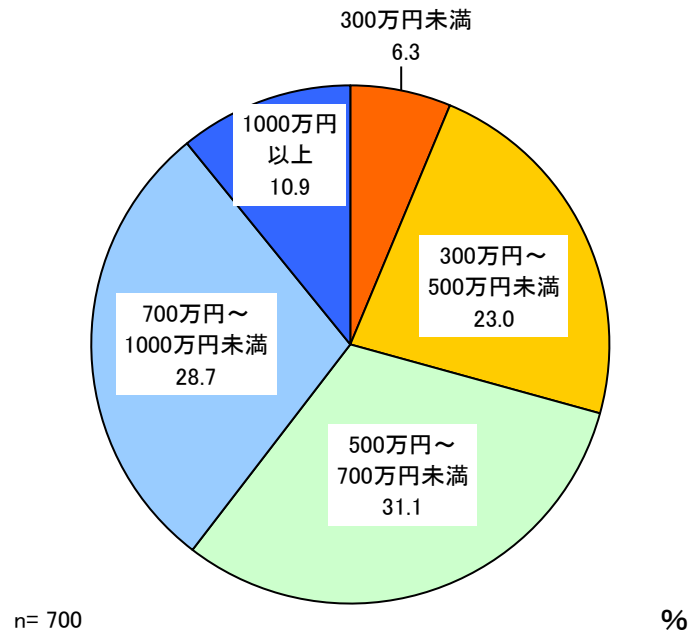


### 〈パートナー〉

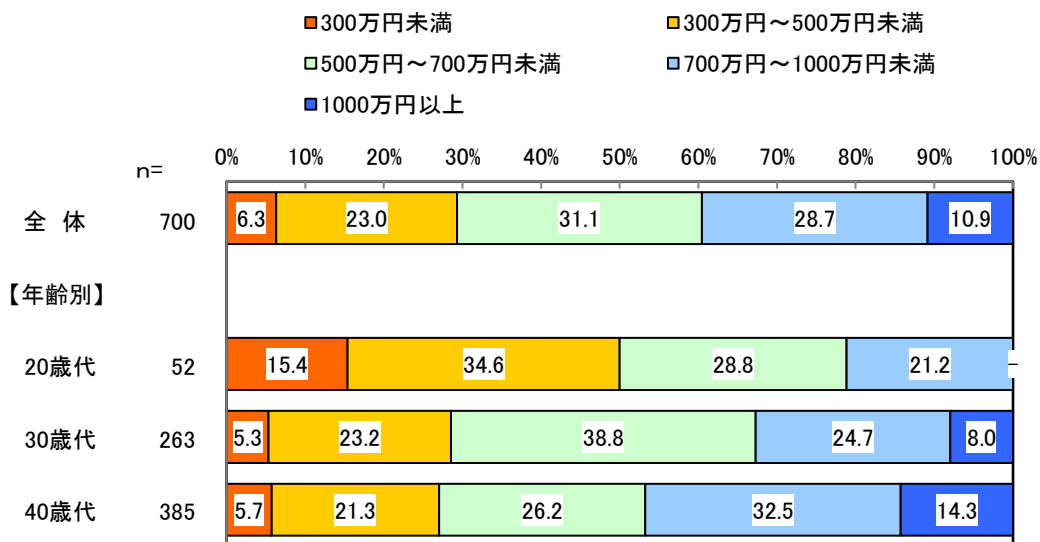


問6 あなたとパートナーの収入を合わせた、世帯の年間収入を教えてください。

世帯年収は、「500万円～700万円未満」が31.1%で最も高く、次いで「700万円～1000万円未満」が28.7%、「300万円～500万円未満」が23.0%となっている。



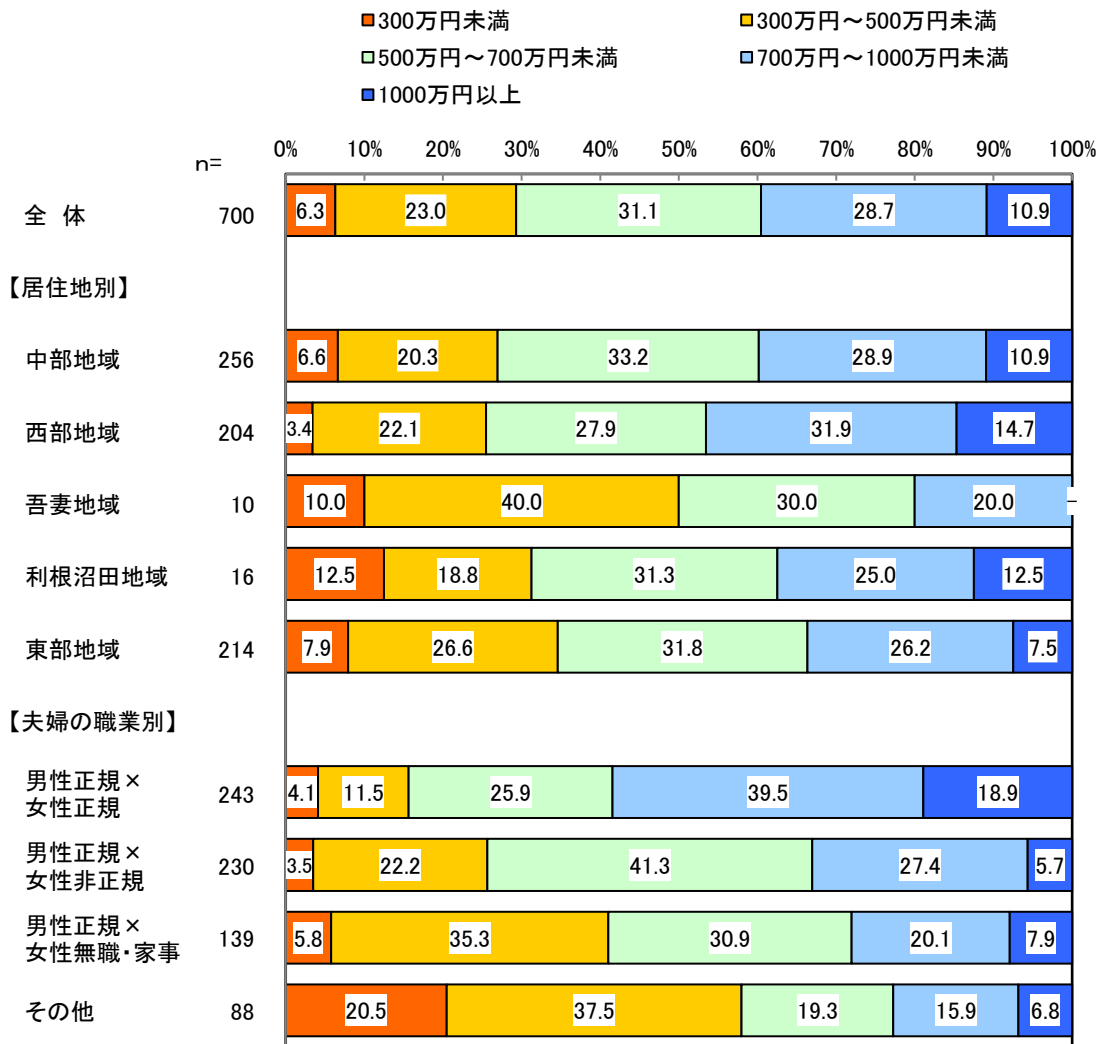
世帯年収 (年齢別)



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるほど年収も高くなり、20歳代は「300万円未満」が15.4%、「300万円～500万円未満」が34.6%、30歳代は「500万円～700万円未満」が38.8%、40歳代は「700万円～1000万円未満」が32.5%と高くなっている。

### 世帯年収（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

#### 【居住地別】

居住地別でみると、「1000万円以上」は西部地域で14.7%と高くなっている。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「300万円～500万円未満」は男性正規×女性無職・家事で35.3%と高くなっている。「500万円～1000万円未満」は男性正規×女性非正規で41.3%と高くなっている。男性正規×女性正規は「700万円～1000万円未満」が39.5%、「1000万円以上」が18.9%と高くなっている。

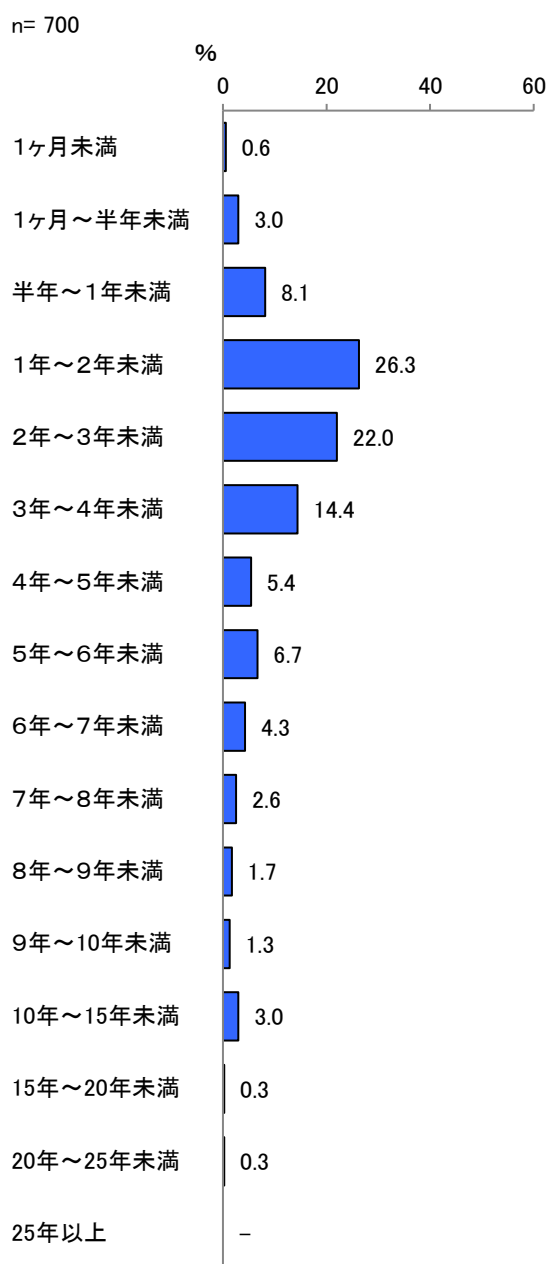
### 3 結婚について

問7 あなた方ご夫婦の(1)交際期間、(2)うち同棲期間をお答えください。

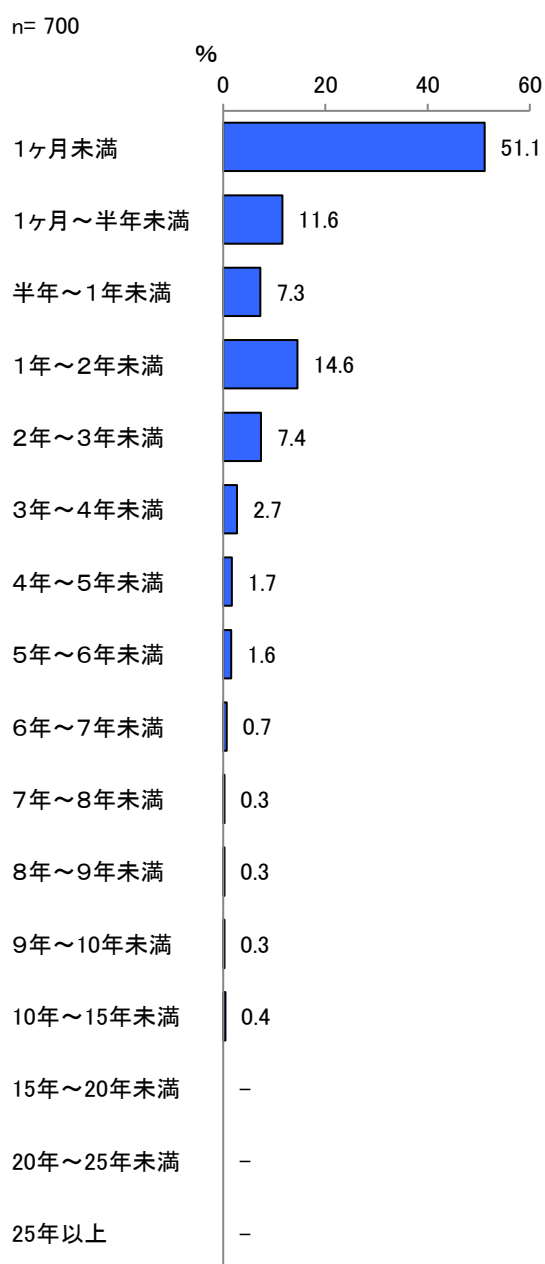
交際期間は「1年～2年未満」が26.3%で最も高く、次いで「2年～3年未満」が22.0%、「3年～4年未満」が14.4%となっている。

同棲期間は「1ヶ月未満」が51.1%で最も高く、次いで「1年～2年未満」が14.6%、「1ヶ月～半年未満」が11.6%となっている。

【交際期間】



【同棲期間】



交際期間（年齢別）

(%)

	n	1ヶ月未満	1ヶ月～ 半年未満	半年～ 1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満
全体	700	0.6	3.0	8.1	26.3	22.0	14.4	5.4	6.7
【年齢別】									
20歳代	52	-	1.9	7.7	17.3	21.2	26.9	1.9	5.8
30歳代	263	0.4	3.4	8.7	23.6	22.4	13.3	6.1	7.6
40歳代	385	0.8	2.9	7.8	29.4	21.8	13.5	5.5	6.2

(%)

	n	6年～ 7年未満	7年～ 8年未満	8年～ 9年未満	9年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	20年～ 25年未満	25年以上
全体	700	4.3	2.6	1.7	1.3	3.0	0.3	0.3	-
【年齢別】									
20歳代	52	7.7	1.9	3.8	3.8	-	-	-	-
30歳代	263	5.3	2.7	1.9	1.1	3.4	-	-	-
40歳代	385	3.1	2.6	1.3	1.0	3.1	0.5	0.5	-

【年齢別】

年齢別でみると、「1年～2年未満」は年齢が上がるほど高くなり、40歳代で29.4%となっている。一方、「3年～4年未満」は20歳代で26.9%と高くなっている。



交際期間（居住地別）

(%)

	n	1ヶ月未満	1ヶ月～ 半年未満	半年～ 1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満
全 体	700	0.6	3.0	8.1	26.3	22.0	14.4	5.4	6.7
【居住地別】									
中部地域	256	0.4	3.1	6.3	27.0	22.7	14.5	6.3	5.5
西部地域	204	1.0	2.5	12.7	22.1	20.1	12.3	5.9	8.8
吾妻地域	10	-	10.0	10.0	30.0	30.0	20.0	-	-
利根沼田地域	16	-	6.3	12.5	25.0	37.5	12.5	-	6.3
東部地域	214	0.5	2.8	5.6	29.4	21.5	16.4	4.7	6.5

(%)

	n	6年～ 7年未満	7年～ 8年未満	8年～ 9年未満	9年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	20年～ 25年未満	25年以上
全 体	700	4.3	2.6	1.7	1.3	3.0	0.3	0.3	-
【居住地別】									
中部地域	256	3.9	2.7	0.8	1.6	3.9	0.8	0.8	-
西部地域	204	4.9	2.0	2.9	1.5	3.4	-	-	-
吾妻地域	10	-	-	-	-	-	-	-	-
利根沼田地域	16	-	-	-	-	-	-	-	-
東部地域	214	4.7	3.3	1.9	0.9	1.9	-	-	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、地域による大きな差はみられない。

交際期間（夫婦の職業別）

(%)

	n	1ヶ月未満	1ヶ月～ 半年未満	半年～ 1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満
全 体	700	0.6	3.0	8.1	26.3	22.0	14.4	5.4	6.7
【夫婦の職業別】									
男性正規× 女性正規	243	1.2	2.5	7.4	24.3	23.5	15.6	4.9	6.6
男性正規× 女性非正規	230	0.4	3.9	7.8	25.2	22.2	13.9	6.1	7.4
男性正規× 女性無職・家事	139	-	2.2	10.8	30.2	22.3	15.8	4.3	6.5
その他	88	-	3.4	6.8	28.4	17.0	10.2	6.8	5.7

(%)

	n	6年～ 7年未満	7年～ 8年未満	8年～ 9年未満	9年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	20年～ 25年未満	25年以上
全 体	700	4.3	2.6	1.7	1.3	3.0	0.3	0.3	-
【夫婦の職業別】									
男性正規× 女性正規	243	4.1	2.9	1.6	1.6	3.3	-	0.4	-
男性正規× 女性非正規	230	4.8	1.7	2.2	1.7	2.6	-	-	-
男性正規× 女性無職・家事	139	2.9	0.7	2.2	-	1.4	0.7	-	-
その他	88	5.7	6.8	-	1.1	5.7	1.1	1.1	-

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、職業による大きな差はみられない。

交際期間（世帯年収別）

(%)

	n	1ヶ月未満	1ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満
全体	700	0.6	3.0	8.1	26.3	22.0	14.4	5.4	6.7
【世帯年収別】									
300万円未満	44	2.3	2.3	-	25.0	13.6	20.5	4.5	6.8
300万円～500万円未満	161	-	5.0	7.5	29.2	18.6	14.3	3.1	8.7
500万円～700万円未満	218	0.5	3.2	8.7	24.3	24.3	13.8	5.5	7.3
700万円～1000万円未満	201	1.0	1.5	9.0	23.4	22.9	15.4	7.5	6.5
1000万円以上	76	-	2.6	10.5	34.2	25.0	10.5	5.3	1.3

(%)

	n	6年～7年未満	7年～8年未満	8年～9年未満	9年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満	25年以上
全体	700	4.3	2.6	1.7	1.3	3.0	0.3	0.3	-
【世帯年収別】									
300万円未満	44	11.4	4.5	2.3	-	4.5	-	2.3	-
300万円～500万円未満	161	4.3	4.3	1.2	1.2	1.9	0.6	-	-
500万円～700万円未満	218	2.3	2.8	2.8	0.9	3.2	-	0.5	-
700万円～1000万円未満	201	4.5	1.5	1.0	1.5	4.0	0.5	-	-
1000万円以上	76	5.3	-	1.3	2.6	1.3	-	-	-

【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「1年～2年未満」は1000万円以上で34.2%と高くなっている。

同棲期間（年齢別）

(%)

	n	1ヶ月未満	1ヶ月～ 半年未満	半年～ 1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満
全体	700	51.1	11.6	7.3	14.6	7.4	2.7	1.7	1.6
【年齢別】									
20歳代	52	25.0	17.3	15.4	15.4	13.5	9.6	1.9	1.9
30歳代	263	45.6	15.2	7.2	15.6	8.4	2.7	1.9	2.3
40歳代	385	58.4	8.3	6.2	13.8	6.0	1.8	1.6	1.0

(%)

	n	6年～ 7年未満	7年～ 8年未満	8年～ 9年未満	9年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	20年～ 25年未満	25年以上
全体	700	0.7	0.3	0.3	0.3	0.4	-	-	-
【年齢別】									
20歳代	52	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	263	1.1	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	385	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	-	-	-

【年齢別】

年齢別でみると、「1ヶ月未満」は年齢が上がるほど高くなり、40～49歳で58.4%となっている。

同棲期間（居住地別）

(%)

	n	1ヶ月未満	1ヶ月～ 半年未満	半年～ 1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満
全 体	700	51.1	11.6	7.3	14.6	7.4	2.7	1.7	1.6
【居住地別】									
中部地域	256	50.4	11.7	8.6	13.3	8.6	2.3	1.6	2.0
西部地域	204	54.4	13.2	6.4	10.8	6.4	2.0	2.0	2.5
吾妻地域	10	30.0	10.0	20.0	30.0	10.0	-	-	-
利根沼田地域	16	37.5	18.8	-	37.5	6.3	-	-	-
東部地域	214	50.9	9.3	6.5	17.3	7.0	4.2	1.9	0.5

(%)

	n	6年～ 7年未満	7年～ 8年未満	8年～ 9年未満	9年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	20年～ 25年未満	25年以上
全 体	700	0.7	0.3	0.3	0.3	0.4	-	-	-
【居住地別】									
中部地域	256	0.8	-	-	0.4	0.4	-	-	-
西部地域	204	0.5	1.0	0.5	-	0.5	-	-	-
吾妻地域	10	-	-	-	-	-	-	-	-
利根沼田地域	16	-	-	-	-	-	-	-	-
東部地域	214	0.9	-	0.5	0.5	0.5	-	-	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、地域による大きな差はみられない。

同棲期間（夫婦の職業別）

(%)

	n	1ヶ月未満	1ヶ月～ 半年未満	半年～ 1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～ 5年未満	5年～ 6年未満
全 体	700	51.1	11.6	7.3	14.6	7.4	2.7	1.7	1.6
【夫婦の職業別】									
男性正規× 女性正規	243	45.7	10.3	6.6	19.8	8.6	2.9	1.6	1.6
男性正規× 女性非正規	230	53.9	12.6	8.7	12.6	6.5	1.7	1.7	1.7
男性正規× 女性無職・家事	139	61.2	12.2	5.8	8.6	5.8	2.9	-	2.2
その他	88	43.2	11.4	8.0	14.8	9.1	4.5	4.5	-

(%)

	n	6年～ 7年未満	7年～ 8年未満	8年～ 9年未満	9年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年～ 20年未満	20年～ 25年未満	25年以上
全 体	700	0.7	0.3	0.3	0.3	0.4	-	-	-
【夫婦の職業別】									
男性正規× 女性正規	243	1.2	0.4	0.4	0.4	0.4	-	-	-
男性正規× 女性非正規	230	-	-	-	-	0.4	-	-	-
男性正規× 女性無職・家事	139	0.7	0.7	-	-	-	-	-	-
その他	88	1.1	-	1.1	1.1	1.1	-	-	-

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「1ヶ月未満」は男性正規×女性無職・家事で61.2%と高くなっている。

同棲期間（世帯年収別）

(%)

	n	1ヶ月未満	1ヶ月～半年未満	半年～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～4年未満	4年～5年未満	5年～6年未満
全体	700	51.1	11.6	7.3	14.6	7.4	2.7	1.7	1.6
【世帯年収別】									
300万円未満	44	36.4	18.2	6.8	20.5	11.4	-	4.5	-
300万円～500万円未満	161	52.8	12.4	4.3	13.7	6.2	5.0	0.6	3.7
500万円～700万円未満	218	47.7	11.5	8.3	15.6	8.3	3.7	2.8	0.5
700万円～1000万円未満	201	54.2	9.5	10.0	10.9	8.5	1.5	1.0	2.0
1000万円以上	76	57.9	11.8	3.9	19.7	2.6	-	1.3	-

(%)

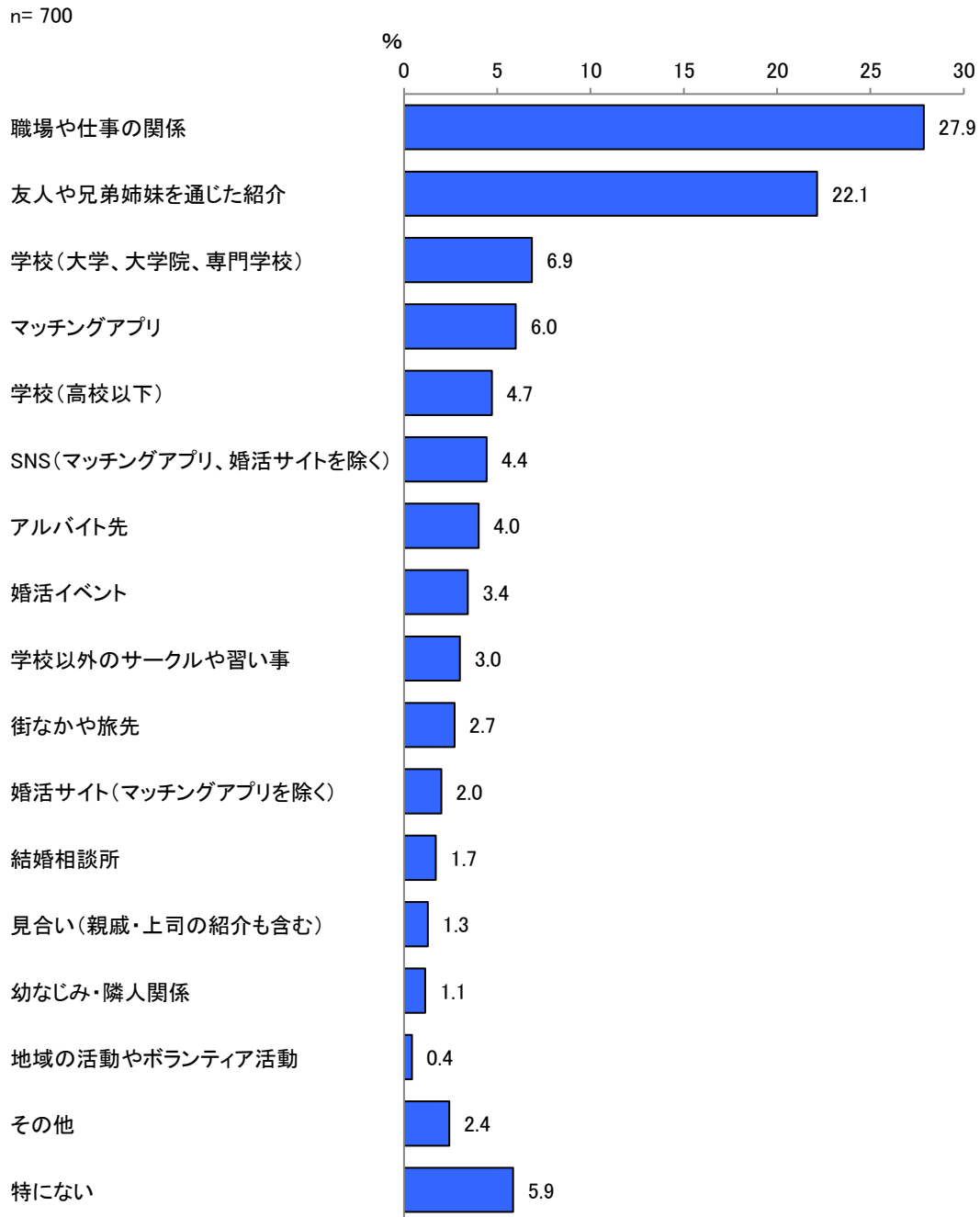
	n	6年～7年未満	7年～8年未満	8年～9年未満	9年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年～25年未満	25年以上
全体	700	0.7	0.3	0.3	0.3	0.4	-	-	-
【世帯年収別】									
300万円未満	44	2.3	-	-	-	-	-	-	-
300万円～500万円未満	161	-	-	0.6	0.6	-	-	-	-
500万円～700万円未満	218	0.9	0.5	-	-	0.5	-	-	-
700万円～1000万円未満	201	0.5	0.5	-	0.5	1.0	-	-	-
1000万円以上	76	1.3	-	1.3	-	-	-	-	-

【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「1ヶ月未満」は1000万円以上で57.9%と高くなっている。

問8 あなた方ご夫婦の知り合ったきっかけを教えてください。

夫婦の知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係」が27.9%で最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じた紹介」が22.1%、「学校（大学、大学院、専門学校）」が6.9%となっている。





知り合ったきっかけ（性別、年齢別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	マッチングアプリ	学校(高校以下)	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	アルバイト先	婚活イベント	学校以外のサークルや習い事
全体	700	27.9	22.1	6.9	6.0	4.7	4.4	4.0	3.4	3.0
【性別】										
男性	323	28.8	21.7	6.2	5.0	4.3	3.1	3.4	2.8	3.1
女性	375	27.2	22.7	7.5	6.9	5.1	5.3	4.5	4.0	2.9
【年齢別】										
20歳代	52	28.8	7.7	5.8	9.6	11.5	15.4	9.6	1.9	-
30歳代	263	23.6	19.0	9.9	11.0	4.9	3.8	4.2	5.3	3.4
40歳代	385	30.6	26.2	4.9	2.1	3.6	3.4	3.1	2.3	3.1

(%)

	n	街なかや旅先	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	結婚相談所	見合い(親戚・上司の紹介も含む)	幼なじみ・隣人関係	地域の活動やボランティア活動	その他	特にない
全体	700	2.7	2.0	1.7	1.3	1.1	0.4	2.4	5.9
【性別】									
男性	323	2.5	2.5	2.2	1.2	0.9	0.9	1.2	10.2
女性	375	2.9	1.6	1.3	1.3	1.1	-	3.5	2.1
【年齢別】									
20歳代	52	1.9	-	-	-	1.9	-	1.9	3.8
30歳代	263	3.8	0.8	0.8	0.4	1.9	0.4	2.7	4.2
40歳代	385	2.1	3.1	2.6	2.1	0.5	0.5	2.3	7.3

【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「友人や兄弟姉妹を通じた紹介」は年齢が上がるほど高くなり、40歳代で26.2%となっている。一方、20歳代は「SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)」が15.4%、「学校(高校以下)」が11.5%、30歳代は「マッチングアプリ」が11.0%と1割を超えている。

知り合ったきっかけ（居住地別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	マッチングアプリ	学校(高校以下)	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	アルバイト先	婚活イベント	学校以外のサークルや習い事
全体	700	27.9	22.1	6.9	6.0	4.7	4.4	4.0	3.4	3.0
【居住地別】										
中部地域	256	28.9	22.7	5.1	6.6	3.5	4.3	4.3	2.7	3.9
西部地域	204	30.4	19.1	7.8	7.4	4.9	2.5	2.5	4.4	2.9
吾妻地域	10	60.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-	-
利根沼田地域	16	31.3	37.5	-	-	-	6.3	-	-	-
東部地域	214	22.4	23.8	8.9	4.7	6.1	6.5	5.6	3.7	2.3

(%)

	n	街なかや旅先	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	結婚相談所	見合い(親戚・上司の紹介も含む)	幼なじみ・隣人関係	地域の活動やボランティア活動	その他	特になし
全体	700	2.7	2.0	1.7	1.3	1.1	0.4	2.4	5.9
【居住地別】									
中部地域	256	3.1	2.3	2.3	0.4	1.2	-	3.5	5.1
西部地域	204	3.4	2.5	2.0	2.0	1.0	0.5	1.5	5.4
吾妻地域	10	-	-	-	-	10.0	-	-	10.0
利根沼田地域	16	-	-	6.3	-	-	-	6.3	12.5
東部地域	214	1.9	1.4	0.5	1.9	0.9	0.9	1.9	6.5

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、地域による大きな差はみられない。

知り合ったきっかけ（夫婦の職業別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	マッチングアプリ	学校(高校以下)	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	アルバイト先	婚活イベント	学校以外のサークルや習い事
全体	700	27.9	22.1	6.9	6.0	4.7	4.4	4.0	3.4	3.0
【夫婦の職業別】										
男性正規×女性正規	243	32.1	18.9	5.3	6.6	7.0	2.5	2.9	3.3	3.7
男性正規×女性非正規	230	26.1	25.7	7.0	4.3	3.5	6.1	5.2	3.9	2.6
男性正規×女性無職・家事	139	27.3	23.0	8.6	8.6	2.2	3.6	3.6	2.9	2.2
その他	88	21.6	20.5	8.0	4.5	5.7	6.8	4.5	3.4	3.4

(%)

	n	街なかや旅先	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	結婚相談所	見合い(親戚・上司の紹介も含む)	幼なじみ・隣人関係	地域の活動やボランティア活動	その他	特になし
全体	700	2.7	2.0	1.7	1.3	1.1	0.4	2.4	5.9
【夫婦の職業別】									
男性正規×女性正規	243	3.7	1.2	2.1	0.8	1.2	0.4	2.5	5.8
男性正規×女性非正規	230	0.4	2.2	1.7	1.3	1.3	-	1.7	7.0
男性正規×女性無職・家事	139	2.2	3.6	2.2	1.4	0.7	0.7	2.2	5.0
その他	88	6.8	1.1	-	2.3	1.1	1.1	4.5	4.5

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「職場や仕事の関係」は男性正規×女性正規で32.1%と高くなっている。

知り合ったきっかけ（世帯年収別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	マッチングアプリ	学校(高校以下)	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	アルバイト先	婚活イベント	学校以外のサークルや習い事
全体	700	27.9	22.1	6.9	6.0	4.7	4.4	4.0	3.4	3.0
【世帯年収別】										
300万円未満	44	20.5	15.9	6.8	2.3	11.4	4.5	-	2.3	2.3
300万円～500万円未満	161	26.1	18.6	8.1	5.0	2.5	6.2	5.6	3.1	4.3
500万円～700万円未満	218	25.2	24.8	8.7	7.3	4.1	4.1	4.6	5.5	1.4
700万円～1000万円未満	201	29.9	22.4	5.5	5.0	5.5	4.0	4.0	2.5	3.5
1000万円以上	76	38.2	25.0	2.6	9.2	5.3	2.6	1.3	1.3	3.9

(%)

	n	街なかや旅先	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	結婚相談所	見合い(親戚・上司の紹介も含む)	幼なじみ・隣人関係	地域の活動やボランティア活動	その他	特にない
全体	700	2.7	2.0	1.7	1.3	1.1	0.4	2.4	5.9
【世帯年収別】									
300万円未満	44	4.5	2.3	-	4.5	4.5	-	4.5	13.6
300万円～500万円未満	161	1.9	3.1	0.6	1.9	1.2	1.2	5.6	5.0
500万円～700万円未満	218	3.2	1.4	1.8	1.4	0.9	-	0.9	4.6
700万円～1000万円未満	201	2.5	2.0	2.5	0.5	1.0	0.5	2.0	7.0
1000万円以上	76	2.6	1.3	2.6	-	-	-	-	3.9

【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「職場や仕事の関係」は年収が上がるほど高くなる傾向がみられ、1000万円以上で38.2%となっている。

知り合ったきっかけ（結婚・交際・同棲期間別）

(%)

	n	職場や仕事の関係	友人や兄弟姉妹を通じた紹介	学校(大学、大学院、専門学校)	マッチングアプリ	学校(高校以下)	SNS(マッチングアプリ、婚活サイトを除く)	アルバイト先	婚活イベント	学校以外のサークルや習い事
全体	700	27.9	22.1	6.9	6.0	4.7	4.4	4.0	3.4	3.0
【結婚期間別】										
3年未満	91	18.7	11.0	3.3	19.8	5.5	7.7	4.4	5.5	3.3
3年～5年未満	80	28.8	20.0	7.5	15.0	2.5	2.5	3.8	6.3	-
5年～10年未満	161	29.8	17.4	8.1	2.5	3.7	4.3	4.3	6.2	3.1
10年～15年未満	161	24.2	29.2	9.3	1.9	5.6	6.2	2.5	0.6	3.1
15年～20年未満	125	33.6	28.0	2.4	3.2	4.8	4.0	4.8	2.4	2.4
20年以上	82	31.7	23.2	9.8	1.2	6.1	-	4.9	-	6.1
【交際期間別】										
1年未満	82	23.2	15.9	1.2	13.4	1.2	6.1	-	4.9	2.4
1年～2年未満	184	23.9	20.1	1.1	7.1	3.3	3.8	4.3	8.2	3.8
2年～3年未満	154	32.5	30.5	4.5	8.4	2.6	1.9	2.6	3.2	1.9
3年～5年未満	139	40.3	21.6	7.9	2.9	5.8	5.8	3.6	-	2.2
5年～10年未満	116	18.1	20.7	19.0	0.9	10.3	6.0	8.6	-	3.4
10年以上	25	20.0	16.0	20.0	-	8.0	4.0	4.0	-	8.0
【同棲期間別】										
1ヶ月未満	358	27.7	24.6	6.1	5.3	4.2	3.6	3.9	3.6	3.1
1ヶ月～1年未満	132	23.5	26.5	4.5	9.8	5.3	3.0	1.5	5.3	1.5
1年～2年未満	102	31.4	16.7	2.9	6.9	3.9	4.9	4.9	3.9	5.9
2年～3年未満	52	30.8	15.4	15.4	3.8	5.8	7.7	5.8	-	-
3年以上	56	30.4	12.5	16.1	1.8	7.1	8.9	7.1	-	3.6

(%)

	n	街なかや旅先	婚活サイト(マッチングアプリを除く)	結婚相談所	見合い(親戚・上司の紹介も含む)	幼なじみ・隣人関係	地域の活動やボランティア活動	その他	特にない
全体	700	2.7	2.0	1.7	1.3	1.1	0.4	2.4	5.9
【結婚期間別】									
3年未満	91	4.4	1.1	1.1	1.1	3.3	-	3.3	6.6
3年～5年未満	80	2.5	2.5	1.3	-	-	-	1.3	6.3
5年～10年未満	161	2.5	2.5	3.1	1.2	1.9	1.2	3.1	5.0
10年～15年未満	161	0.6	3.1	3.1	2.5	0.6	-	3.1	4.3
15年～20年未満	125	4.0	1.6	-	0.8	0.8	-	1.6	5.6
20年以上	82	3.7	-	-	1.2	-	1.2	1.2	9.8
【交際期間別】									
1年未満	82	4.9	2.4	8.5	2.4	1.2	-	2.4	9.8
1年～2年未満	184	3.3	4.3	2.7	3.3	0.5	1.1	2.7	6.5
2年～3年未満	154	3.2	2.6	-	-	-	0.6	0.6	4.5
3年～5年未満	139	0.7	-	-	-	0.7	-	2.2	6.5
5年～10年未満	116	2.6	-	-	-	3.4	-	2.6	4.3
10年以上	25	-	-	-	4.0	4.0	-	12.0	-
【同棲期間別】									
1ヶ月未満	358	2.5	2.8	2.0	1.4	1.4	0.3	2.0	5.6
1ヶ月～1年未満	132	3.0	3.0	3.0	0.8	-	1.5	3.0	4.5
1年～2年未満	102	4.9	-	1.0	2.0	1.0	-	2.0	7.8
2年～3年未満	52	1.9	-	-	-	3.8	-	3.8	5.8
3年以上	56	-	-	-	1.8	-	-	3.6	7.1

#### 【結婚期間別】

結婚期間別でみると、「職場や仕事の関係」は15年～20年未満で33.6%と高くなっている。「友人や兄弟姉妹を通じた紹介」は10年～15年未満で29.2%、15年～20年未満で28.0%と高くなっている。「マッチングアプリ」は3年未満で19.8%、3年～5年未満で15.0%と高くなっている。

#### 【交際期間別】

交際期間別でみると、「職場や仕事の関係」は3年～5年未満で40.3%と高くなっている。「友人や兄弟姉妹を通じた紹介」は2年～3年未満で30.5%と高くなっている。「学校（大学、大学院、専門学校）」は交際期間が長いほど高くなる傾向がみられ、10年以上で20.0%となっている。一方、「マッチングアプリ」は1年未満で13.4%となっている。

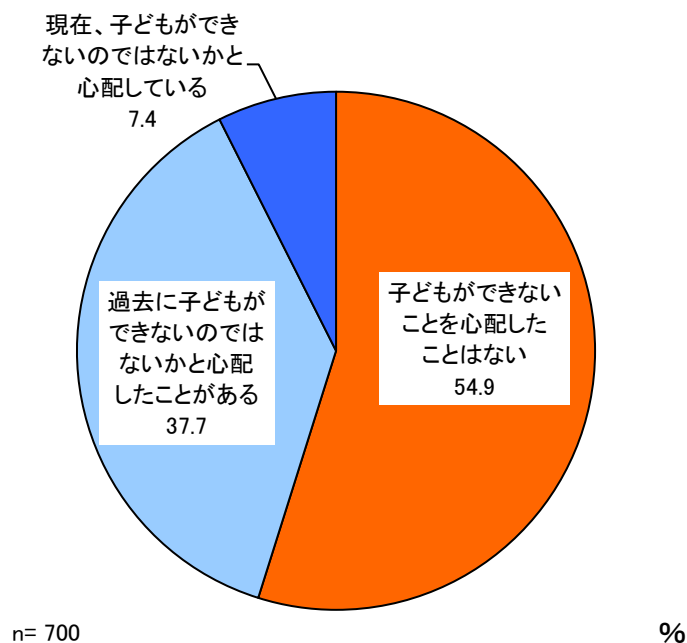
#### 【同棲期間別】

同棲期間別でみると、「友人や兄弟姉妹を通じた紹介」は1ヶ月～1年未満で26.5%、1ヶ月未満も24.6%と高くなっている。「学校（大学、大学院、専門学校）」は2年～3年未満で15.4%、3年以上で16.1%と高くなっている。

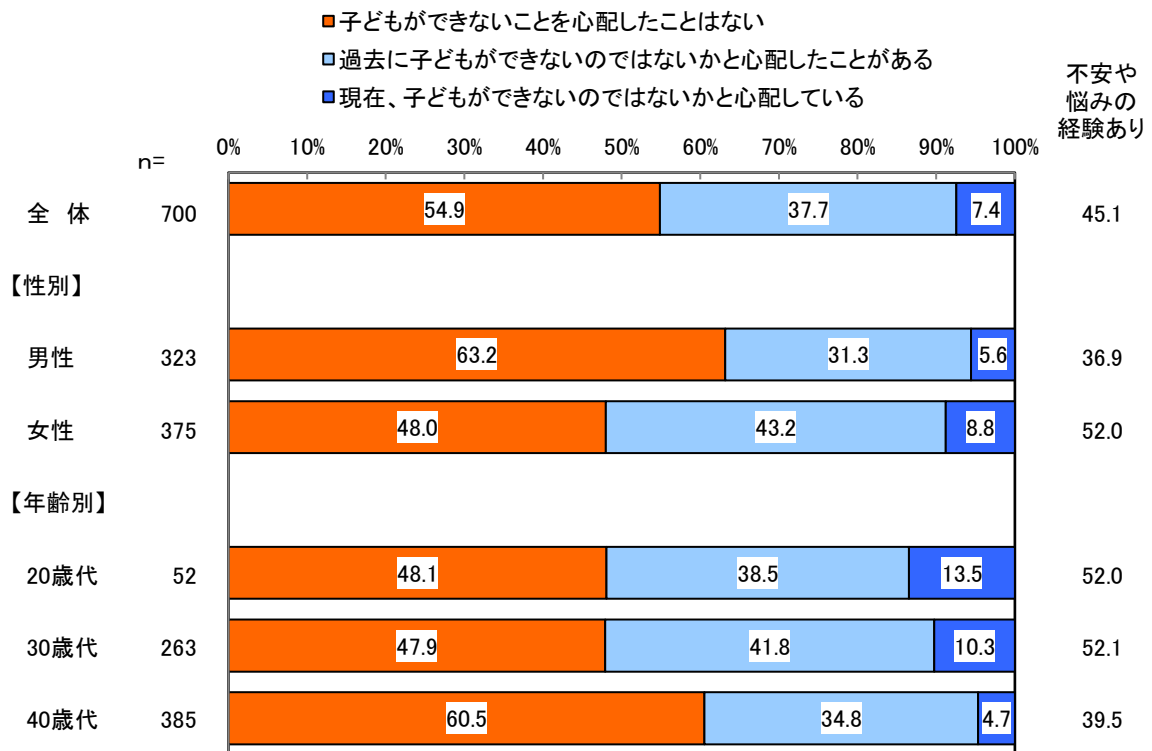
#### 4 妊娠・出産について

##### 問9-1 あなた方ご夫婦は、不妊について不安や悩みがありますか。

不妊についての不安や悩みは、「子どもができないことを心配したことはない」が54.9%、「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」が37.7%、「現在、子どもができないのではないかと心配している」が7.4%となっている。「不安や悩みの経験あり」（「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」または「現在、子どもができないのではないかと心配している」）の割合は45.1%となっている。



### 不妊についての不安や悩み（性別、年齢別）



#### 【性別】

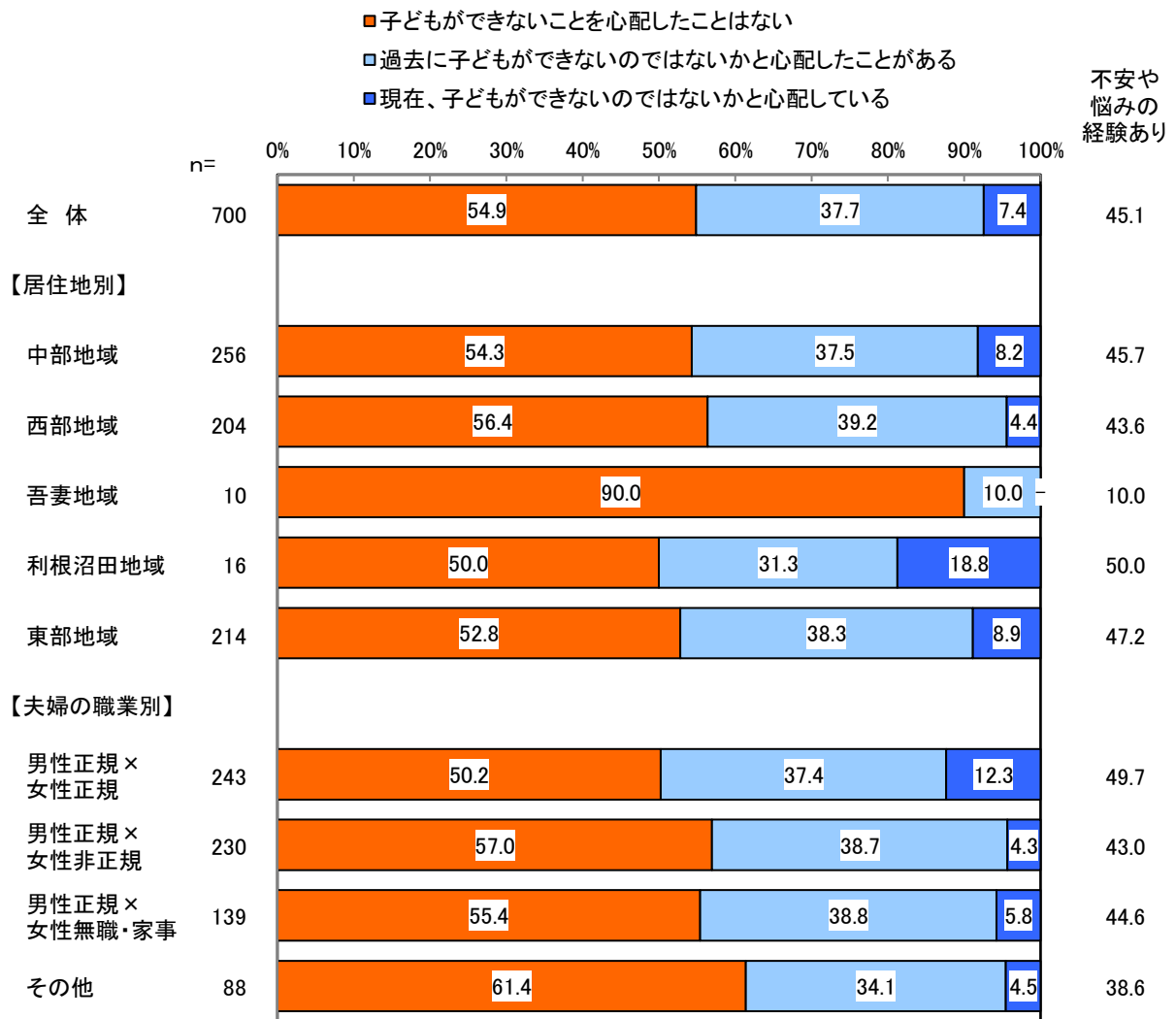
性別でみると、「不安や悩みの経験あり」は女性が男性よりも 15.1 ポイント高くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別でみると、「不安や悩みの経験あり」は 30 歳代で 52.1%、20 歳代で 52.0%と高くなっている。



不妊についての不安や悩み（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

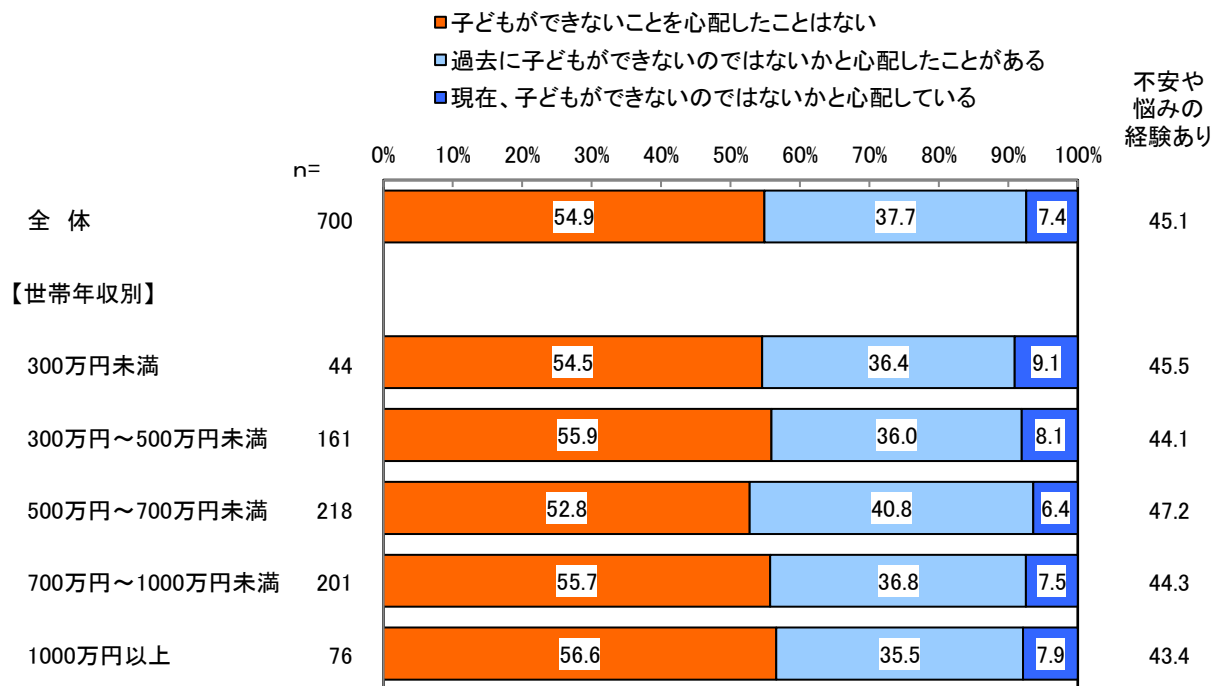
**【居住地別】**

居住地別でみると、「不安や悩みの経験あり」は東部地域で47.2%と高くなっている。

**【夫婦の職業別】**

夫婦の職業別でみると、「不安や悩みの経験あり」は男性正規×女性正規で49.7%と高くなっている。

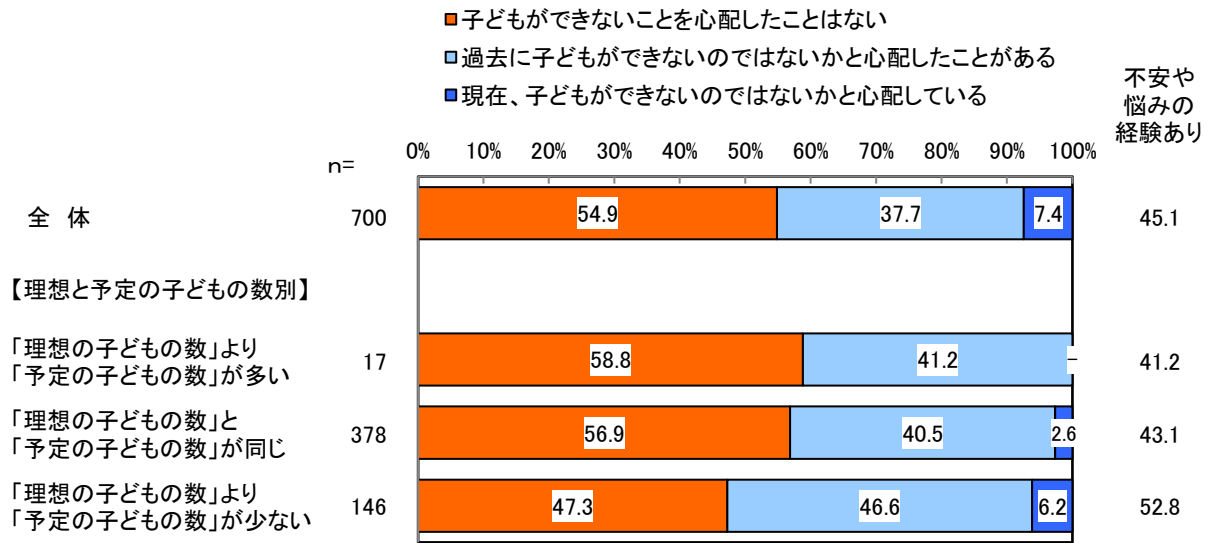
### 不妊についての不安や悩み（世帯年収別）



#### 【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「不安や悩みの経験あり」は500万円～700万円未満で47.2%と高くなっている。

### 不妊についての不安や悩み（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

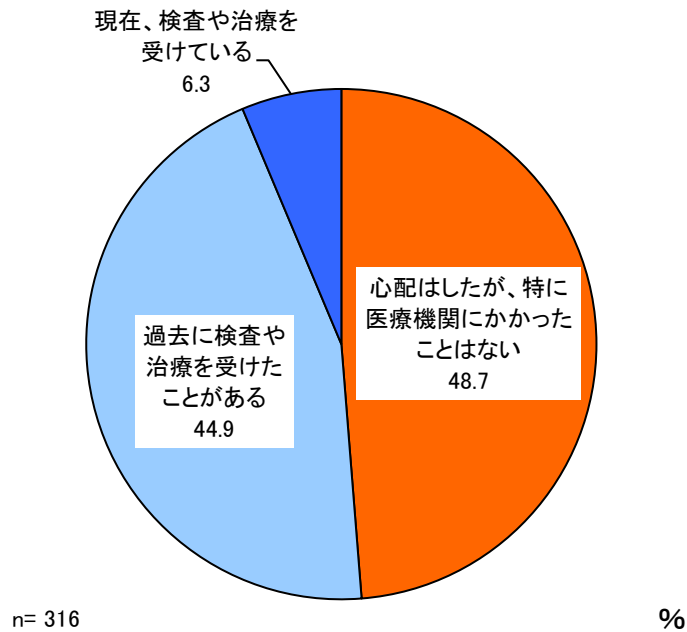
#### 【理想と予定の子どもの数別】

問 15 と問 17 の結果をまとめた理想と予定の子どもの数別でみると、「不安や悩みの経験あり」は“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”で 52.8%と高くなっている。

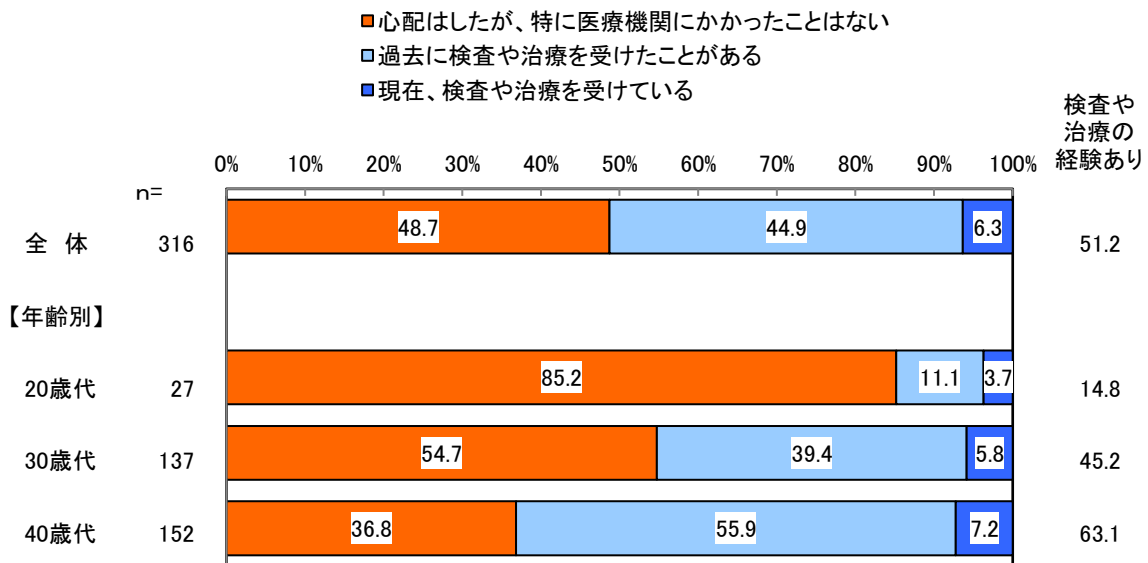
【問9-1で「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」、「現在、子どもができないのではないかと心配している」を選択した方のみにお聞きします。】

問9-2 不妊治療の経験はありますか。

不妊についての不安や悩みがある（あった）場合の治療経験は、「心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない」が48.7%、「過去に検査や治療を受けたことがある」が44.9%、「現在、検査や治療を受けている」が6.3%となっている。「検査や治療の経験あり」（「過去に検査や治療を受けたことがある」または「現在、検査や治療を受けている」）の割合は51.2%となっている。



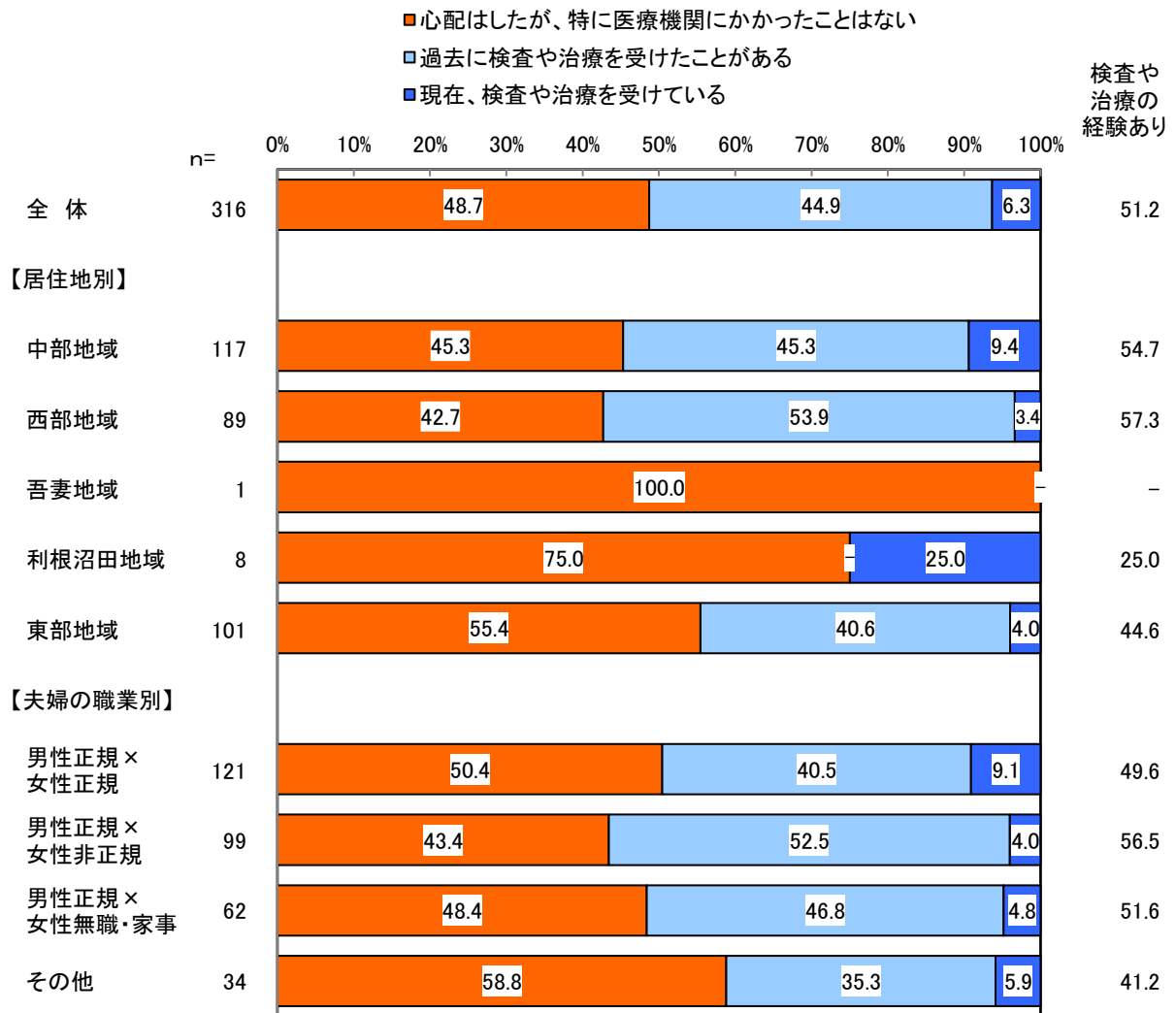
不妊治療の経験 (年齢別)



【年齢別】

年齢別でみると、「検査や治療の経験あり」は年齢が上がるほど高くなり、40歳代で63.1%となっている。

### 不妊治療の経験（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

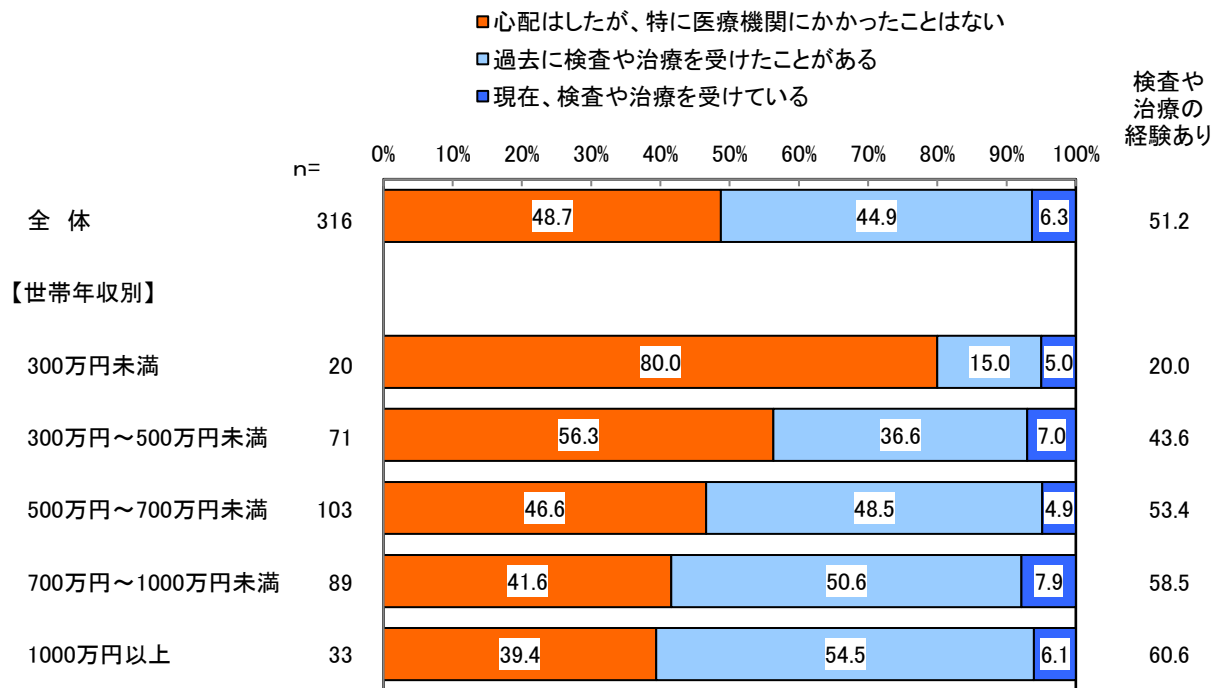
#### 【居住地別】

居住地別でみると、「検査や治療の経験あり」は西部地域で57.3%、中部地域で54.7%と高くなっている。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「検査や治療の経験あり」は男性正規×女性非正規で56.5%と高くなっている。

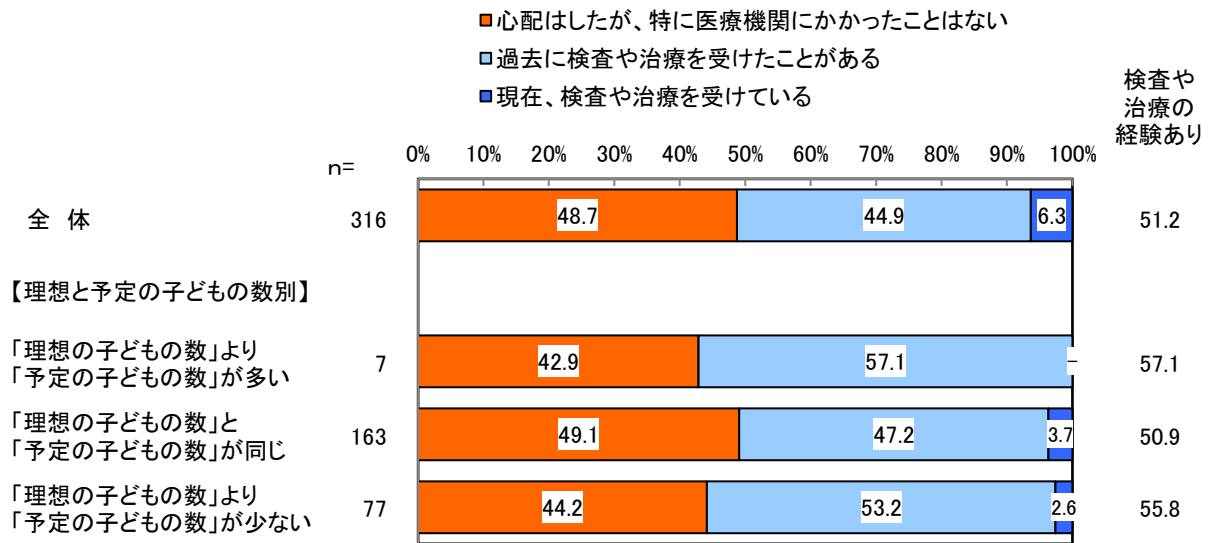
### 不妊治療の経験（世帯年収別）



#### 【世帯年収別】

世帯年収別で見ると、「検査や治療の経験あり」は年収が上がるほど高くなり、1000万円以上で60.6%となっている。

### 不妊治療の経験（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

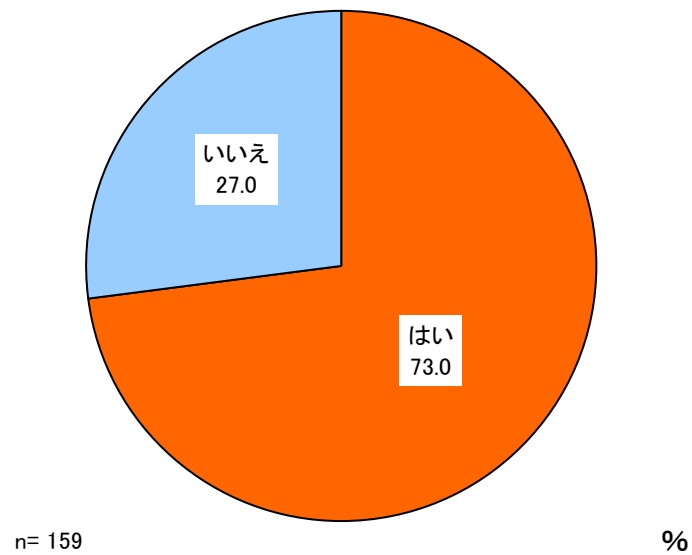
#### 【理想と予定の子どもの数別】

問 15 と問 17 の結果をまとめた理想と予定の子どもの数別でみると、「検査や治療の経験あり」は“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”で 55.8%と高くなっている。

【問9-2で「過去に検査や治療を受けたことがある」、「現在、検査や治療を受けている」を選択した方のみにお聞きします。】

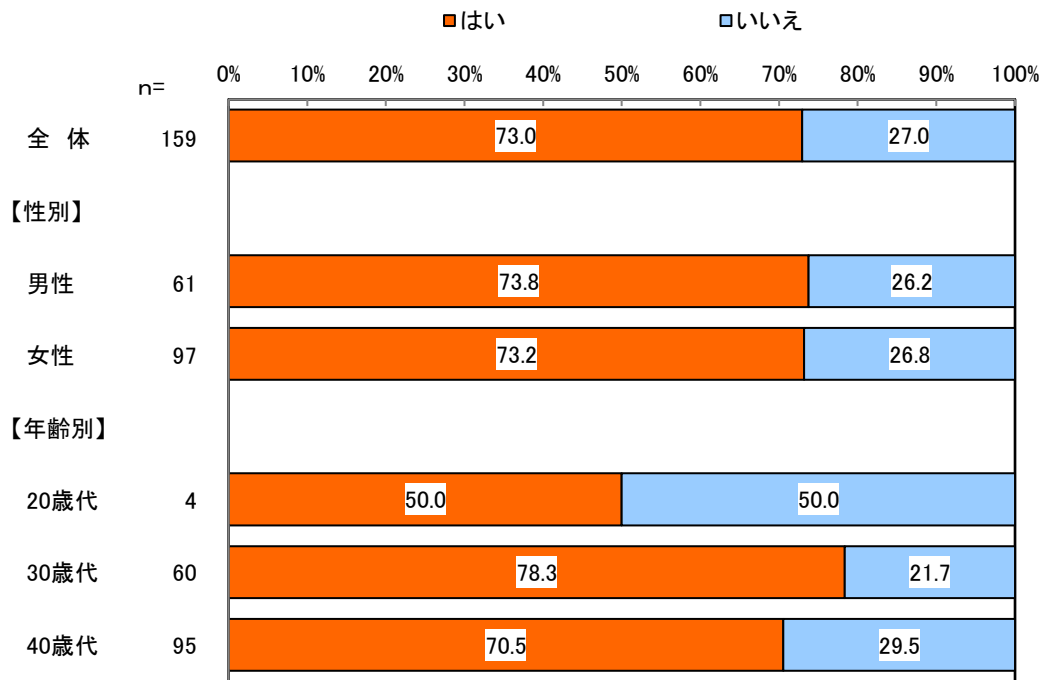
問9-3 治療の結果、お子さんが生まれましたか。

検査や治療を受けた結果、子どもが生まれたかは、「はい」が73.0%、「いいえ」が27.0%となっている。





不妊治療の結果、子どもが生まれたか（性別、年齢別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

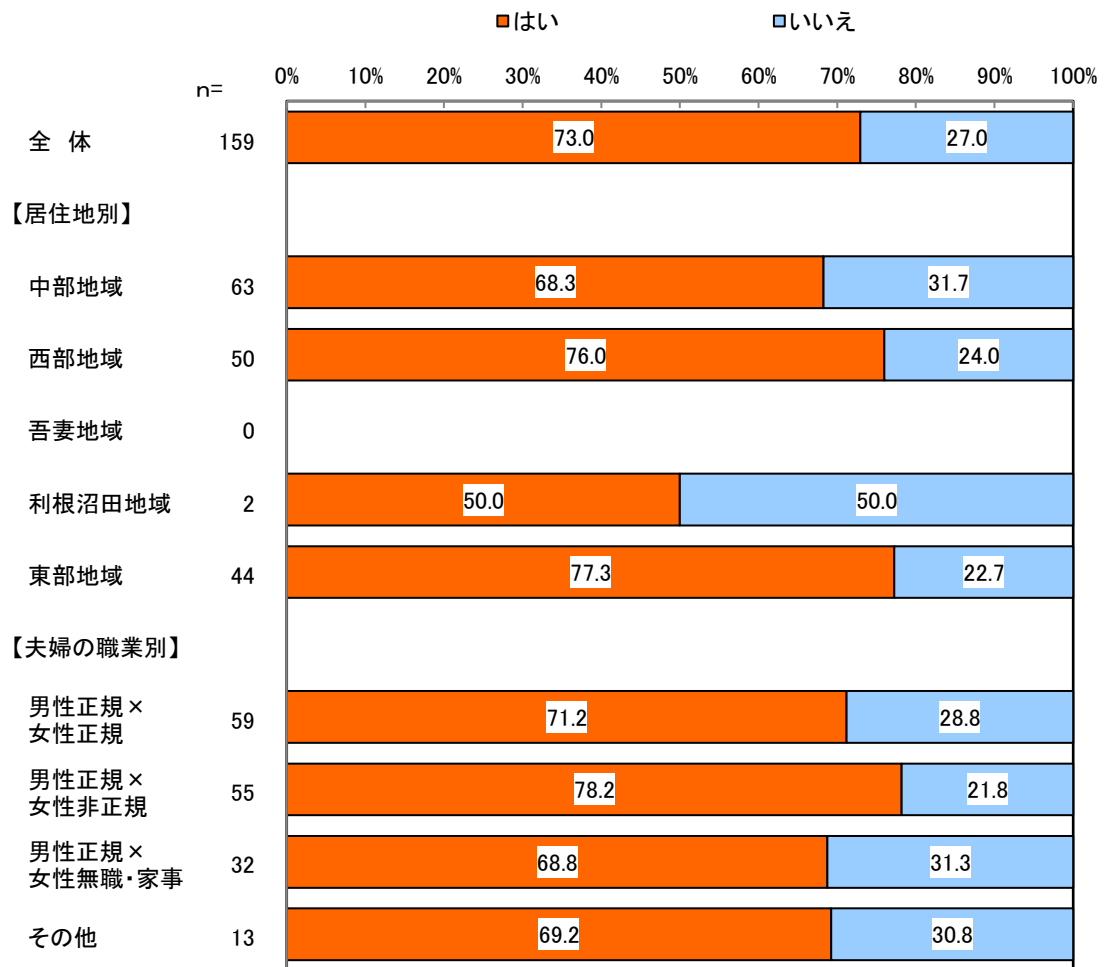
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「はい」は30歳代で78.3%、40歳代で70.5%となっている。

不妊治療の結果、子どもが生まれたか（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

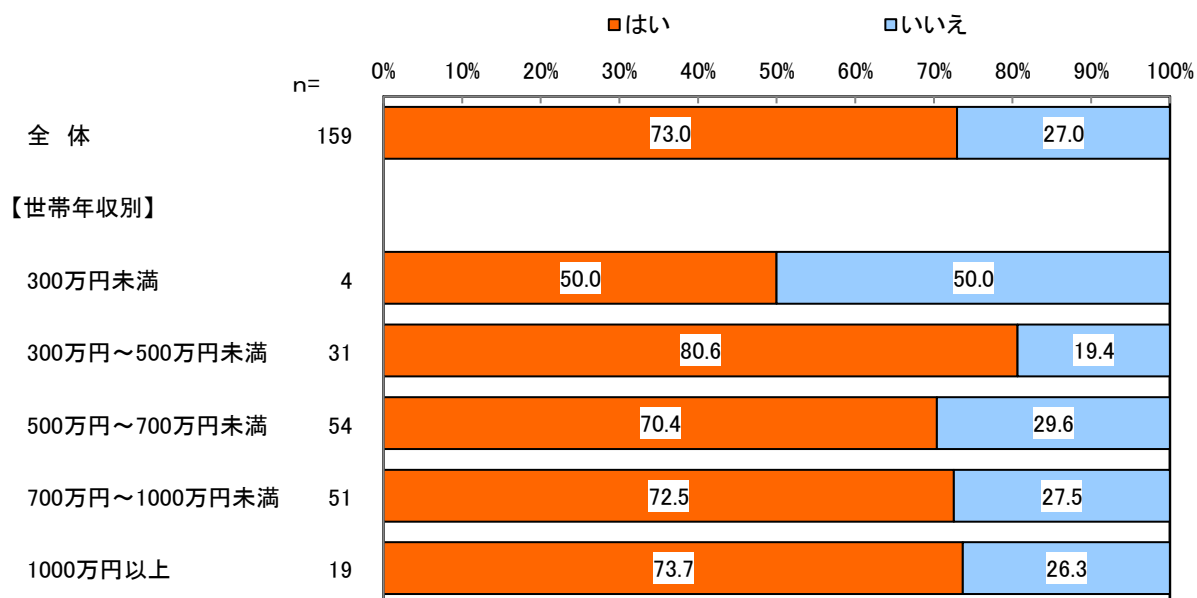
【居住地別】

居住地別でみると、「はい」は東部地域で77.3%、西部地域で76.0%と高くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「はい」は男性正規×女性非正規で78.2%と高くなっている。

### 不妊治療の結果、子どもが生まれたか（世帯年収別）

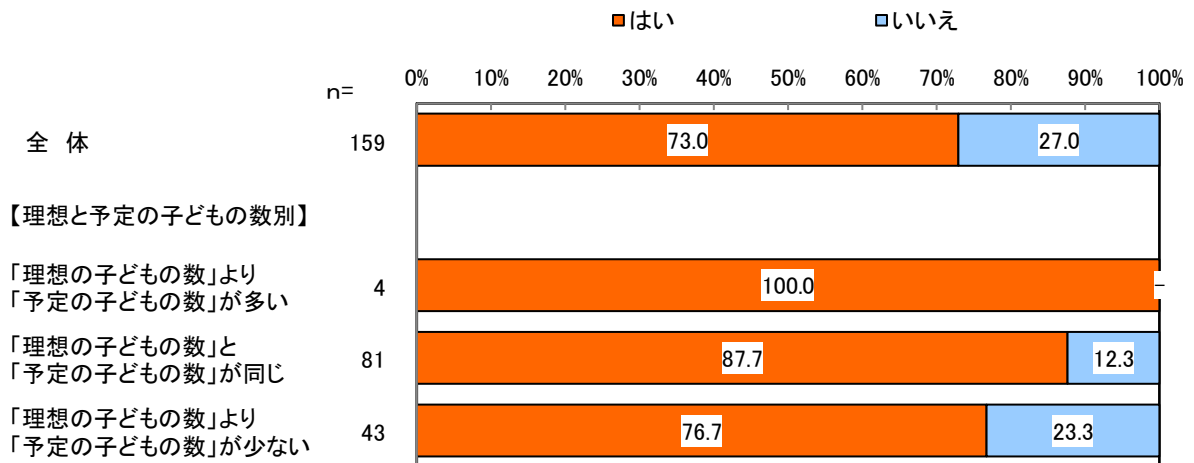


※母数が20未満の項目は参考値とする。

#### 【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「はい」は300万円～500万円未満で80.6%と高くなっている。

不妊治療の結果、子どもが生まれたか（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

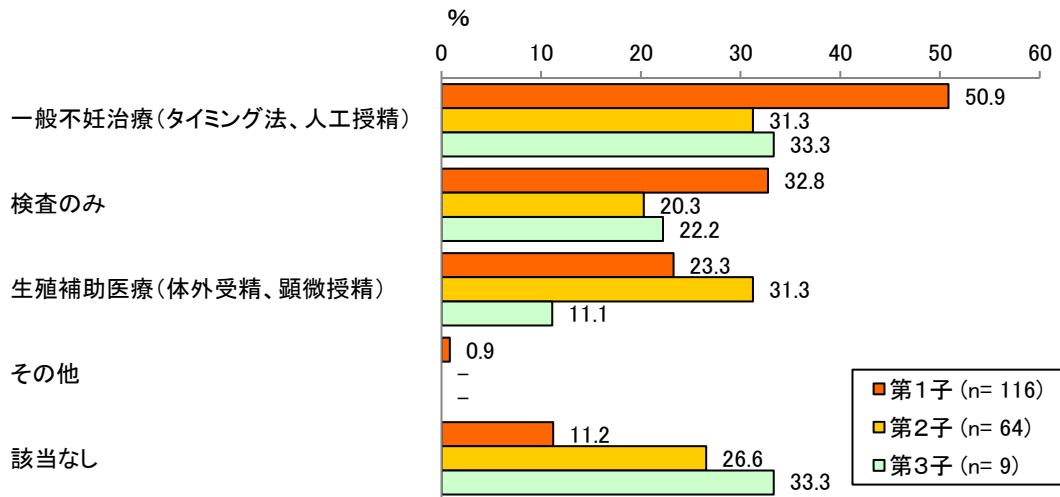
問 15 と問 17 の結果をまとめた理想と予定の子どもの数別で見ると、「はい」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で 87.7%と高くなっている。

【問9-3で「はい」を選択した方のみにお聞きします。】

問9-4 生まれた場合は、実施した不妊治療を全てお答えください。

実施した不妊治療は、第1子は「一般不妊治療（タイミング法、人工授精）」が50.9%で最も高く、「検査のみ」が32.8%、「生殖補助医療（体外受精、顕微授精）」が23.3%となっている。

第2子は「一般不妊治療（タイミング法、人工授精）」と「生殖補助医療（体外受精、顕微授精）」がそれぞれ31.3%、「検査のみ」が20.3%となっている。



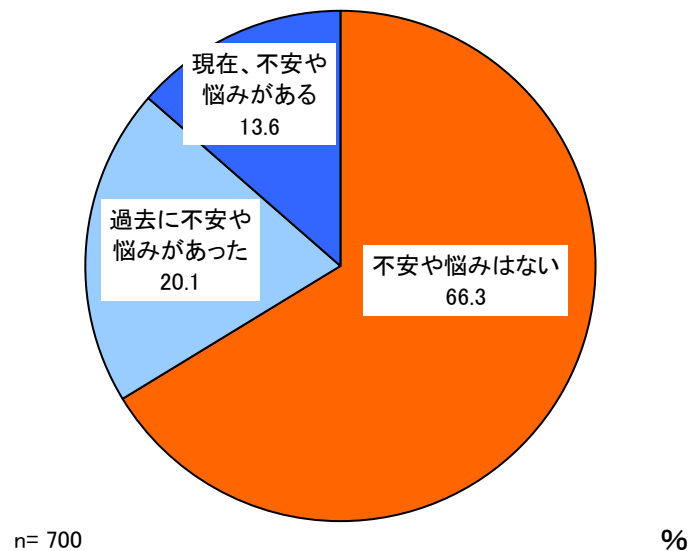
※第3子は母数が少ないため参考値とする。

※クロス集計については母数が少ないため省略する。

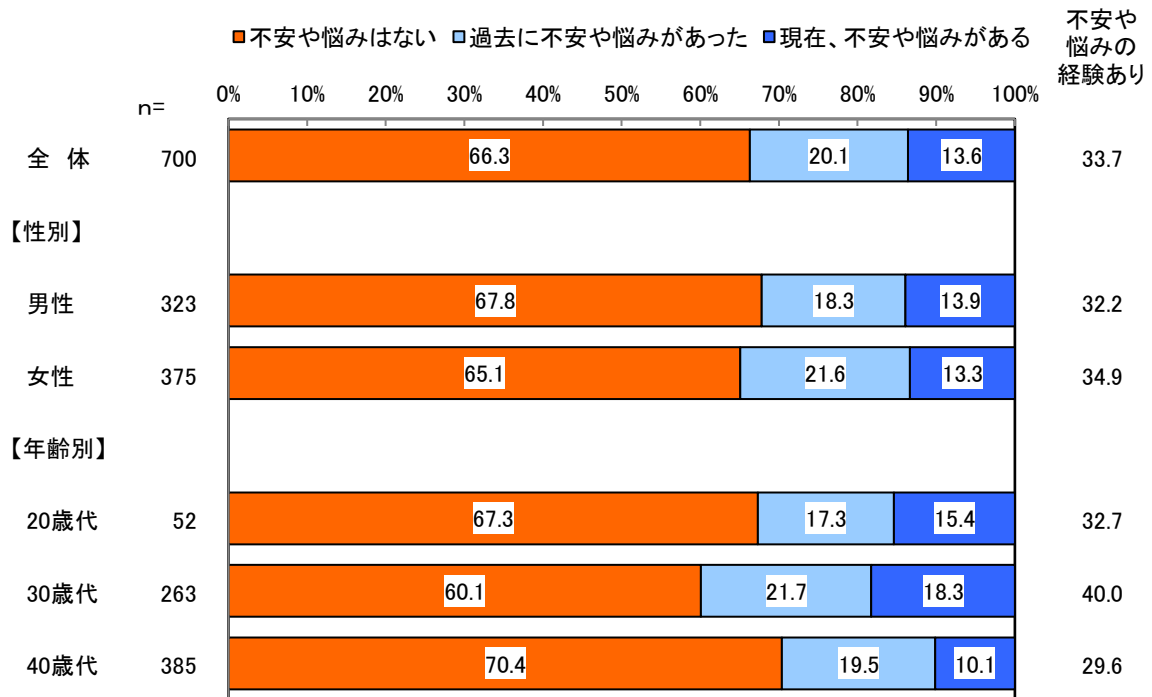
問 10-1 あなた方ご夫婦は、不育について不安や悩みがありますか。

※不育症・・・妊娠はするけれど2回以上の流産・死産もしくは生後1週間以内に死亡する早期  
新生児死亡によって子どもを持ってない場合のこと

不育についての不安や悩みは、「不安や悩みはない」が 66.3%、「過去に不安や悩みがあった」が  
20.1%、「現在、不安や悩みがある」が 13.6%となっている。「不安や悩みの経験あり」（「過去に不安  
や悩みがあった」または「現在、不安や悩みがある」）の割合は 33.7%となっている。



### 不育についての不安や悩み（性別、年齢別）



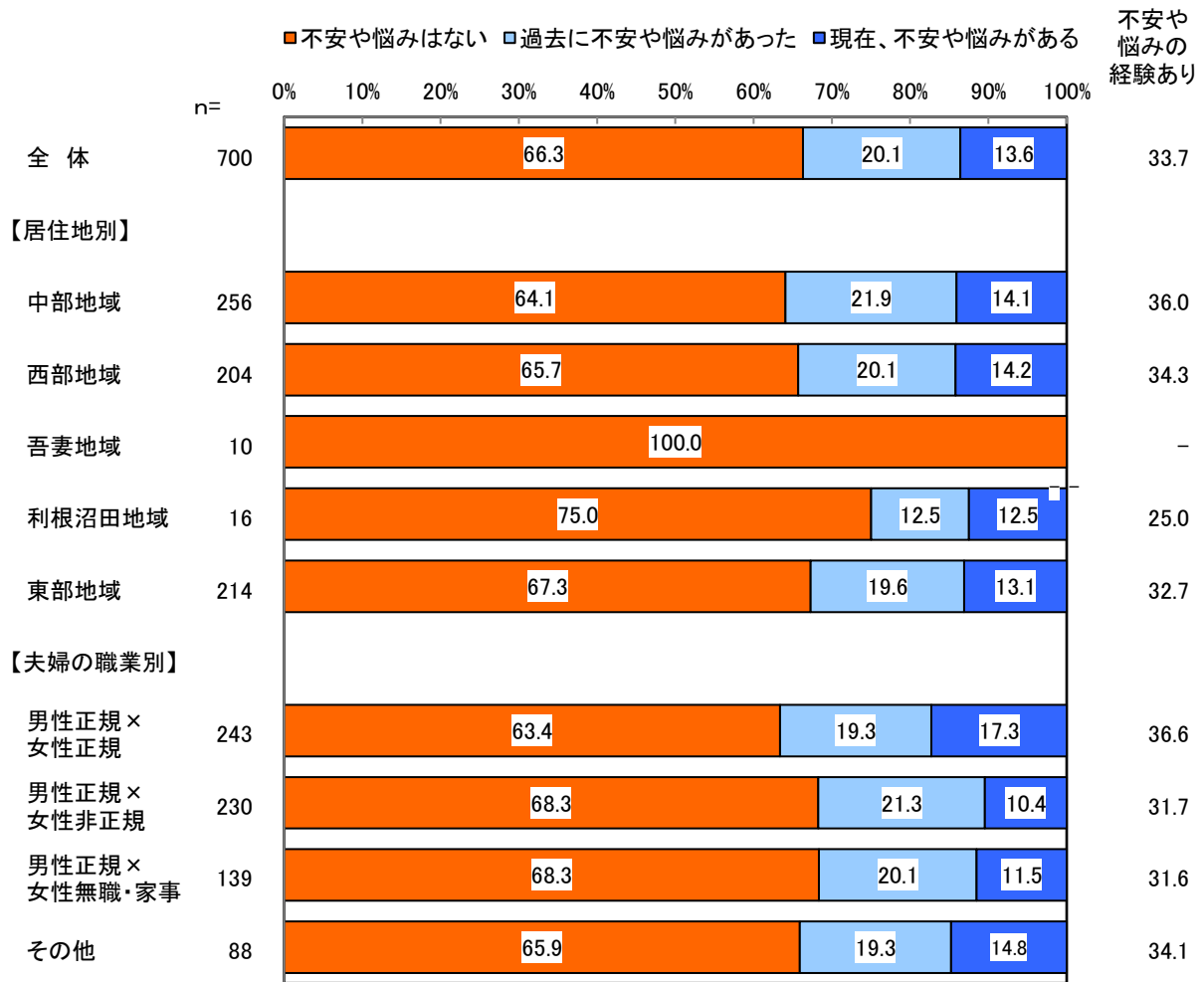
#### 【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

#### 【年齢別】

年齢別でみると、「不安や悩みの経験あり」は30歳代で40.0%と高くなっている。

不育についての不安や悩み（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

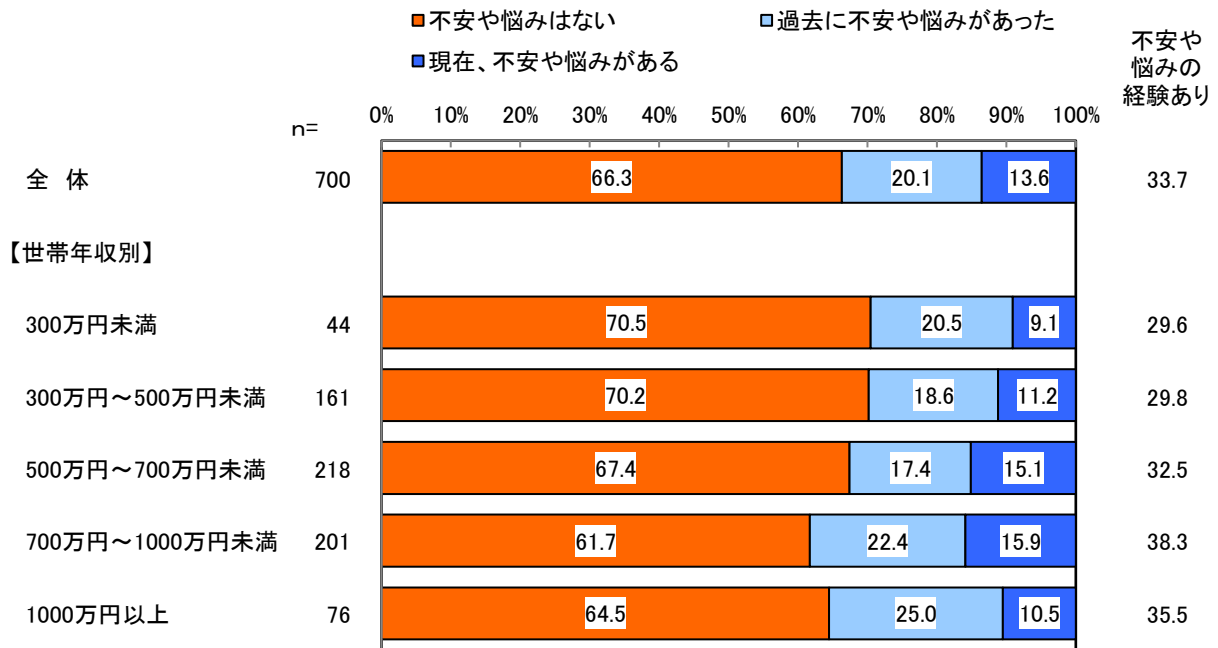
居住地別でみると、地域による大きな差はみられない。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「不安や悩みの経験あり」は男性正規×女性正規で36.6%と高くなっている。



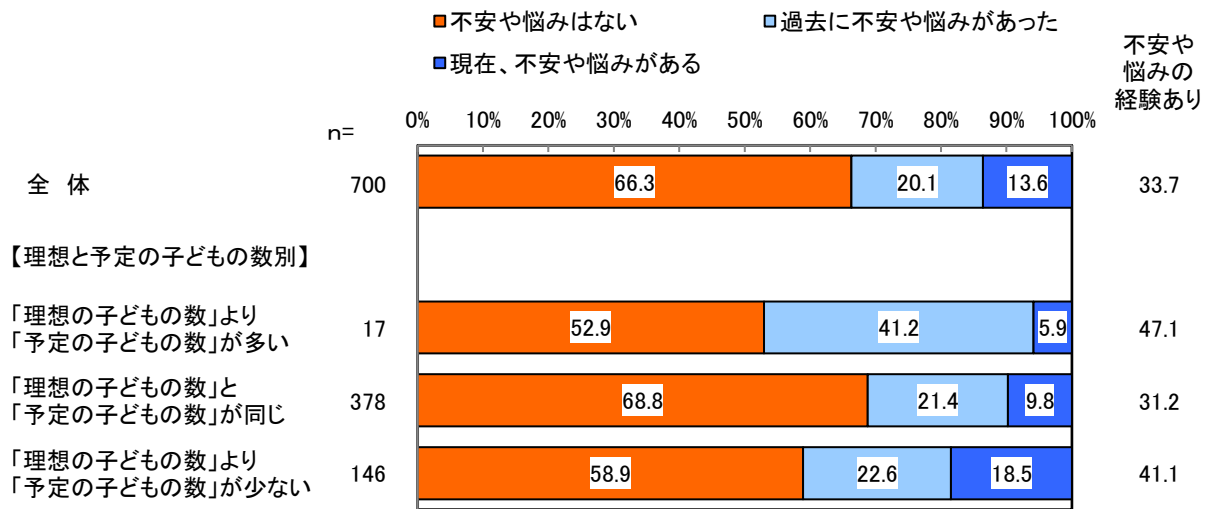
### 不育についての不安や悩み（世帯年収別）



#### 【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「不安や悩みの経験あり」は700万円～1000万円未満で38.3%と高くなっている。

不育についての不安や悩み（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

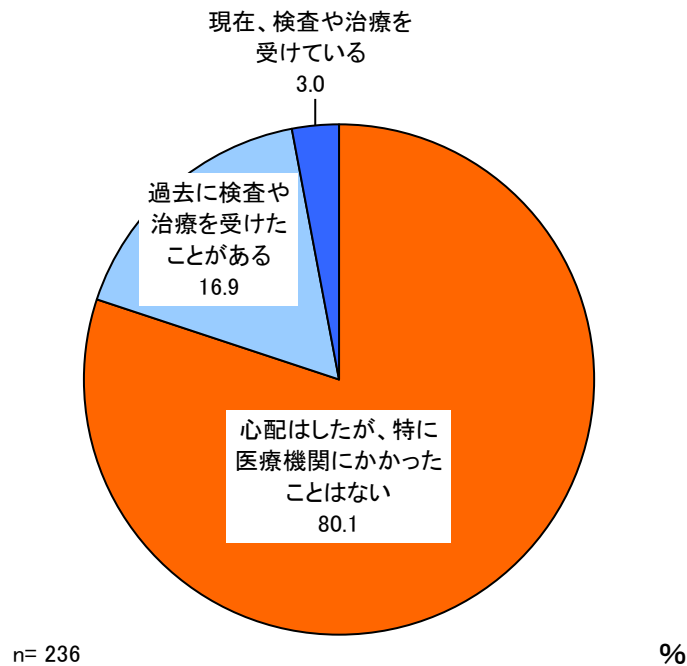
【理想と予定の子どもの数別】

問 15 と問 17 の結果をまとめた理想と予定の子どもの数別で見ると、「不安や悩みの経験あり」は“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”で 41.1%と高くなっている。

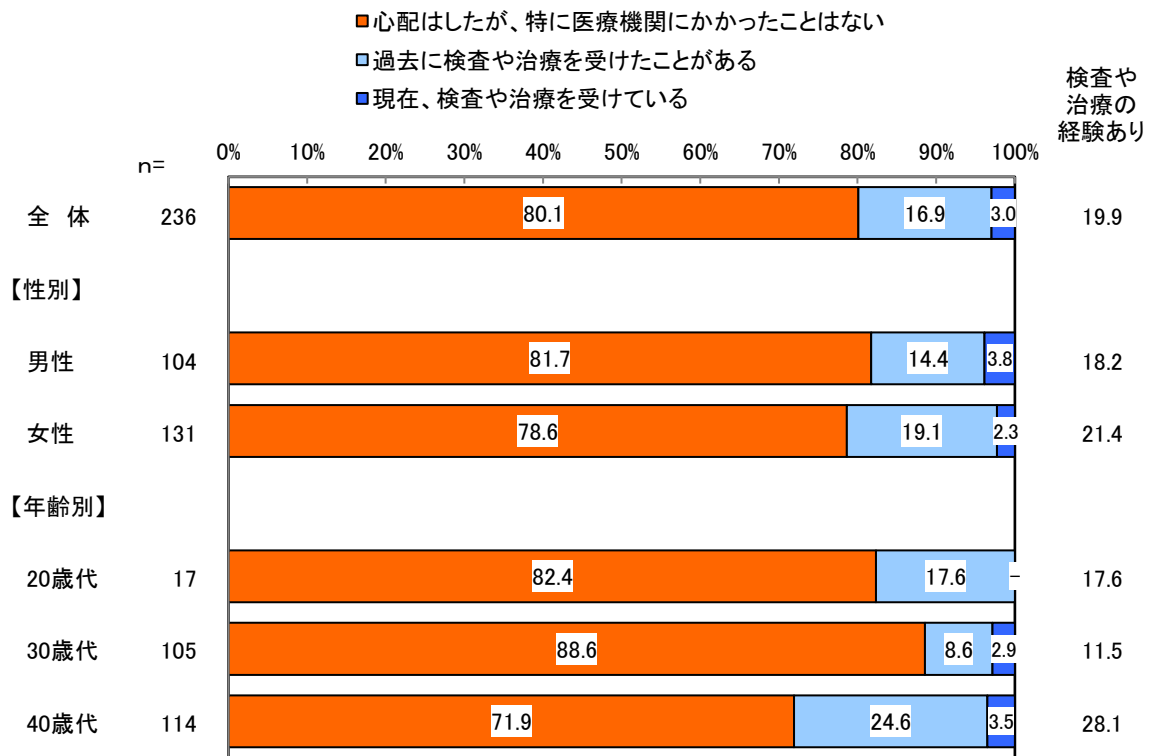
【問10-1で「過去に不安や悩みがあった」、「現在、不安や悩みがある」を選択した方のみにお聞きします。】

問10-2 不妊治療の経験はありますか。

不妊について不安や悩みがある（あった）場合の治療経験は、「心配はしたが、特に医療機関にかかったことはない」が80.1%、「過去に検査や治療を受けたことがある」が16.9%、「現在、検査や治療を受けている」が3.0%となっている。「検査や治療の経験あり」（「過去に検査や治療を受けたことがある」または「現在、検査や治療を受けている」）の割合は19.9%となっている。



### 不育症治療の経験（性別、年齢別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

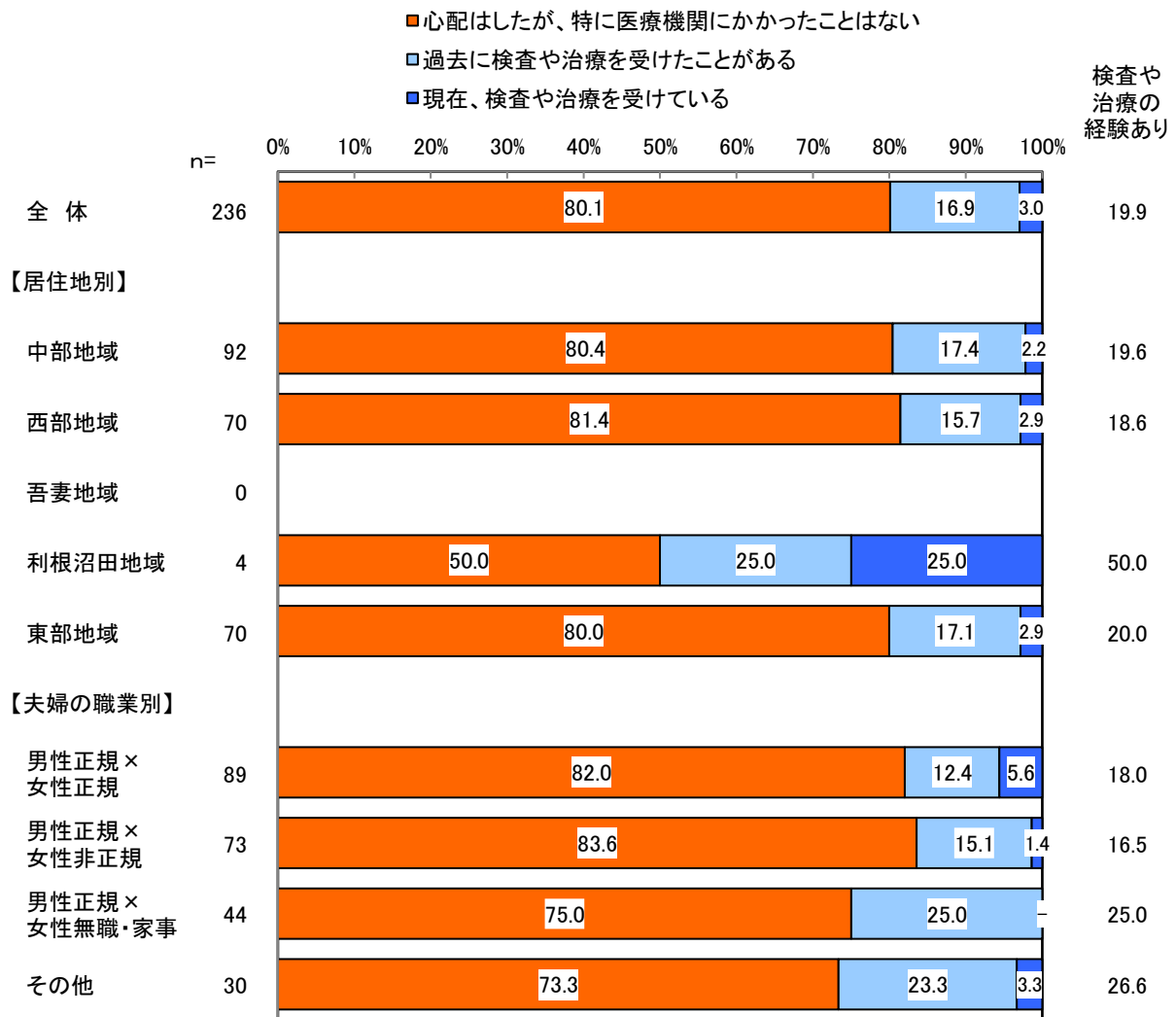
#### 【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

#### 【年齢別】

年齢別でみると、「検査や治療の経験あり」は40歳代で28.1%と高くなっている。

### 不育症治療の経験（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

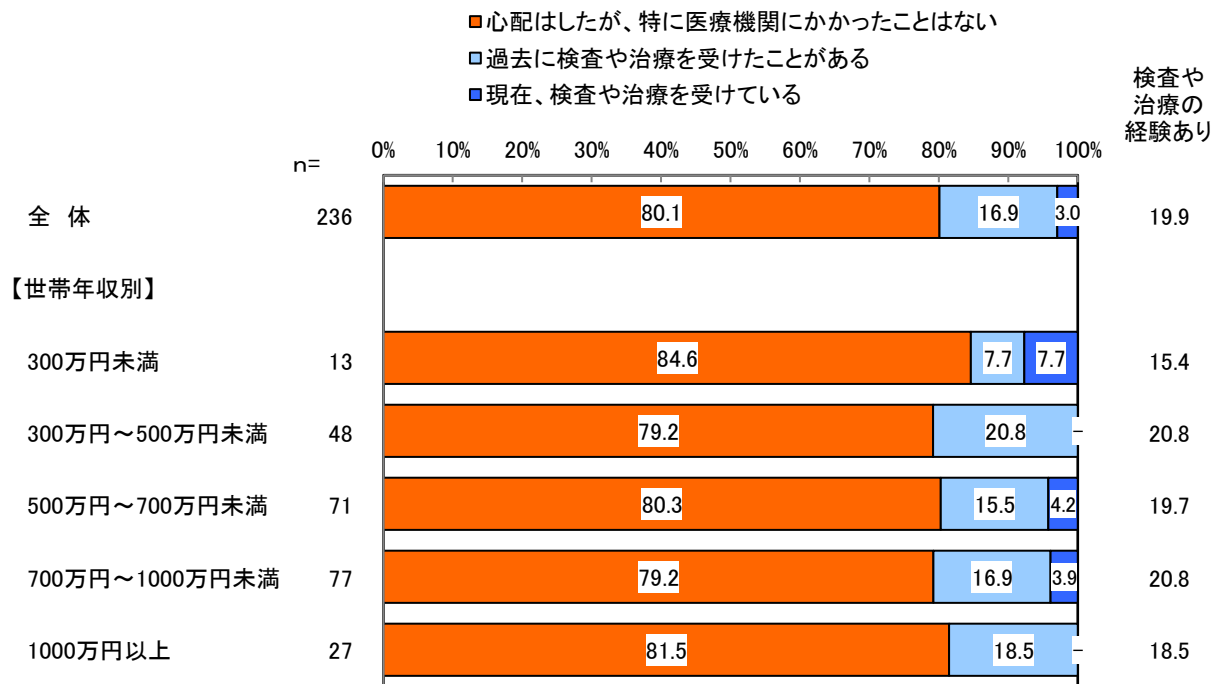
#### 【居住地別】

居住地別で見ると、地域による大きな差はみられない。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別で見ると、「検査や治療の経験あり」はその他で 26.6%、男性正規 × 女性無職・家事で 25.0% と高くなっている。

### 不育症治療の経験（世帯年収別）

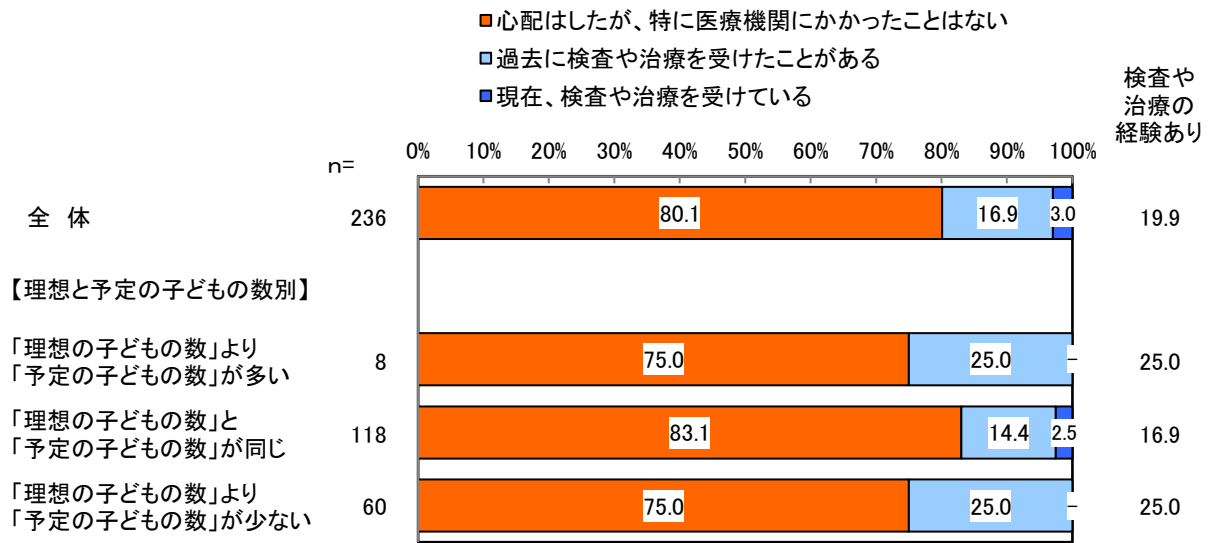


※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

#### 【世帯年収別】

世帯年収別でみると、年収による大きな差はみられない。

### 不育症治療の経験（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

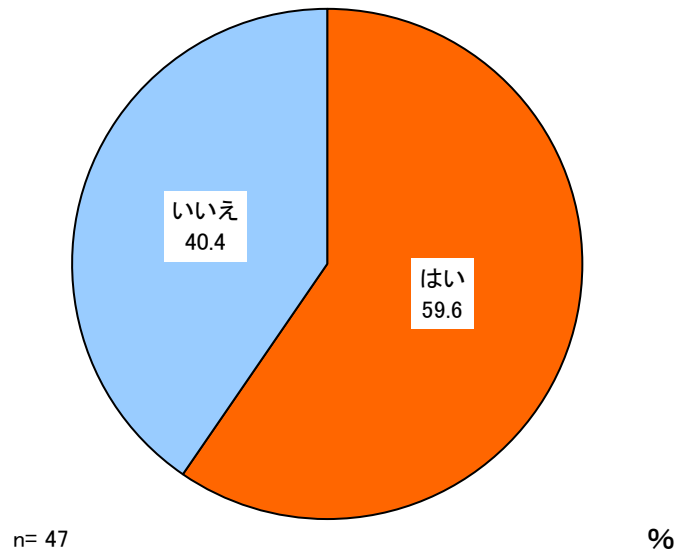
#### 【理想と予定の子どもの数別】

問 15 と問 17 の結果をまとめた理想と予定の子どもの数別で見ると、「検査や治療の経験あり」は“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”で 25.0%と高くなっている。

【問 10-2 で「過去に検査や治療を受けたことがある」、「現在、検査や治療を受けている」を選択した方のみにお聞きします。】

問 10-3 治療の結果、お子さんは生まれましたか。

不妊症治療の結果、子どもが生まれたかは、「はい」が 59.6%、「いいえ」が 40.4%となっている。



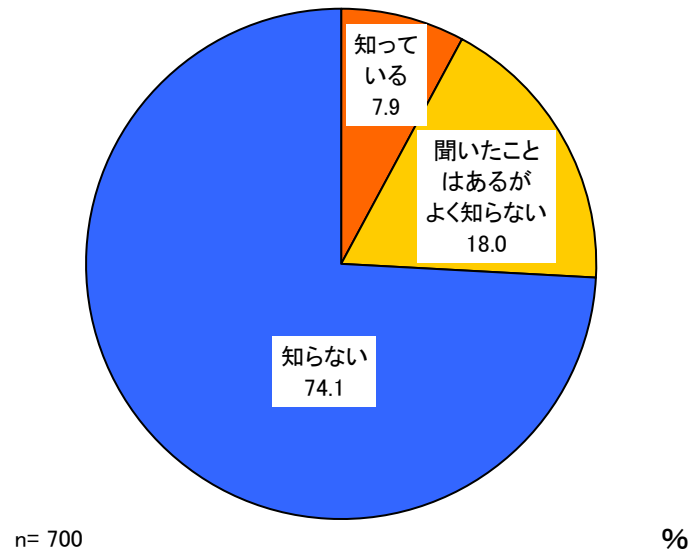
※クロス集計については母数が少ないため省略する。



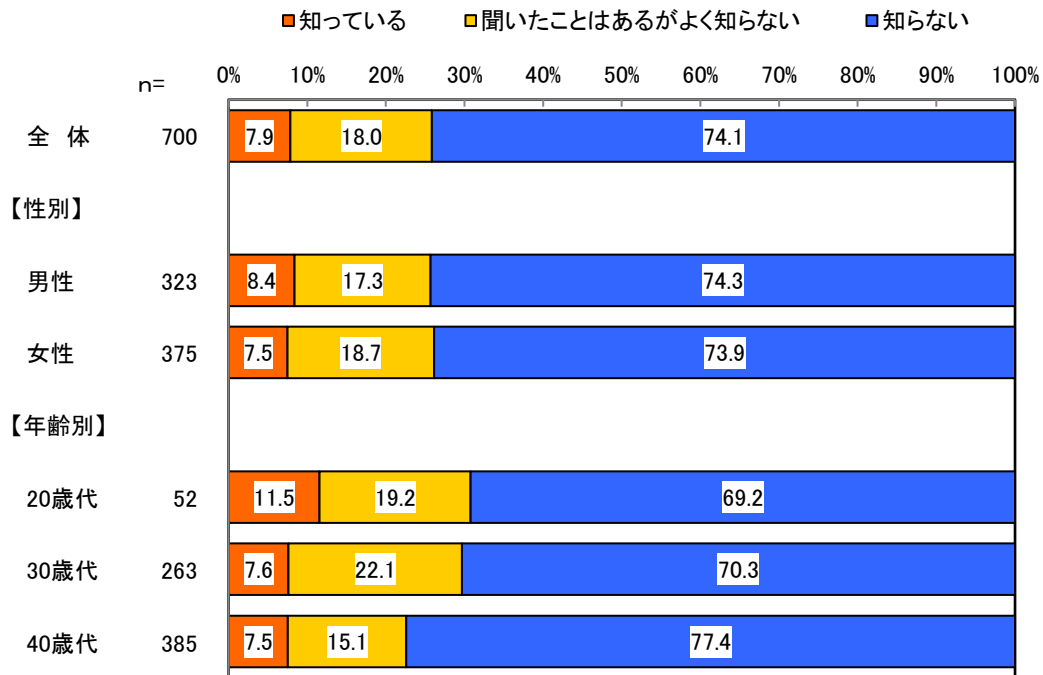
問 11 あなたは、「ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センター※」を知っていますか。

※身体の変化や妊娠に関することなど、女性の健康に関する悩みを助産師に電話や SNS で相談できる機関

ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知度は、「知らない」が 74.1%、「聞いたことはあるがよく知らない」が 18.0%、「知っている」が 7.9%となっている。



ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知度（性別、年齢別）



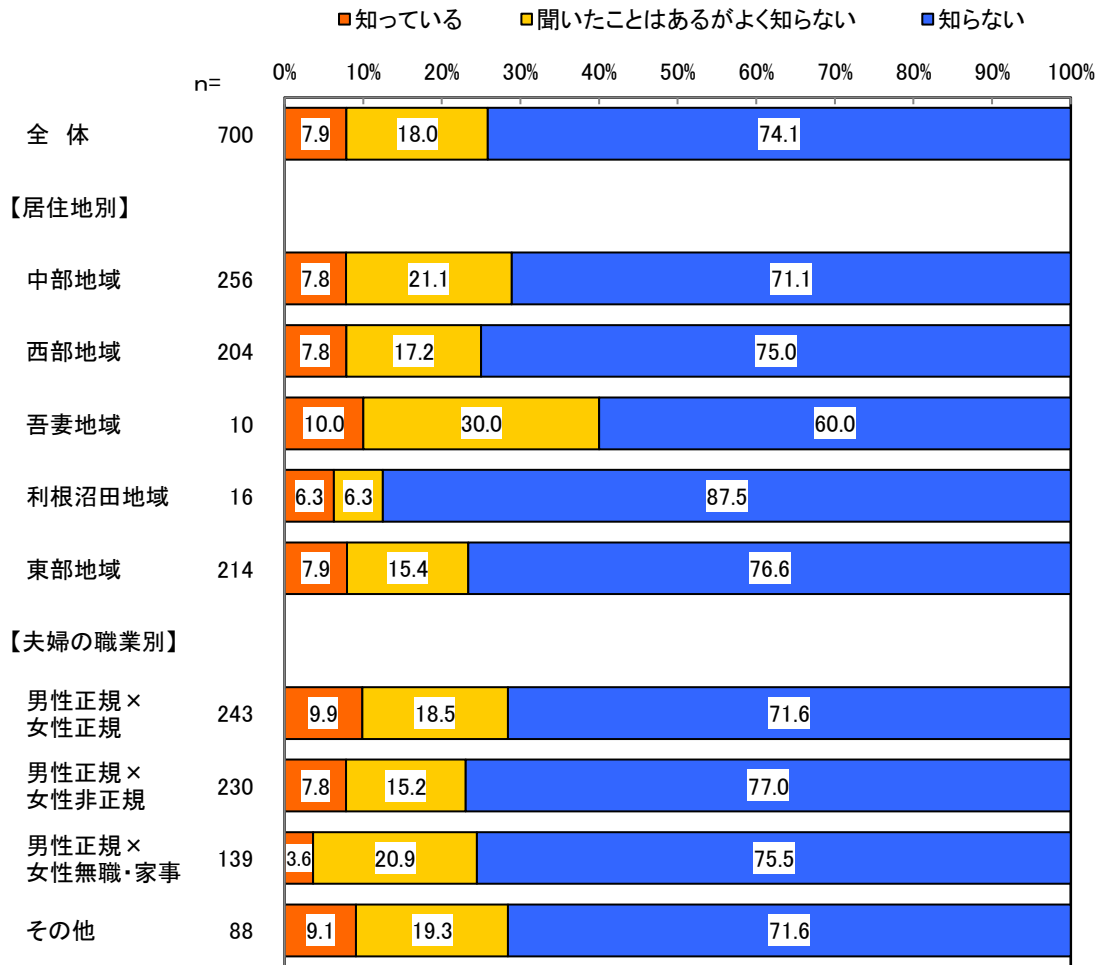
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「知っている」及び「聞いたことはあるがよく知らない」は若年層ほど高く、「知っている」は20歳代で11.5%となっている。一方、40歳代では7.5%と低く、「知らない」が77.4%と高くなっている。

ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知度（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

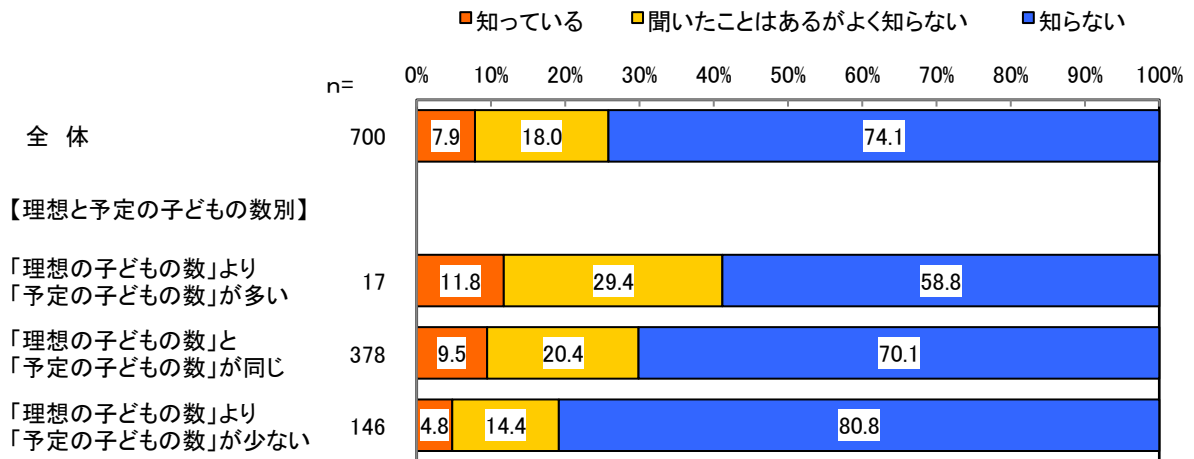
【居住地別】

居住地別でみると、「聞いたことはあるがよく知らない」は中部地域で 21.1%と高くなっている。一方、「知らない」は東部地域で 76.6%、西部地域で 75.0%と高くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「知っている」は男性正規×女性正規で 9.9%とやや高くなっている。一方、男性正規×女性無職・家事では 3.6%と低くなっている。

ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知度 (理想と予定の子どもの数別)

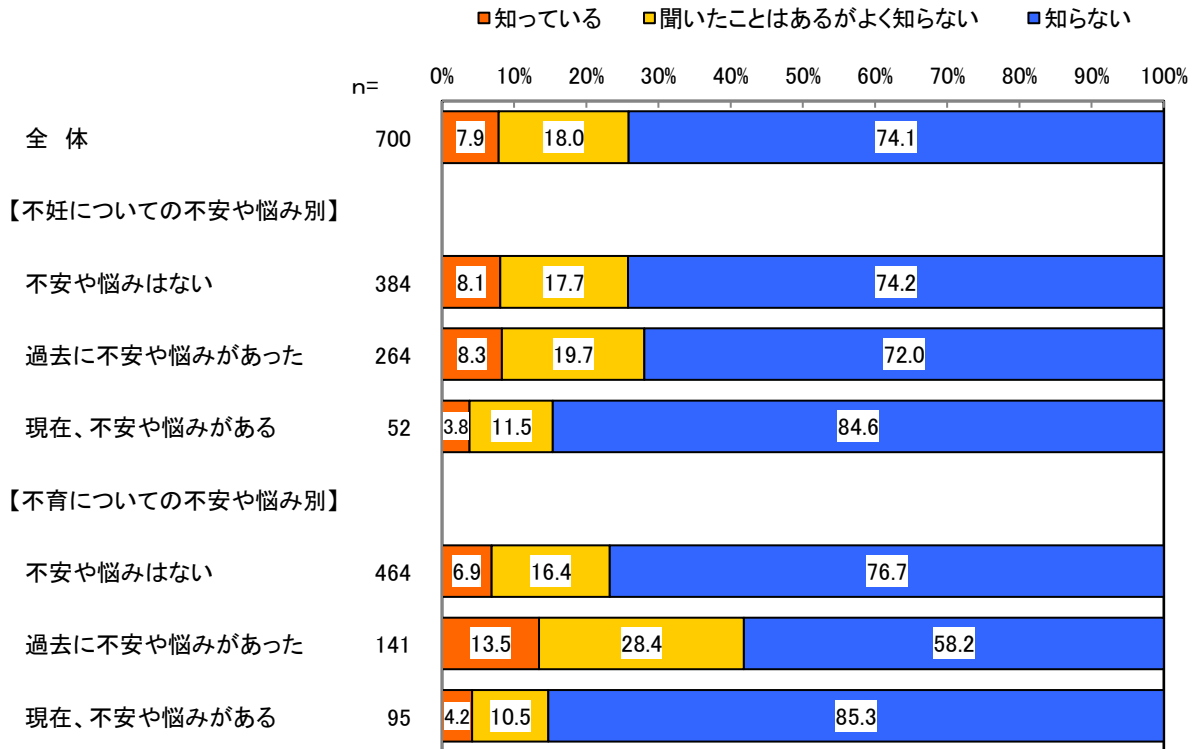


※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

問 15 と問 17 の結果をまとめた理想と予定の子どもの数別で見ると、「聞いたことはあるがよく知らない」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で 20.4%と高くなっている。一方、“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”では「知っている」が 4.8%、「聞いたことはあるがよく知らない」が 14.4%と低くなっている。

ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知度  
 (不妊についての不安や悩み別、不育についての不安や悩み別)



【不妊についての不安や悩み別】

不妊についての不安や悩み別でみると、“現在、不安や悩みがある”は「知っている」が3.8%、「聞いたことはあるがよく知らない」が11.5%と低くなっている。

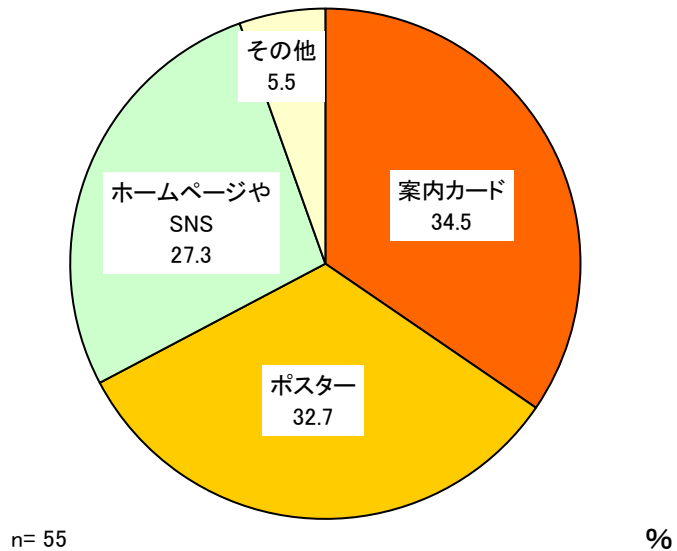
【不育についての不安や悩み別】

不育についての不安や悩み別でみると、“過去に不安や悩みがあった”は「知っている」が13.5%、「聞いたことはあるがよく知らない」が28.4%と高くなっている。一方、“現在、不安や悩みがある”では「知っている」が4.2%、「聞いたことはあるがよく知らない」が10.5%と低くなっている。

【問 11 で「知っている」と回答した方に伺います。】

問 12 どのようにして知りましたか。

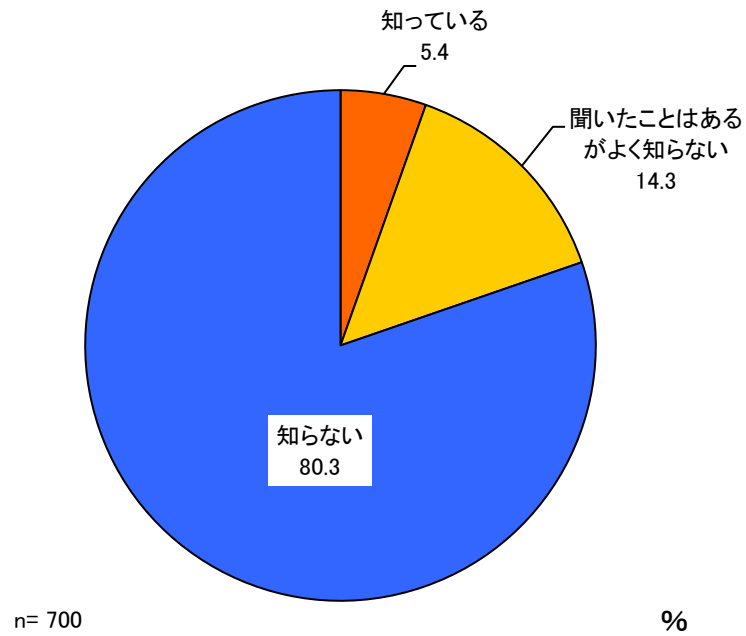
ぐんま女性の健康・妊娠 SOS 相談センターの認知手段は、「案内カード」が 34.5%で最も高く、次いで「ポスター」が 32.7%、「ホームページや SNS」が 27.3%となっている。



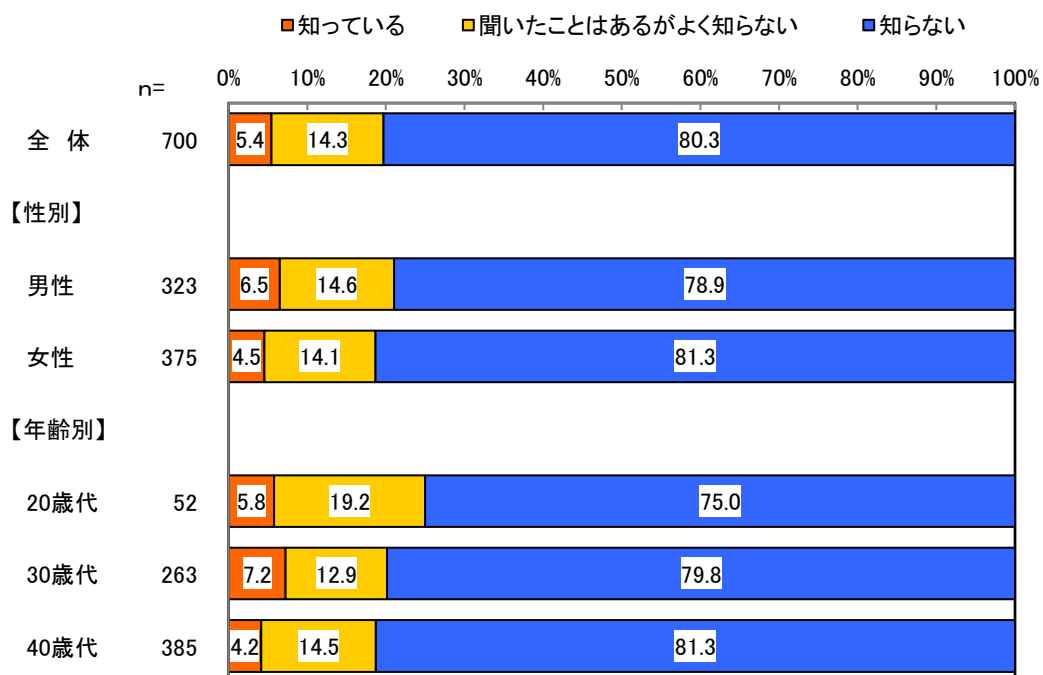
※クロス集計については母数が少ないため省略する。

問 13 不妊・不育症に関する検査・治療方法、治療への不安、家族、仕事の相談などを、女性産婦人科医がお受けする『群馬県不妊・不育専門相談センター』を知っていますか。

群馬県不妊・不育専門相談センターの認知度は、「知らない」が80.3%、「聞いたことはあるがよく知らない」が14.3%、「知っている」が5.4%となっている。



## 群馬県不妊・不育専門相談センターの認知度（性別、年齢別）



### 【性別】

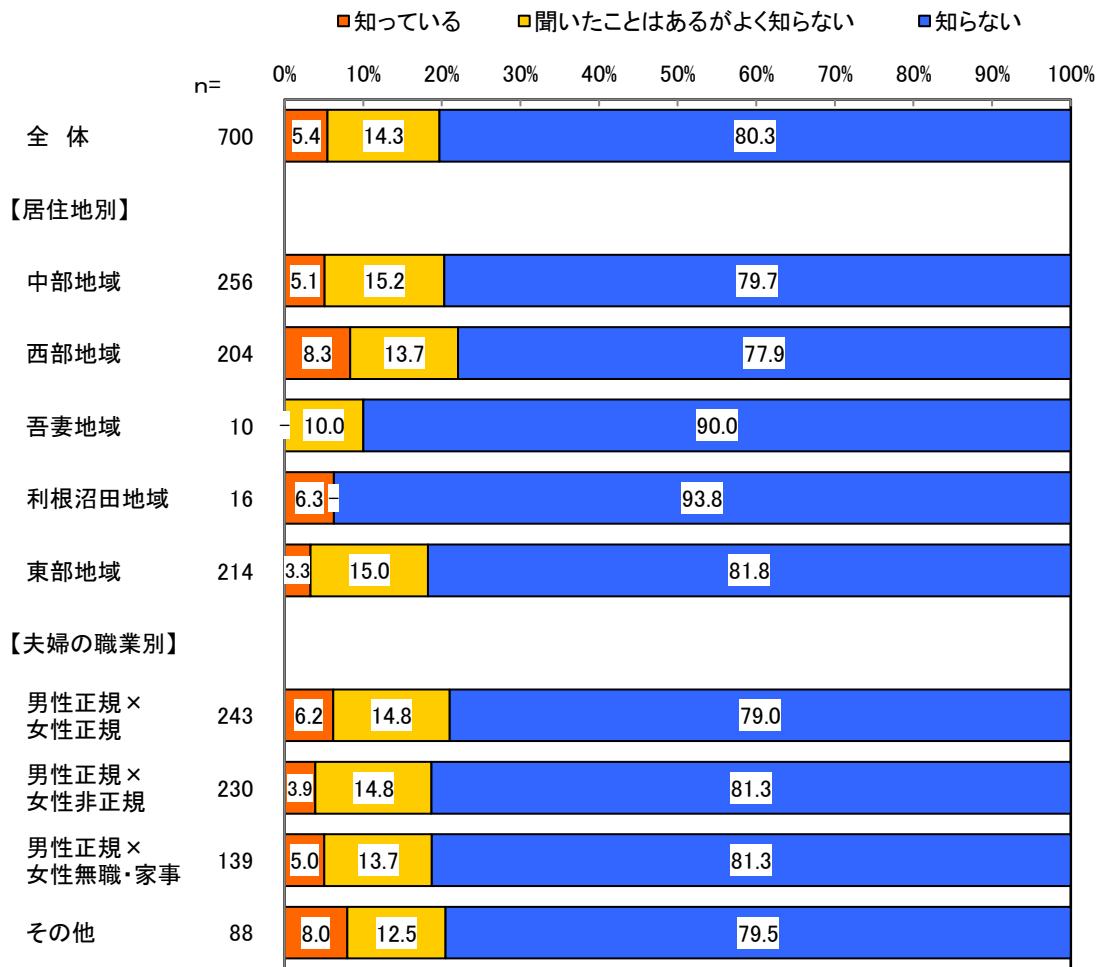
性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

### 【年齢別】

年齢別でみると、「知っている」及び「聞いたことはあるがよく知らない」は若年層ほど高く、「聞いたことはあるがよく知らない」は20歳代で19.2%となっている。一方、40歳代では「知らない」が81.3%と高くなっている。



群馬県不妊・不育専門相談センターの認知度（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

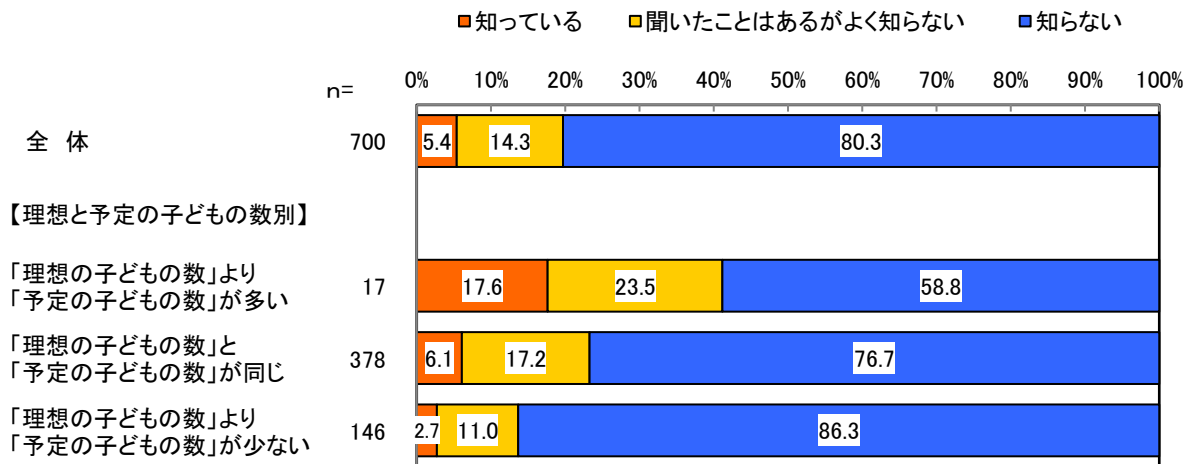
【居住地別】

居住地別でみると、「知っている」は西部地域で8.3%とやや高くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、職業による大きな差はみられない。

群馬県不妊・不育専門相談センターの認知度（理想と予定の子どもの数別）

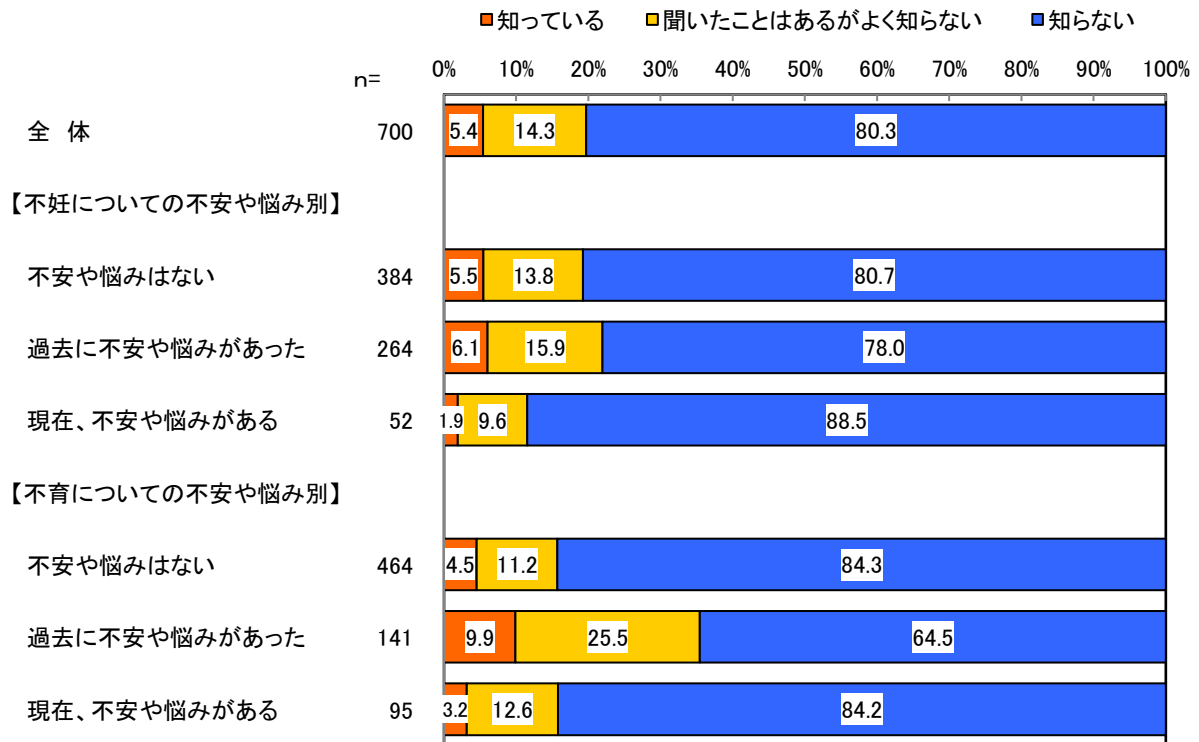


※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

問 15 と問 17 の結果をまとめた理想と予定の子どもの数別で見ると、“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”は「知っている」が 2.7%、「聞いたことはあるがよく知らない」が 11.0%と低くなっている。

群馬県不妊・不育専門相談センターの認知度  
 (不妊についての不安や悩み別、不育についての不安や悩み別)



【不妊についての不安や悩み別】

不妊についての不安や悩み別でみると、“現在、不安や悩みがある”は「知っている」が1.9%、「聞いたことはあるがよく知らない」が9.6%と低くなっている。

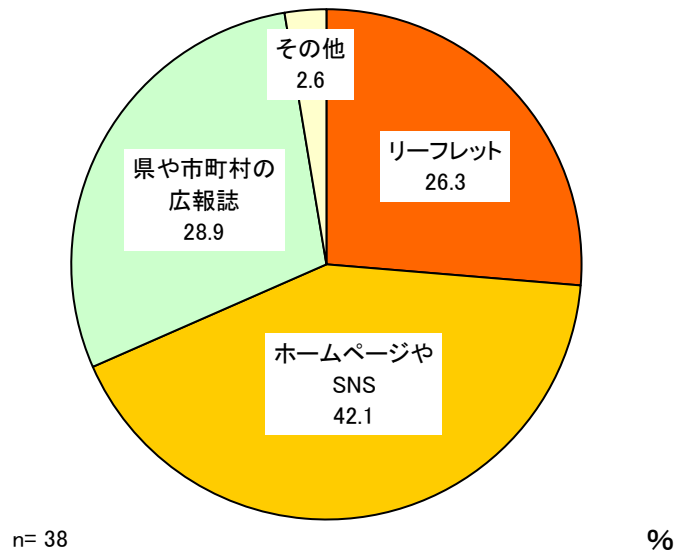
【不育についての不安や悩み別】

不育についての不安や悩み別でみると、“過去に不安や悩みがあった”は「知っている」が9.9%、「聞いたことはあるがよく知らない」が25.5%と高くなっている。

【問13で「知っている」と回答した方に伺います。】

問14 どのようにして知りましたか。

群馬県不妊・不育専門相談センターの認知手段は、「ホームページやSNS」が42.1%で最も高く、次いで「県や市町村の広報誌」が28.9%、「リーフレット」が26.3%となっている。

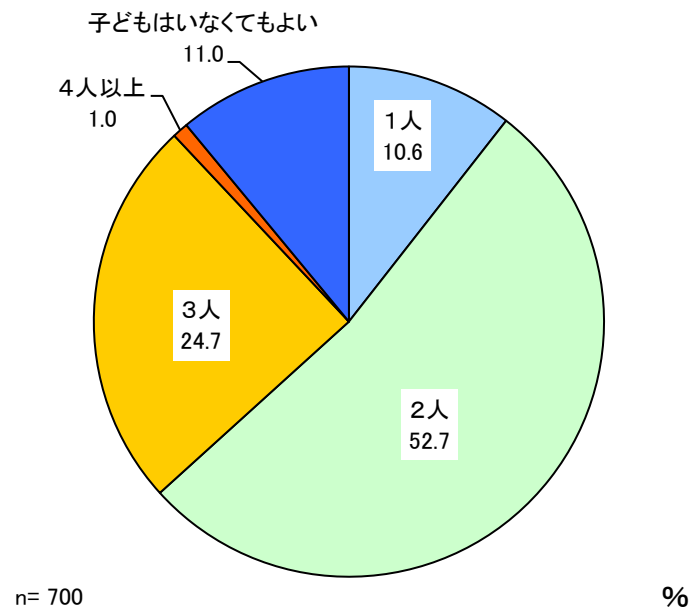


※クロス集計については母数が少ないため省略する。

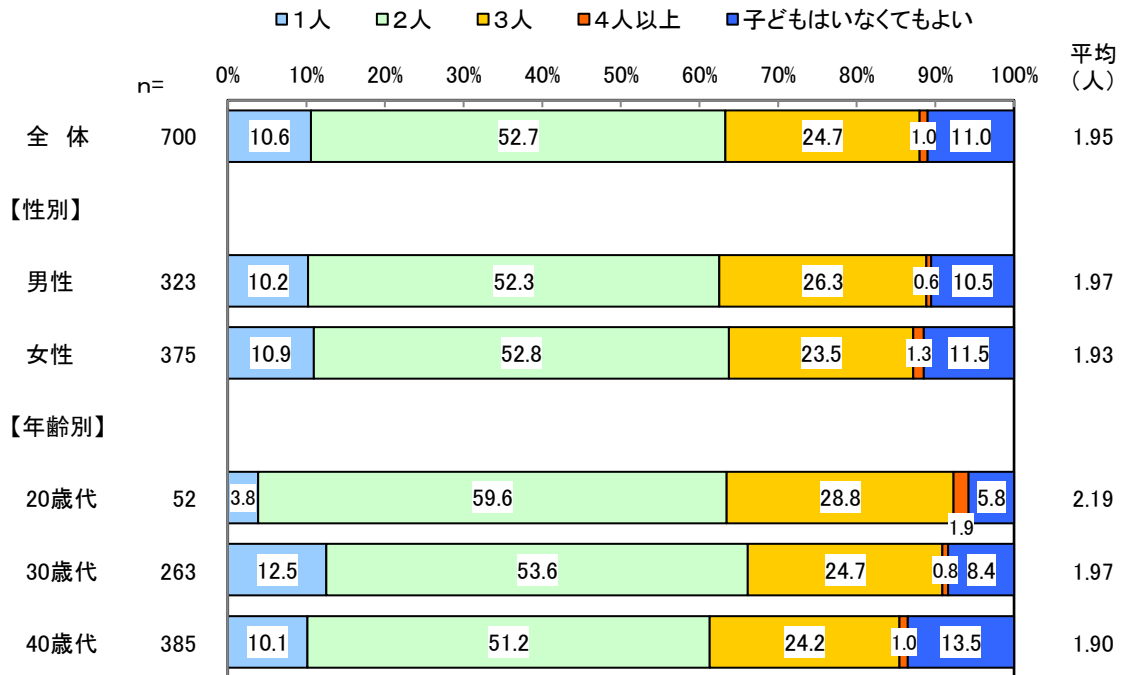
## 5 子どもについて

問 15 あなた方ご夫婦にとって、ご夫婦の間に生まれる理想的な子どもの数は何人ですか。

理想の子どもの数は、「2人」が52.7%で最も高く、次いで「3人」が24.7%、「子どもはいなくてもよい」が11.0%となっている。平均は1.95人となっている。



### 理想の子どもの数（性別、年齢別）



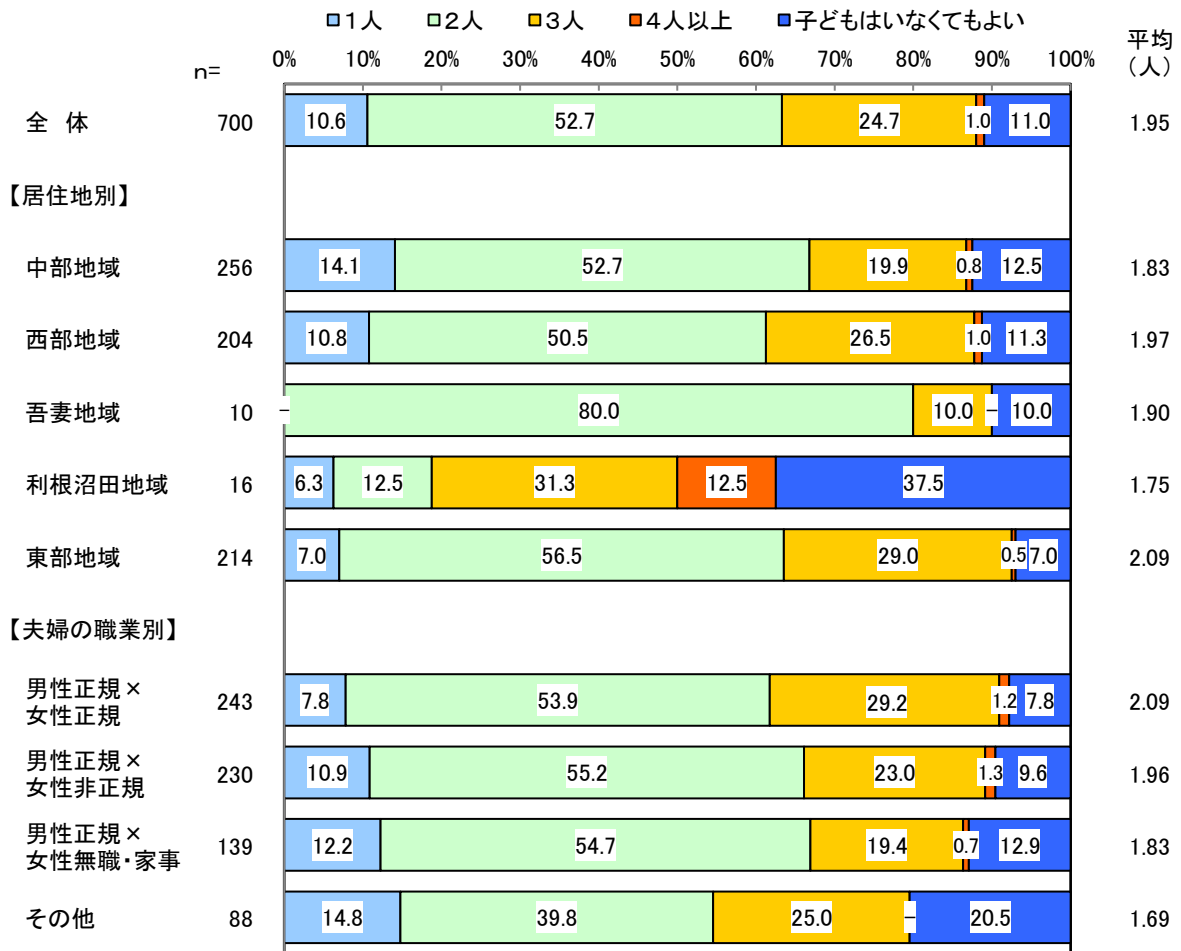
#### 【性別】

性別で見ると、男女間に大きな差はみられない。

#### 【年齢別】

年齢別で見ると、若年層ほど理想の子どもの数が多くっており、20歳代は「3人」が28.8%と高く、平均2.19人となっている。一方、40歳代は「子どもはいなくてもよい」が13.5%とやや高くなっている。

### 理想の子どもの数（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

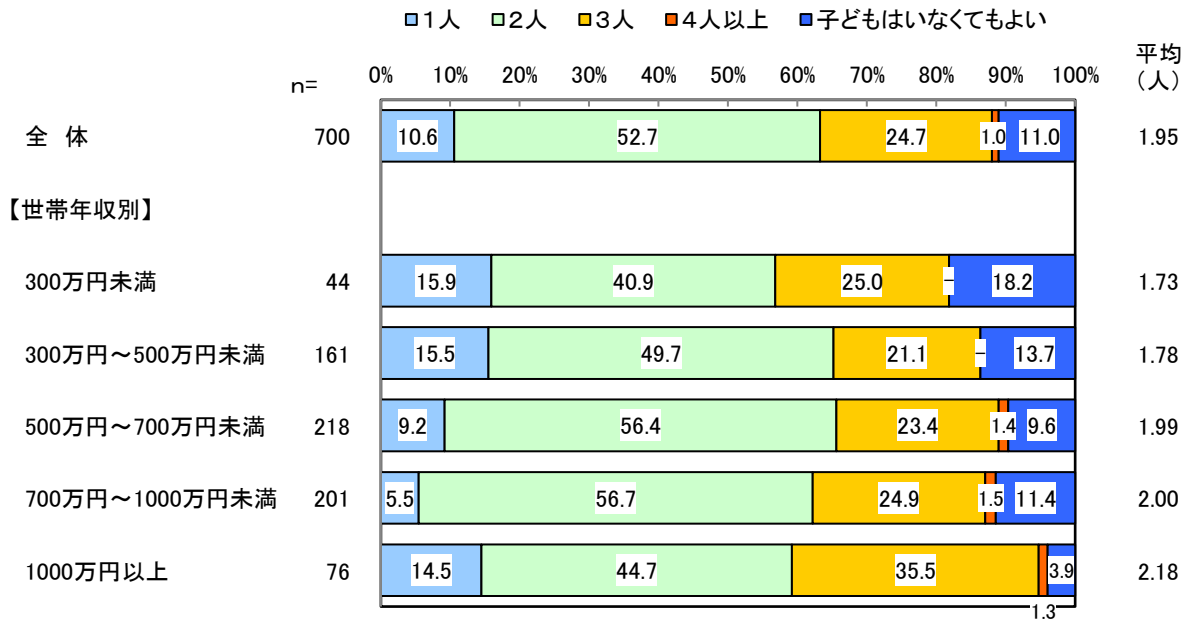
#### 【居住地別】

居住地別でみると、東部地域は「2人」が56.5%、「3人」が29.0%と高く、平均値も2.09人と多くなっている。一方、「子どもはいなくてもよい」は中部地域で12.5%、西部地域で11.3%となっている。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、男性正規×女性正規では「3人」が29.2%と高く、平均値も2.09人と多くなっている。

### 理想の子どもの数（世帯年収別）

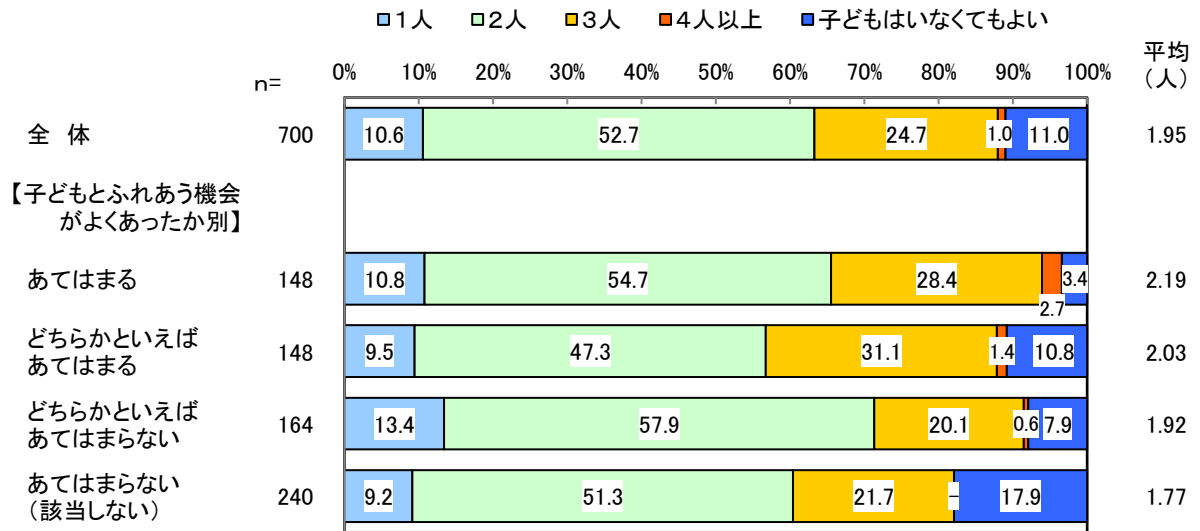


#### 【世帯年収別】

世帯年収別でみると、年収が上がるほど理想の子どもの数が多くなり、1000万円以上では「3人」が35.5%と高く、平均2.18人となっている。一方、「子どもはいなくてもよい」は300万円未満で18.2%、300万円～500万円未満で13.7%と高くなっている。



理想の子どもの数（子どもとふれあう機会がよくあったか別）



【子どもとふれあう機会がよくあったか別】

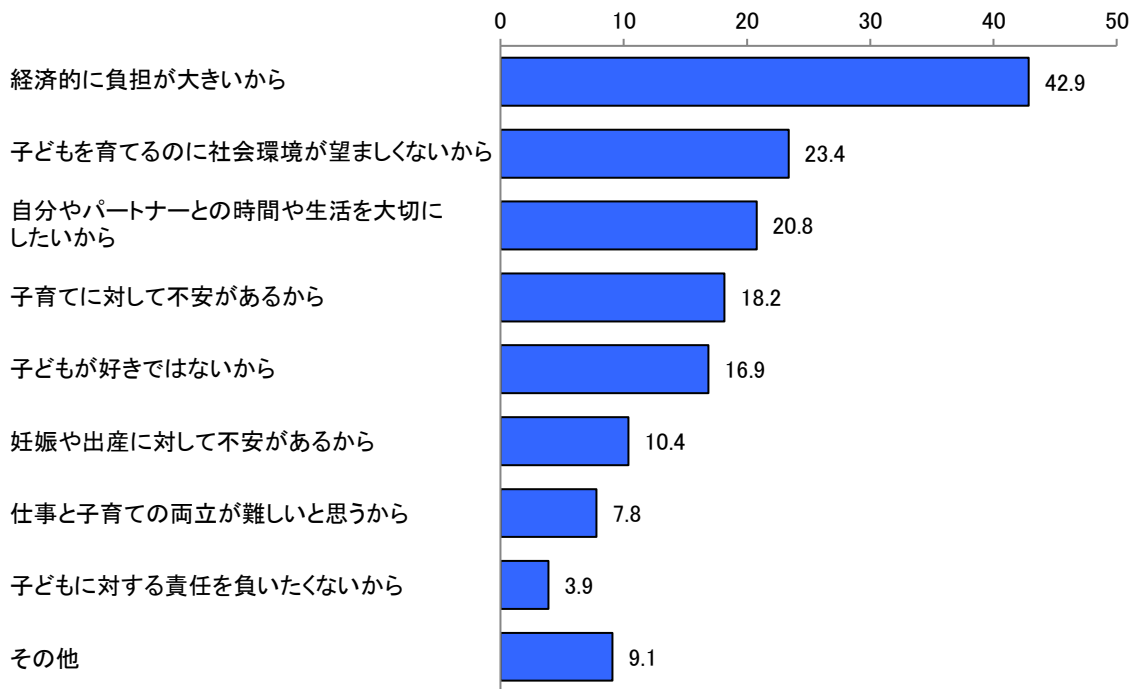
問 23 結婚前までの身近な状況の子どもとふれあう機会がよくあったか別でみると、子どもとふれあう機会が多かった人ほど理想の子どもの数も多くなり、“あてはまる”で平均 2.19 人となっている。一方、“あてはまらない(該当しない)”は「子どもはいなくてもよい」が 17.9%と高く、平均 1.77 人と少なくなっている。

【問15で「子どもはいなくてもよい」と回答した方にお聞きします】

問16 「子どもはいなくてもよい」と考える理由は何ですか。(回答は2つまで)

子どもがいなくてもよいと考える理由は、「経済的に負担が大きいから」が42.9%で最も高く、次いで「子どもを育てるのに社会環境が望ましくないから」が23.4%、「自分やパートナーとの時間や生活を大切にしたいから」が20.8%となっている。

n= 77

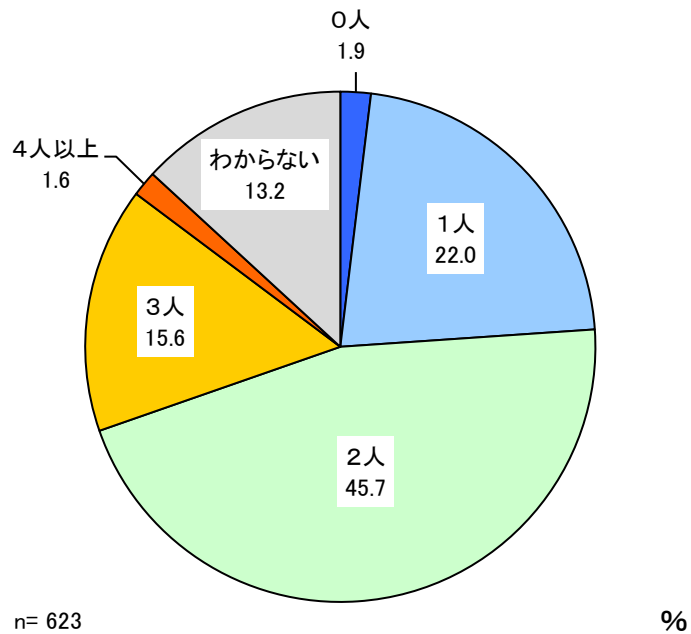


※クロス集計については母数が少ないため省略する。

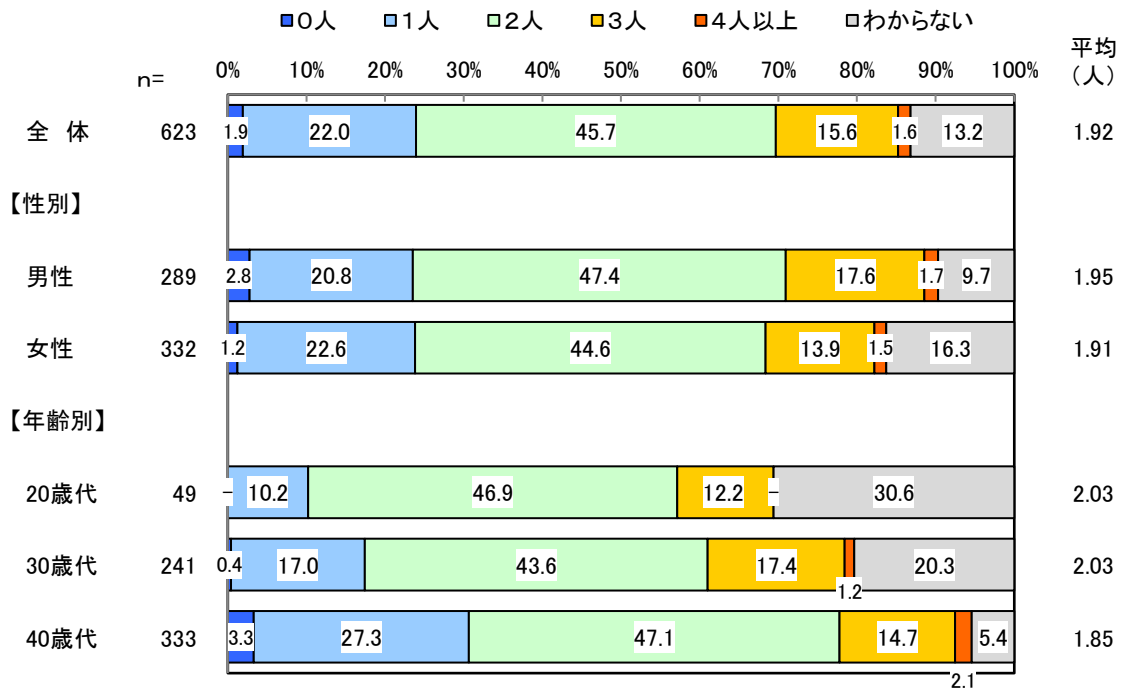
【問15で「1人」「2人」「3人」「4人以上」を選択した方にお聞きします】

問17 あなた方ご夫婦の間に生まれる子どもの数について、最終的に何人になる見込みですか。  
(何人になりましたか。)

子どもの最終的な予定数は、「2人」が45.7%で最も高く、次いで「1人」が22.0%、「3人」が15.6%となっている。平均は1.92人となっている。



### 予定の子どもの数（性別、年齢別）



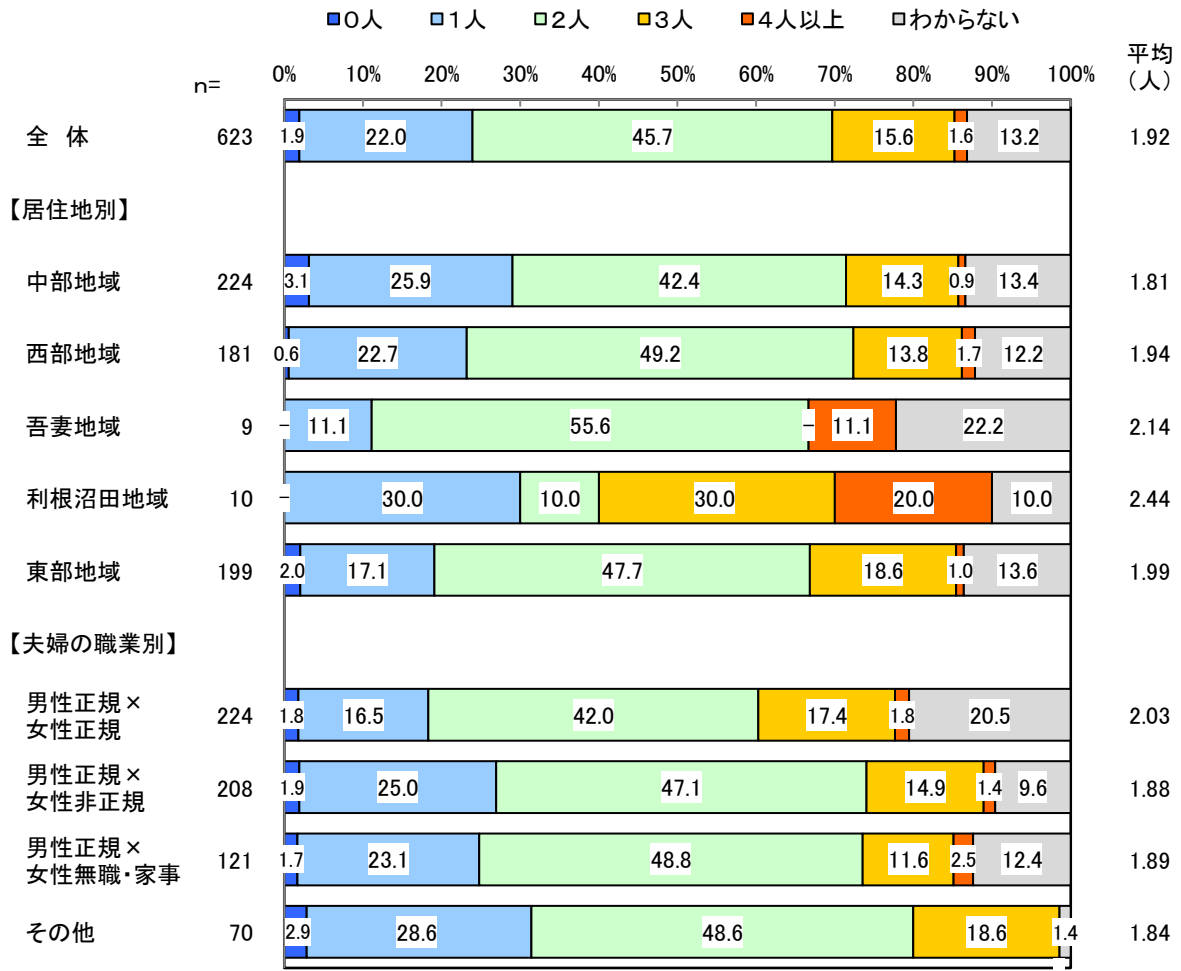
#### 【性別】

性別で見ると、平均値では男女間に差はないが、女性は男性よりも「わからない」が6.6ポイント高くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別で見ると、「1人」は年齢が上がるほど高くなり、40歳代で27.3%となっている。一方、「わからない」は20歳代で30.6%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。

予定の子どもの数（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

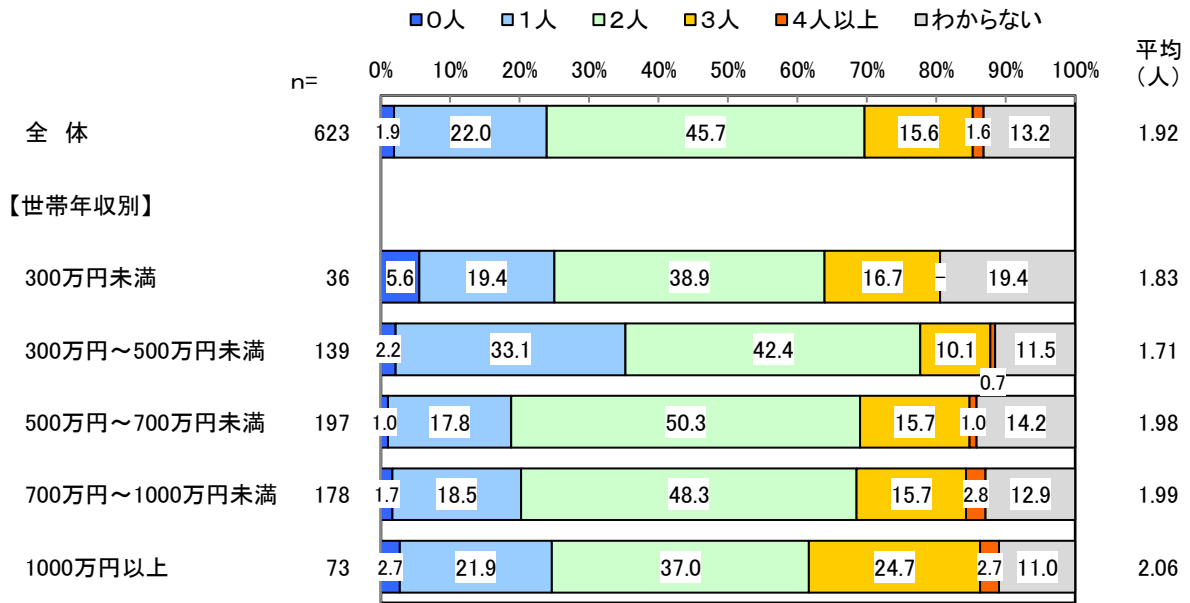
【居住地別】

居住地別でみると、「3人」は東部地域で18.6%と高く、平均も1.99人と多くなっている。一方、中部地域は「1人」が25.9%と高くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、男性正規×女性正規で平均2.03人と多くなっている。

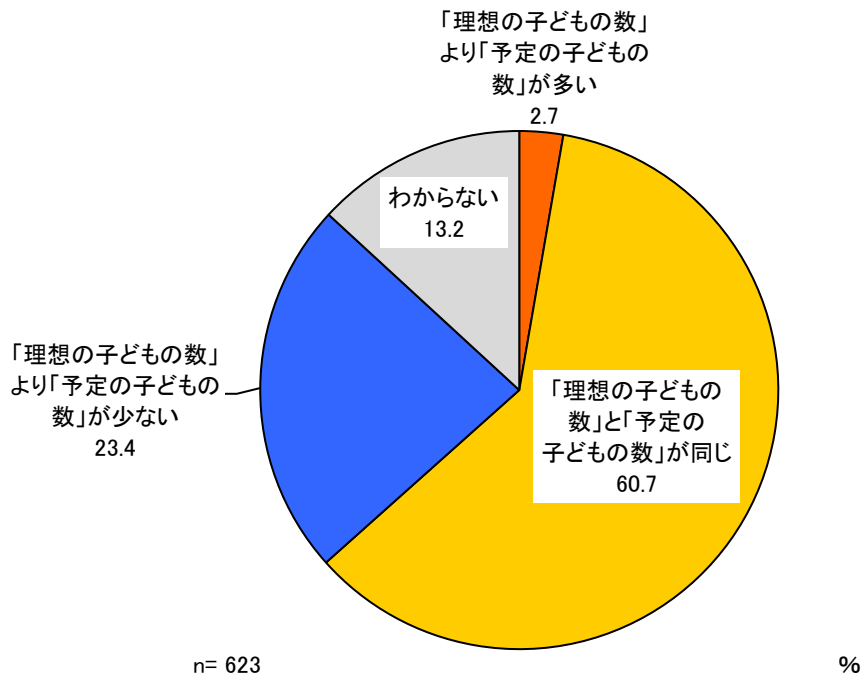
### 予定の子どもの数（世帯年収別）



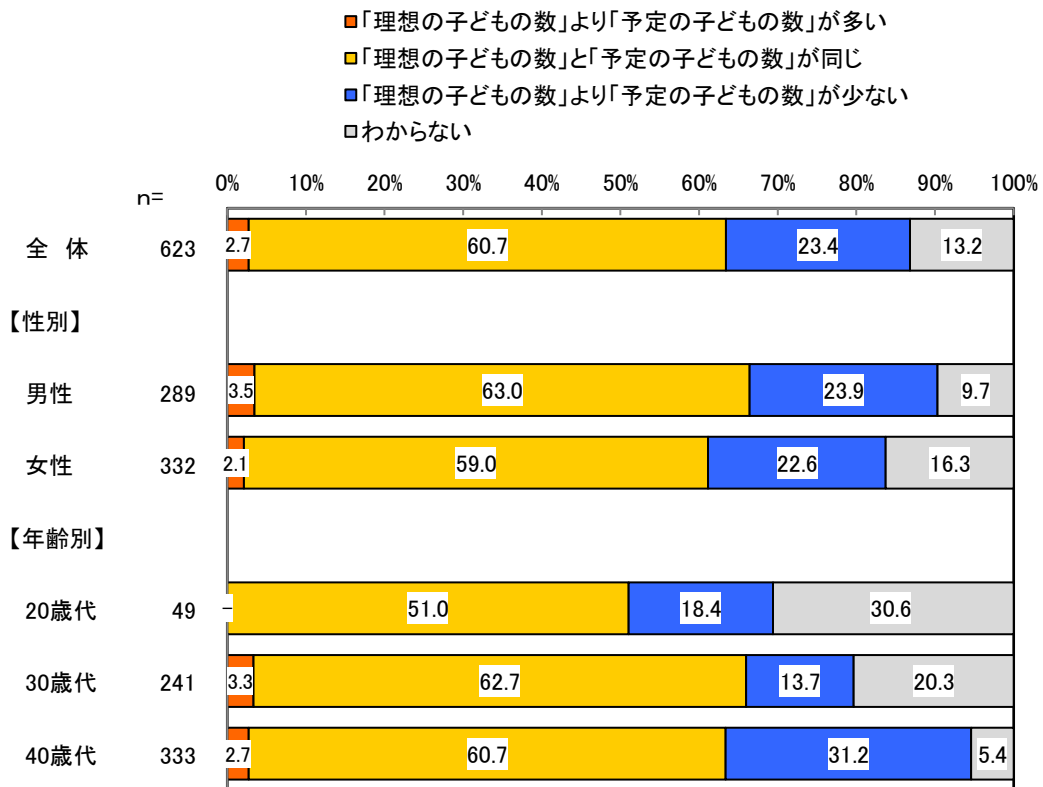
#### 【世帯年収別】

世帯年収別で見ると、年収が上がるほど予定の子どもの数が多くなる傾向がみられ、1000万円以上では「3人」が24.7%と高く、平均2.06人となっている。一方、300万円～500万円未満は「1人」が33.1%、300万円未満は「わからない」が19.4%と高くなっている。

理想の子どもの数と予定の子どもの数を比較すると、『理想の子どもの数』と『予定の子どもの数』が同じが60.7%で最も高く、『理想の子どもの数』より『予定の子どもの数』が少ないが23.4%、『理想の子どもの数』より『予定の子どもの数』が多いが2.7%となっている。



## 理想と予定の子どもの数（性別、年齢別）



### 【性別】

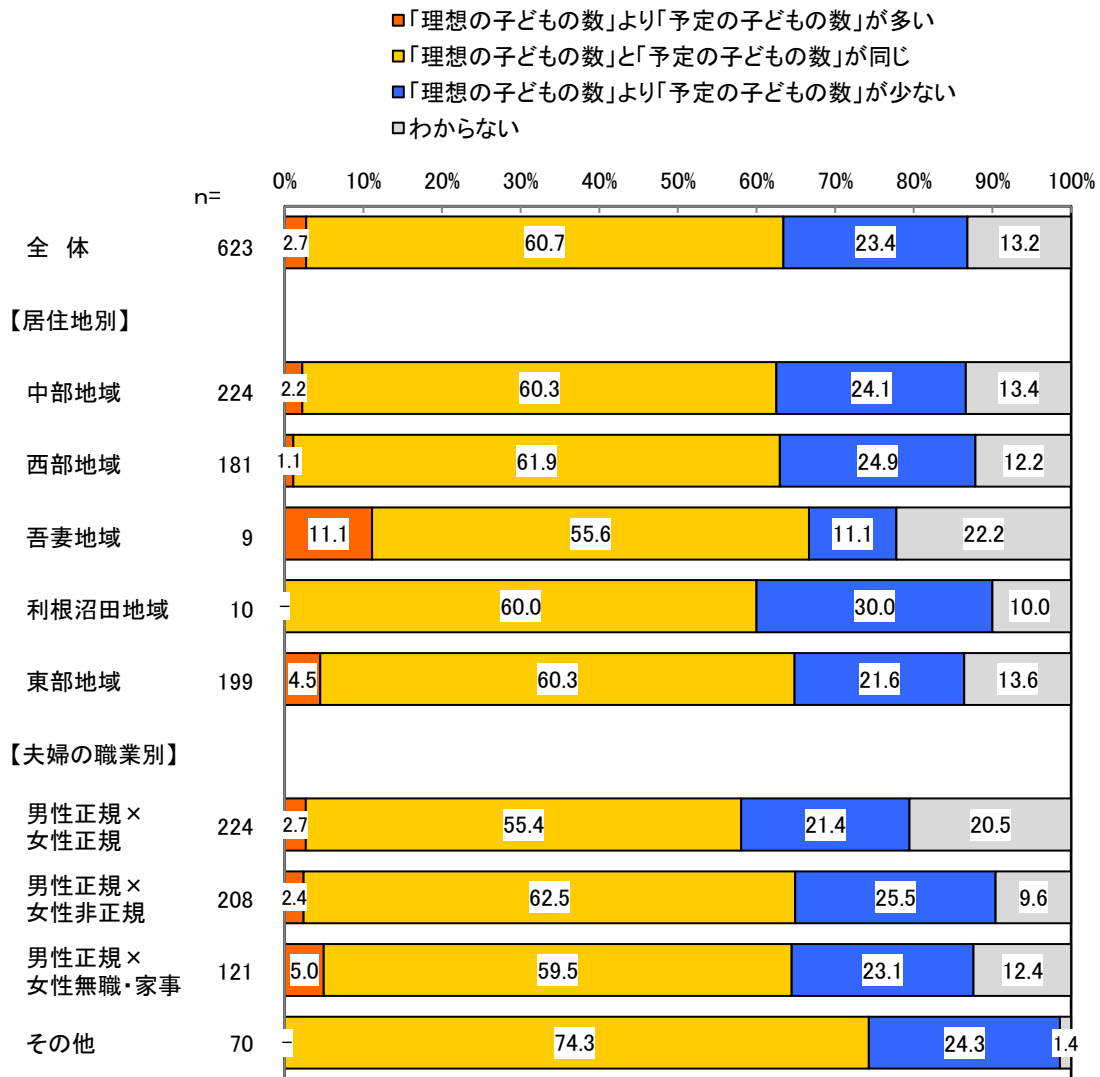
性別でみると、男性は女性よりも「『理想の子どもの数』と『予定の子どもの数』が同じ」が4.0ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「わからない」が6.6ポイント高くなっている。

### 【年齢別】

年齢別でみると、「『理想の子どもの数』より『予定の子どもの数』が少ない」は40歳代で31.2%と高くなっている。一方、「わからない」は20歳代で30.6%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。



## 理想と予定の子どもの数（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

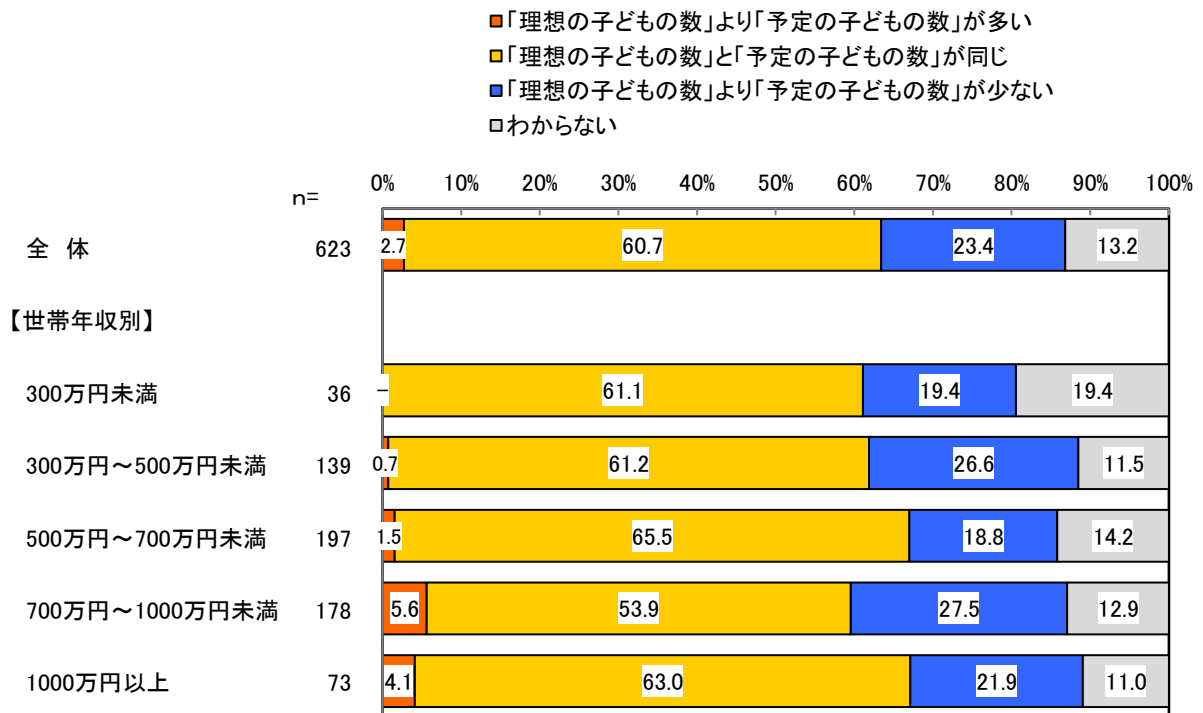
### 【居住地別】

居住地別でみると、地域による大きな差はみられない。

### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「わからない」は男性正規×女性正規で20.5%と高くなっている。

### 理想と予定の子どもの数（世帯年収別）



#### 【世帯年収別】

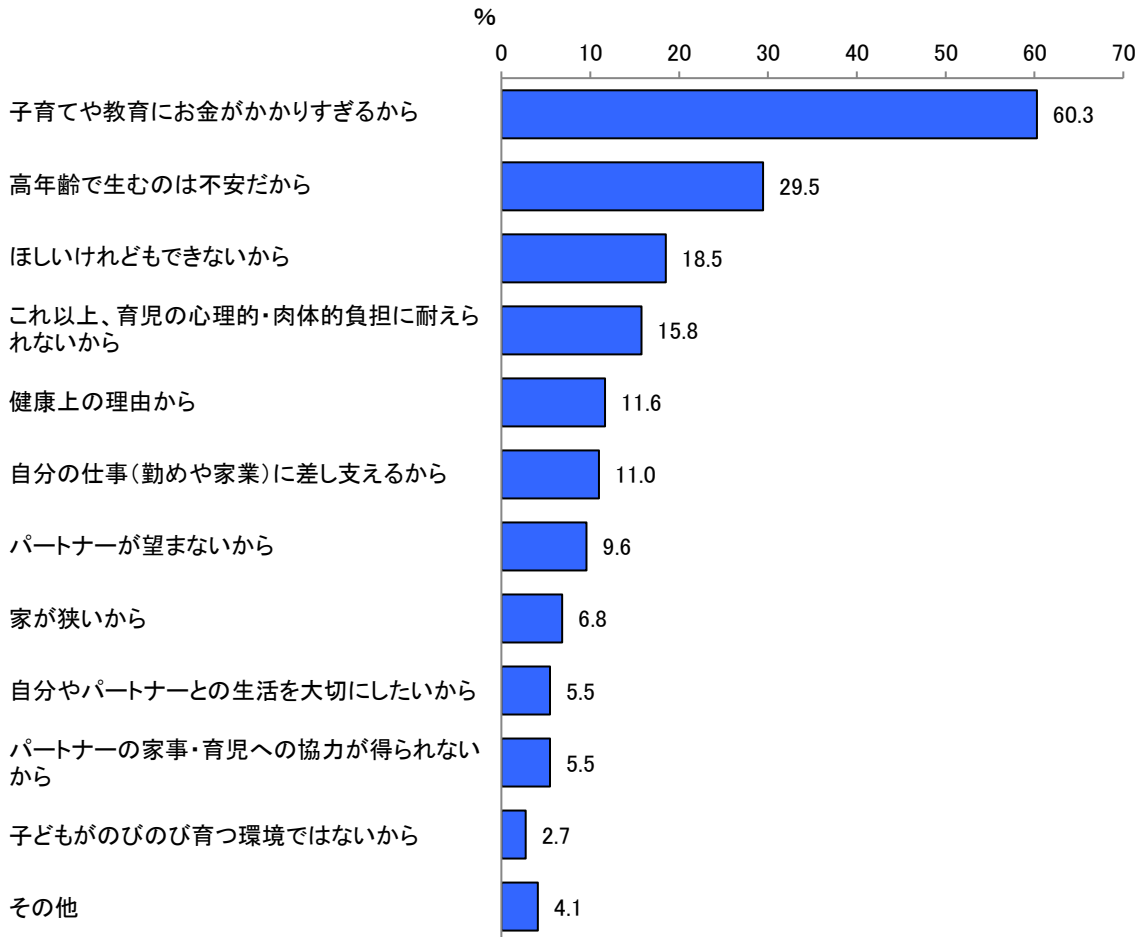
世帯年収別でみると、「『理想の子どもの数』と『予定の子どもの数』が同じ」は500万円～700万円未満で65.5%と高くなっている。

【「理想的な子どもの数」より「最終的に見込む子どもの数」が少ない方にお聞きします】

問 18 「理想的な子どもの数」より「最終的に見込む子どもの数」が少ない理由は何ですか。  
(回答は3つまで)

「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が60.3%で最も高く、次いで「高年齢で生むのは不安があるから」が29.5%、「ほしいけれどもできないから」が18.5%となっている。

n= 146



「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない理由（性別、年齢別）

(%)

	n	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高年齢で生むのは不安だから	ほしいけれどもできないから	これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	健康上の理由から	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
全体	146	60.3	29.5	18.5	15.8	11.6	11.0
【性別】							
男性	69	58.0	26.1	18.8	13.0	8.7	8.7
女性	75	64.0	33.3	17.3	18.7	13.3	13.3
【年齢別】							
20歳代	9	77.8	-	11.1	11.1	22.2	11.1
30歳代	33	72.7	21.2	9.1	33.3	6.1	21.2
40歳代	104	54.8	34.6	22.1	10.6	12.5	7.7

(%)

	n	パートナーが望まないから	家が狭いから	自分やパートナーとの生活を大切にしたいから	パートナーの家事・育児への協力が得られないから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	その他
全体	146	9.6	6.8	5.5	5.5	2.7	4.1
【性別】							
男性	69	15.9	5.8	7.2	2.9	2.9	2.9
女性	75	2.7	8.0	4.0	6.7	2.7	5.3
【年齢別】							
20歳代	9	-	11.1	11.1	-	-	-
30歳代	33	9.1	9.1	3.0	6.1	3.0	6.1
40歳代	104	10.6	5.8	5.8	5.8	2.9	3.8

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【性別】

性別で見ると、女性は男性よりも「高年齢で生むのは不安だから」が7.2ポイント、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が6.0ポイント、「これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」が5.7ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「パートナーが望まないから」が13.2ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は30歳代で72.7%と高く、「これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから」も30歳代で33.3%と高くなっている。「高年齢で生むのは不安があるから」は40歳代で34.6%と高くなっている。

「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない理由（居住地別）

(%)

	n	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高齢で生むのは不安だから	ほしいけれどもできないから	これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	健康上の理由から	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
全体	146	60.3	29.5	18.5	15.8	11.6	11.0
【居住地別】							
中部地域	54	51.9	27.8	20.4	14.8	13.0	9.3
西部地域	45	71.1	33.3	13.3	13.3	4.4	13.3
吾妻地域	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-
利根沼田地域	3	33.3	66.7	33.3	-	-	-
東部地域	43	60.5	25.6	20.9	18.6	16.3	11.6

(%)

	n	パートナーが望まないから	家が狭いから	自分やパートナーとの生活を大切にしたいから	パートナーの家事・育児への協力が得られないから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	その他
全体	146	9.6	6.8	5.5	5.5	2.7	4.1
【居住地別】							
中部地域	54	9.3	9.3	7.4	1.9	3.7	7.4
西部地域	45	15.6	6.7	2.2	8.9	2.2	-
吾妻地域	1	-	-	-	-	-	-
利根沼田地域	3	-	-	-	-	-	-
東部地域	43	4.7	4.7	7.0	7.0	2.3	4.7

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は西部地域で71.1%と高くなっている。

「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない理由（夫婦の職業別）

(%)

	n	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高齢で生むのは不安だから	ほしいけれどもできないから	これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	健康上の理由から	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
全体	146	60.3	29.5	18.5	15.8	11.6	11.0
【夫婦の職業別】							
男性正規×女性正規	48	64.6	22.9	14.6	18.8	2.1	16.7
男性正規×女性非正規	53	62.3	24.5	18.9	15.1	17.0	11.3
男性正規×女性無職・家事	28	53.6	42.9	21.4	10.7	17.9	-
その他	17	52.9	41.2	23.5	17.6	11.8	11.8

(%)

	n	パートナーが望まないから	家が狭いから	自分やパートナーとの生活を大切にしたいから	パートナーの家事・育児への協力が得られないから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	その他
全体	146	9.6	6.8	5.5	5.5	2.7	4.1
【夫婦の職業別】							
男性正規×女性正規	48	12.5	8.3	4.2	6.3	4.2	-
男性正規×女性非正規	53	9.4	5.7	5.7	-	1.9	3.8
男性正規×女性無職・家事	28	7.1	3.6	7.1	7.1	-	14.3
その他	17	5.9	11.8	5.9	17.6	5.9	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【夫婦の職業別】

居住地別でみると、「高齢で生むのは不安だから」は男性正規×女性無職・家事で42.9%と高くなっている。

「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない理由（世帯年収別）

(%)

	n	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	高年齢で生むのは不安だから	ほしいけれどもできないから	これ以上、育児の心理的・肉体的負担に耐えられないから	健康上の理由から	自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
全体	146	60.3	29.5	18.5	15.8	11.6	11.0
【世帯年収別】							
300万円未満	7	57.1	28.6	14.3	28.6	-	14.3
300万円～500万円未満	37	54.1	27.0	32.4	16.2	24.3	5.4
500万円～700万円未満	37	67.6	27.0	8.1	10.8	8.1	5.4
700万円～1000万円未満	49	65.3	34.7	14.3	16.3	4.1	16.3
1000万円以上	16	43.8	25.0	25.0	18.8	18.8	18.8

(%)

	n	パートナーが望まないから	家が狭いから	自分やパートナーとの生活を大切にしたいから	パートナーの家事・育児への協力が得られないから	子どもがのびのび育つ環境ではないから	その他
全体	146	9.6	6.8	5.5	5.5	2.7	4.1
【世帯年収別】							
300万円未満	7	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	-
300万円～500万円未満	37	8.1	8.1	5.4	5.4	5.4	2.7
500万円～700万円未満	37	10.8	5.4	2.7	5.4	2.7	10.8
700万円～1000万円未満	49	10.2	6.1	8.2	4.1	-	2.0
1000万円以上	16	6.3	6.3	-	-	-	-

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」は500万円～700万円未満で67.6%、700万円～1000万円未満で65.3%と高くなっている。「高年齢で生むのは不安だから」も700万円～1000万円未満で34.7%と高くなっている。「ほしいけれどもできないから」は300万円～500万円未満で32.4%と高くなっている。

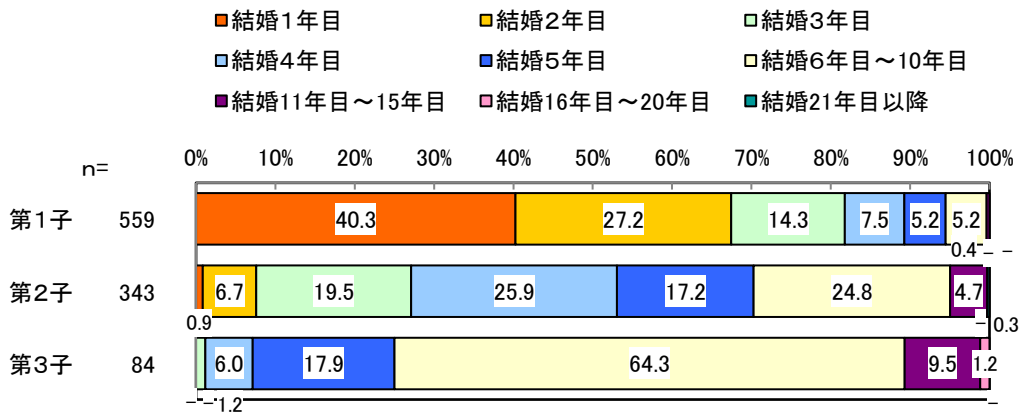
【ご夫婦の間に生まれたお子さんをお持ちの方のみご回答ください。】

問 19 あなた方ご夫婦のお子さんの生まれた時期をお答えください。

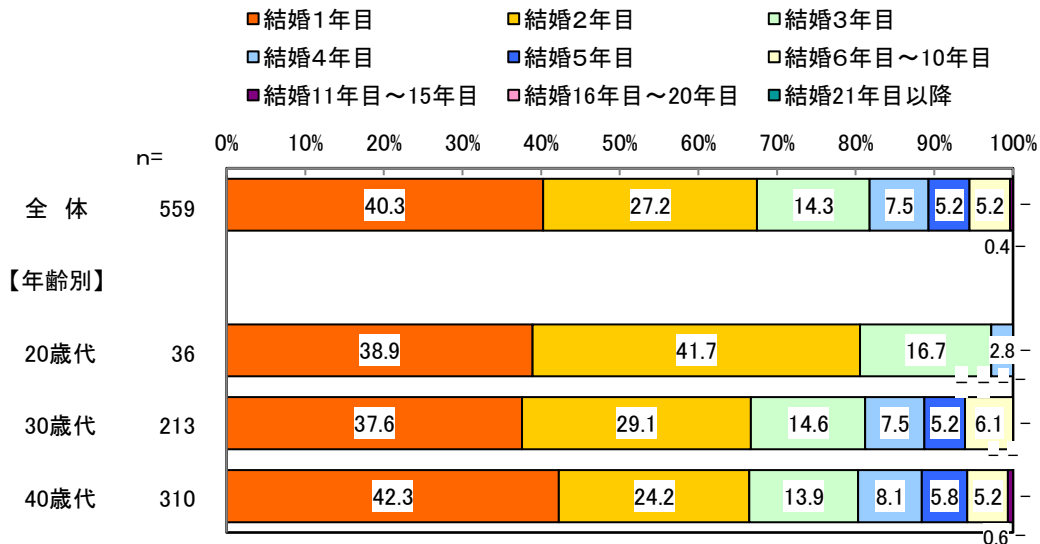
子どもの生まれた時期は、第1子は「結婚1年目」が40.3%で最も高く、次いで「結婚2年目」が27.2%、「結婚3年目」が14.3%となっている。

第2子は「結婚4年目」が25.9%で最も高く、次いで「結婚6年目～10年目」が24.8%、「結婚3年目」が19.5%となっている。

第3子は「結婚6年目～10年目」が64.3%で最も高く、次いで「結婚5年目」が17.9%、「結婚11年目～15年目」が9.5%となっている。



子どもの生まれた時期 第1子（年齢別）

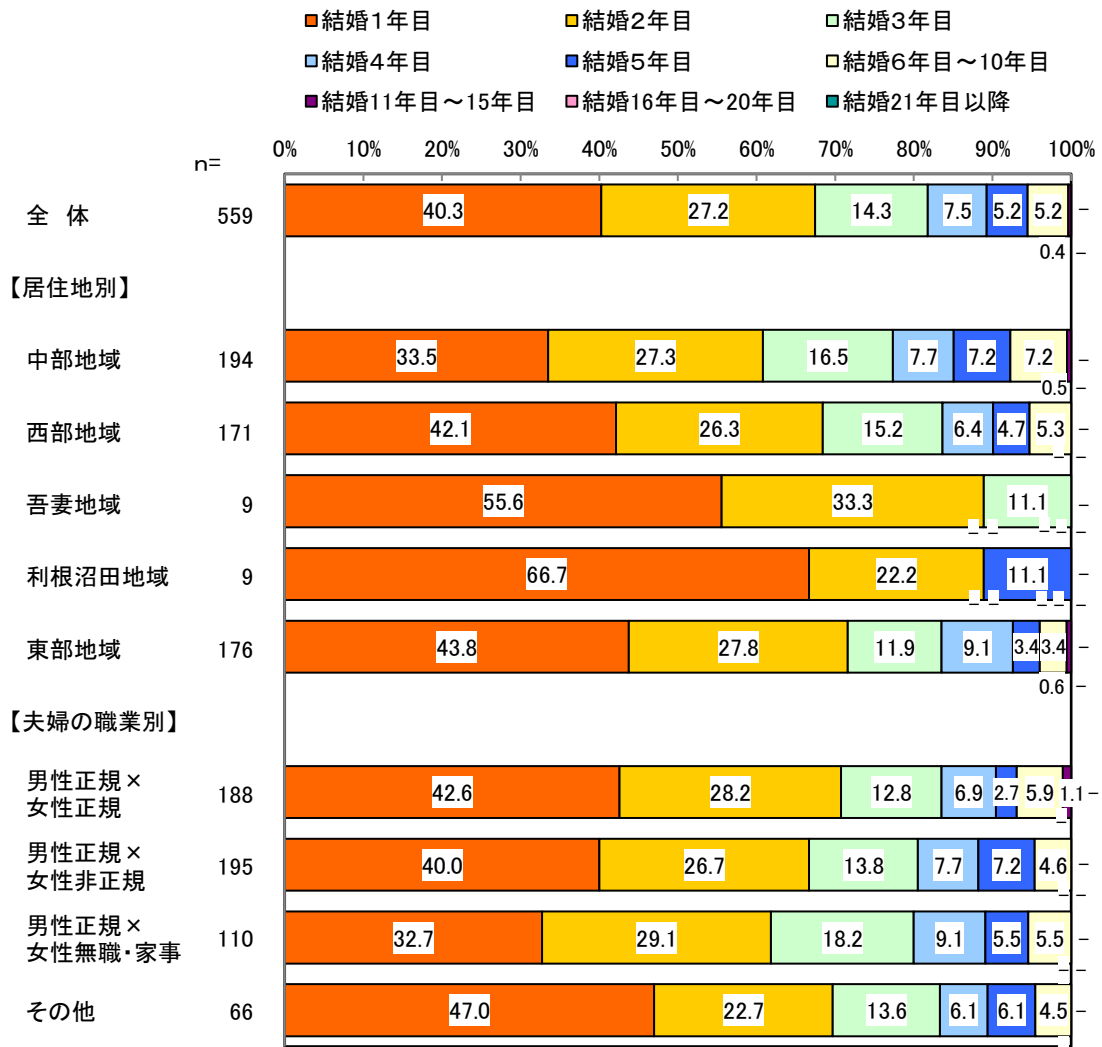


【年齢別】

年齢別でみると、「結婚1年目」は40歳代で42.3%、「結婚2年目」は20歳代で41.7%と高くなっている。



子どもの生まれた時期 第1子（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

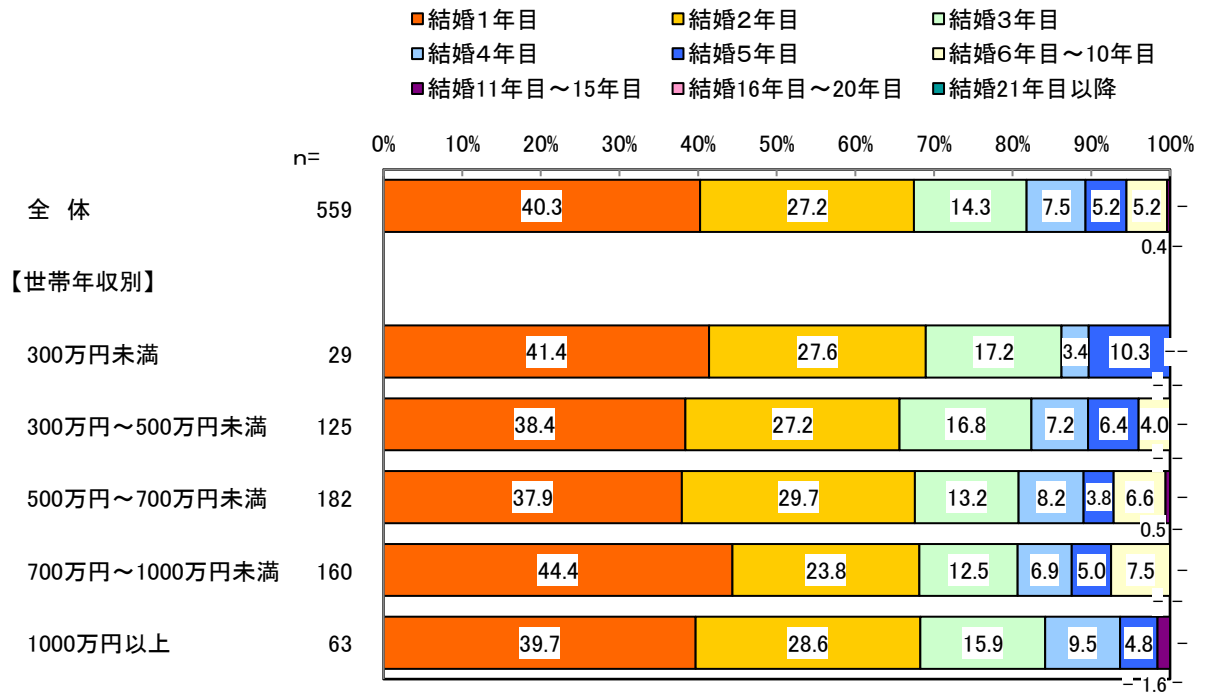
【居住地別】

居住地別でみると、「結婚1年目」は東部地域で43.8%、西部地域で42.1%と高くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「結婚3年目」は男性正規×女性無職・家事で18.2%と高くなっている。

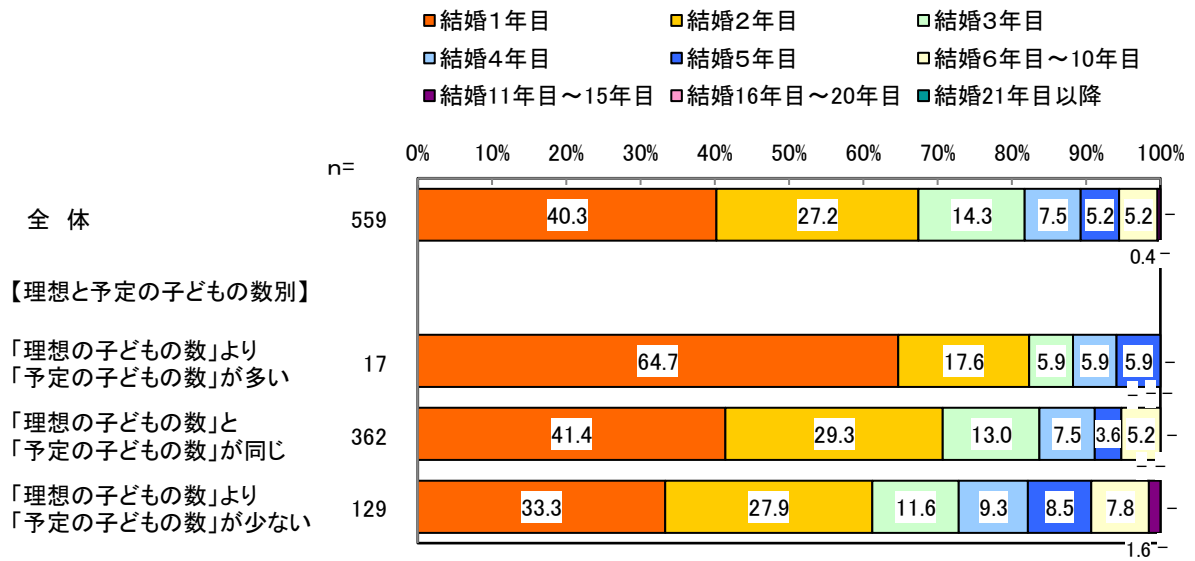
### 子どもの生まれた時期 第1子（世帯年収別）



#### 【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「結婚1年目」は700万円～1000万円未満で44.4%、「結婚2年目」は500万円～700万円未満で29.7%と高くなっている。

## 子どもの生まれた時期 第1子（理想と予定の子どもの数別）

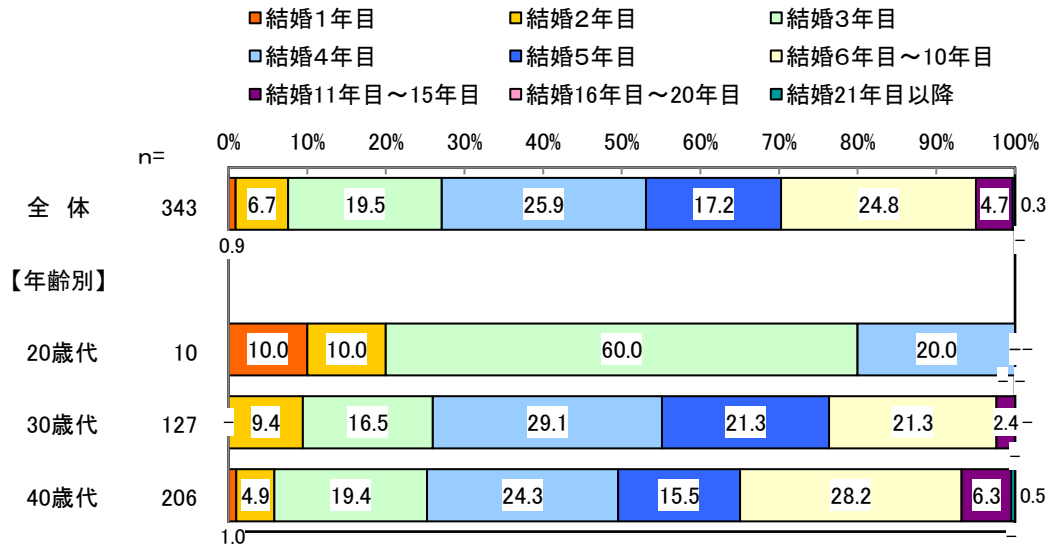


※母数が20未満の項目は参考値とする。

### 【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別でみると、「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”は”「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”よりも全体的に生まれた時期が早い傾向があり、「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”では”「結婚1年目」が41.4%と高くなっている。

### 子どもの生まれた時期 第2子（年齢別）

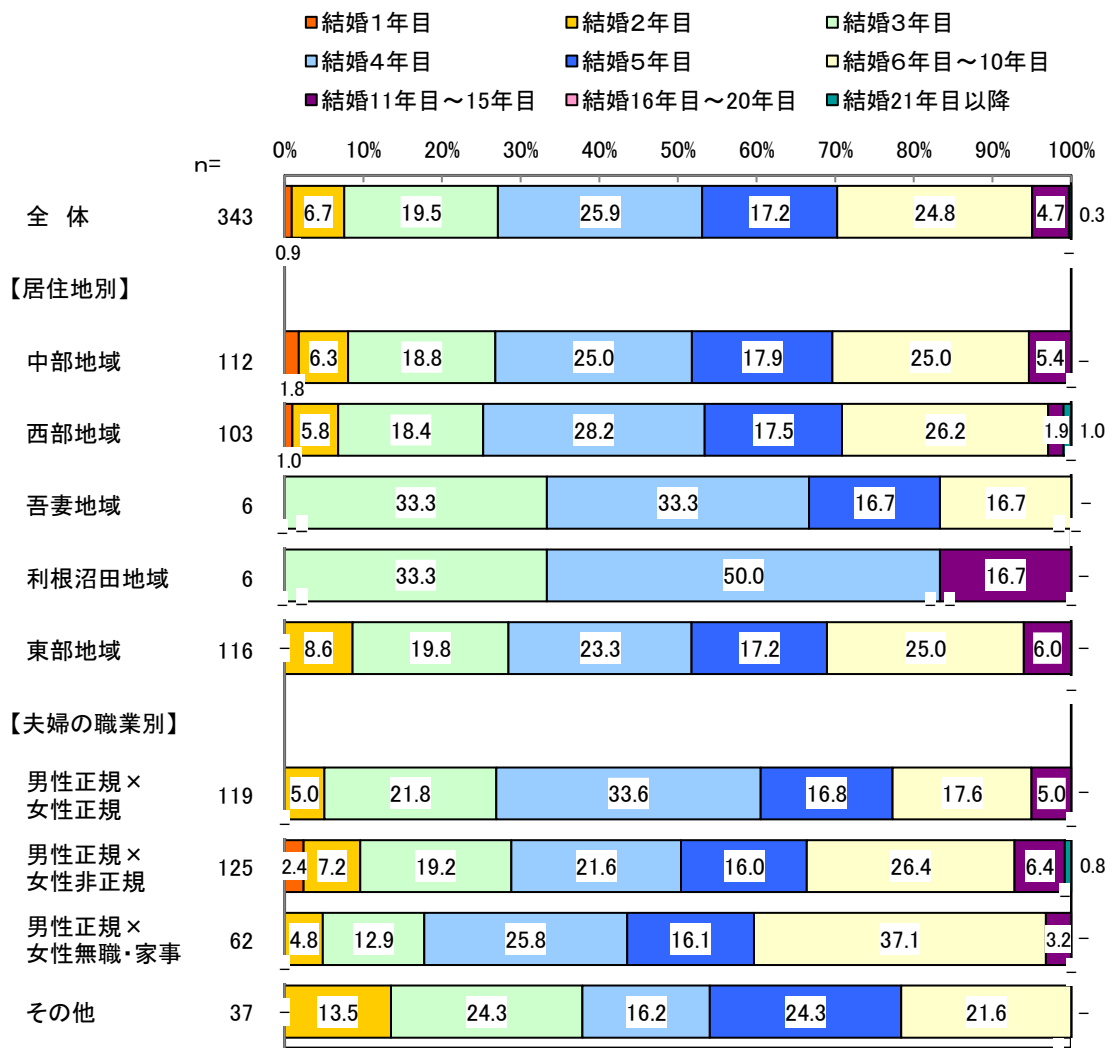


※母数が20未満の項目は参考値とする。

#### 【年齢別】

年齢別で見ると、「結婚4年目」と「結婚5年目」は30歳代で29.1%、21.3%と高くなっている。「結婚6年目～10年目」は40歳代で28.2%と高くなっている。

子どもの生まれた時期 第2子（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

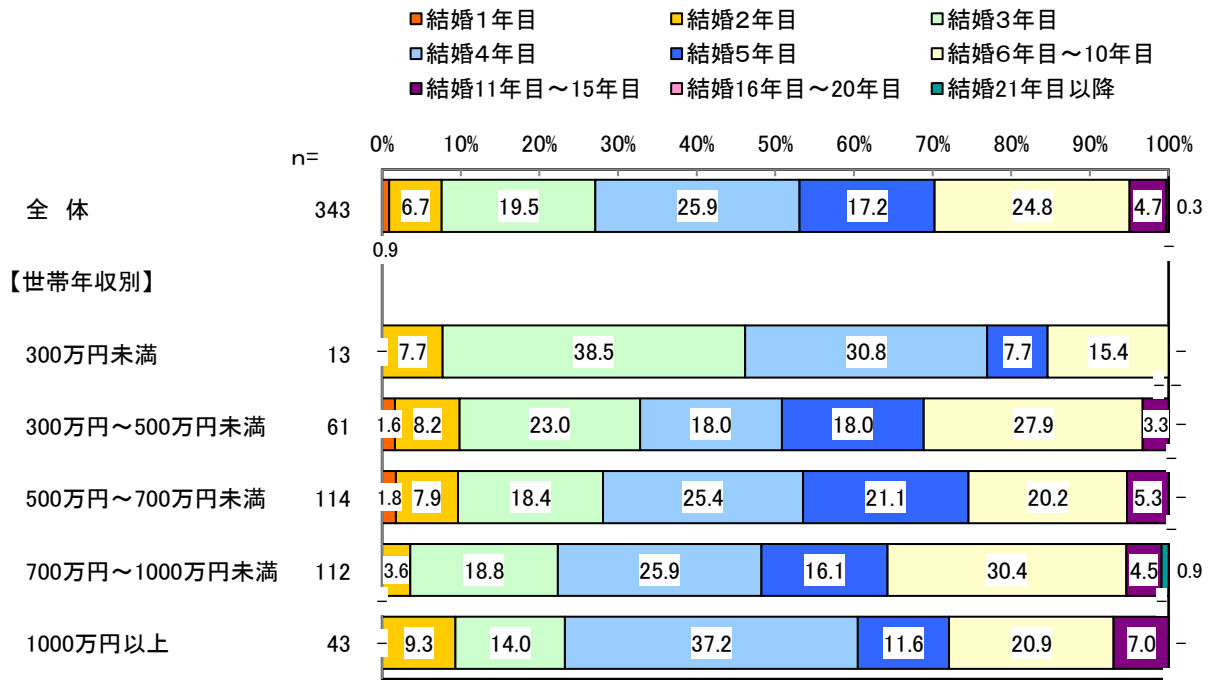
【居住地別】

居住地別でみると、「結婚4年目」は西部地域で28.2%と高くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「結婚4年目」は男性正規×女性正規で33.6%と高くなっている。「結婚6年目～10年目」は男性正規×女性無職・家事で37.1%と高くなっている。

### 子どもの生まれた時期 第2子（世帯年収別）

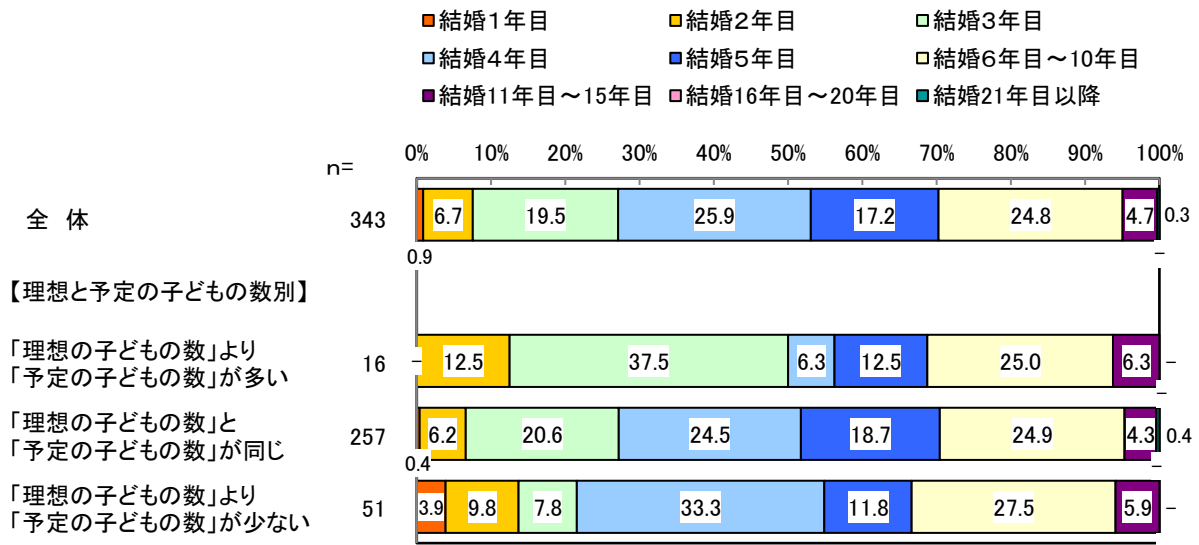


※母数が20未満の項目は参考値とする。

#### 【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「結婚3年目」は300万円～500万円未満で23.0%と高くなっている。「結婚4年目」は年収が上がるほど高くなり、1000万円以上で37.2%となっている。「結婚6年目～10年目」は700万円～1000万円未満で30.4%と高くなっている。

子どもの生まれた時期 第2子（理想と予定の子どもの数別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別で見ると、「結婚3年目」は“理想の子どもの数”と“予定の子どもの数”が同じ”で20.6%、「結婚4年目」は“理想の子どもの数”より“予定の子どもの数”が少ない”で33.3%と高くなっている。

※第3子のクロス集計については母数が少ないため省略する。

## 6 結婚、仕事と子育て、家庭等について

問20 あなたは、自分自身の仕事と子育てについて、どのような希望がありますか（希望がありましたか）。

問21 あなたは、自分自身の仕事と子育てについて、実際にはどのようになりそうですか（どのようになりましたか）。

問22 パートナーの仕事と子育てについて、あなたはどのような希望がありますか（ありましたか）。

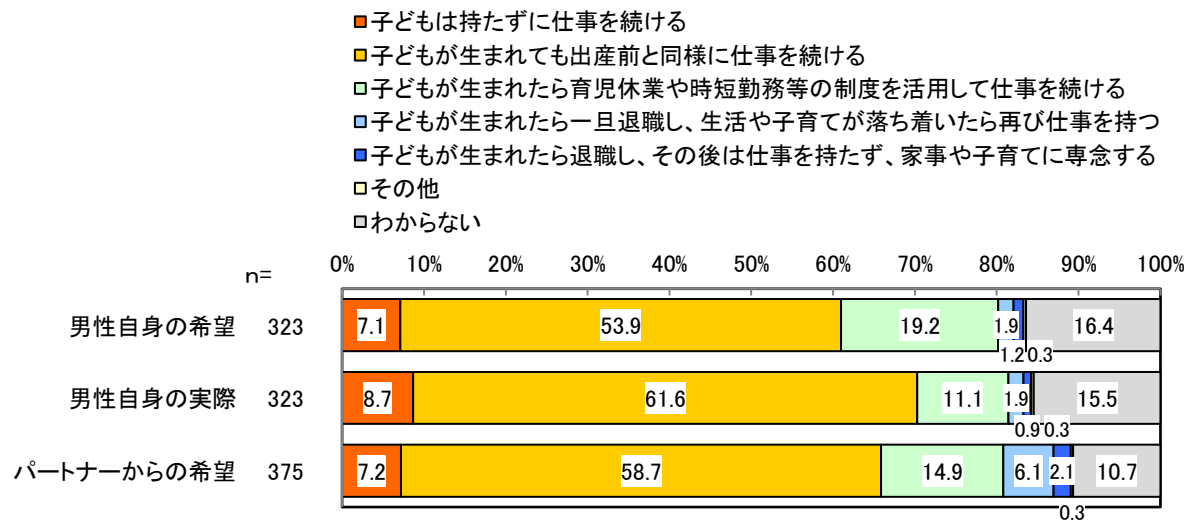
### 【男性の希望・実際、パートナー（女性）からの希望】

男性回答者の自分自身の仕事と子育てについての希望は、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が53.9%で最も高く、次いで「子どもが生まれても育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が19.2%、「わからない」が16.4%となっている。

自分自身の仕事と子育てについての実際は、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が61.6%で最も高く、次いで「わからない」が15.5%、「子どもが生まれても育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が11.1%となっている。

女性がパートナーに望む仕事と子育てについては、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が58.7%で最も高く、次いで「子どもが生まれても育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が14.9%、「わからない」が10.7%となっている。

男性自身の希望と実際、パートナー（女性）からの希望を比較すると、男性自身の希望は「子どもが生まれても育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」、男性自身の実際は「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が他の層よりも高くなっている。





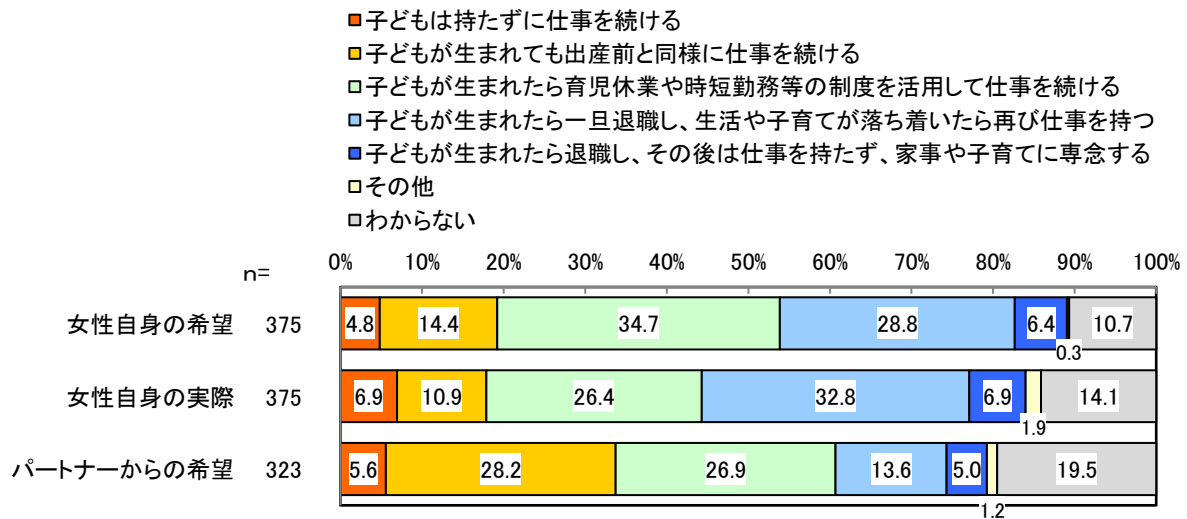
### 【女性の希望・実際、パートナー（男性）からの希望】

女性回答者の自分自身の仕事と子育てについての希望は、「子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が34.7%で最も高く、次いで「子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」が28.8%、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が14.4%となっている。

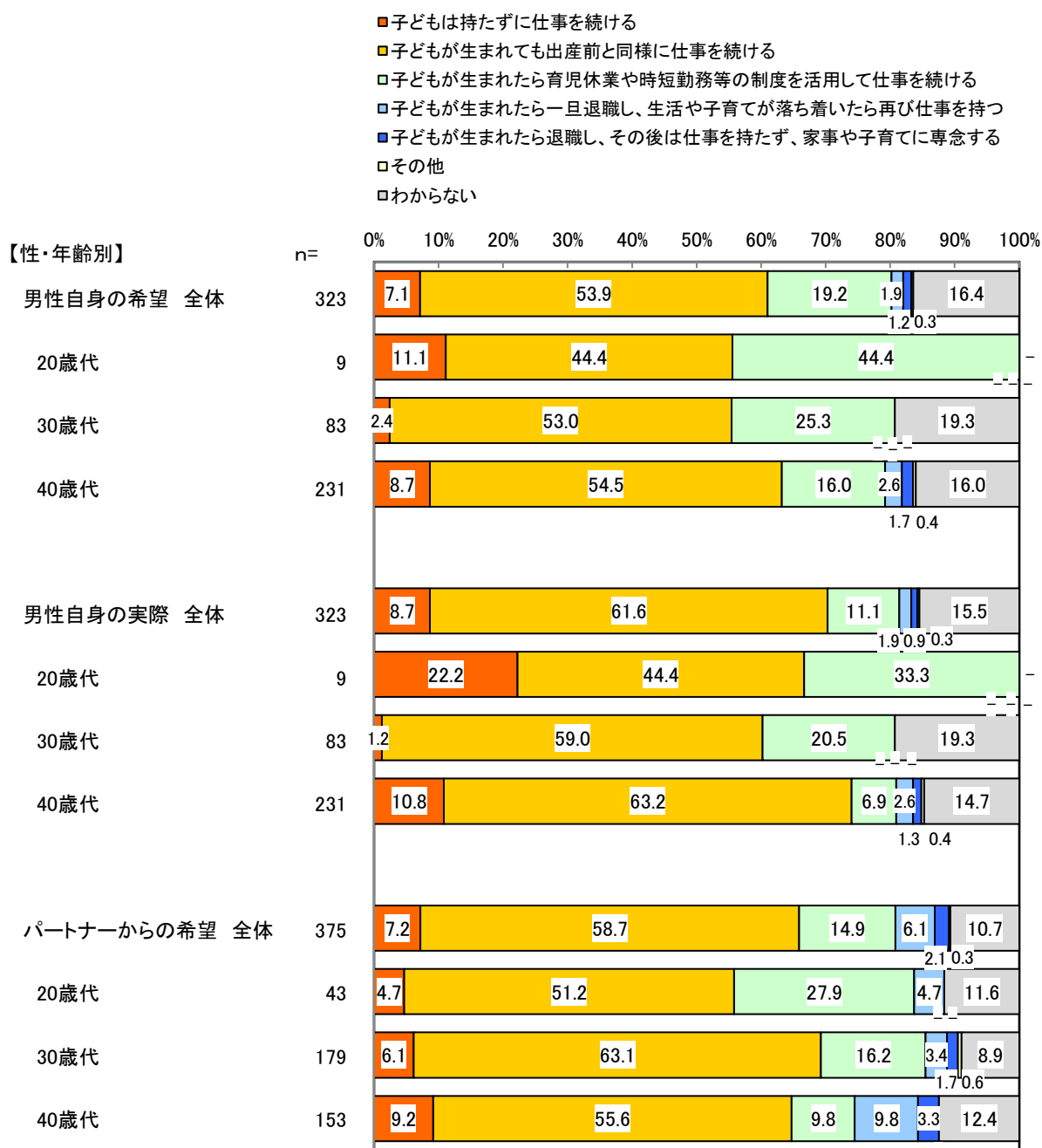
自分自身の仕事と子育てについての実際は、「子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」が32.8%で最も高く、次いで「子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が26.4%、「わからない」が14.1%となっている。

男性がパートナーに望む仕事と子育てについては、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が28.2%で最も高く、次いで「子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」が26.9%、「わからない」が19.5%となっている。

女性自身の希望と実際、パートナー（男性）からの希望を比較すると、女性自身の希望は「子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」、女性自身の実際は「子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」、パートナー（男性）からの希望は「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」が他の層よりも高くなっている。



## 男性の仕事と子育てについて（性・年齢別）

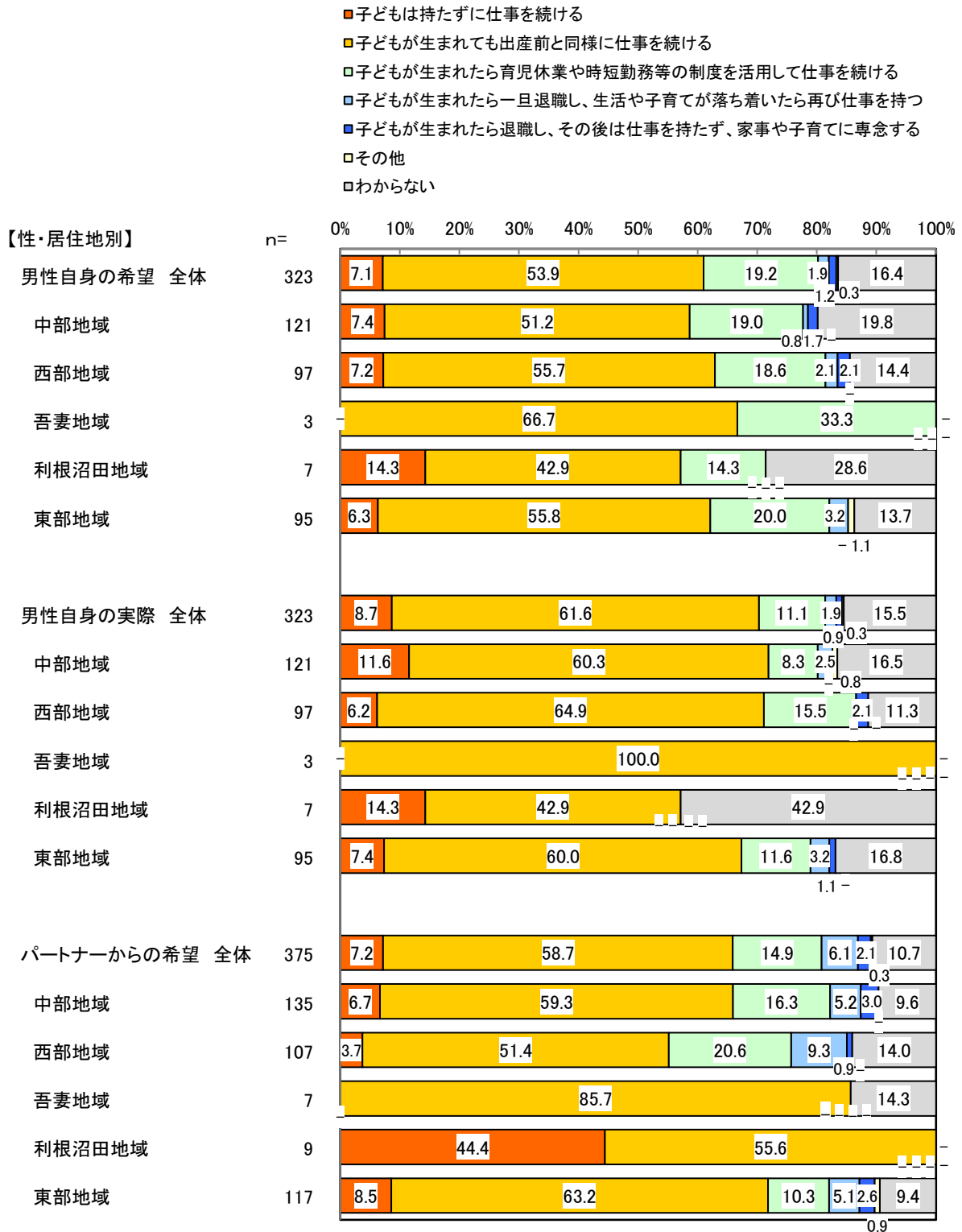


※母数が20未満の項目は参考値とする。

### 【性・年齢別】

男性について性・年齢別でみると、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」は男性の年齢が上がるほど希望・実際ともに高くなり、男性自身の実際の40歳代で63.2%となっている。一方、「子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」は男性自身の希望・実際、パートナーからの希望ともに年齢が下がるほど高くなり、パートナーからの希望の20歳代で27.9%となっている。

## 男性の仕事と子育てについて（性・居住地別）



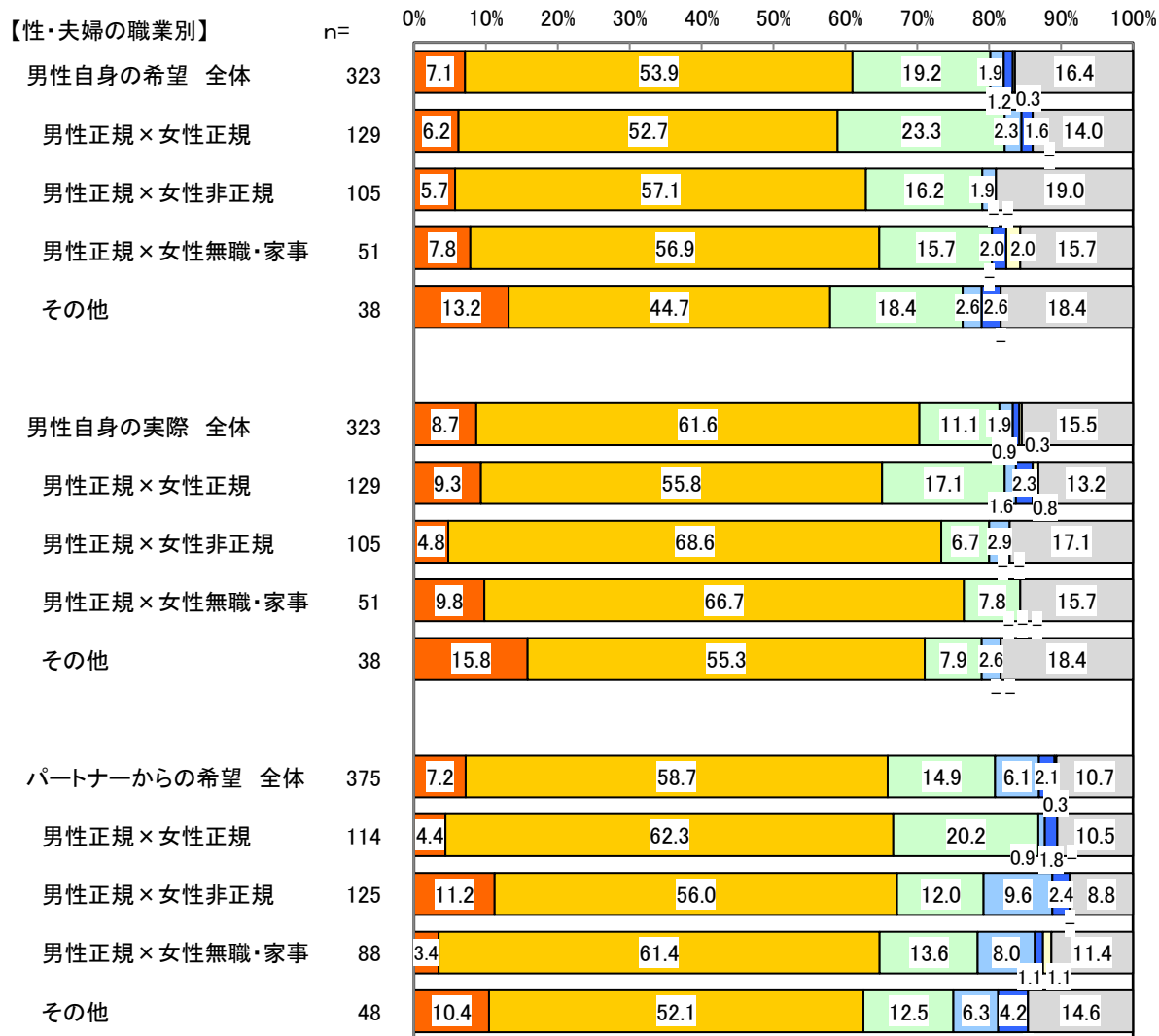
※母数が20未満の項目は参考値とする。

### 【性・居住地別】

性・居住地別で見ると、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」は男性自身の実際の西部地域で64.9%と高くなっている。一方、「子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」はパートナーからの希望の西部地域で20.6%と高くなっている。

## 男性の仕事と子育てについて（性・夫婦の職業別）

- 子どもは持たずに仕事を続ける
- 子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 子どもが生まれてから退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない

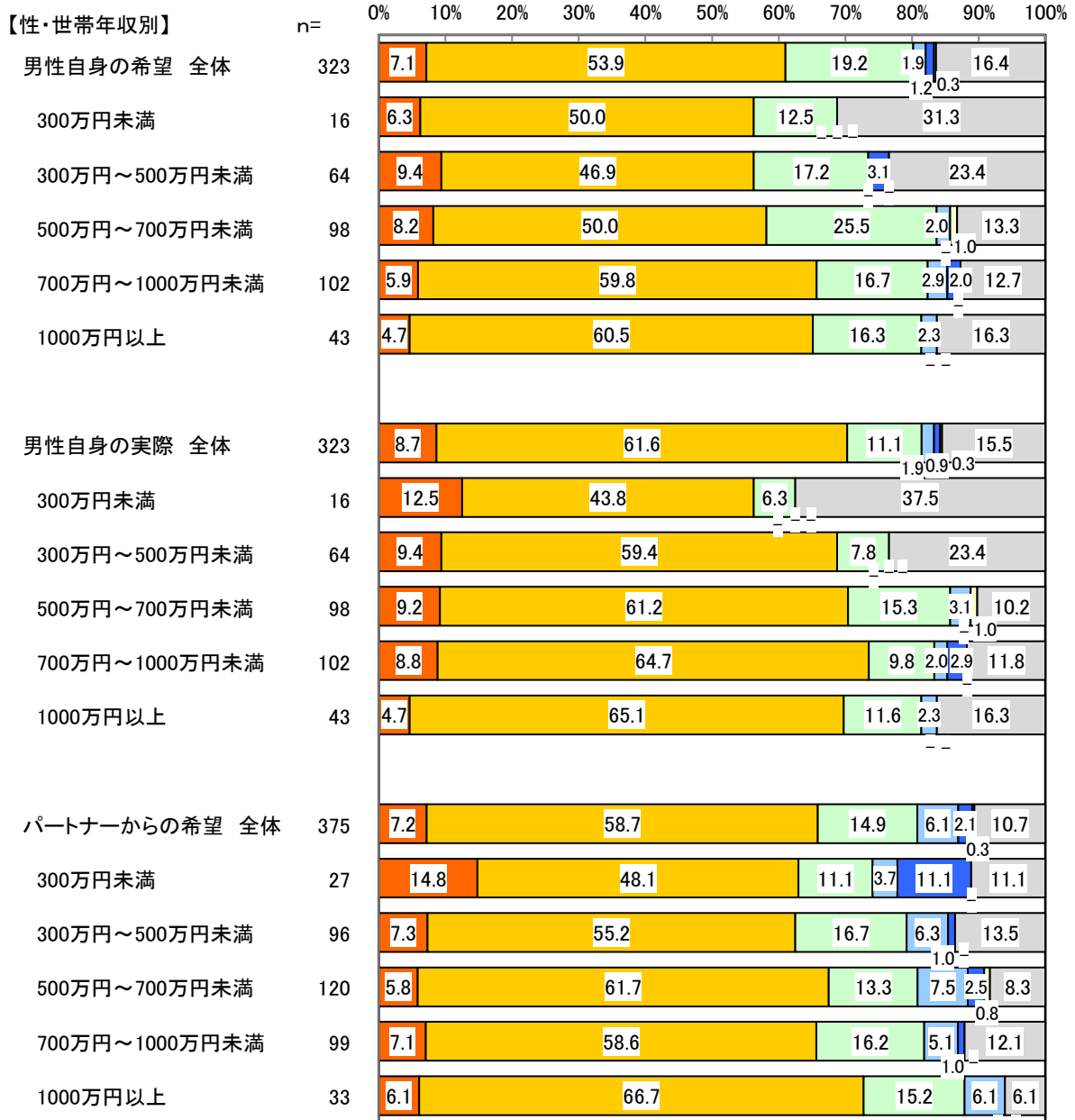


### 【性・夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」は男性自身の実際の男性正規×女性非正規で68.6%、男性正規×女性無職・家事で66.7%と高くなっている。「子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」は男性正規×女性正規においてパートナーからの希望が20.2%、男性自身の実際が17.1%と高くなっている。

## 男性の仕事と子育てについて（性・世帯年収別）

- 子どもは持たずに仕事を続ける
- 子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 子どもが生まれてから退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない



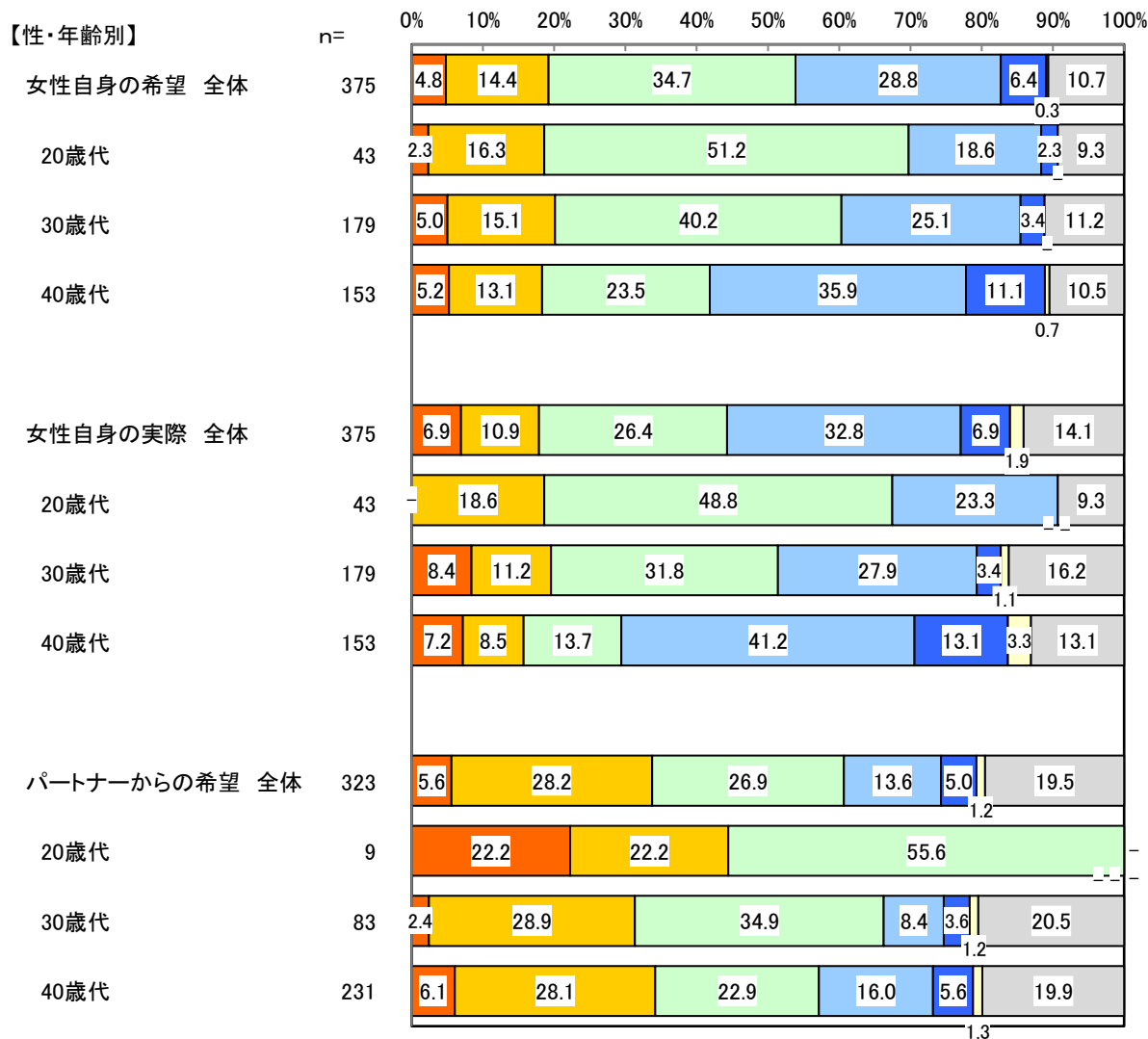
※母数が20未満の項目は参考値とする。

### 【性・世帯年収別】

性・世帯年収別でみると、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」はパートナーからの希望の1000万円以上で66.7%、男性自身の希望の1000万円以上で60.5%、700万円～1000万円未満で59.8%と高くなっている。一方、「子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」は男性自身の希望の500万円～700万円未満で25.5%と高くなっている。

## 女性の仕事と子育てについて（性・年齢別）

- 子どもを持たずに仕事を続ける
- 子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない

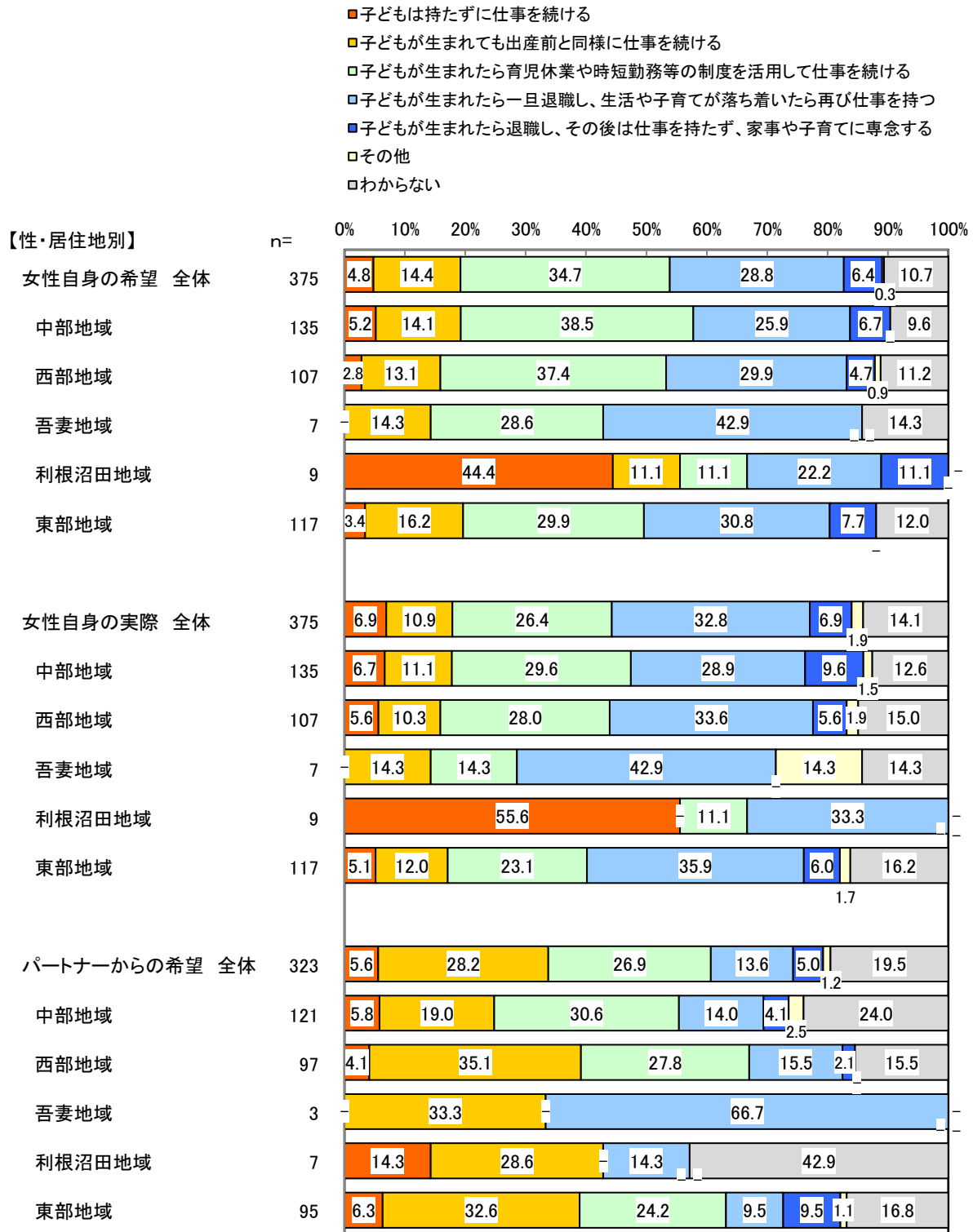


※母数が20未満の項目は参考値とする。

### 【性・年齢別】

女性について性・年齢別でみると、「子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」は女性自身の希望・実際、パートナーからの希望のいずれも年齢が下がるほど高くなり、女性自身の希望の20歳代で51.2%となっている。一方、「子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」は女性自身の希望・実際、パートナーからの希望のいずれも年齢が上がるほど高くなり、女性自身の実際の40歳代で41.2%となっている。

## 女性の仕事と子育てについて（性・居住地別）

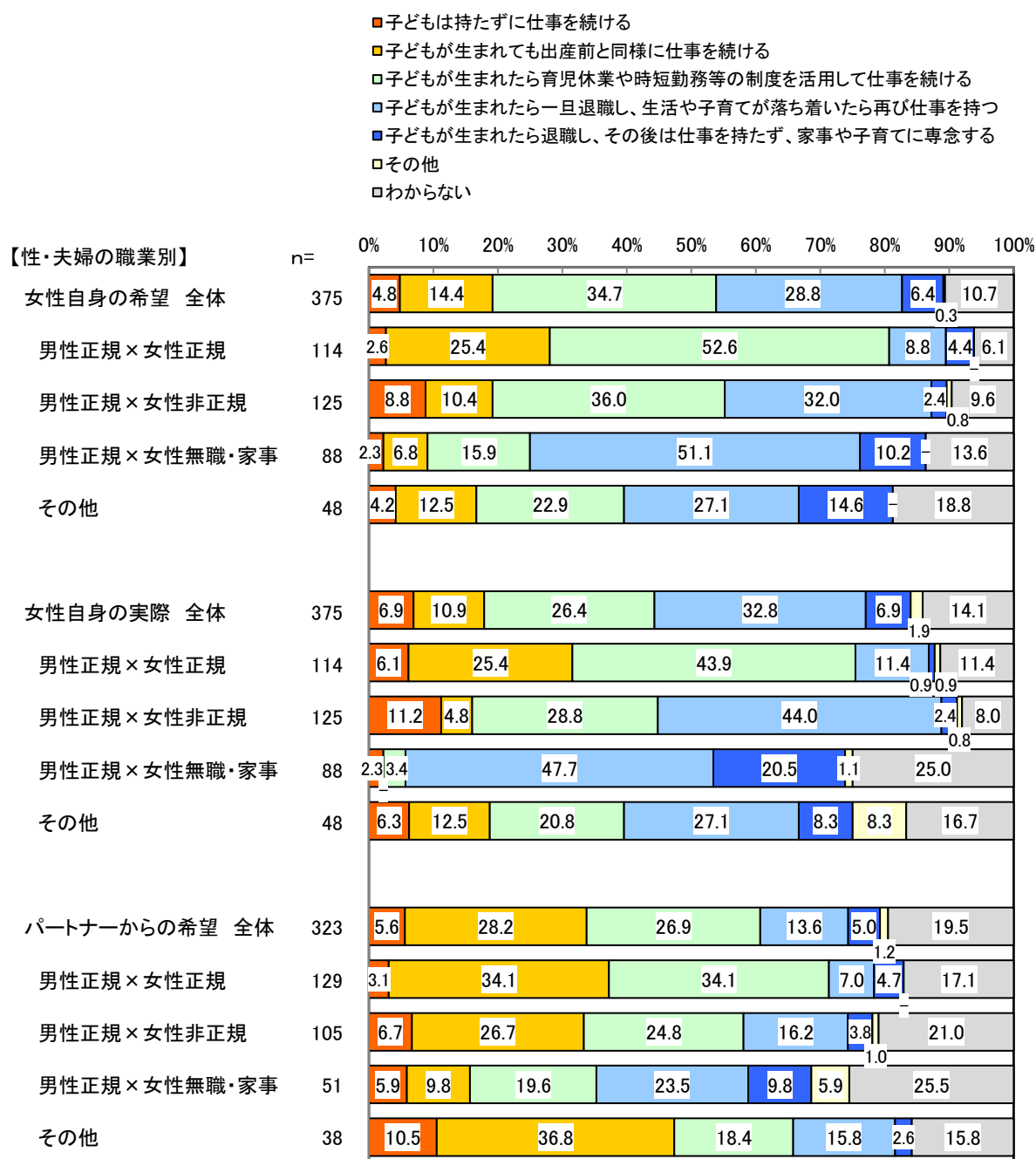


※母数が20未満の項目は参考値とする。

### 【性・居住地別】

性・居住地別でみると、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」はパートナーからの希望の西部地域で35.1%、東部地域で32.6%と高くなっている。一方、「子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」は女性自身の実際の東部地域で35.9%と高くなっている。

## 女性の仕事と子育てについて（性・夫婦の職業別）



### 【性・夫婦の職業別】

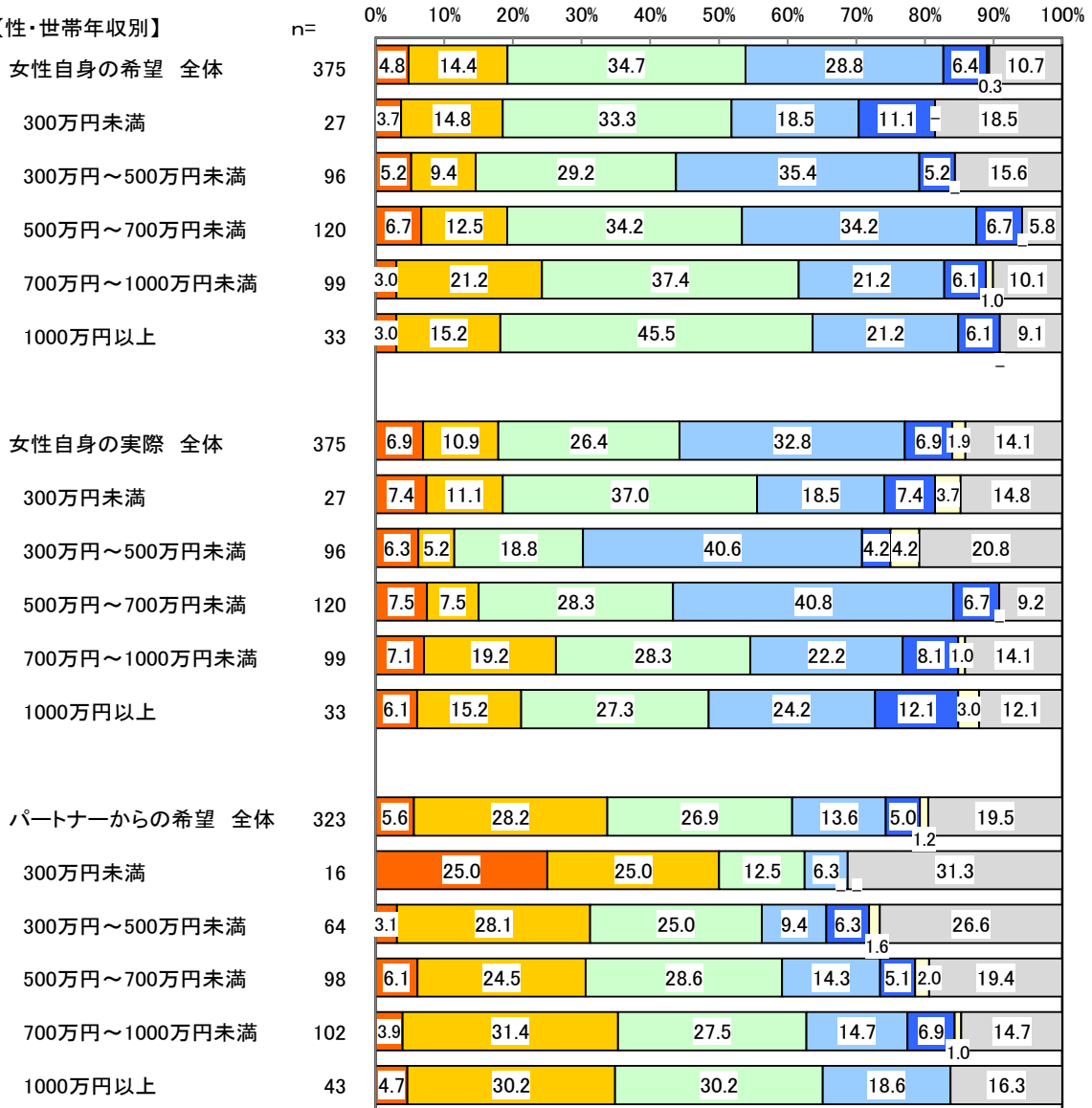
夫婦の職業別でみると、いずれも男性正規×女性正規において、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」はパートナーからの希望で 34.1%、女性自身の希望と実際でいずれも 25.4%と高く、「子どもが生まれてから育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」も女性自身の希望で 52.6%、女性自身の実際で 43.9%と高くなっている。一方、「子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」は女性自身の希望の男性正規×女性無職・家事で 51.1%、女性自身の実際の男性正規×女性無職・家事で 47.7%、男性正規×女性非正規で 44.0%と高くなっている。



## 女性の仕事と子育てについて（性・世帯年収別）

- 子どもは持たずに仕事を続ける
- 子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける
- 子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける
- 子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ
- 子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たず、家事や子育てに専念する
- その他
- わからない

### 【性・世帯年収別】



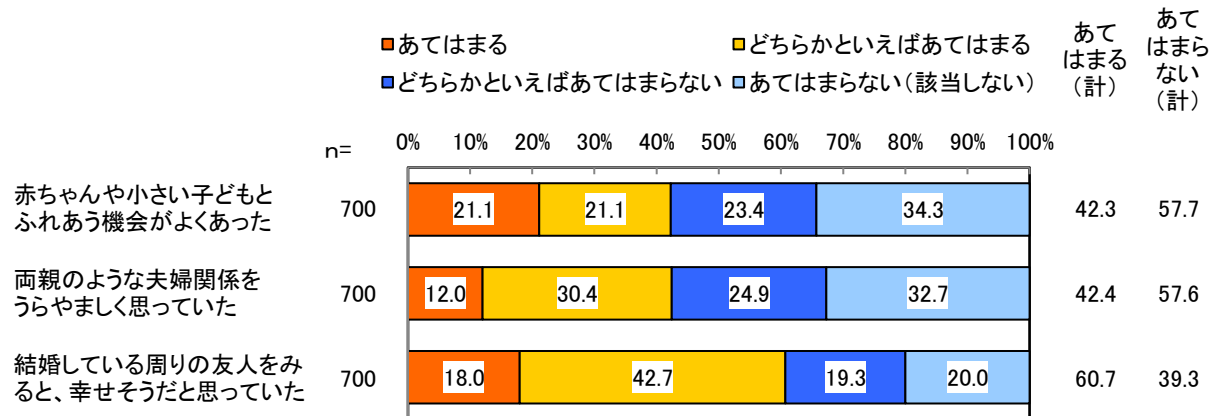
※母数が20未満の項目は参考値とする。

### 【性・世帯年収別】

性・世帯年収別でみると、「子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続ける」はパートナーからの希望の500万円～700万円未満で31.4%、1000万円以上で30.2%と高くなっている。「子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続ける」は女性自身の希望の1000万円以上で45.5%と高くなっている。一方、「子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持つ」は女性自身の実際の500万円～700万円未満で40.8%、300万円～500万円未満で40.6%、女性自身の希望の300万円～500万円未満で35.4%、500万円～700万円未満で34.2%と高くなっている。

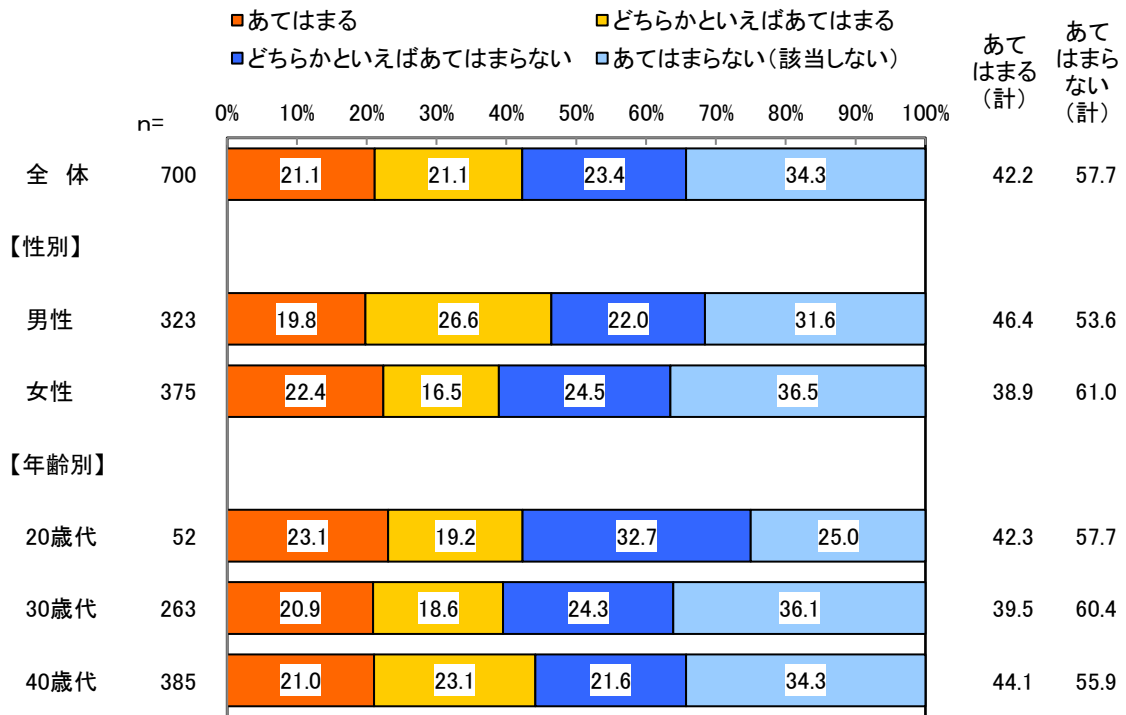
問 23 あなた方ご夫婦の結婚前までの身近な状況について、あてはまるものをお答えください。  
 (質問項目に該当する相手がいない (いなかった) 場合は、「あてはまらない (該当しない)」  
 を選択してください。)

ご夫婦の結婚前までの身近な状況は、“結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思っていた”について、「あてはまる (計)」が 60.7%と、「あてはまらない (計)」の 39.3%を上回っている。一方、“赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった”、“両親のような夫婦関係をうらやましく思っていた”では「あてはまらない (計)」が「あてはまる (計)」を上回っている。



※「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の計を「あてはまる (計)」、「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない (該当しない)」の計を「あてはまらない (計)」とした。

結婚前までの身近な状況 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった (性別、年齢別)



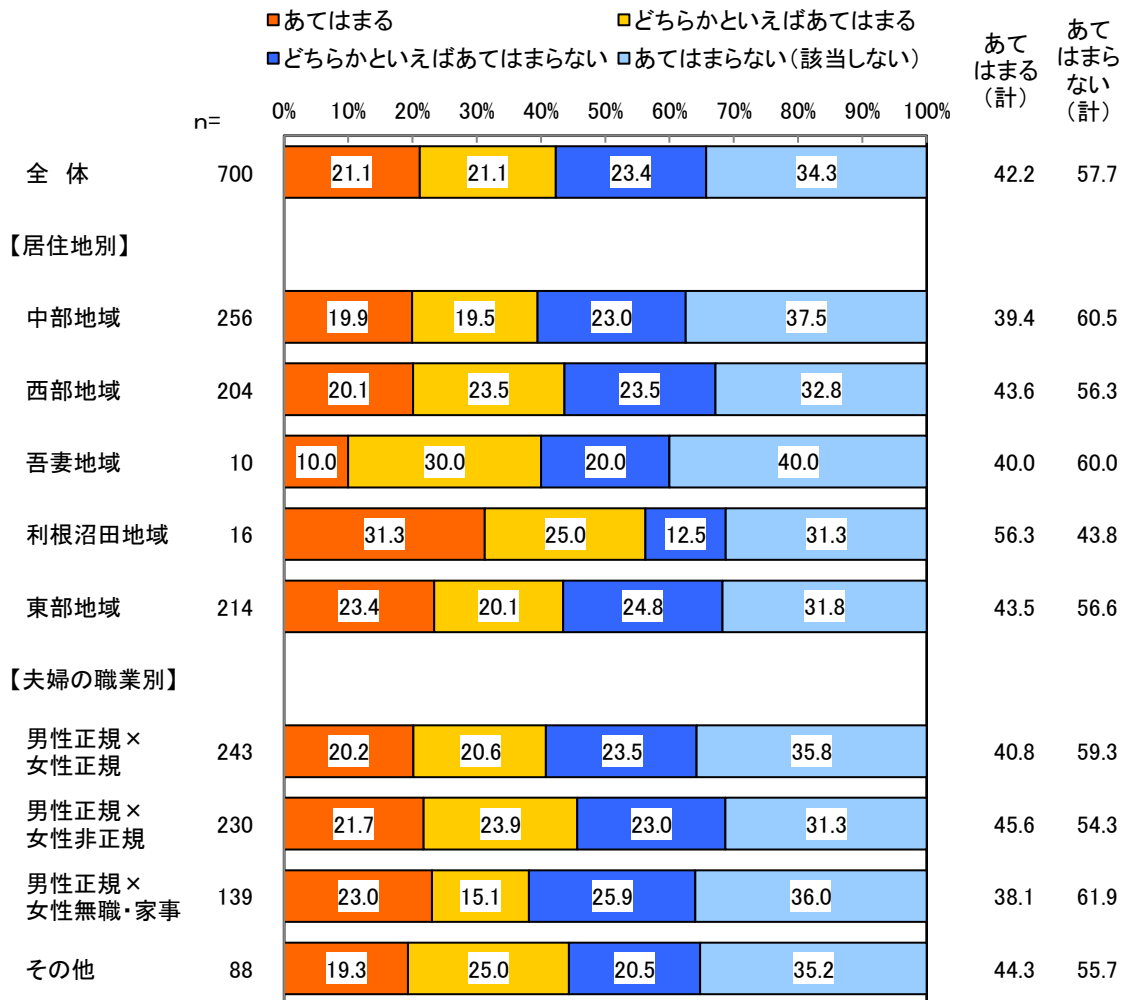
【性別】

性別でみると、男性は女性よりも「あてはまる (計)」が7.5ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「あてはまる (計)」は40歳代で44.1%と高くなっている。

結婚前までの身近な状況 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった  
(居住地別、夫婦の職業別)



※母数が20未満の項目は参考値とする。

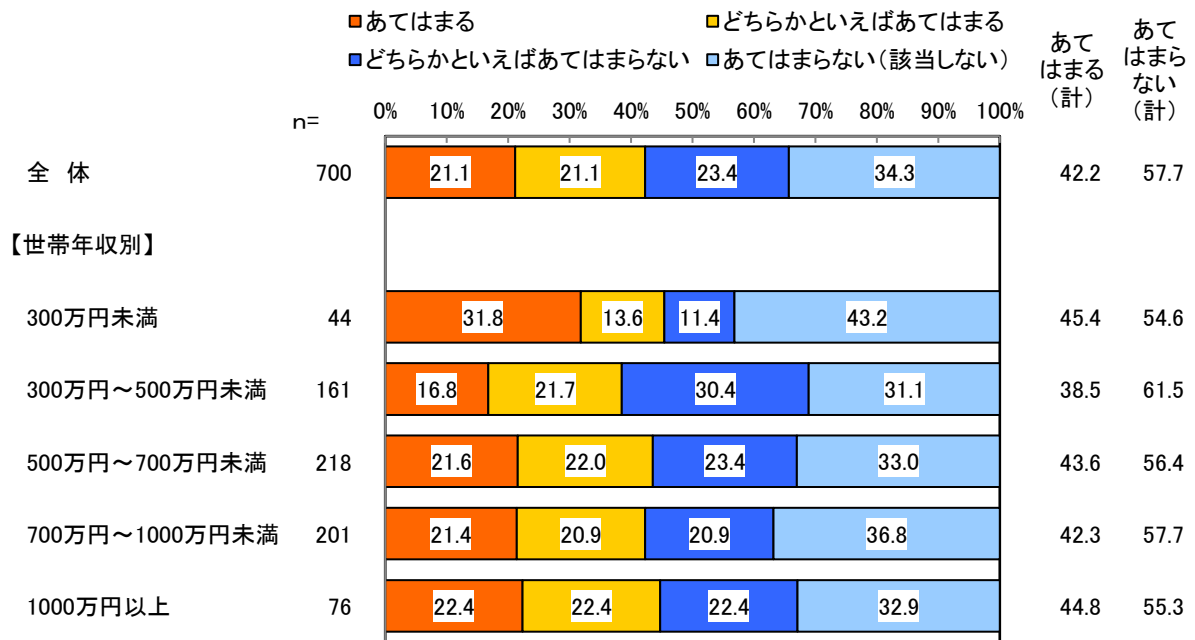
**【居住地別】**

居住地別でみると、「あてはまる(計)」は西部地域で43.6%、東部地域で43.5%と高くなっている。

**【夫婦の職業別】**

夫婦の職業別でみると、「あてはまる(計)」は男性正規×女性非正規で45.6%と高くなっている。一方、男性正規×女性無職・家事では38.1%と低くなっている。

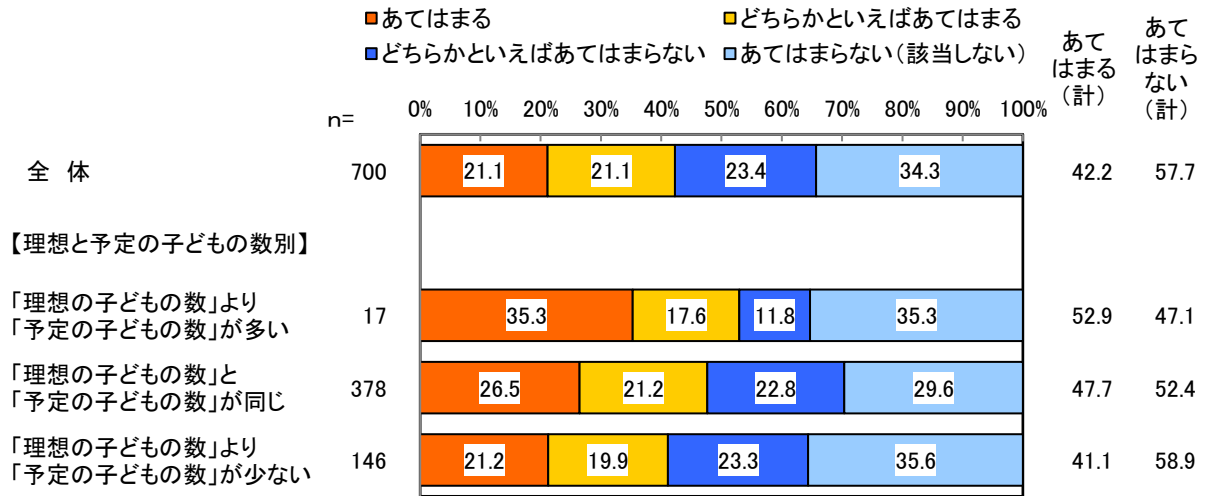
結婚前までの身近な状況 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった（世帯年収別）



【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「あてはまる（計）」は300万円未満で45.4%、1000万円以上で44.8%と高くなっている。一方、300～500万円未満では38.5%と低くなっている。

結婚前までの身近な状況 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった  
(理想と予定の子どもの数別)

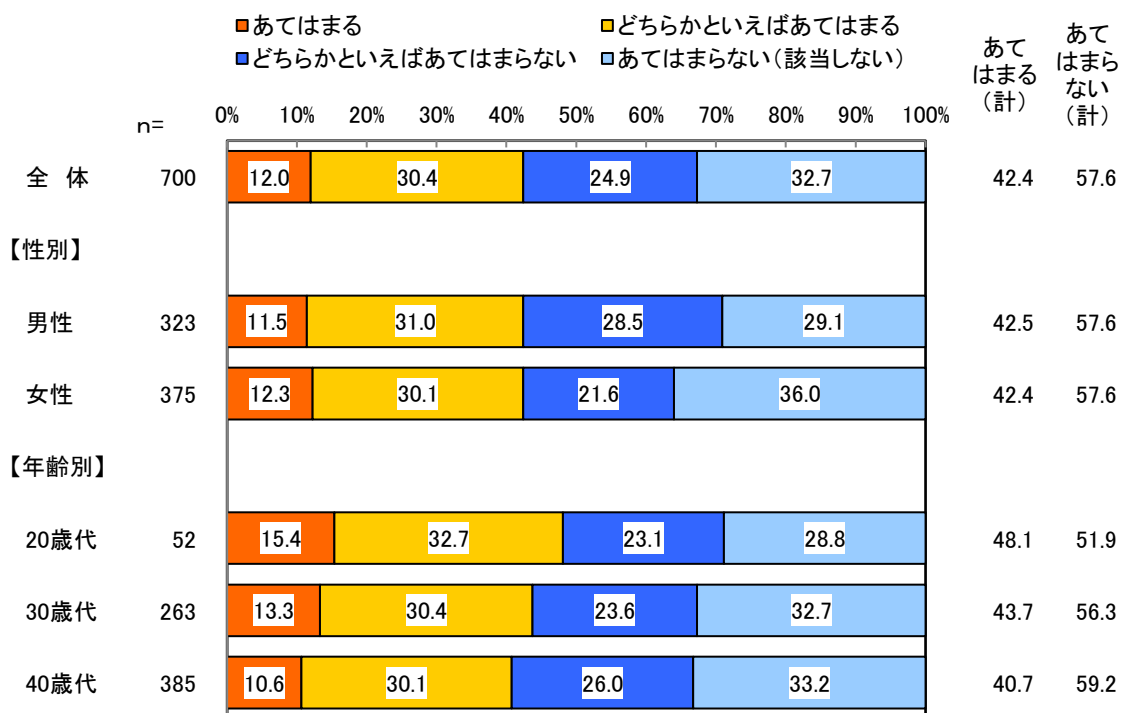


※母数が20未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別でみると、「あてはまる(計)」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で47.7%と高くなっている。

結婚前までの身近な状況 両親のような夫婦関係をうらやましく思っていた (性別、年齢別)



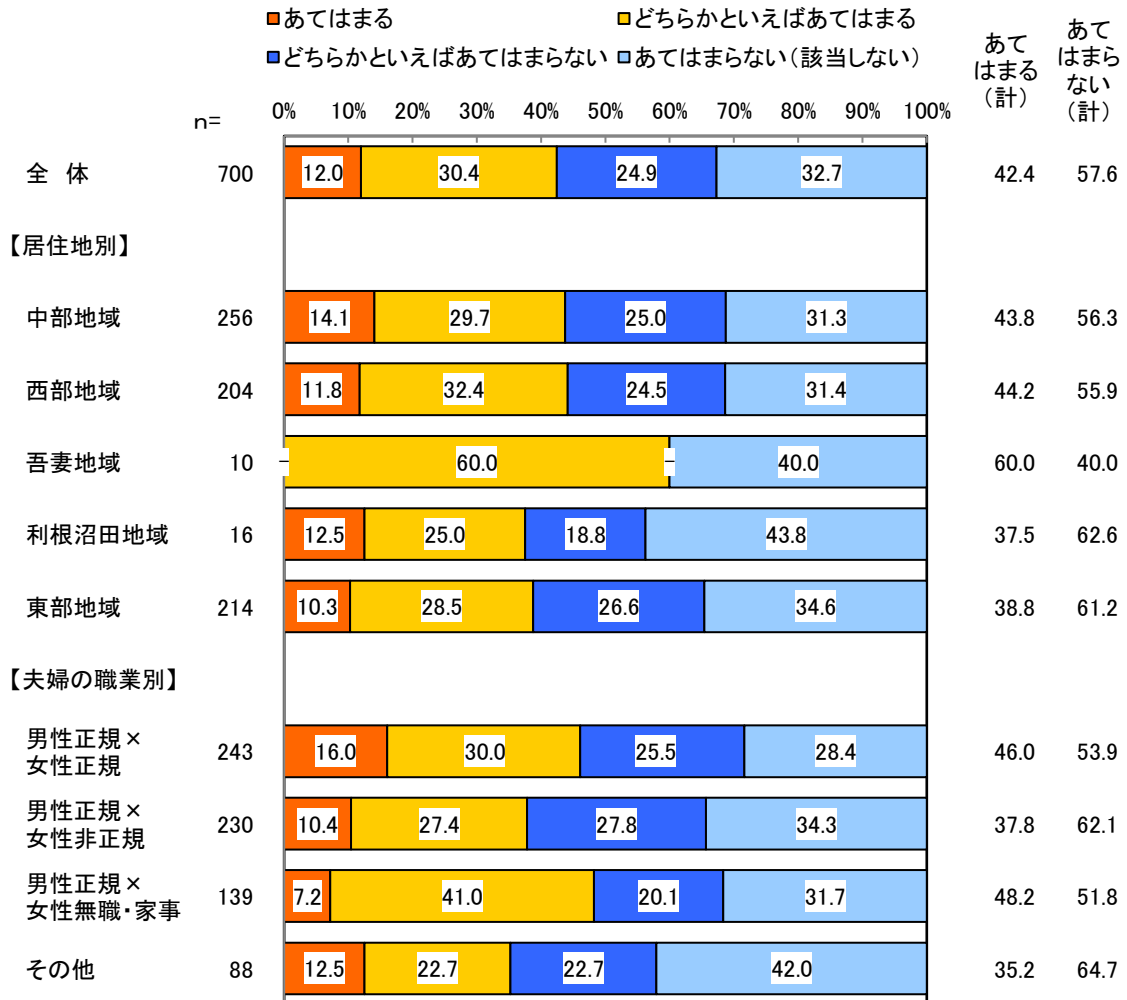
**【性別】**

性別でみると、「あてはまらない (計)」では男女間に差はないが、女性は男性よりも「どちらかといえばあてはまらない」が低く、「あてはまらない (該当しない)」が6.9ポイント高くなっている。

**【年齢別】**

年齢別でみると、「あてはまる (計)」は20歳代で48.1%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。

結婚前までの身近な状況 両親のような夫婦関係をうらやましく思っていた  
(居住地別、夫婦の職業別)



※母数が20未満の項目は参考値とする。

**【居住地別】**

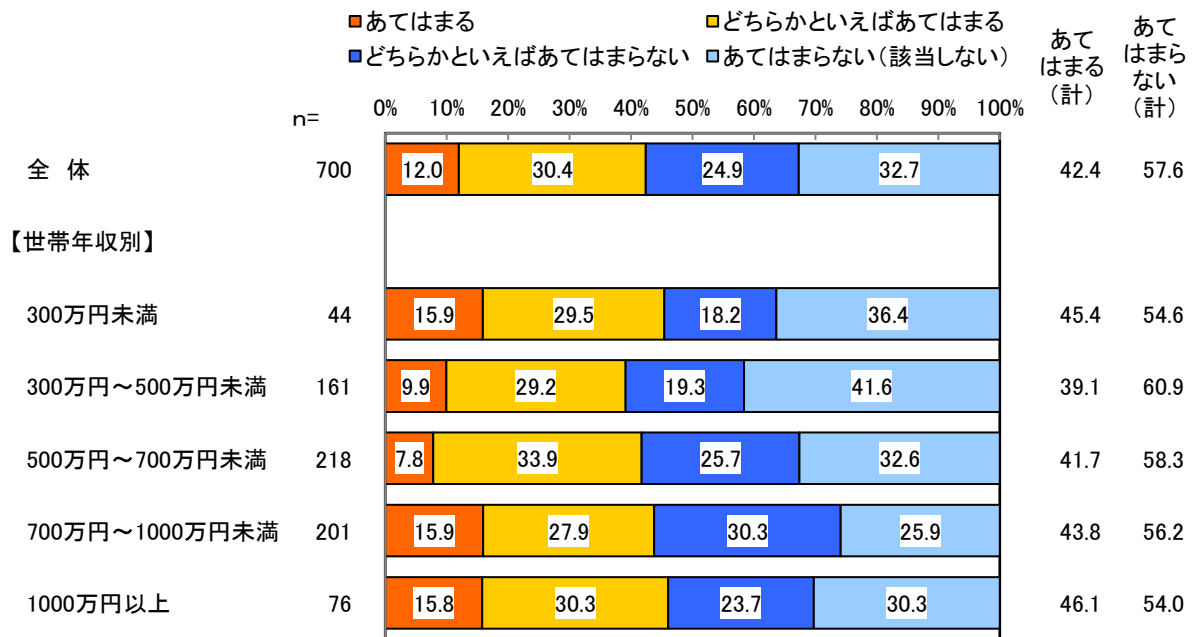
居住地別でみると、「あてはまる (計)」は西部地域で 44.2%、中部地域で 43.8%と高くなっている。一方、東部地域では 38.8%と低くなっている。

**【夫婦の職業別】**

夫婦の職業別でみると、「あてはまる (計)」は男性正規×女性無職・家事で 48.2%と高くなっている。一方、男性正規×女性非正規では 37.8%と低くなっている。



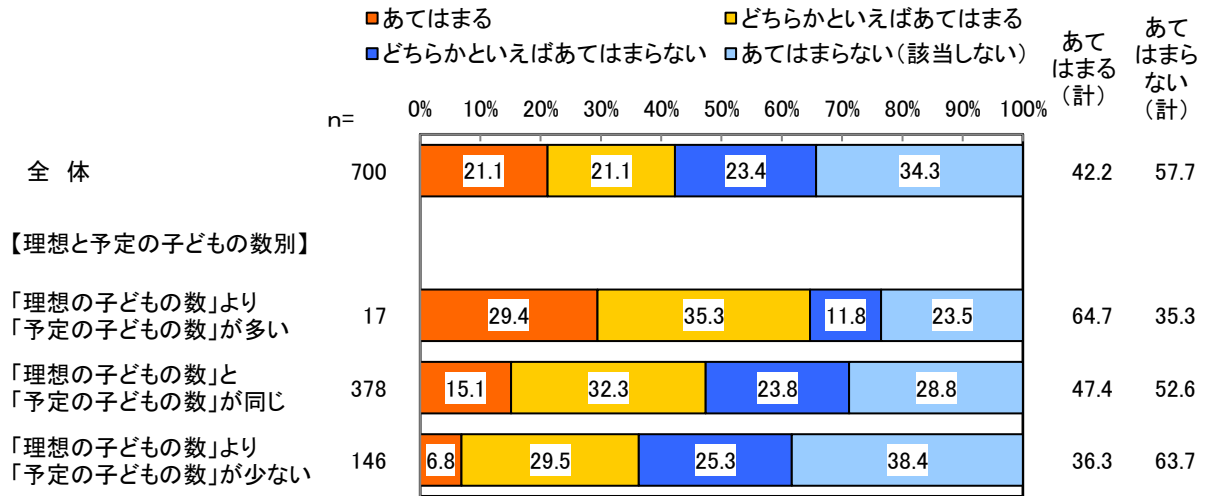
結婚前までの身近な状況 両親のような夫婦関係をうらやましく思っていた（世帯年収別）



【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「あてはまる（計）」は1000万円以上で46.1%、300万円未満で45.4%と高くなっている。

結婚前までの身近な状況 両親のような夫婦関係をうらやましく思っていた  
(理想と予定の子どもの数別)

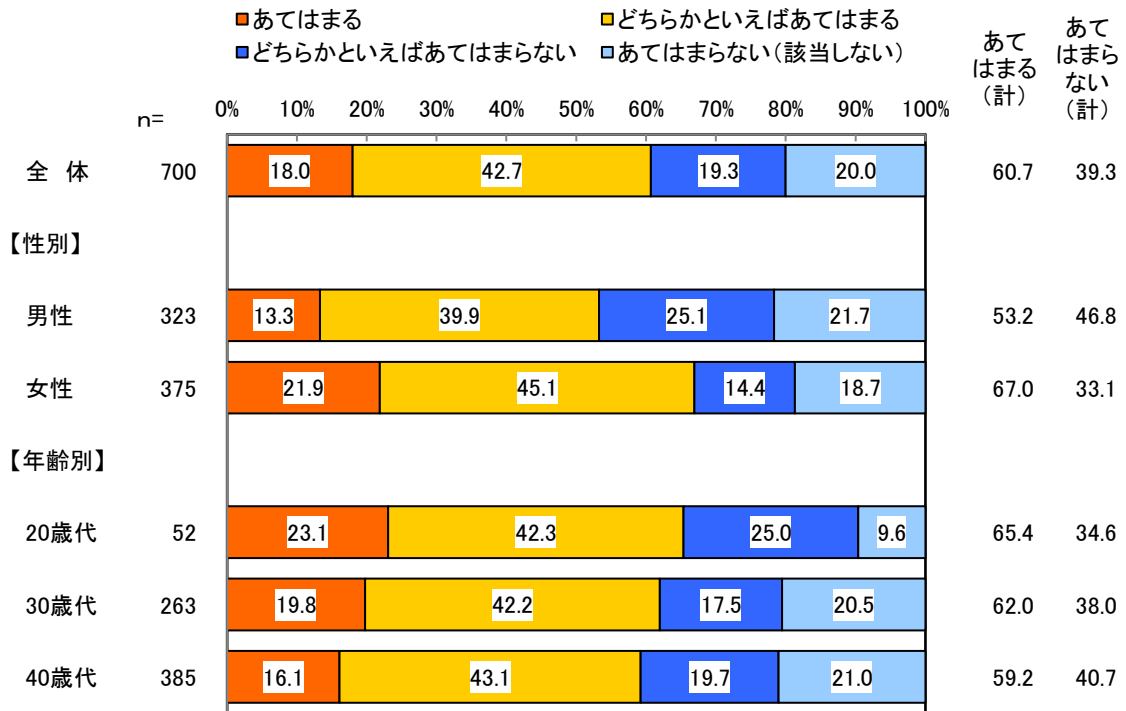


※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

**【理想と予定の子どもの数別】**

理想と予定の子どもの数別で見ると、「あてはまる (計)」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で 47.4%と高くなっている。一方、“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”では 36.3%と低くなっている。

結婚前までの身近な状況 結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思っていた  
(性別、年齢別)



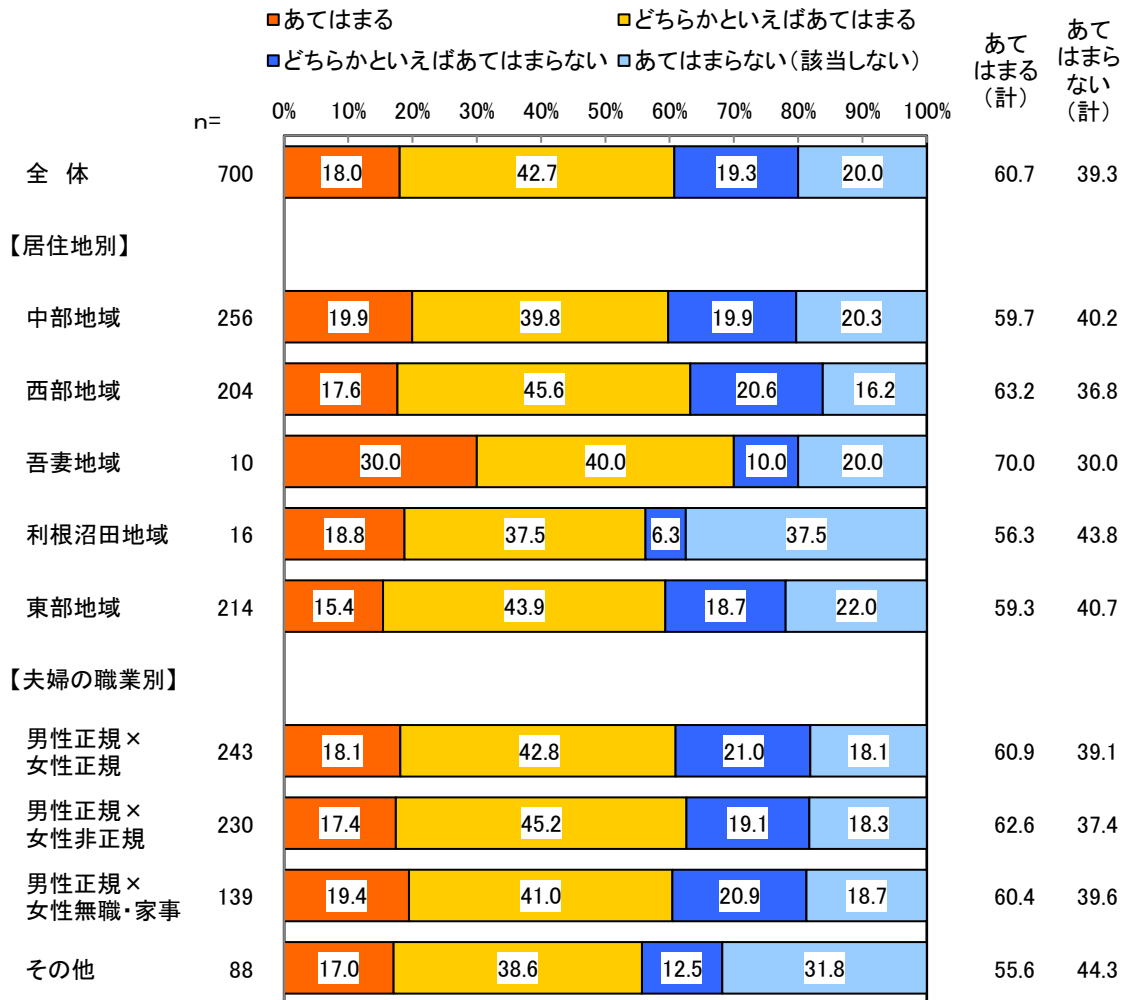
【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「あてはまる (計)」が13.8ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「あてはまる (計)」は20歳代で65.4%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。

結婚前までの身近な状況 結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思っていた  
(居住地別、夫婦の職業別)



※母数が20未満の項目は参考値とする。

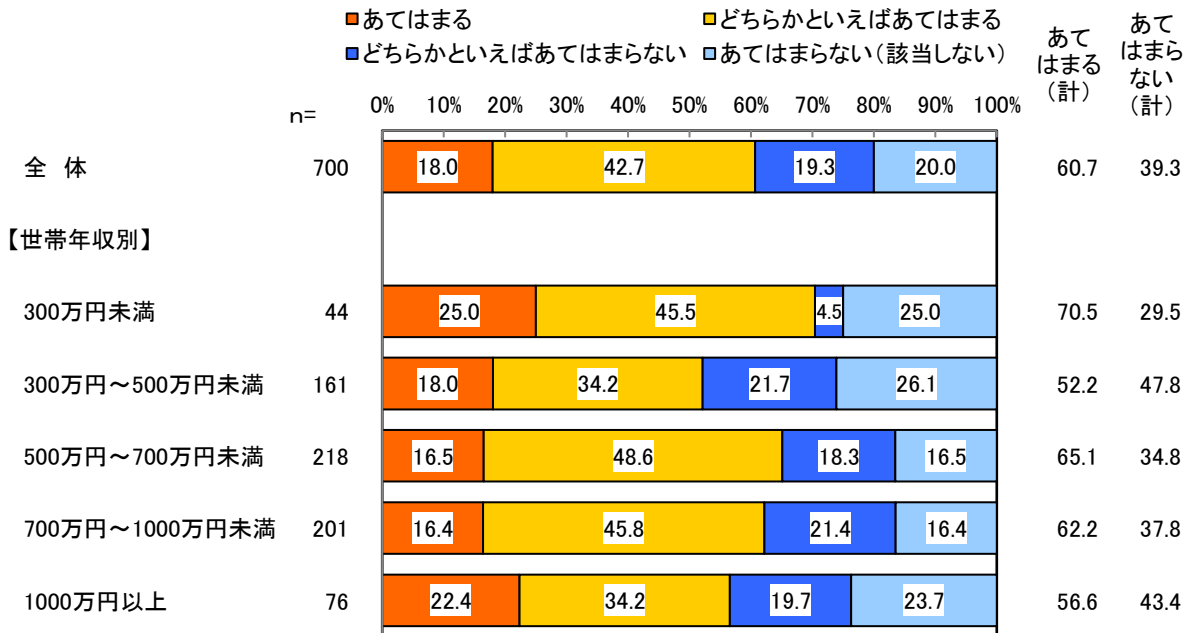
**【居住地別】**

居住地別でみると、「あてはまる (計)」は西部地域で63.2%と高くなっている。

**【夫婦の職業別】**

夫婦の職業別でみると、職業による大きな差はみられない。

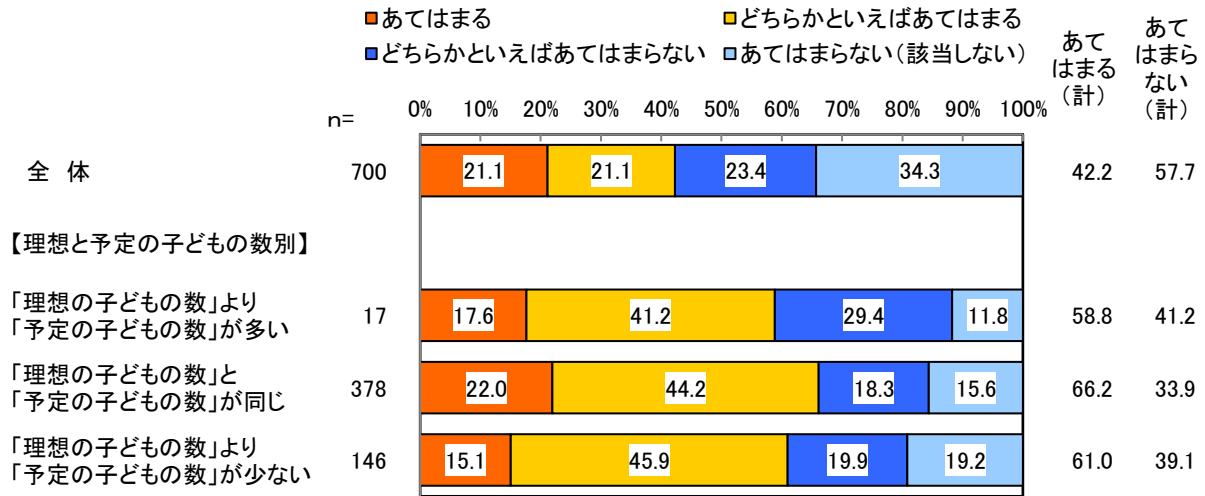
結婚前までの身近な状況 結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思っていた  
(世帯年収別)



【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「あてはまる (計)」は 300 万円未満で 70.5%と高くなっている。一方、300～500 万円未満では 52.2%と低くなっている。

結婚前までの身近な状況 結婚している周りの友人をみると、幸せそうだと思っていた  
(理想と予定の子どもの数別)



※母数が20未満の項目は参考値とする。

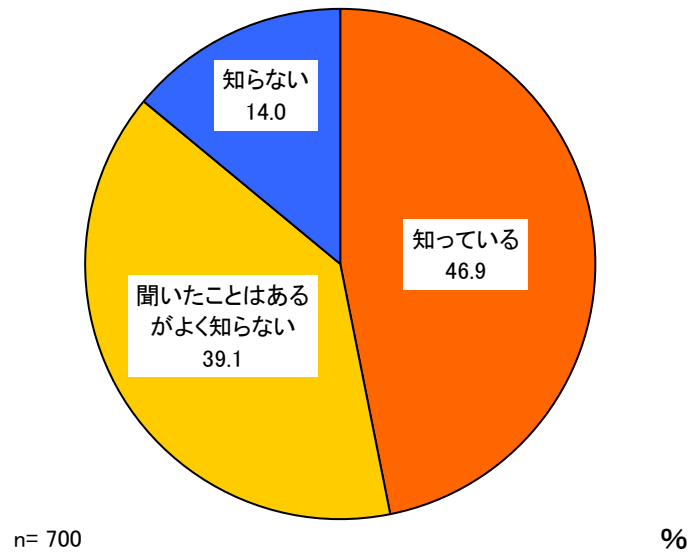
**【理想と予定の子どもの数別】**

理想と予定の子どもの数別で見ると、「あてはまる(計)」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で66.2%と高くなっている。

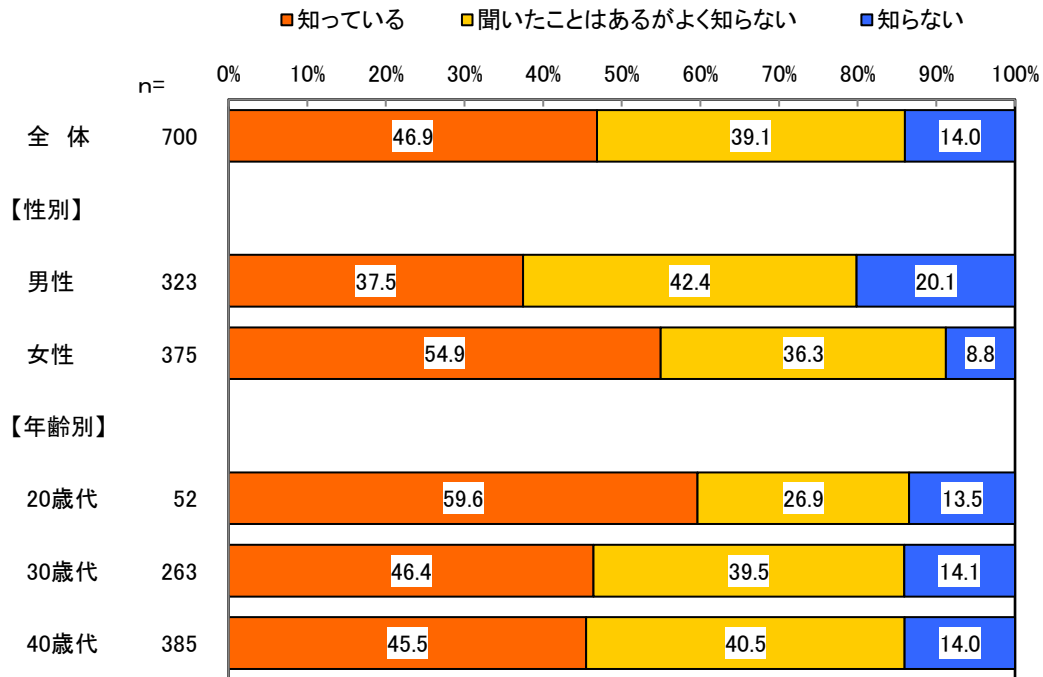
問 24 里親制度（※）を知っていますか。

※様々な事情により家庭で生活することができないお子さんに、温かい愛情と正しい理解をもった家庭環境の下での養育を提供する制度

里親制度の認知度は、「知っている」が 46.9%、「聞いたことはあるがよく知らない」が 39.1%、「知らない」が 14.0%となっている。



### 里親制度の認知度（性別、年齢別）



#### 【性別】

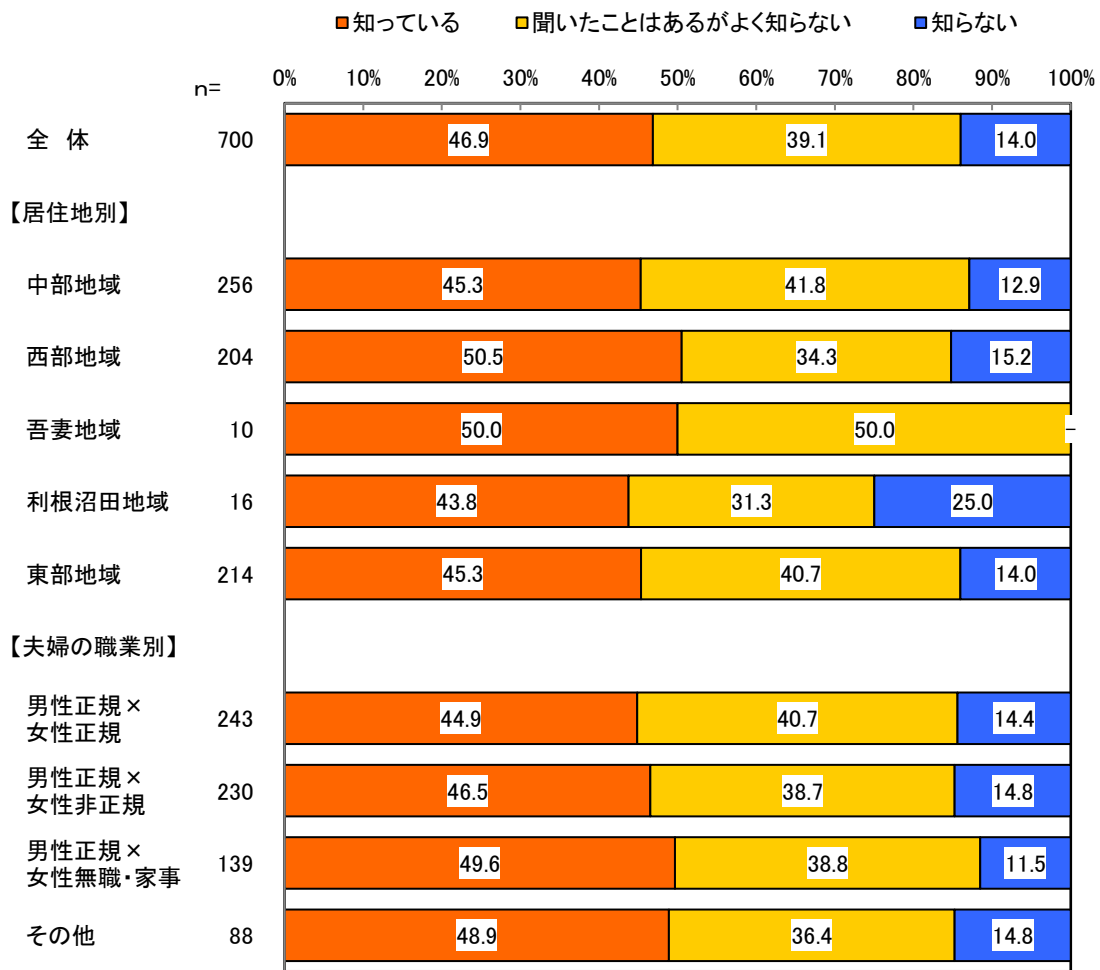
性別で見ると、女性は男性よりも「知っている」が17.4ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「聞いたことはあるがよく知らない」が6.1ポイント、「知らない」が11.3ポイント高くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別で見ると、「知っている」は20歳代で59.6%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。



### 里親制度の認知度（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

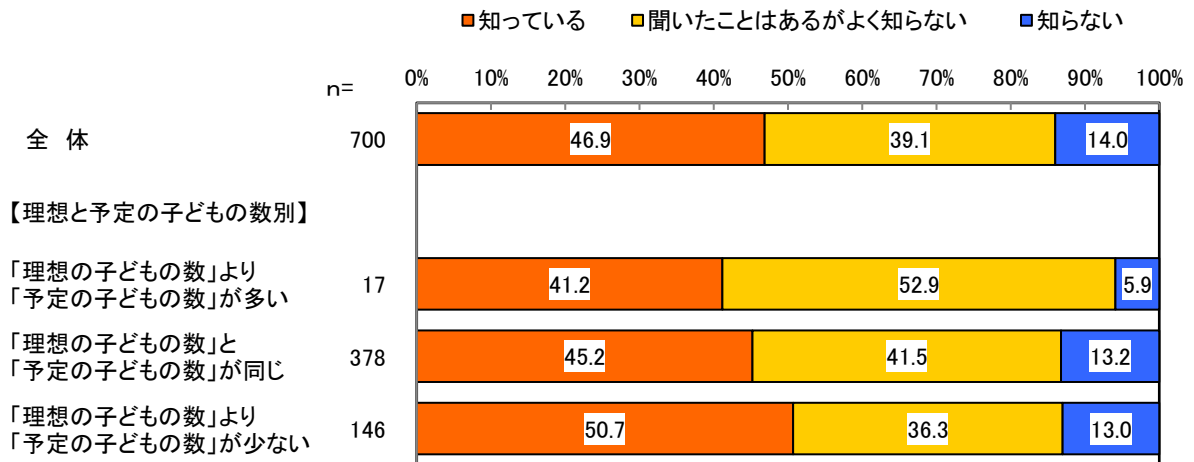
#### 【居住地別】

居住地別でみると、「知っている」は西部地域で50.5%と高くなっている。一方、「聞いたことはあるがよく知らない」は中部地域で41.8%、東部地域で40.7%と高くなっている。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、職業による大きな差はみられない。

### 里親制度の認知度（理想と予定の子どもの数別）



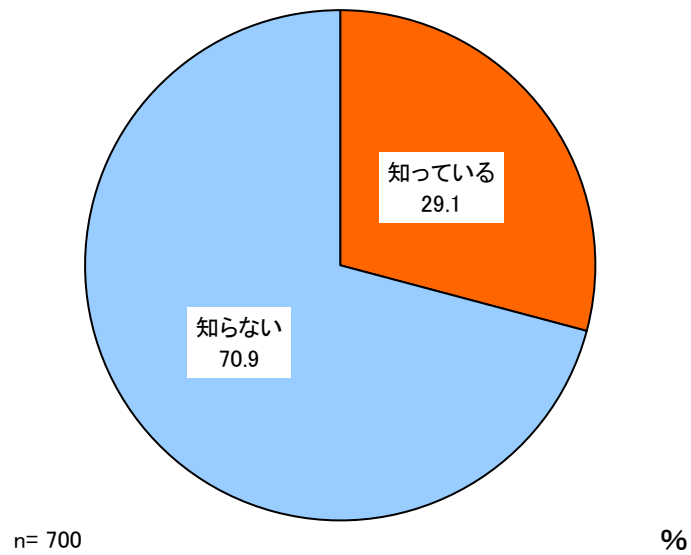
※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

#### 【理想と予定の子どもの数別】

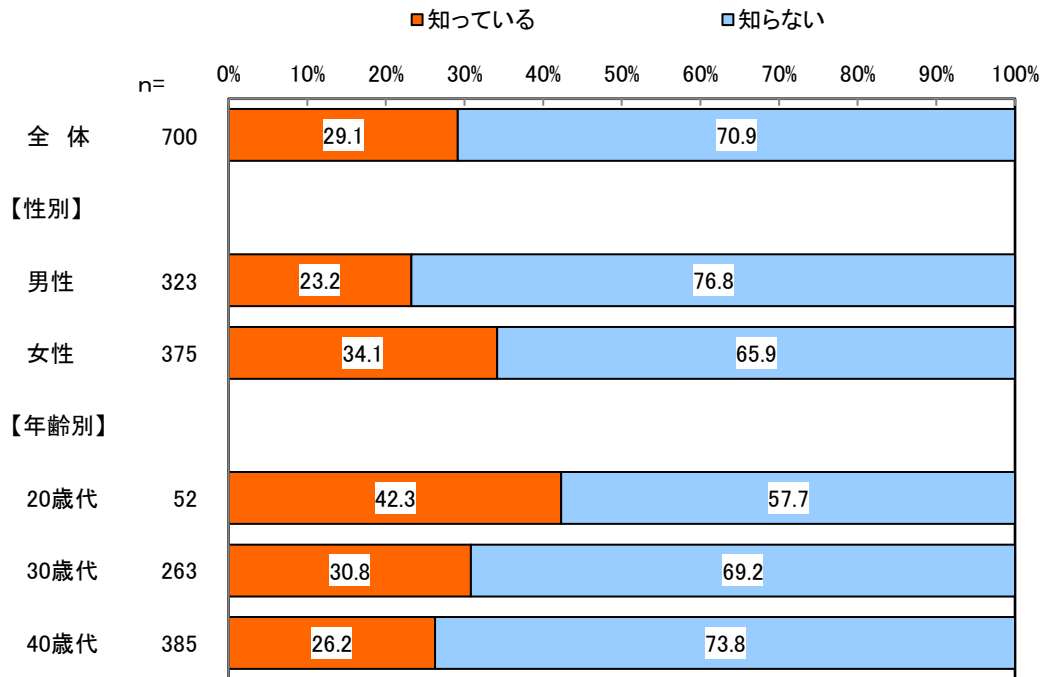
理想と予定の子どもの数別でみると、「知っている」は“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”で 50.7%と高くなっている。一方、“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”は「聞いたことはあるがよく知らない」が 41.5%と高くなっている。

問 25 里親制度では、養育期間について、養育する子どもの年齢や人数に応じて、里親手当、養育費（生活費、学校教育費、医療費など）が、里親に対して支給されること知っていますか。

里親制度では養育する子どもの年齢や人数に応じて、里親手当、養育費が支給されることを知っているかについては、「知っている」が29.1%、「知らない」が70.9%となっている。



里親制度で手当や養育費が支給されることの認知度（性別、年齢別）



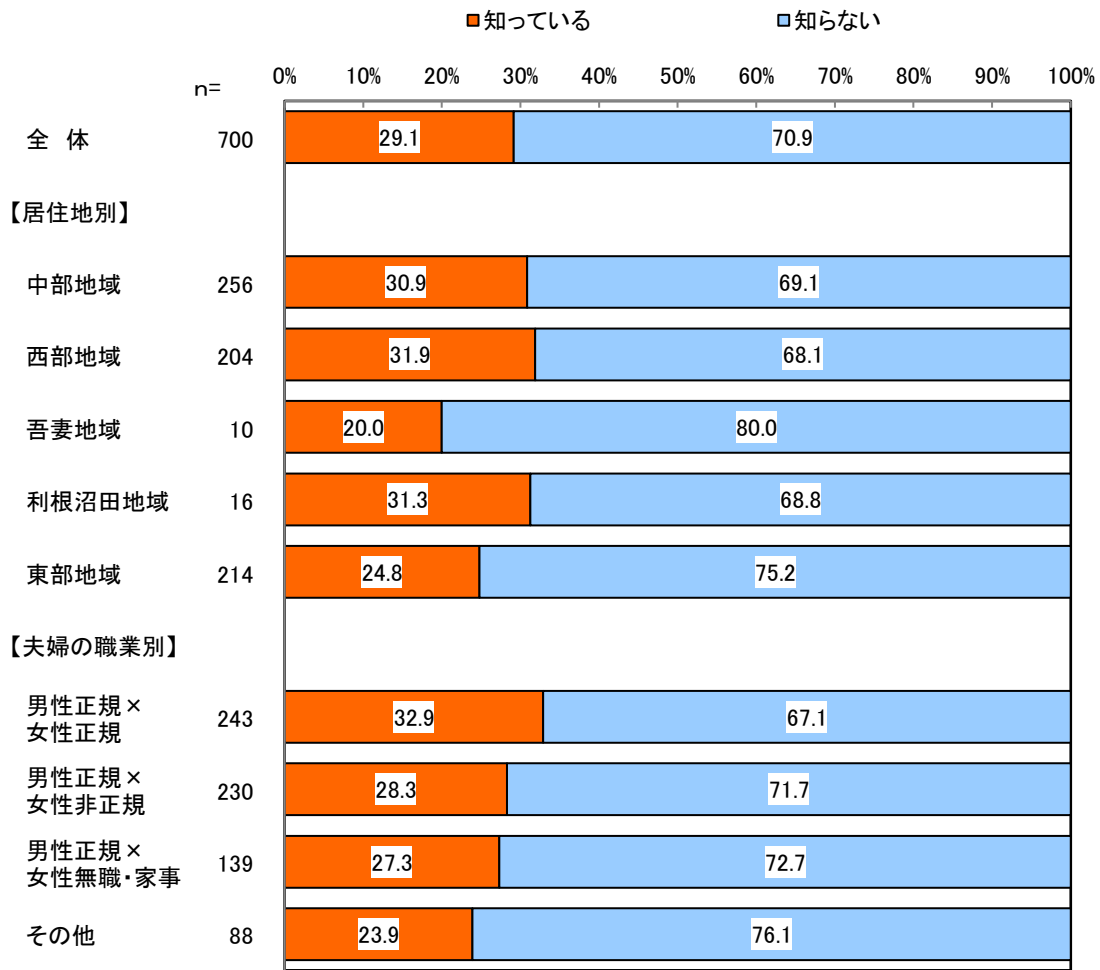
【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「知っている」が10.9ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「知っている」は20歳代で42.3%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。一方、40歳代では26.2%と低くなっている。

里親制度で手当や養育費が支給されることの認知度（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

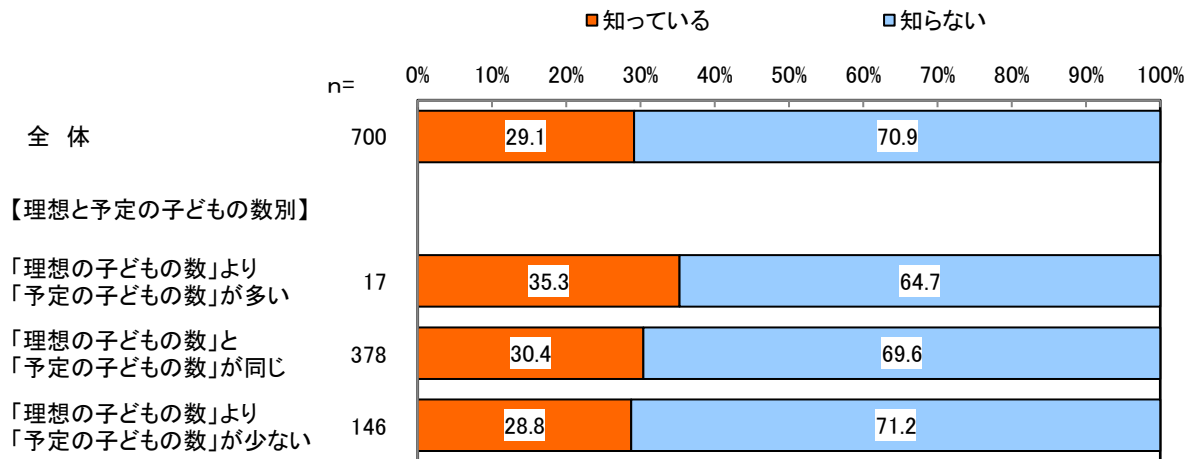
【居住地別】

居住地別でみると、「知っている」は西部地域で31.9%、中部地域で30.9%と高くなっている。一方、東部地域では24.8%と低くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「知っている」は男性正規×女性正規で32.9%と高くなっている。

里親制度で手当や養育費が支給されることの認知度（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

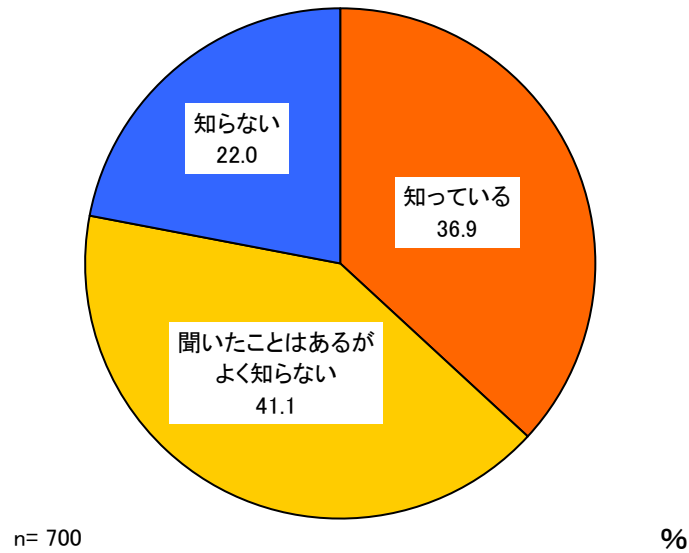
【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別でみると、大きな差はみられない。

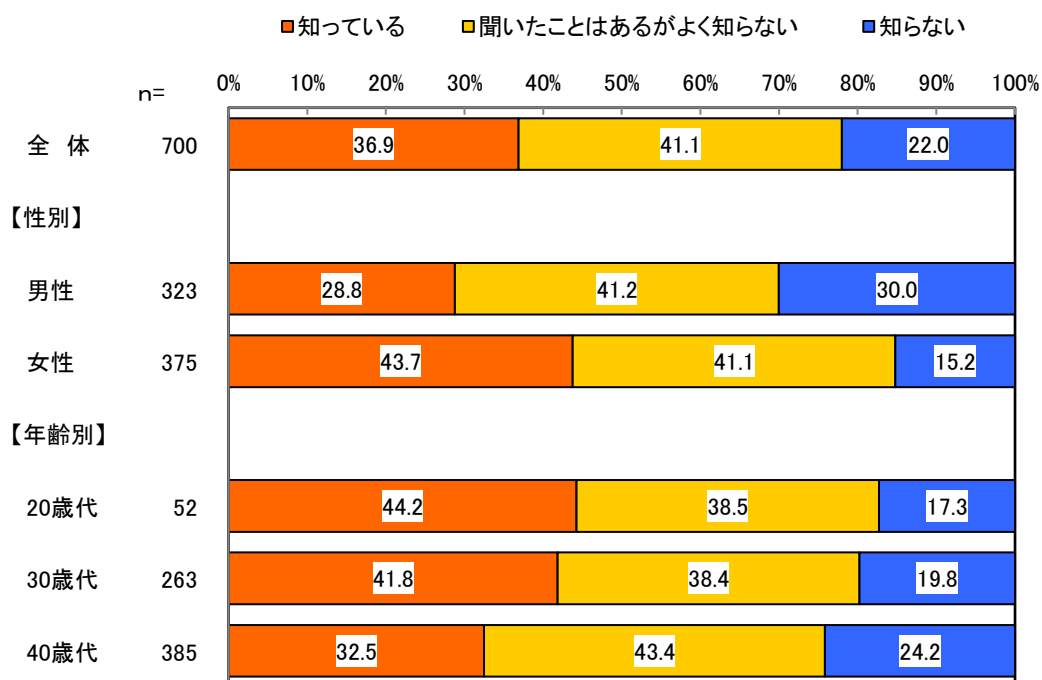
問 26-1 特別養子縁組制度（※）を知っていますか。

※子どもの福祉の増進を図るために、養子となるお子さんの実親との法的な親子関係を解消し、  
実の子として、新たな親子関係を結ぶ制度

特別養子縁組制度の認知度は、「聞いたことはあるがよく知らない」が41.1%、「知っている」が  
36.9%、「知らない」が22.0%となっている。



### 特別養子縁組制度の認知度（性別、年齢別）



#### 【性別】

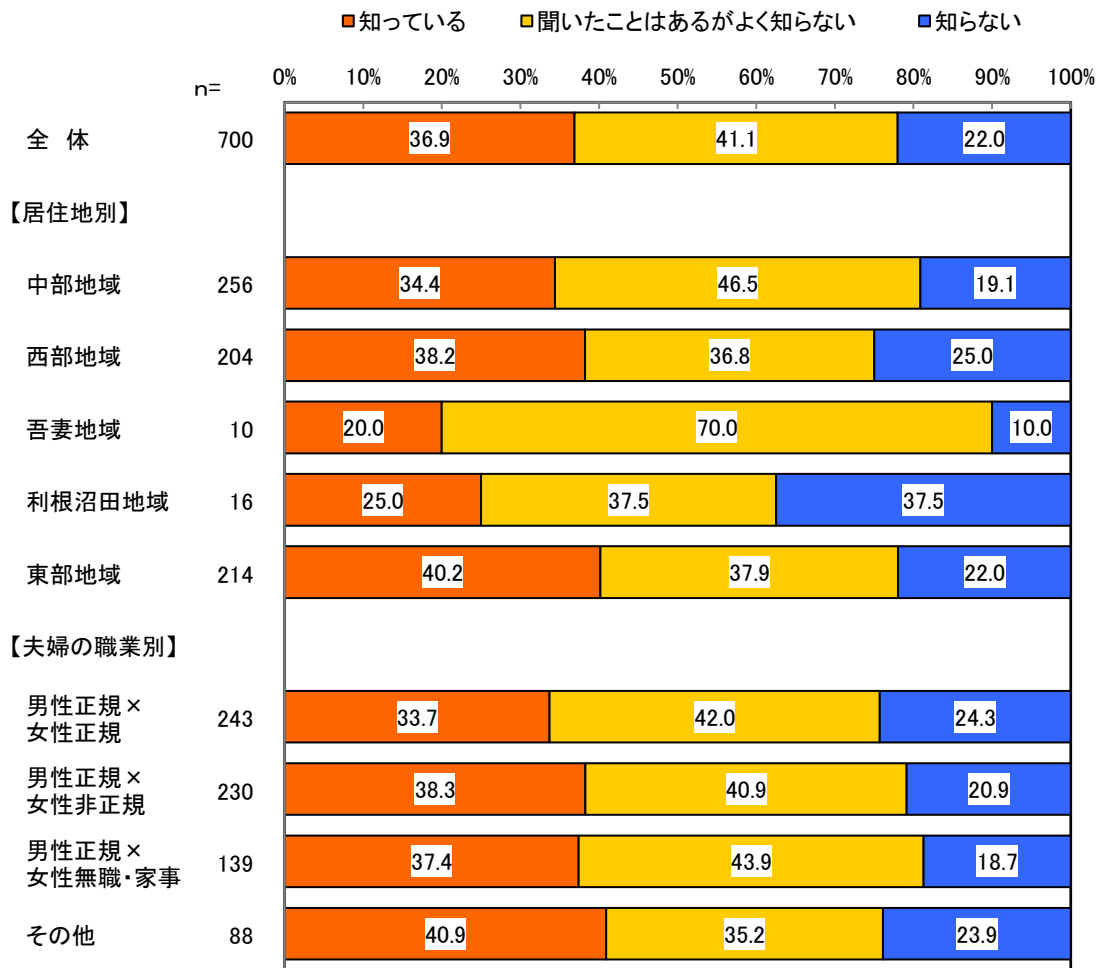
性別でみると、女性は男性よりも「知っている」が14.9ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「知らない」が14.8ポイント高くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別でみると、「知っている」は20歳代で44.2%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。一方、40歳代は「聞いたことはあるがよく知らない」が43.4%、「知らない」が24.2%と高くなっている。



特別養子縁組制度の認知度（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

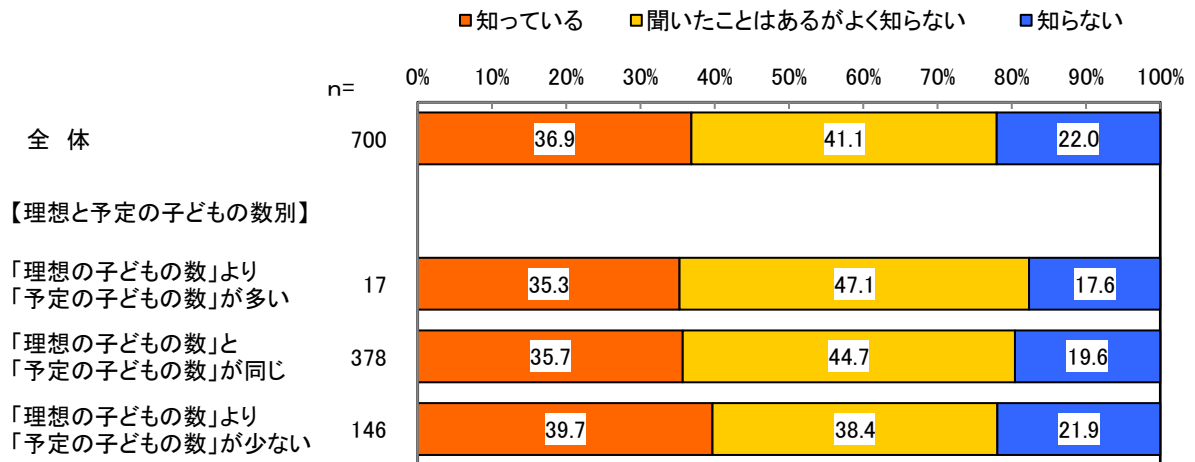
【居住地別】

居住地別でみると、「知っている」は東部地域で40.2%と高くなっている。一方、「聞いたことはあるがよく知らない」は中部地域で46.5%、「知らない」は西部地域で25.0%と高くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、職業による大きな差はみられない。

### 特別養子縁組制度の認知度（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

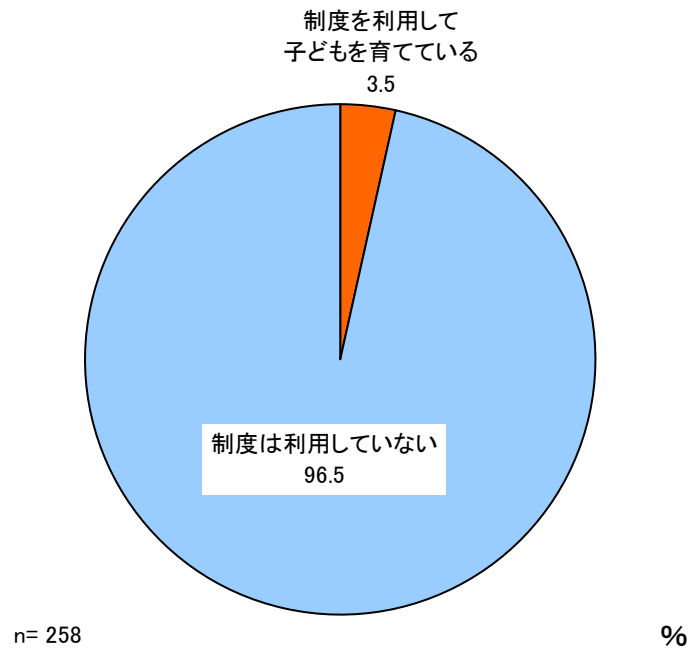
#### 【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別でみると、「聞いたことはあるがよく知らない」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で 44.7%と高くなっている。

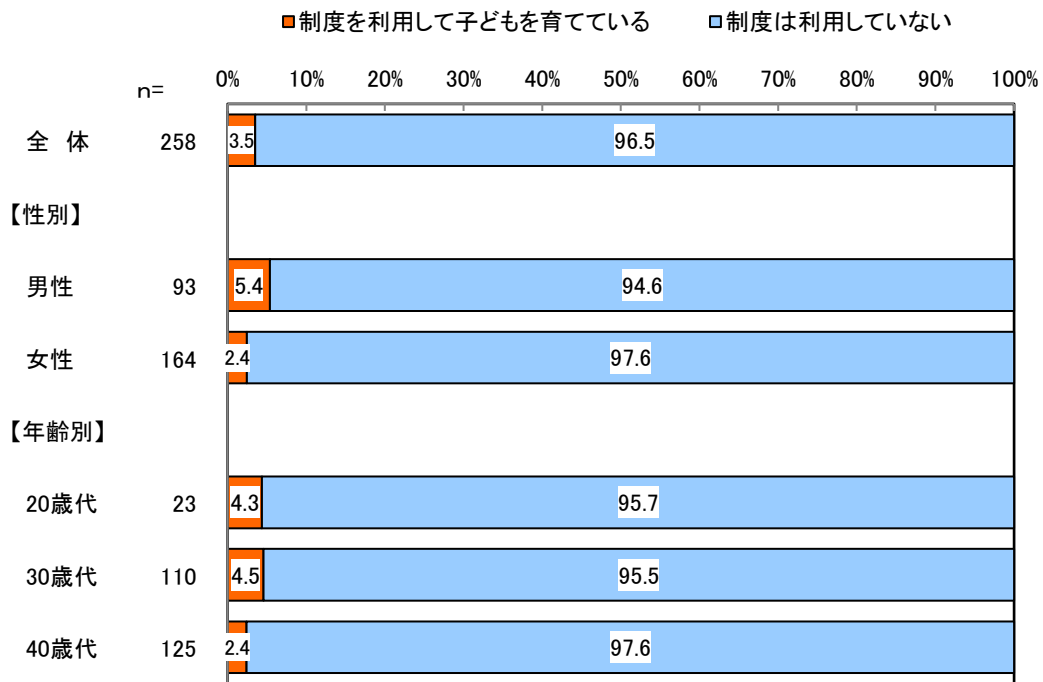
【問 26-1 で「知っている」を選択した方のみにお聞きします。】

問 26-2 特別養子縁組制度を利用したことがありますか。

特別養子縁組制度の利用経験は、「制度は利用していない」が 96.5%、「制度を利用して子どもを育てている」が 3.5%となっている。



### 特別養子縁組制度の利用経験（性別、年齢別）



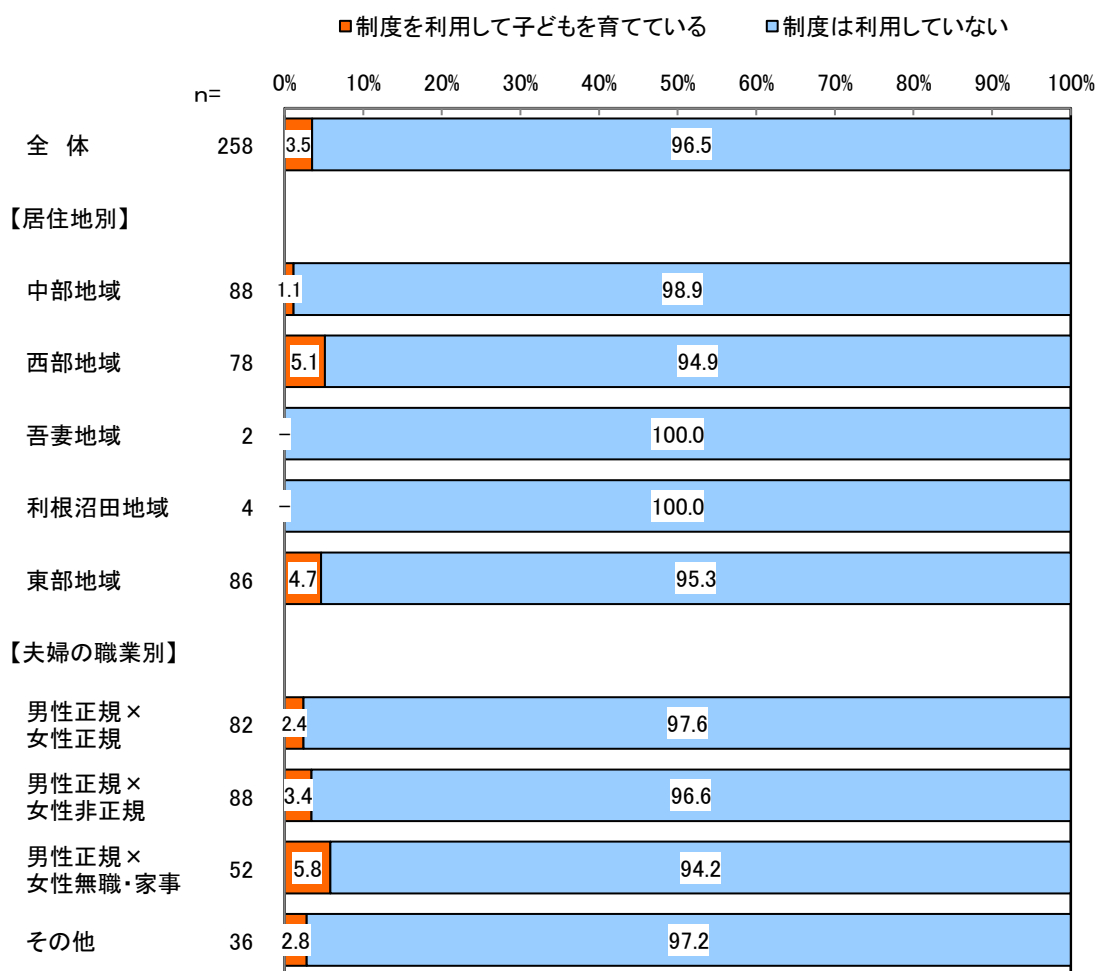
#### 【性別】

性別で見ると、「制度を利用して子どもを育てている」は男性で5.4%とやや高くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別で見ると、「制度を利用して子どもを育てている」は30歳代で4.5%とやや高くなっている。

### 特別養子縁組制度の利用経験（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

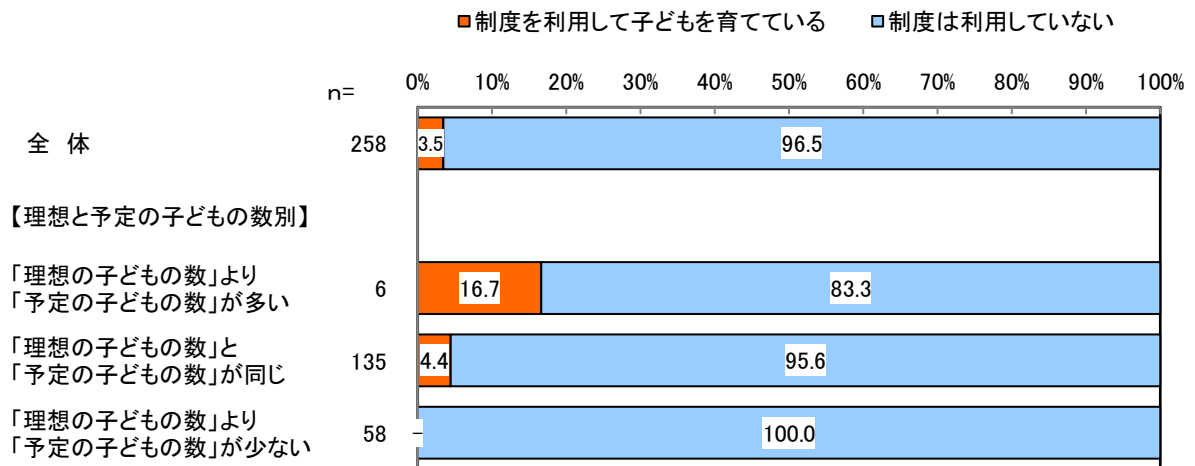
#### 【居住地別】

居住地別でみると、「制度を利用して子どもを育てている」は西部地域で5.1%とやや高くなっている。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「制度を利用して子どもを育てている」は男性正規×女性無職・家事で5.8%とやや高くなっている。

### 特別養子縁組制度の利用経験（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

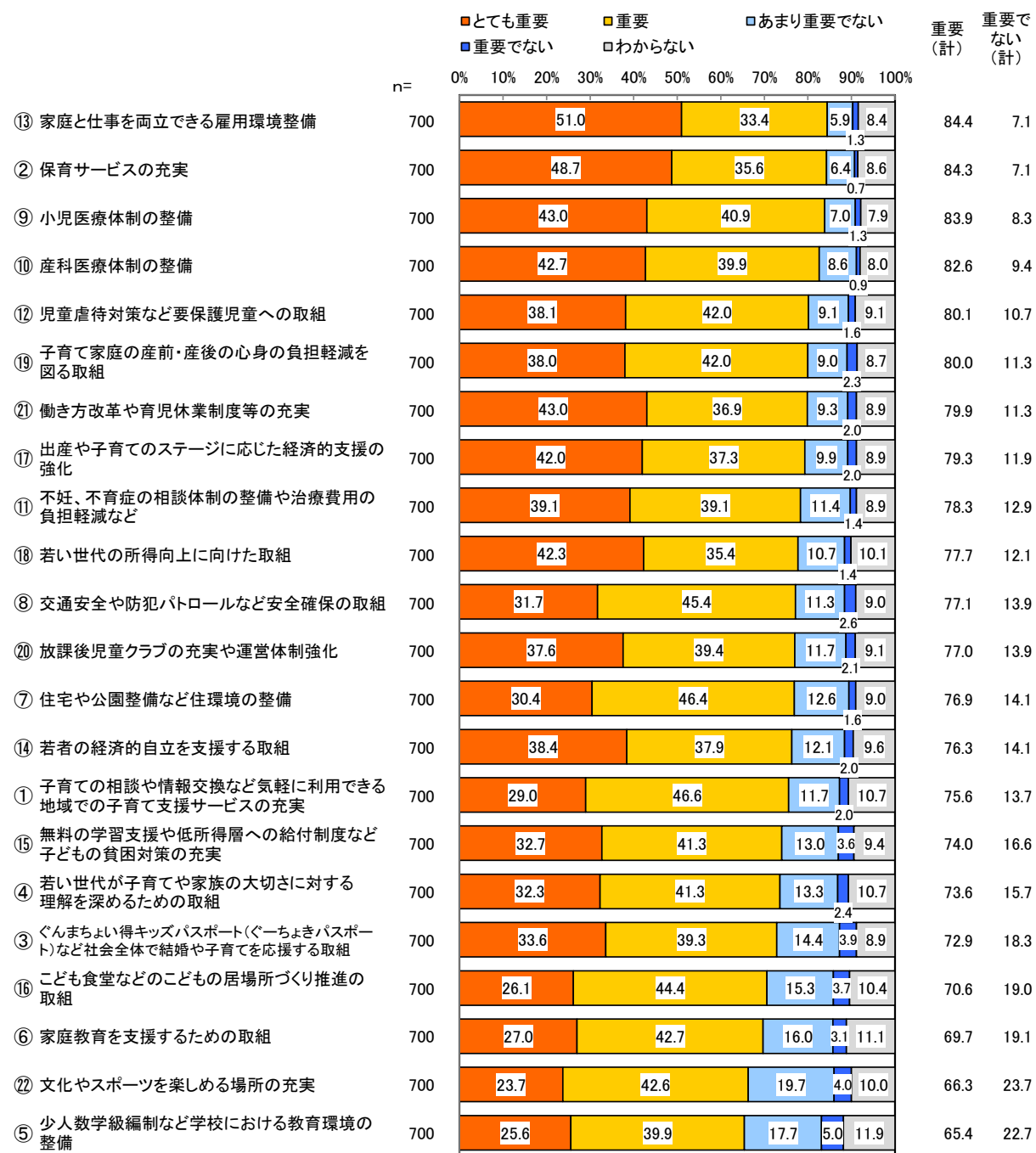
#### 【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別で見ると、「制度を利用して子どもを育てている」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で 4.4%となっている。

## 7 少子化対策について

問 27 次の各施策について、総合的にみて少子化対策としての重要度はどの程度だと思いますか。  
(回答はそれぞれ1つ)

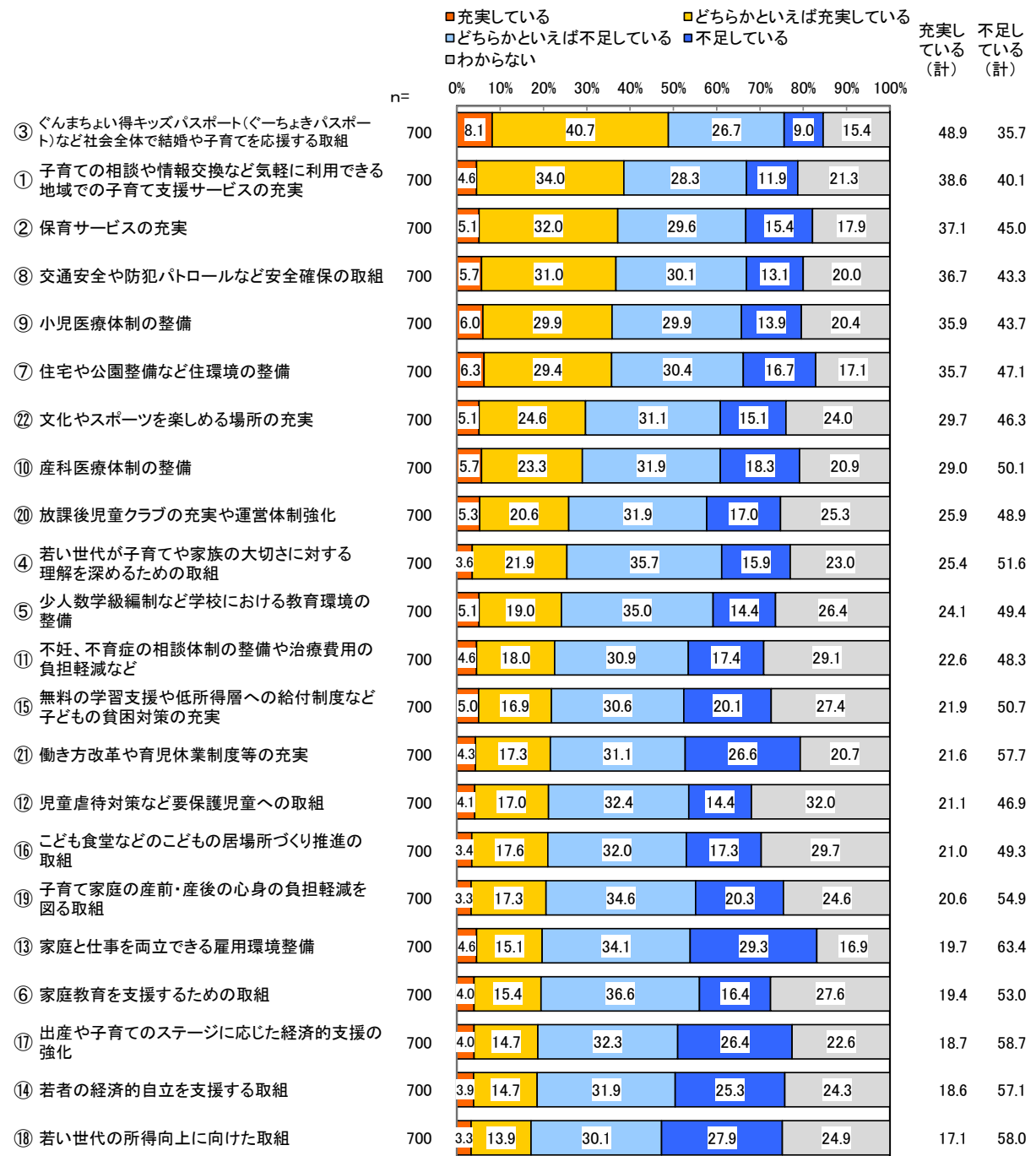
少子化対策の重要度については、「重要（計）」は、“⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備”が84.4%で最も高く、次いで“②保育サービスの充実”が84.3%、“⑨小児医療体制の整備”が83.9%となっている。



※「とても重要」と「重要」の計を「重要（計）」、「あまり重要でない」と「重要でない」の計を「重要でない（計）」とした。

問 28 現状の少子化対策の各施策の取組状況についてどう思いますか。(回答はそれぞれ1つ)

少子化対策の取組状況については、「充実している(計)」は“③ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちょきパスポート)など社会全体で結婚や子育てを応援する取組”が48.9%で最も高く、次いで“①子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援サービスの充実”が38.6%、“②保育サービスの充実”が37.1%となっている。一方、「不足している(計)」は“⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備”が63.4%で最も高く、次いで“⑰出産や子育てのステージに応じた経済的支援の強化”が58.7%、“⑱若い世代の所得向上に向けた取組”が58.0%となっている。



※「充実している」と「どちらかといえば充実している」の計を「充実している(計)」、「どちらかといえば不足している」と「不足している」の計を「不足している(計)」とした。



問 27 及び問 28 の 5 段階回答を指標化（※）した結果、重要度は「⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備」が 3.27 点で最も高く、次いで「②保育サービスの充実」が 3.25 点、「⑨小児医療体制の整備」が 3.17 点となっている。

充実度は「③ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）など社会全体で結婚や子育てを応援する取組」が 2.12 点で最も高く、次いで「①子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援」が 1.91 点、「⑧交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組」が 1.86 点となっている。一方、「⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備」（1.32 点）、「⑱若い世代の所得向上に向けた取組」（1.35 点）、「⑰出産や子育てのステージに応じた経済的支援の強化」（1.38 点）は低くなっている。

※指標化の方法

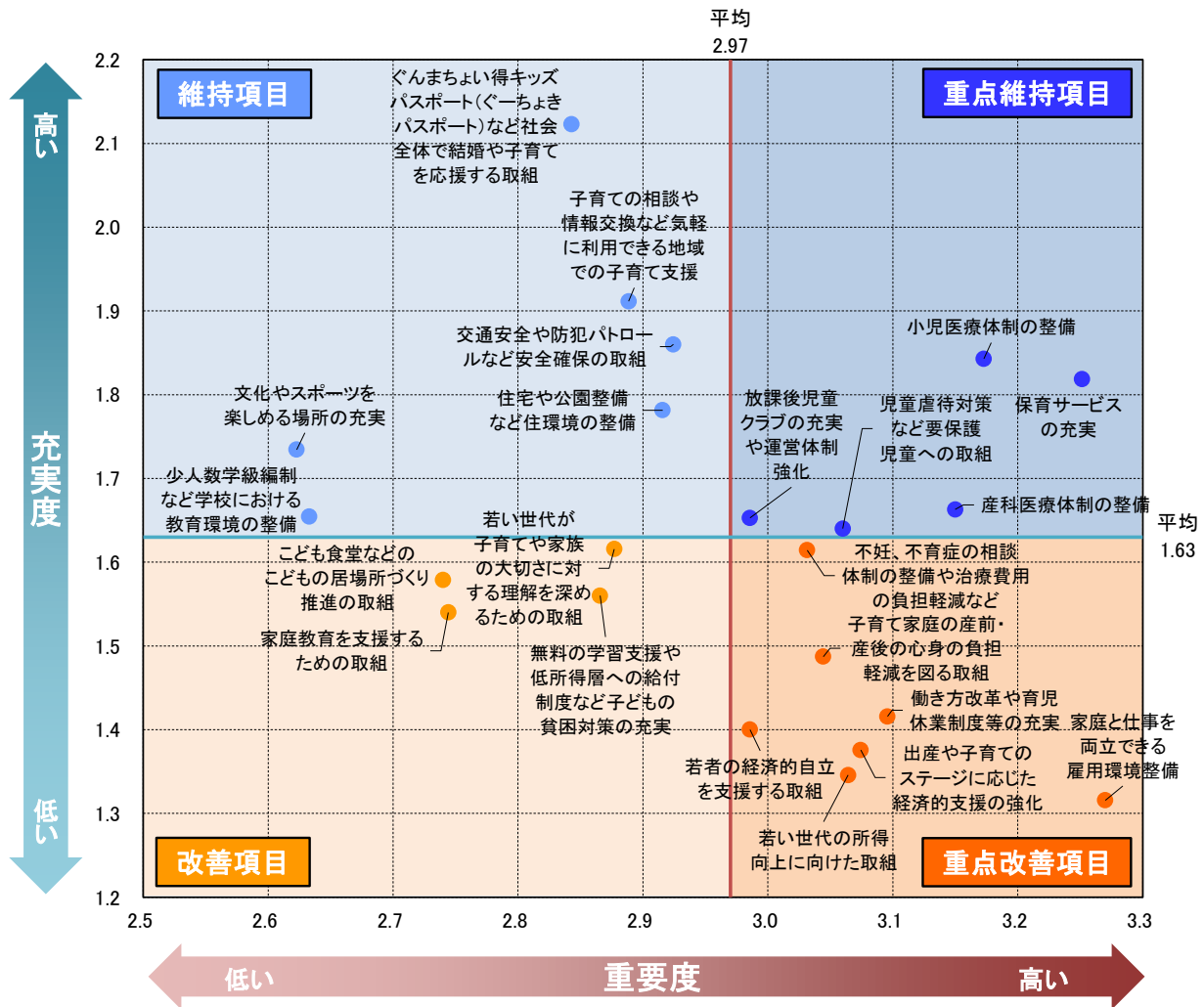
各項目の回答結果を下表の通りに得点化し、無回答を母数から除き、加重平均により指標化した。得点が高いほど、より重要に思っている／充実していることを示している。

	4点	3点	2点	1点	0点
重要度 (問 27)	とても重要	重要	わからない	あまり重要でない	重要でない
充実度 (問 28)	充実している	どちらかといえば充実している	わからない	どちらかといえば不足している	不足している

重要度・充実度の加重平均

	重要度	充実度
⑬ 家庭と仕事を両立できる雇用環境整備	3.27	1.32
② 保育サービスの充実	3.25	1.82
⑨ 小児医療体制の整備	3.17	1.84
⑩ 産科医療体制の整備	3.15	1.66
⑰ 働き方改革や育児休業制度等の充実	3.10	1.42
⑱ 若い世代の所得向上に向けた取組	3.07	1.38
⑲ 児童虐待対策など要保護児童への取組	3.06	1.64
⑲ 子育て家庭の産前・産後の心身の負担軽減を図る取組	3.04	1.49
⑪ 不妊、不育症の相談体制の整備や治療費用の負担軽減など	3.03	1.61
⑭ 若者の経済的自立を支援する取組	2.99	1.40
⑳ 放課後児童クラブの充実や運営体制強化	2.99	1.65
⑧ 交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組	2.92	1.86
⑦ 住宅や公園整備など住環境の整備	2.92	1.78
① 子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援	2.89	1.91
④ 若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組	2.88	1.62
⑮ 無料の学習支援や低所得層への給付制度など子どもの貧困対策の充実	2.87	1.56
③ ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちょきパスポート)など社会全体で結婚や子育てを応援する取組	2.84	2.12
⑥ 家庭教育を支援するための取組	2.74	1.54
⑯ こども食堂などのこどもの居場所づくり推進の取組	2.74	1.58
⑤ 少人数学級編制など学校における教育環境の整備	2.63	1.65
⑳ 文化やスポーツを楽しめる場所の充実	2.62	1.73

重要度を横軸、充実度を縦軸として設定し、プロットした結果が、下図の通りである。



重点維持項目	重要度が高く、充実度も高いことから、今後もより重点的に維持（充実）すべき項目
維持項目	重要度が低いが、充実度が高いことから、現状を維持すべき項目
重点改善項目	重要度が高く、充実度が低いことから、重点的に改善すべき項目
改善項目	重要度が低く、充実度も低いことから、優先度は低い改善すべき項目

重要度及び充実度の平均値で区切った4つのグループに分類すると、重要度、充実度がともに高い“重点維持項目”は、「⑨小児医療体制の整備」、「⑩保育サービスの充実」など5項目となっている。また、重要度が低いが充実度が高い“維持項目”は、「③ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）など社会全体で結婚や子育てを応援する取組」など6項目が該当している。

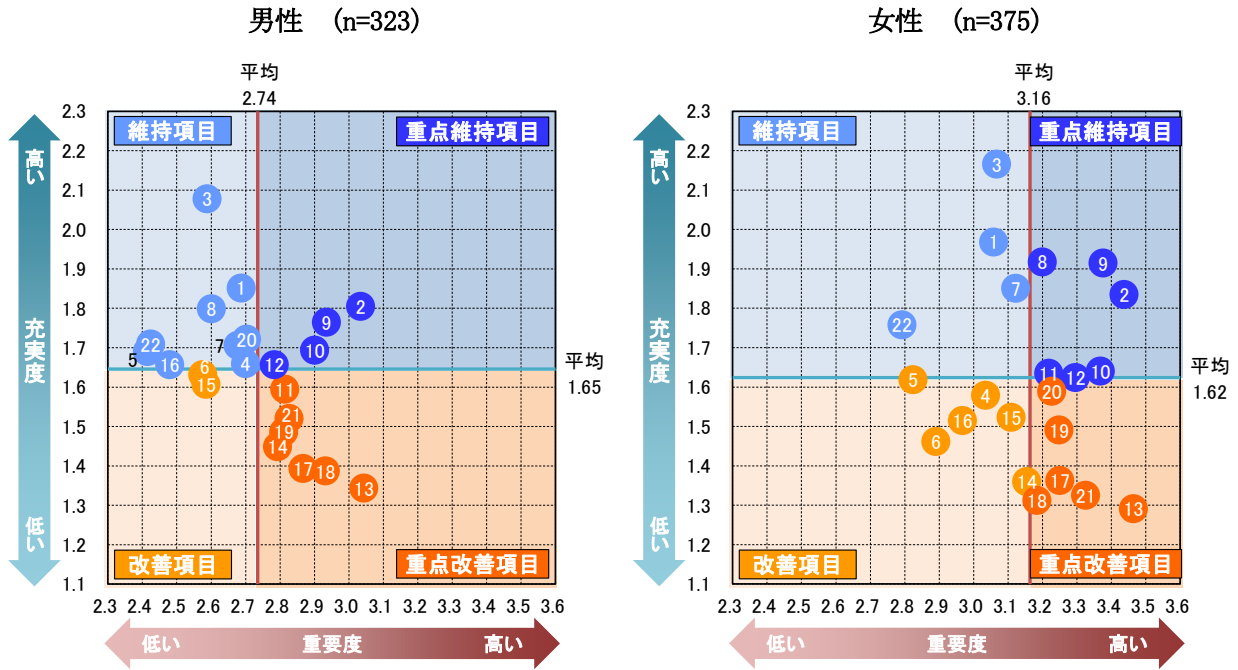
一方、重要度が高く充実度が低い“重点改善項目”は、「⑬家庭と仕事を両立できる雇用環境整備」、「⑱若い世代の所得向上に向けた取組」、「⑰出産や子育てのステージに応じた経済的支援の強化」など7項目が該当している。また、重要度も充実度も低い“改善項目”は、「⑥家庭教育を支援するための取組」、「⑮無料の学習支援や低所得層への給付制度など子どもの貧困対策の充実」など4項目となっている。

【性別】

性別でみると、全体的に女性が男性よりも重要度が高くなっている。全体で“重点維持項目”に属している項目をみると、「⑧交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組」は女性は“重点維持項目”だが男性は“維持項目”となっている。

一方、全体で“重点改善項目”に属している項目をみると、「⑪不妊、不育症の相談体制の整備や治療費用の負担軽減など」は男性は“重点改善項目”だが女性は“重点維持項目”となっている。

少子化対策の重要度・充実度（性別）



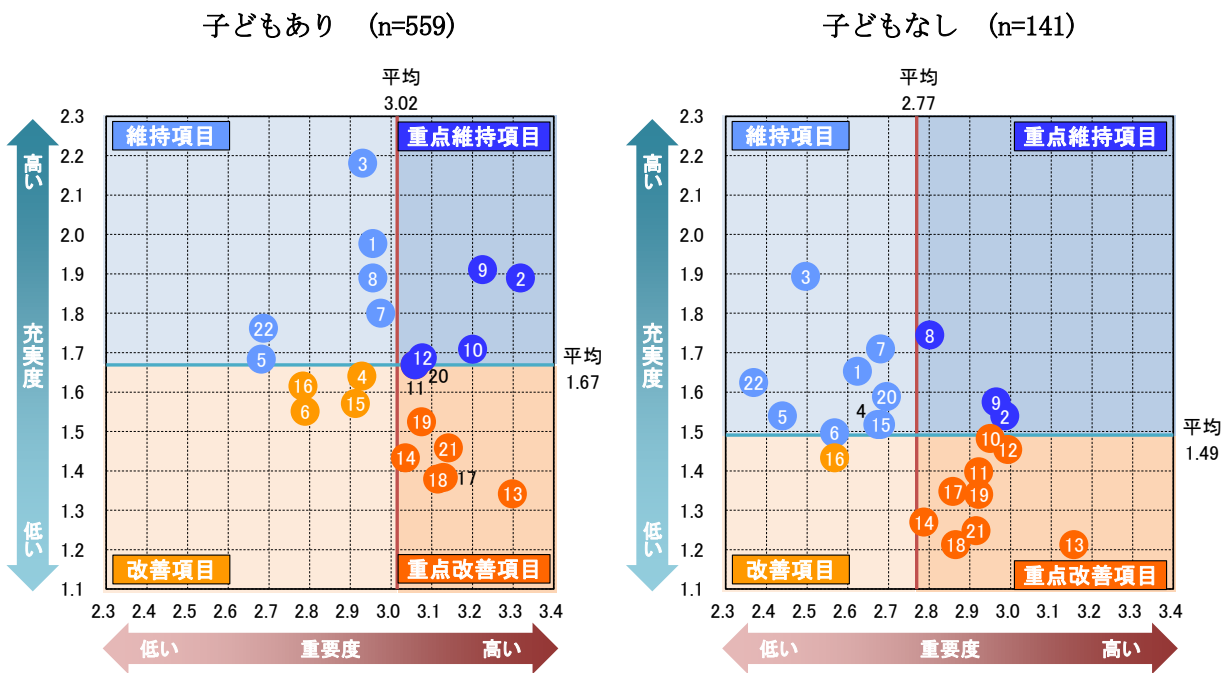
番号	項目名	番号	項目名
①	子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援	⑫	児童虐待対策など要保護児童への取組
②	保育サービスの充実	⑬	家庭と仕事を両立できる雇用環境整備
③	ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)など社会全体で結婚や子育てを応援する取組	⑭	若者の経済的自立を支援する取組
④	若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組	⑮	無料の学習支援や低所得層への給付制度など子どもの貧困対策の充実
⑤	少人数学級編制など学校における教育環境の整備	⑯	こども食堂などのこどもの居場所づくり推進の取組
⑥	家庭教育を支援するための取組	⑰	出産や子育てのステージに応じた経済的支援の強化
⑦	住宅や公園整備など住環境の整備	⑱	若い世代の所得向上に向けた取組
⑧	交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組	⑲	子育て家庭の産前・産後の心身の負担軽減を図る取組
⑨	小児医療体制の整備	⑳	放課後児童クラブの充実や運営体制強化
⑩	産科医療体制の整備	㉑	働き方改革や育児休業制度等の充実
⑪	不妊、不育症の相談体制の整備や治療費用の負担軽減など	㉒	文化やスポーツを楽しめる場所の充実

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、全体的に重要度・充実度ともに子どもありが子どもなしよりも高くなっている。全体で“重点維持項目”に属している項目をみると、「㉓放課後児童クラブの充実や運営体制強化」は子どもありは“重点維持項目”だが子どもなしは“維持項目”となっている。逆に、「㉑交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組」は子どもなしは“重点維持項目”だが子どもありは“維持項目”となっている。

また、子どもの有無で“重点維持項目”と“重点改善項目”に分かれている項目はあるものの、いずれも充実度の平均値に近いいため大きな差はみられない。

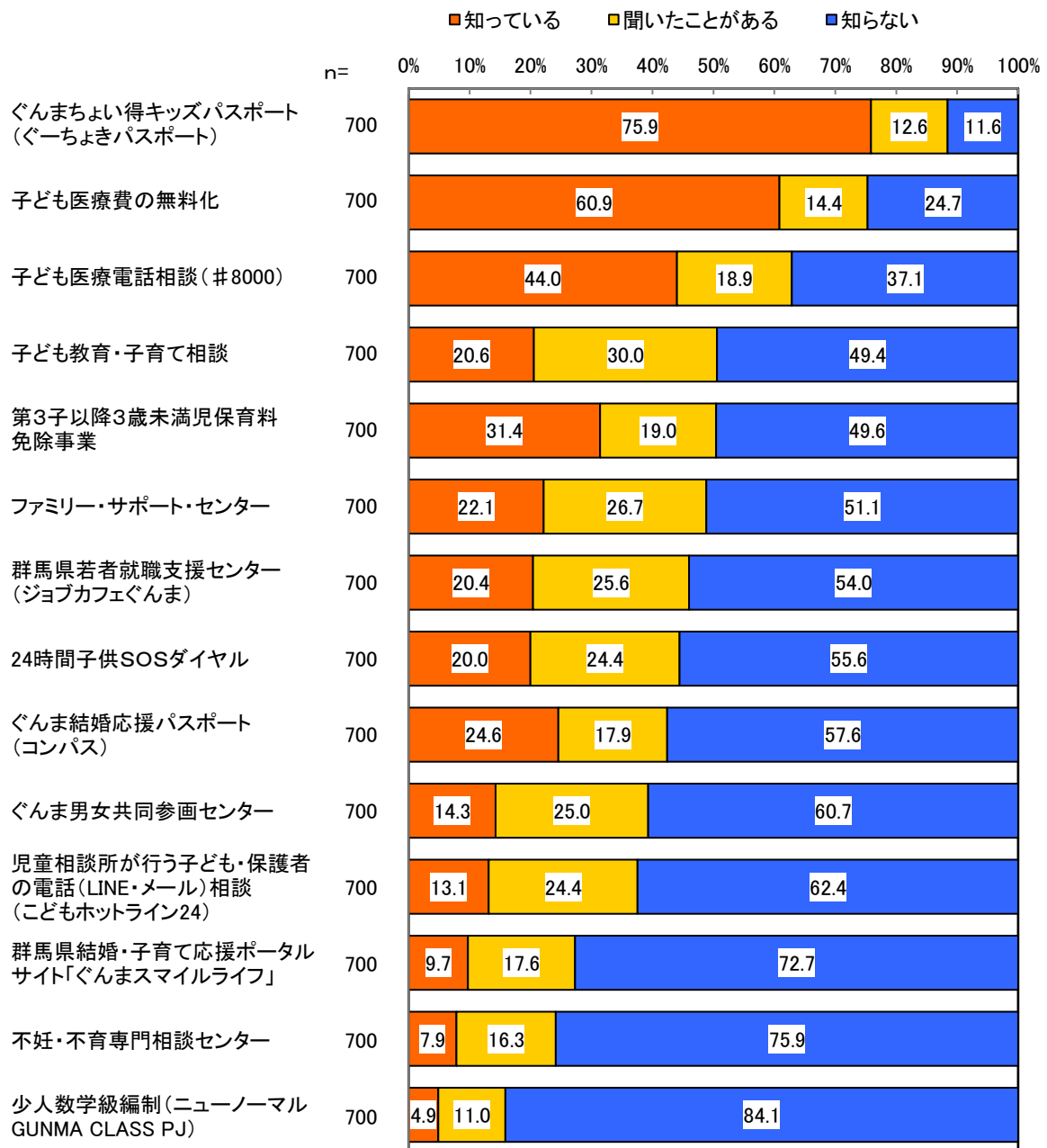
少子化対策の重要度・充実度（子どもの有無別）



番号	項目名	番号	項目名
①	子育ての相談や情報交換など気軽に利用できる地域での子育て支援	⑫	児童虐待対策など要保護児童への取組
②	保育サービスの充実	⑬	家庭と仕事を両立できる雇用環境整備
③	ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)など社会全体で結婚や子育てを応援する取組	⑭	若者の経済的自立を支援する取組
④	若い世代が子育てや家族の大切さに対する理解を深めるための取組	⑮	無料の学習支援や低所得層への給付制度など子どもの貧困対策の充実
⑤	少人数学級編制など学校における教育環境の整備	⑯	こども食堂などのこどもの居場所づくり推進の取組
⑥	家庭教育を支援するための取組	⑰	出産や子育てのステージに応じた経済的支援の強化
⑦	住宅や公園整備など住環境の整備	⑱	若い世代の所得向上に向けた取組
⑧	交通安全や防犯パトロールなど安全確保の取組	⑲	子育て家庭の産前・産後の心身の負担軽減を図る取組
⑨	小児医療体制の整備	㉑	放課後児童クラブの充実や運営体制強化
⑩	産科医療体制の整備	㉒	働き方改革や育児休業制度等の充実
⑪	不妊、不育症の相談体制の整備や治療費用の負担軽減など	㉓	文化やスポーツを楽しめる場所の充実

問29 次の少子化対策関連の制度や事業について、あなたはご存知でしたか。(回答はそれぞれ1つ)

少子化対策関連の制度や事業の認知度については、「知っている」は“ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）”が75.9%で最も高く、次いで“子ども医療費の無料化”が60.9%、“子ども医療電話相談（＃8000）”が44.0%となっている。一方、「知らない」は“少人数学級編制（ニューノーマル GUNMA CLASS PJ）”が84.1%で最も高く、次いで“不妊・不育専門相談センター”が75.9%、“群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」”が72.7%となっている。



少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合－性別、年齢別）

(%)

	n	ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)	子ども医療費の無料化	子ども医療電話相談(#8000)	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	ぐんま結婚応援パスポート(コンパス)	ファミリー・サポート・センター	子ども教育・子育て相談
全体	700	75.9	60.9	44.0	31.4	24.6	22.1	20.6
【性別】								
男性	323	67.8	49.8	22.9	23.5	18.9	13.0	15.8
女性	375	82.7	70.1	62.1	38.4	29.6	29.9	24.5
【年齢別】								
20歳代	52	84.6	57.7	61.5	25.0	65.4	30.8	36.5
30歳代	263	77.6	67.3	55.1	40.7	31.9	27.8	19.8
40歳代	385	73.5	56.9	34.0	26.0	14.0	17.1	19.0

(%)

	n	群馬県若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)	24時間子供SOSダイヤル	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話(LINE・メール)相談(こどもホットライン24)	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	不妊・不育専門相談センター	少人数学級編制(ニューノーマル GUNMA CLASS PJ)
全体	700	20.4	20.0	14.3	13.1	9.7	7.9	4.9
【性別】								
男性	323	19.2	15.5	16.4	11.1	9.0	8.4	5.0
女性	375	21.6	24.0	12.5	14.9	10.4	7.5	4.8
【年齢別】								
20歳代	52	30.8	28.8	15.4	17.3	21.2	13.5	5.8
30歳代	263	23.6	19.0	16.0	12.2	11.0	8.7	3.0
40歳代	385	16.9	19.5	13.0	13.2	7.3	6.5	6.0

【性別】

「知っている」の割合を性別で見ると、多くの項目で女性が男性よりも高く、特に「子ども医療電話相談(#8000)」は39.2ポイント、「子ども医療費の無料化」は20.3ポイント、「ファミリー・サポート・センター」は16.9ポイント、「ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)」と「第3子以降3歳未満児保育料免除事業」はそれぞれ14.9ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)」は20歳代で84.6%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。「子ども医療電話相談(#8000)」、「ぐんま結婚応援パスポート(コンパス)」、「子ども教育・子育て相談」なども同様の傾向がみられる。「子ども医療費の無料化」は30歳代で67.3%と高く、「第3子以降3歳未満児保育料免除事業」も30歳代で40.7%と高くなっている。

少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合－子どもの数別）

(%)

	n	ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）	子ども医療費の無料化	子ども医療電話相談（＃8000）	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	ぐんま結婚応援パスポート（コンパス）	ファミリー・サポート・センター	子ども教育・子育て相談
全体	700	75.9	60.9	44.0	31.4	24.6	22.1	20.6
【子どもの数別】								
1人	216	80.6	69.4	56.5	30.1	33.8	23.6	18.5
2人	259	84.2	69.9	52.1	37.5	18.1	28.2	26.6
3人	74	82.4	77.0	48.6	55.4	16.2	25.7	25.7
4人以上	10	80.0	60.0	20.0	50.0	-	30.0	30.0
いない	141	49.6	22.7	9.2	8.5	28.4	6.4	9.2

(%)

	n	群馬県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）	24時間子供SOSダイヤル	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話（LINE・メール）相談（こどもホットライン24）	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	不妊・不育専門相談センター	少人数学級編制（ニューノーマル GUNMA CLASS PJ）
全体	700	20.4	20.0	14.3	13.1	9.7	7.9	4.9
【子どもの数別】								
1人	216	23.1	18.1	15.3	11.6	11.1	7.4	3.2
2人	259	19.7	25.9	14.7	17.4	10.4	8.9	5.8
3人	74	21.6	25.7	20.3	13.5	12.2	8.1	9.5
4人以上	10	20.0	30.0	20.0	20.0	-	10.0	20.0
いない	141	17.0	8.5	8.5	7.1	5.7	6.4	2.1

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【子どもの数別】

子どもの数別でみると、「ぐんまちよい得キッズパスポート（ぐーちよきパスポート）」は子どもがいる人では人数にかかわらず8割台となっている。「子ども医療費の無料化」は3人で77.0%と高く、「第3子以降3歳未満児保育料免除事業」も3人で55.4%と高くなっている。「子ども医療電話相談（＃8000）」は1人で56.5%、2人で52.1%と高くなっている。

少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合－居住地別）

(%)

	n	ぐんまちよい 得キッズパ スポート (ぐーちよき パスポート)	子ども医療 費の無料化	子ども医療 電話相談 (#8000)	第3子以降3 歳未満児保 育料免除事 業	ぐんま結婚 応援パス ポート(コン パス)	ファミリー・ サポート・セ ンター	子ども教育・ 子育て相談
全体	700	75.9	60.9	44.0	31.4	24.6	22.1	20.6
【居住地別】								
中部地域	256	77.3	65.6	48.4	34.4	25.0	21.9	20.7
西部地域	204	77.9	60.3	46.6	32.4	27.9	22.1	21.6
吾妻地域	10	70.0	60.0	40.0	20.0	10.0	-	20.0
利根沼田地域	16	62.5	37.5	25.0	6.3	25.0	6.3	18.8
東部地域	214	73.4	57.5	37.9	29.4	21.5	24.8	19.6

(%)

	n	群馬県若者 就職支援セ ンター(ジョ ブカフェぐん ま)	24時間子供 SOSダイヤ ル	ぐんま男女 共同参画セ ンター	児童相談所 が行う子ど も・保護者の 電話(LINE・ メール)相談 (こどもホッ トライン24)	群馬県結 婚・子育て 応援ポータ ルサイト「ぐ んまスマイ ルライフ」	不妊・不育 専門相談セ ンター	少人数学級 編制(ニュー ノーマル GUNMA CLASS PJ)
全体	700	20.4	20.0	14.3	13.1	9.7	7.9	4.9
【居住地別】								
中部地域	256	26.2	20.3	19.1	14.5	9.0	9.8	5.5
西部地域	204	17.6	21.1	12.7	14.7	12.7	6.9	4.9
吾妻地域	10	10.0	30.0	10.0	-	-	-	-
利根沼田地域	16	18.8	18.8	12.5	12.5	12.5	6.3	6.3
東部地域	214	16.8	18.2	10.3	10.7	7.9	7.0	4.2

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「子ども医療費の無料化」は中部地域で65.5%と高く、「群馬県若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)」も中部地域で26.2%と高くなっている。



少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合 - 夫婦の職業別）

(%)

	n	ぐんまちよい 得キッズパス ポート (ぐーちよき パスポート)	子ども医療 費の無料化	子ども医療 電話相談 (#8000)	第3子以降 3歳未満児 保育料免除 事業	ぐんま結婚 応援パス ポート(コン パス)	ファミリー・ サポート・セ ンター	子ども教育・ 子育て相談
全体	700	75.9	60.9	44.0	31.4	24.6	22.1	20.6
【夫婦の職業別】								
男性正規× 女性正規	243	74.9	57.6	39.5	29.6	30.0	23.5	18.5
男性正規× 女性非正規	230	79.6	63.0	47.4	35.2	18.7	23.0	22.2
男性正規× 女性無職・家事	139	73.4	64.7	48.9	30.9	23.0	20.1	23.0
その他	88	72.7	58.0	39.8	27.3	27.3	19.3	18.2

(%)

	n	群馬県若者 就職支援セ ンター(ジョ ブカフェぐ んま)	24時間子供 SOSダイヤ ル	ぐんま男女 共同参画セ ンター	児童相談所 が行う子ど も・保護者 の電話 (LINE・メー ル)相談(こ どもホットラ イン24)	群馬県結 婚・子育て 応援ポータ ルサイト「ぐ んまスマイ ルライフ」	不妊・不育 専門相談セ ンター	少人数学級 編制(ニュー ノーマル GUNMA CLASS PJ)
全体	700	20.4	20.0	14.3	13.1	9.7	7.9	4.9
【夫婦の職業別】								
男性正規× 女性正規	243	19.3	17.7	17.7	12.8	11.9	9.1	5.8
男性正規× 女性非正規	230	23.0	21.7	13.5	12.6	7.0	5.7	3.5
男性正規× 女性無職・家事	139	20.1	18.7	11.5	12.9	9.4	9.4	5.0
その他	88	17.0	23.9	11.4	15.9	11.4	8.0	5.7

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「ぐんま結婚応援パスポート（コンパス）」は男性正規×女性正規で30.0%と高くなっている。

少子化対策関連の制度や事業の認知度（「知っている」の割合－理想と予定の子どもの数別）

(%)

	n	ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)	子ども医療費の無料化	子ども医療電話相談(#8000)	第3子以降3歳未満児保育料免除事業	ぐんま結婚応援パスポート(コンパス)	ファミリー・サポート・センター	子ども教育・子育て相談
全体	700	75.9	60.9	44.0	31.4	24.6	22.1	20.6
【理想と予定の子どもの数別】								
「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が多い	17	76.5	47.1	17.6	47.1	17.6	23.5	11.8
「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ	378	81.2	69.3	52.4	35.7	22.2	25.1	25.7
「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない	146	84.9	69.2	48.6	32.9	24.0	23.3	17.8

(%)

	n	群馬県若者就職支援センター(ジョブカフェぐんま)	24時間子供SOSダイヤル	ぐんま男女共同参画センター	児童相談所が行う子ども・保護者の電話(LINE・メール)相談(こどもホットライン24)	群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」	不妊・不育専門相談センター	少人数学級編制(ニューノーマルGUNMA CLASS PJ)
全体	700	20.4	20.0	14.3	13.1	9.7	7.9	4.9
【理想と予定の子どもの数別】								
「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が多い	17	23.5	17.6	23.5	17.6	23.5	29.4	17.6
「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ	378	23.0	24.1	16.1	15.9	11.6	9.3	6.6
「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない	146	17.1	19.2	13.0	8.9	4.1	3.4	0.7

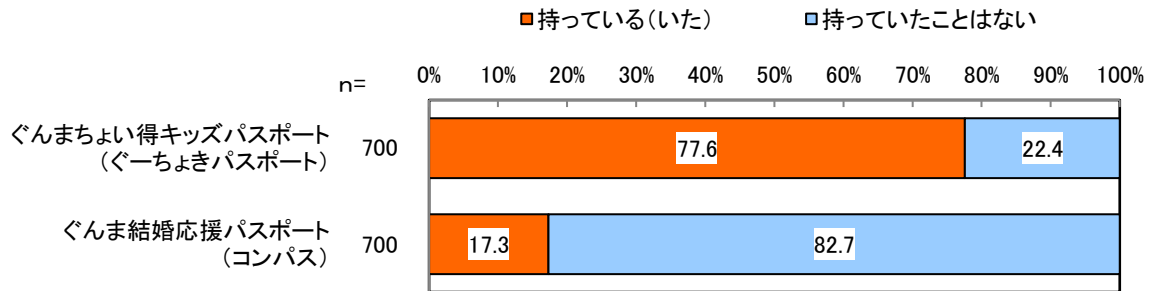
※母数が20未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

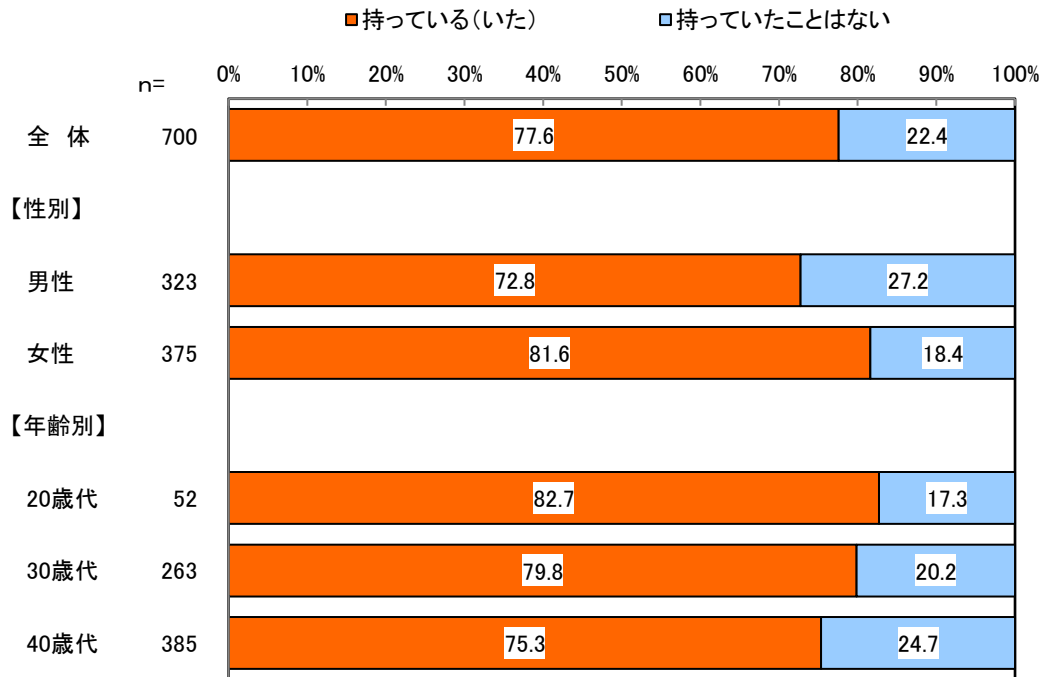
理想と予定の子どもの数別でみると、「ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちよきパスポート)」は“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”で84.9%と高くなっている。一方、「子ども医療電話相談(#8000)」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で52.4%と高くなっている。

問 30-1 ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）、ぐんま結婚応援パスポート（コンパス）を持っていますか（持っていたことがありますか）。（回答はそれぞれ1つ）

ぐーちょきパスポート及びコンパスの所持については、「持っている（いた）」は、“ぐんまちょい得キッズパスポート（ぐーちょきパスポート）”が77.6%、“ぐんま結婚応援パスポート（コンパス）”が17.3%となっている。



ぐーちよきパスポートの所持（性別、年齢別）



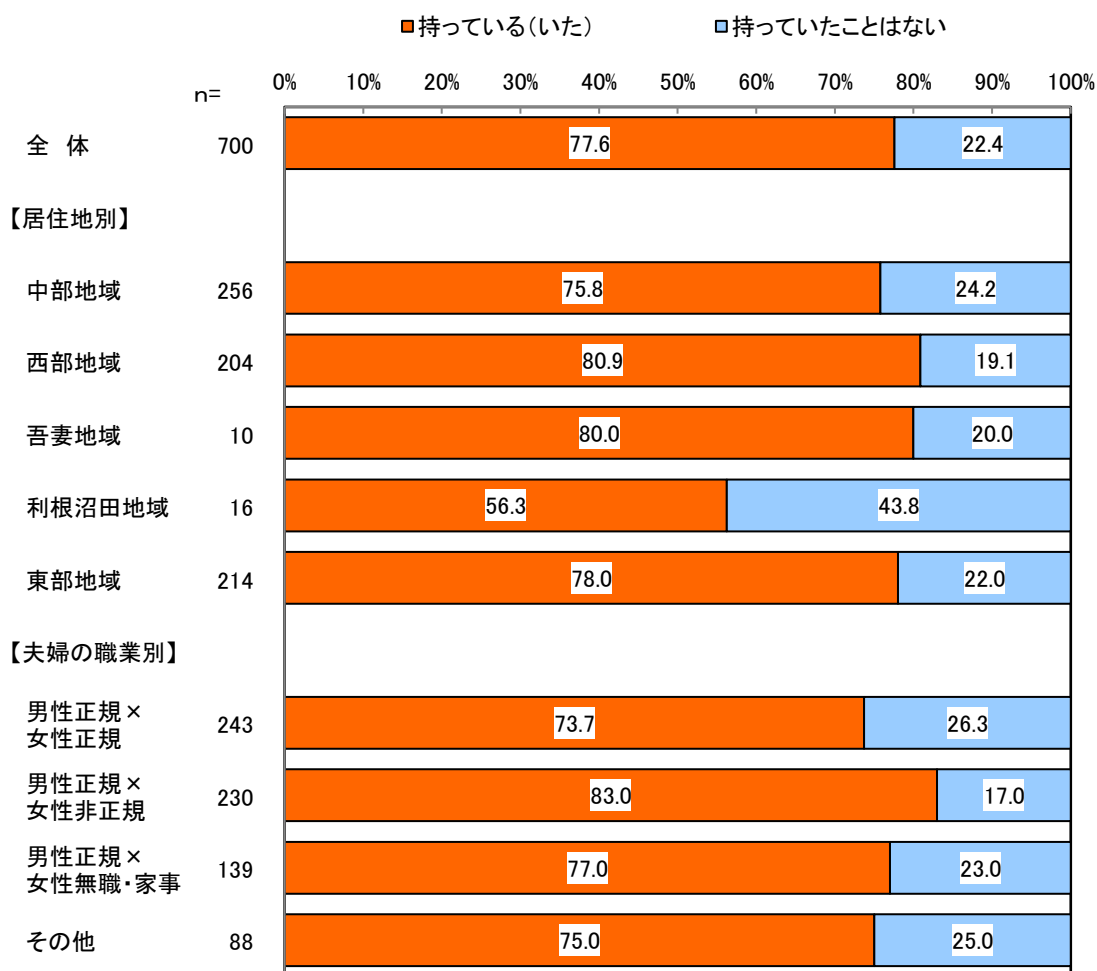
【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「持っている（いた）」が8.8ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「持っている（いた）」は20歳代で82.7%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。

## ぐーちょきパスポートの所持（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

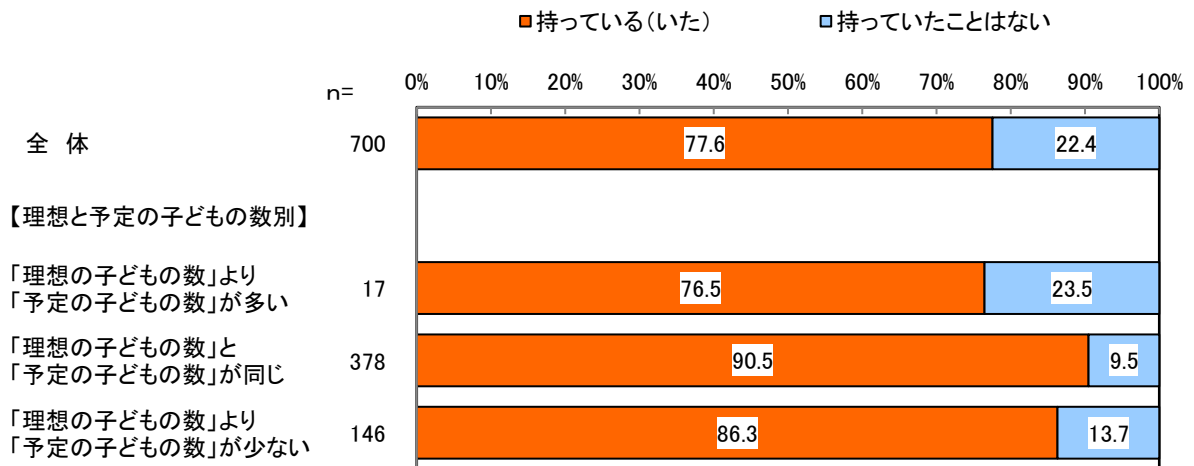
### 【居住地別】

居住地別でみると、「持っている(いた)」は西部地域で80.9%と高くなっている。

### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「持っている(いた)」は男性正規×女性非正規で83.0%と高くなっている。

ぐーちょきパスポートの所持（理想と予定の子どもの数別）

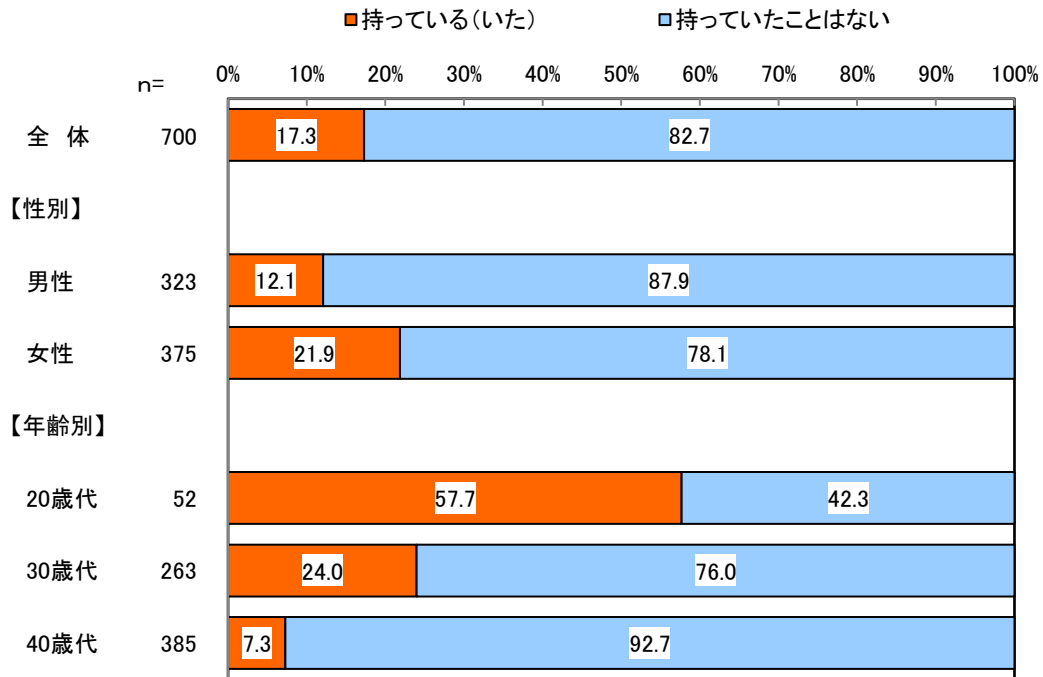


※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別でみると、「持っている（いた）」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で 90.5%と高くなっている。

### コンパスの所持（性別、年齢別）



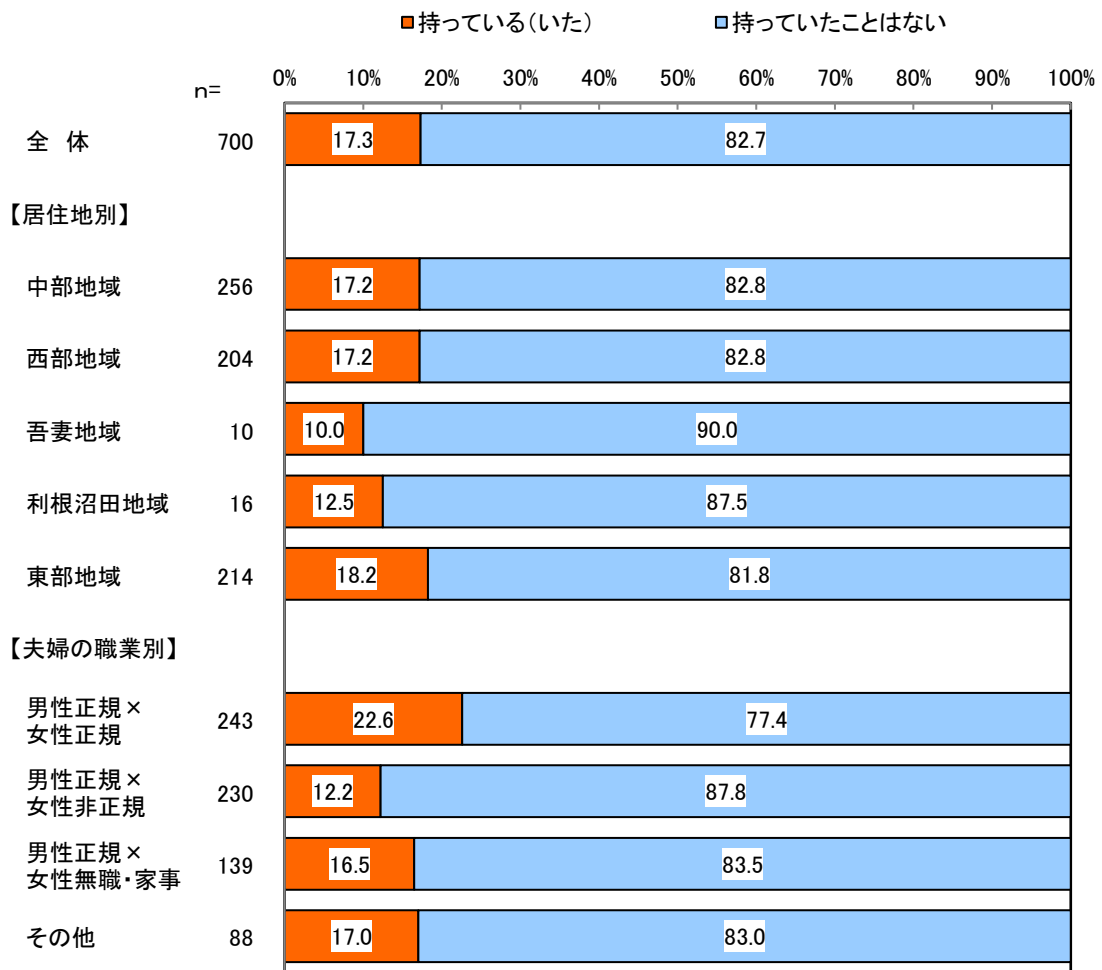
#### 【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「持っている（いた）」が9.8ポイント高くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別でみると、「持っている（いた）」は20歳代で57.7%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。

### コンパスの所持（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

#### 【居住地別】

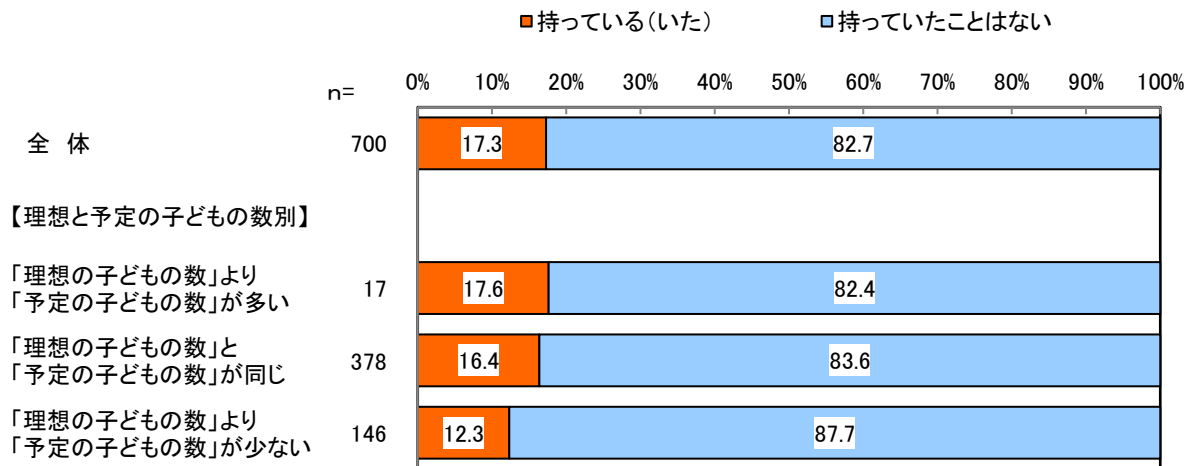
居住地別でみると、地域による大きな差はみられない。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「持っている（いた）」は男性正規×女性正規で22.6%と高くなっている。



### コンパスの所持（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

#### 【理想と予定の子どもの数別】

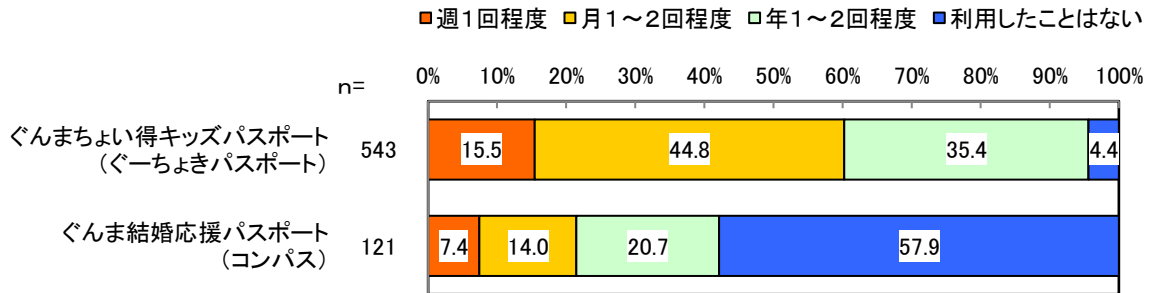
理想と予定の子どもの数別でみると、「持っている (いた)」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で 16.4%とやや高くなっている。

【問30-1で「持っている(いた)」と回答した方に伺います。】

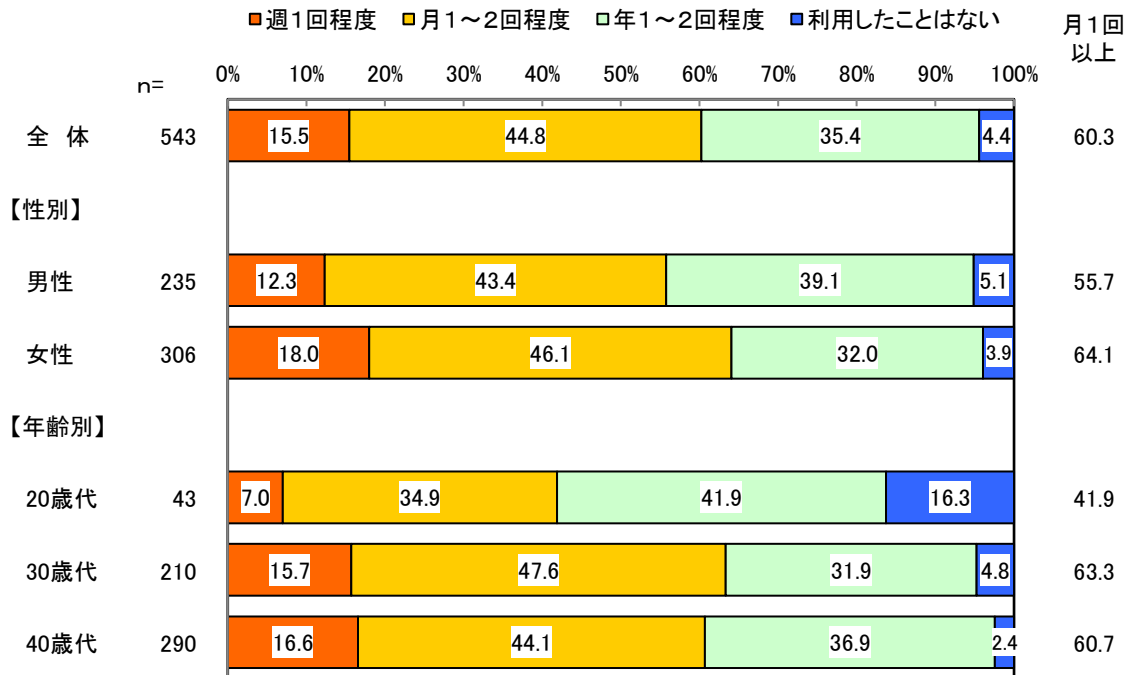
問30-2 利用頻度をお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

“ぐんまちよい得キッズパスポート(ぐーちょきパスポート)”の利用頻度は、「月1~2回程度」が44.8%で最も高く、「年1~2回程度」が35.4%、「週1回程度」が15.5%となっている。

“ぐんま結婚応援パスポート(コンパス)”の利用頻度は、「利用したことはない」が57.9%で最も高く、「年1~2回程度」が20.7%、「月1~2回程度」が14.0%となっている。



ぐーちょきパスポートの利用頻度（性別、年齢別）



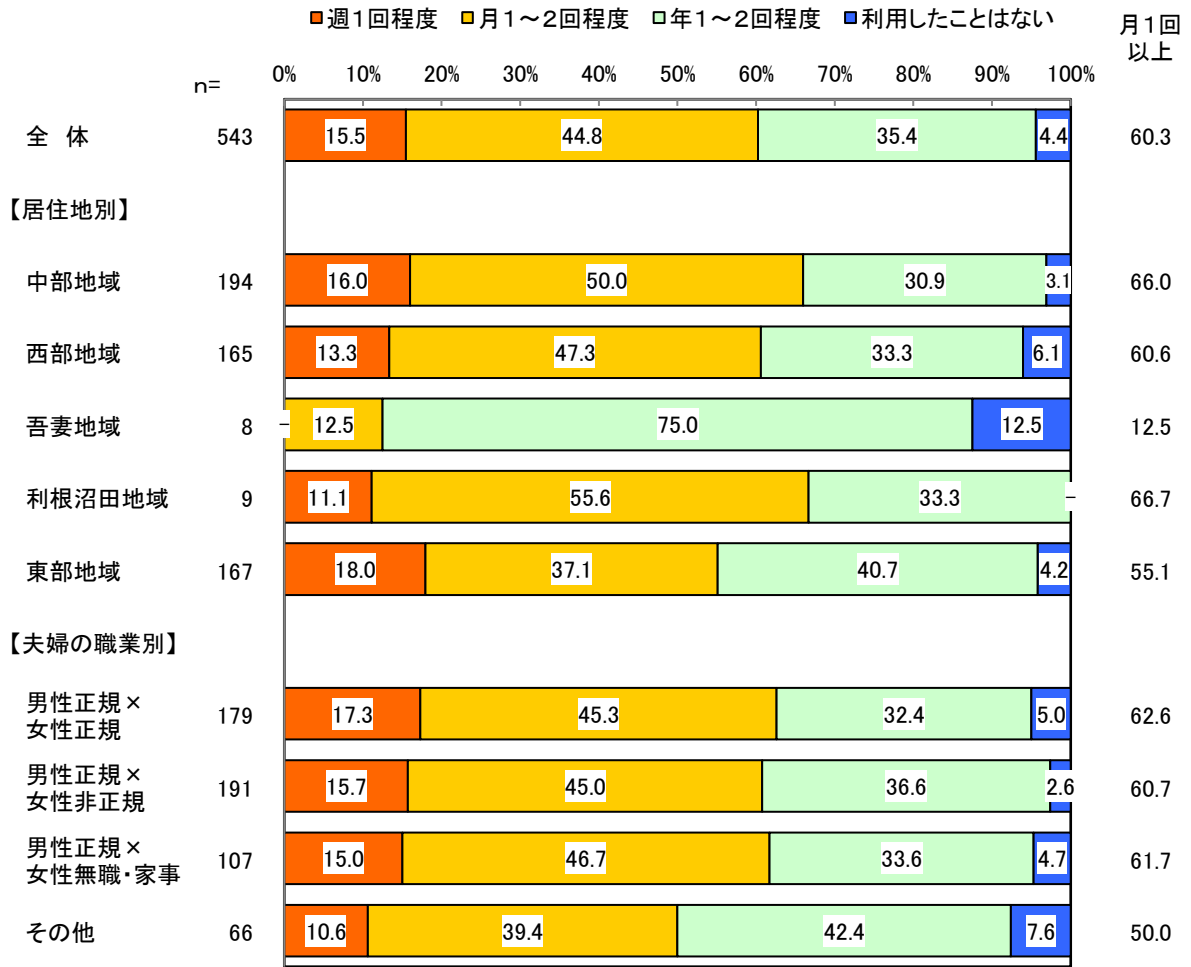
【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「月1回以上」利用している割合が8.4ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「年1～2回程度」が7.1ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「月1回以上」は30歳代で63.3%と高くなっている。一方、20歳代は41.9%と低く、「年1～2回程度」が41.9%、「利用したことはない」が16.3%と高くなっている。

ぐーちよきパスポートの利用頻度（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

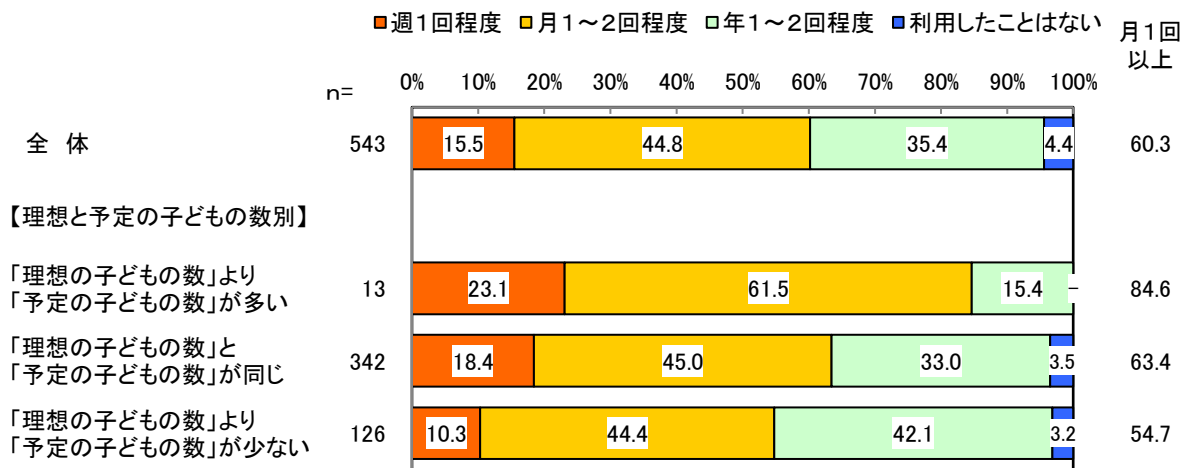
**【居住地別】**

居住地別でみると、「月1回以上」は中部地域で66.0%と高くなっている。一方、「年1~2回程度」は東部地域で40.7%と高くなっている。

**【夫婦の職業別】**

夫婦の職業別でみると、職業による大きな差はみられない。

ぐーちよきパスポートの利用頻度（理想と予定の子どもの数別）

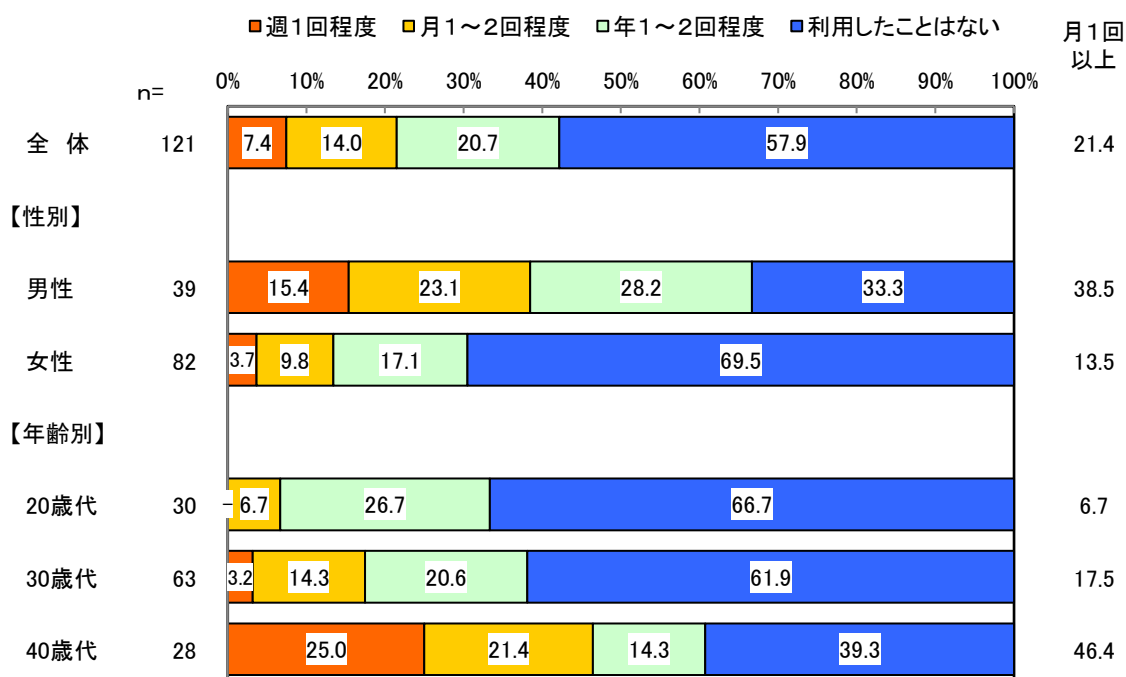


※母数が20未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別で見ると、「月1回以上」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で63.4%と高くなっている。

### コンパスの利用頻度（性別、年齢別）



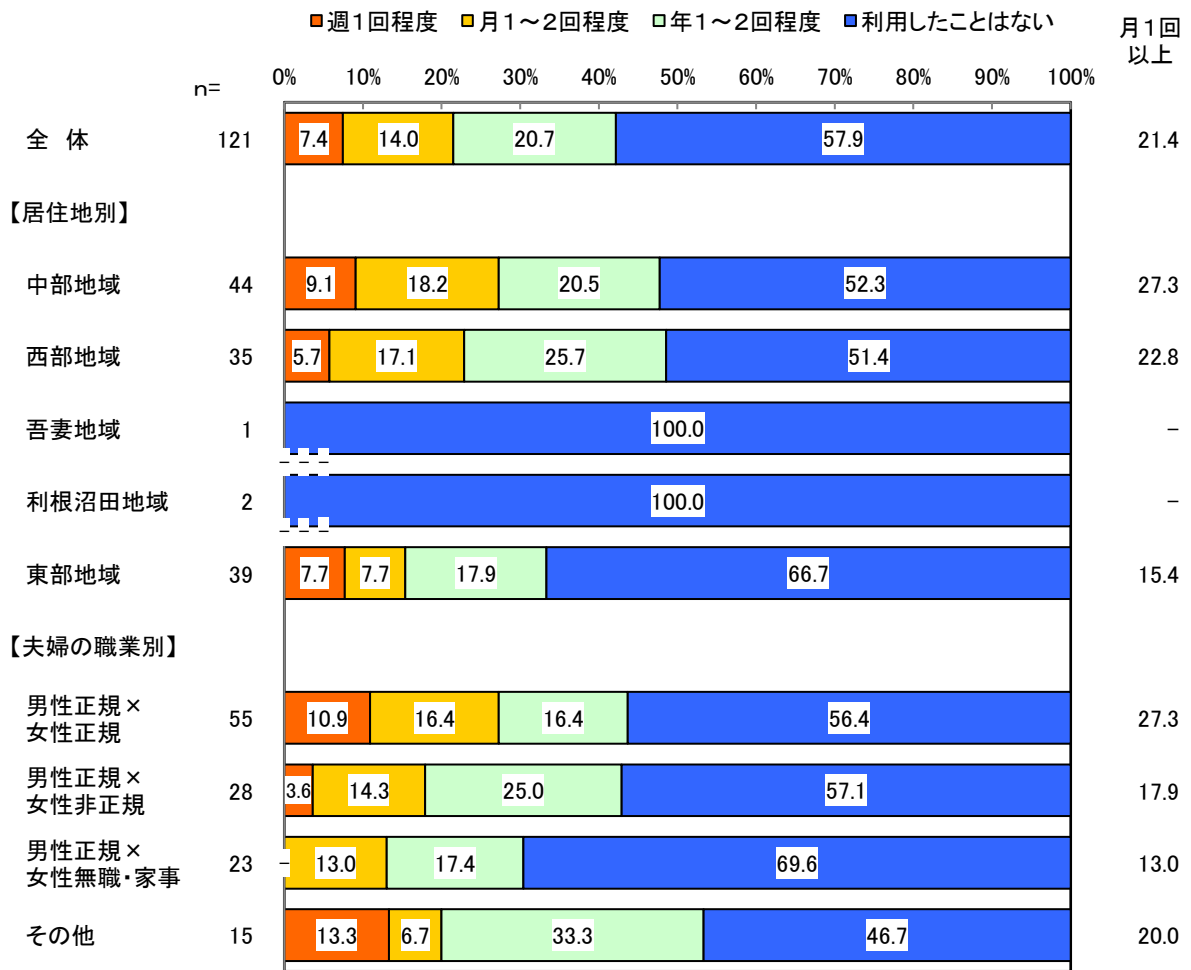
#### 【性別】

性別でみると、男性は女性よりも「月1回以上」利用している割合が25.0ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「利用したことはない」が36.2ポイント高くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別でみると、利用している割合は年齢が上がるほど高くなり、「月1回以上」は40歳代で46.4%となっている。一方、20歳代は「月1回以上」が6.7%と低く、「利用したことはない」が66.7%と高くなっている。

### コンパスの利用頻度（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

#### 【居住地別】

居住地別でみると、「月1回以上」は中部地域で27.3%と高くなっている。一方、東部地域では15.4%と低く、「利用したことはない」が66.7%と高くなっている。

#### 【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「月1回以上」は男性正規×女性正規で27.3%と高くなっている。

※「理想と予定の子どもの数別」は母数が少ないため省略する。

【問30-2で「利用したことはない」と回答した方に伺います。】

問30-3 その理由は何ですか。(自由記述)

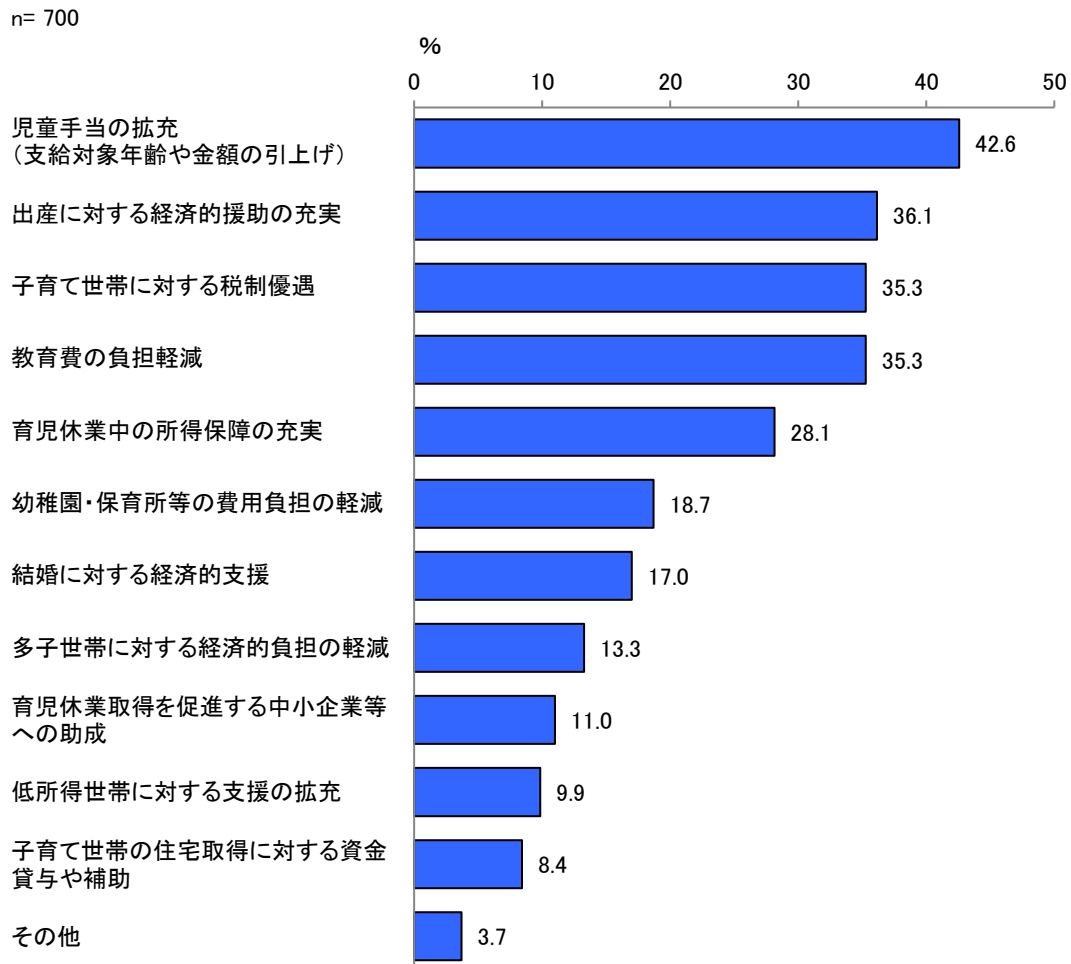
“ぐんまちょい得キッズパスポート(ぐーちょきパスポート)”を利用したことがないと回答した24名のうち、理由の回答があったのは8名だった。具体的な理由としては、「利用できる施設がない・少ない」が3件、「利用する機会がない」と「利用できる施設や利用方法を知らない」が各2件、「使える店か確認するのを忘れる」が1件となっている。

“ぐんま結婚応援パスポート(コンパス)”を利用したことがないと回答した70名のうち、理由の回答があったのは69名だった。具体的な理由としては、「利用できる、利用したい施設・サービスがない・少ない」が27件、「利用する機会がない」と「利用できる施設や利用方法を知らない」が各18件、「施設に利用できることの掲示がない」が5件、「利用期限が短い」が2件、「その他」が6件となっている。



問 31 あなたは少子化対策としてどのような経済的支援が必要だと思いますか。(回答は3つまで)

少子化対策として必要だと思う経済的支援は、「児童手当の拡充（支給対象年齢や金額の引上げ）」が42.6%で最も高く、次いで「出産に対する経済的支援の充実」が36.1%、「子育て世帯に対する税制優遇」と「教育費の負担軽減」が35.3%となっている。



少子化対策として必要な経済的支援（性別、年齢別）

(%)

	n	児童手当の拡充(支給対象年齢や金額の引上げ)	出産に対する経済的援助の充実	子育て世帯に対する税制優遇	教育費の負担軽減	育児休業中の所得保障の充実	幼稚園・保育所等の費用負担の軽減
全体	700	42.6	36.1	35.3	35.3	28.1	18.7
【性別】							
男性	323	39.9	33.4	34.1	28.2	25.1	15.8
女性	375	45.1	38.4	36.5	41.3	30.7	21.3
【年齢別】							
20歳代	52	46.2	61.5	40.4	17.3	34.6	25.0
30歳代	263	47.1	36.9	37.3	32.3	31.9	21.7
40歳代	385	39.0	32.2	33.2	39.7	24.7	15.8

(%)

	n	結婚に対する経済的支援	多子世帯に対する経済的負担の軽減	育児休業取得を促進する中小企業等への助成	低所得世帯に対する支援の拡充	子育て世帯の住宅取得に対する資金貸与や補助	その他
全体	700	17.0	13.3	11.0	9.9	8.4	3.7
【性別】							
男性	323	23.8	14.6	10.5	10.8	8.7	3.4
女性	375	11.2	12.3	11.5	8.8	8.3	4.0
【年齢別】							
20歳代	52	15.4	5.8	13.5	1.9	13.5	-
30歳代	263	13.3	15.2	11.0	8.0	8.4	5.7
40歳代	385	19.7	13.0	10.6	12.2	7.8	2.9

【性別】

性別でみると、女性は男性よりも「教育費の負担軽減」が13.1ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「結婚に対する経済的支援」が12.6ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別でみると、「出産に対する経済的支援の充実」は20歳代で61.5%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。「子育て世帯に対する税制優遇」、「育児休業中の所得保障の充実」、「幼稚園・保育所等の費用負担の軽減」も同様の傾向がみられる。一方、「教育費の負担軽減」は年齢が上がるほど高くなり、40歳代で39.7%となっている。

少子化対策として必要な経済的支援（子どもの数別）

(%)

	n	児童手当の拡充(支給対象年齢や金額の引上げ)	出産に対する経済的援助の充実	子育て世帯に対する税制優遇	教育費の負担軽減	育児休業中の所得保障の充実	幼稚園・保育所等の費用負担の軽減
全体	700	42.6	36.1	35.3	35.3	28.1	18.7
【子どもの数別】							
1人	216	46.3	37.5	38.9	34.7	29.2	24.1
2人	259	47.1	35.5	39.4	39.4	24.3	18.9
3人	74	50.0	28.4	32.4	33.8	24.3	4.1
4人以上	10	60.0	40.0	20.0	10.0	30.0	30.0
いない	141	23.4	39.0	24.8	31.2	35.5	17.0

(%)

	n	結婚に対する経済的支援	多子世帯に対する経済的負担の軽減	育児休業取得を促進する中小企業等への助成	低所得世帯に対する支援の拡充	子育て世帯の住宅取得に対する資金貸与や補助	その他
全体	700	17.0	13.3	11.0	9.9	8.4	3.7
【子どもの数別】							
1人	216	15.3	9.7	11.6	8.3	6.5	1.4
2人	259	15.4	11.6	7.3	6.9	12.4	4.2
3人	74	18.9	40.5	12.2	12.2	6.8	2.7
4人以上	10	20.0	50.0	20.0	-	-	-
いない	141	21.3	5.0	15.6	17.0	5.7	7.1

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【子どもの数別】

子どもの数別でみると、「児童手当の拡充（支給対象年齢や金額の引上げ）」は子どもの数が増えるほど高くなり、3人で50.0%となっている。「多子世帯に対する経済的負担の軽減」も同様の傾向がみられ、3人で40.5%となっている。

少子化対策として必要な経済的支援（居住地別）

(%)

	n	児童手当の拡充(支給対象年齢や金額の引上げ)	出産に対する経済的援助の充実	子育て世帯に対する税制優遇	教育費の負担軽減	育児休業中の所得保障の充実	幼稚園・保育所等の費用負担の軽減
全体	700	42.6	36.1	35.3	35.3	28.1	18.7
【居住地別】							
中部地域	256	40.2	34.0	34.0	32.4	30.5	20.3
西部地域	204	49.0	37.3	37.3	40.2	27.0	22.1
吾妻地域	10	60.0	20.0	40.0	30.0	30.0	10.0
利根沼田地域	16	25.0	25.0	37.5	31.3	6.3	12.5
東部地域	214	39.7	39.3	34.6	34.6	28.0	14.5

(%)

	n	結婚に対する経済的支援	多子世帯に対する経済的負担の軽減	育児休業取得を促進する中小企業等への助成	低所得世帯に対する支援の拡充	子育て世帯の住宅取得に対する資金貸与や補助	その他
全体	700	17.0	13.3	11.0	9.9	8.4	3.7
【居住地別】							
中部地域	256	15.2	14.5	10.2	12.9	7.4	5.1
西部地域	204	13.2	14.2	10.8	7.8	7.8	2.5
吾妻地域	10	30.0	20.0	20.0	-	30.0	-
利根沼田地域	16	18.8	6.3	31.3	12.5	6.3	-
東部地域	214	22.0	11.2	10.3	8.4	9.3	3.7

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「児童手当の拡充(支給対象年齢や金額の引上げ)」は西部地域で49.0%と高く、「教育費の負担軽減」も西部地域で40.2%と高くなっている。

少子化対策として必要な経済的支援（夫婦の職業別）

(%)

	n	児童手当の拡充(支給対象年齢や金額の引上げ)	出産に対する経済的援助の充実	子育て世帯に対する税制優遇	教育費の負担軽減	育児休業中の所得保障の充実	幼稚園・保育所等の費用負担の軽減
全体	700	42.6	36.1	35.3	35.3	28.1	18.7
【夫婦の職業別】							
男性正規×女性正規	243	41.2	31.7	35.0	30.0	31.7	22.6
男性正規×女性非正規	230	46.5	40.9	34.3	35.7	25.7	17.8
男性正規×女性無職・家事	139	47.5	36.7	39.6	42.4	25.9	16.5
その他	88	28.4	35.2	31.8	37.5	28.4	13.6

(%)

	n	結婚に対する経済的支援	多子世帯に対する経済的負担の軽減	育児休業取得を促進する中小企業等への助成	低所得世帯に対する支援の拡充	子育て世帯の住宅取得に対する資金貸与や補助	その他
全体	700	17.0	13.3	11.0	9.9	8.4	3.7
【夫婦の職業別】							
男性正規×女性正規	243	20.2	14.8	12.8	7.0	7.0	2.9
男性正規×女性非正規	230	16.5	13.9	7.8	10.9	7.0	3.0
男性正規×女性無職・家事	139	11.5	10.1	12.2	8.6	11.5	5.8
その他	88	18.2	12.5	12.5	17.0	11.4	4.5

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「児童手当の拡充（支給対象年齢や金額の引上げ）」は男性正規×女性無職・家事で47.5%と高く、「教育費の負担軽減」も男性正規×女性無職・家事で42.4%と高くなっている。「出産に対する経済的援助の充実」は男性正規×女性非正規で40.9%と高くなっている。

少子化対策として必要な経済的支援（世帯年収別）

(%)

	n	児童手当の 拡充(支給対象 年齢や金額の 引上げ)	出産に対する 経済的支援の 充実	子育て世帯 に対する税制 優遇	教育費の負 担軽減	育児休業中 の所得保障 の充実	幼稚園・保育 所等の費用 負担の軽減
全 体	700	42.6	36.1	35.3	35.3	28.1	18.7
【世帯年収別】							
300万円未満	44	27.3	36.4	38.6	27.3	25.0	18.2
300万円～500万円未満	161	42.9	42.9	32.9	36.6	25.5	16.1
500万円～700万円未満	218	51.4	41.7	33.0	33.0	29.8	16.5
700万円～1000万円未満	201	36.3	28.4	36.3	38.3	29.9	20.9
1000万円以上	76	42.1	26.3	42.1	35.5	26.3	25.0

(%)

	n	結婚に対す る経済的支 援	多子世帯に 対する経済 的負担の軽 減	育児休業取 得を促進す る中小企業 等への助成	低所得世帯 に対する支 援の拡充	子育て世帯 の住宅取得 に対する資 金貸与や補 助	その他
全 体	700	17.0	13.3	11.0	9.9	8.4	3.7
【世帯年収別】							
300万円未満	44	18.2	11.4	13.6	18.2	11.4	2.3
300万円～500万円未満	161	15.5	8.1	9.3	13.7	11.2	3.7
500万円～700万円未満	218	14.7	12.8	8.7	9.2	7.3	4.1
700万円～1000万円未満	201	19.4	14.4	13.9	7.5	7.5	4.5
1000万円以上	76	19.7	23.7	11.8	5.3	6.6	1.3

【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「児童手当の拡充（支給対象年齢や金額の引上げ）」は500万円～700万円未満で51.4%と高くなっている。「出産に対する経済的支援の充実」は300万円～500万円未満で42.9%、500万円～700万円未満で41.7%と高くなっている。「子育て世帯に対する税制優遇」は1000万円以上で42.1%と高くなっている。

少子化対策として必要な経済的支援（理想と予定の子どもの数別）

(%)

	n	児童手当の 拡充(支給 対象年齢や 金額の引上 げ)	出産に対す る経済的援 助の充実	子育て世帯 に対する税 制優遇	教育費の負 担軽減	育児休業中 の所得保障 の充実	幼稚園・保 育所等の費 用負担の軽 減
全 体	700	42.6	36.1	35.3	35.3	28.1	18.7
【理想と予定の子どもの数別】							
「理想の子どもの数」より 「予定の子どもの数」が多い	17	23.5	35.3	29.4	17.6	41.2	11.8
「理想の子どもの数」と 「予定の子どもの数」が同じ	378	46.6	35.2	39.9	37.0	26.2	16.4
「理想の子どもの数」より 「予定の子どもの数」が少ない	146	47.9	36.3	35.6	39.7	24.0	26.0

(%)

	n	結婚に対す る経済的支 援	多子世帯に 対する経済 的負担の軽 減	育児休業取 得を促進す る中小企業 等への助成	低所得世帯 に対する支 援の拡充	子育て世帯 の住宅取得 に対する資 金貸与や補 助	その他
全 体	700	17.0	13.3	11.0	9.9	8.4	3.7
【理想と予定の子どもの数別】							
「理想の子どもの数」より 「予定の子どもの数」が多い	17	23.5	17.6	11.8	5.9	5.9	5.9
「理想の子どもの数」と 「予定の子どもの数」が同じ	378	15.1	17.5	10.3	8.2	9.8	2.1
「理想の子どもの数」より 「予定の子どもの数」が少ない	146	14.4	8.9	9.6	8.9	7.5	4.8

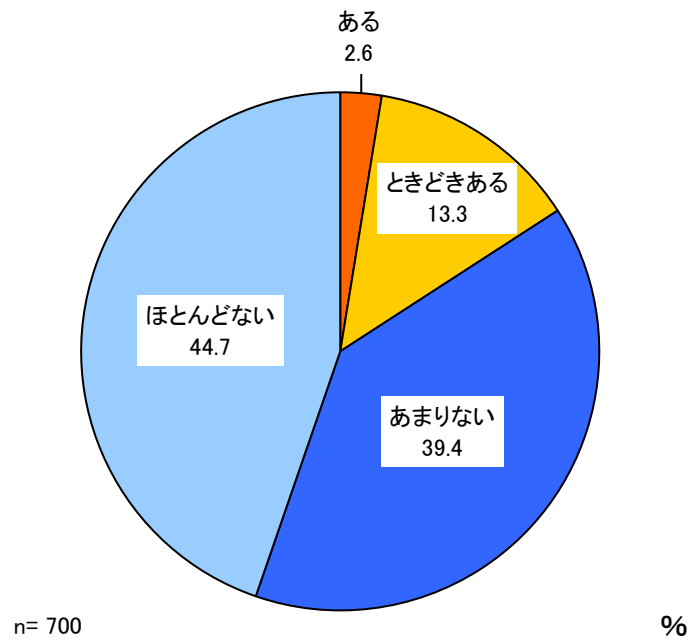
※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別で見ると、「幼稚園・保育所等の費用負担の軽減」は“理想の子どもの数”より「予定の子どもの数」が少ない”で26.0%と高くなっている。

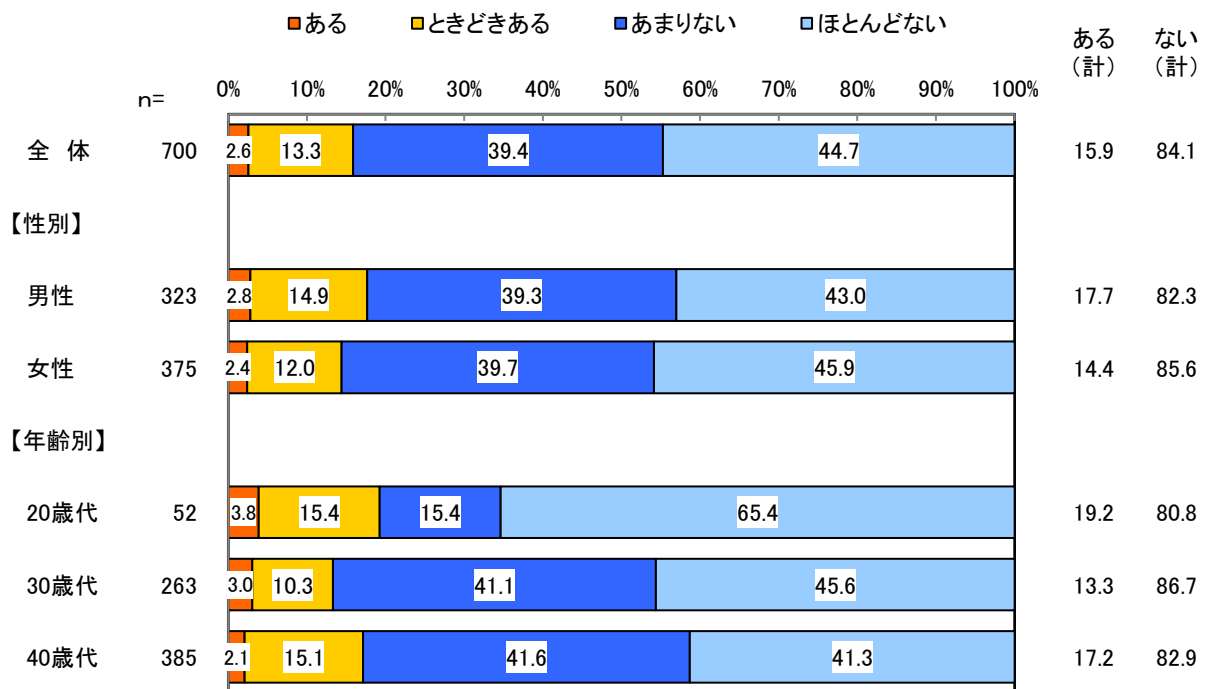
問 32 主に結婚、妊娠・出産、子育てや少子化対策について、行政の施策に対して自身の意見が反映されている実感がありますか。

行政の施策に対して自身の意見が反映されている実感は、「ほとんどない」が 44.7%で最も高く、次いで「あまりない」が 39.4%、「ときどきある」が 13.3%となっている。「ある（計）」（「ある」と「ときどきある」の合計）は 15.9%、「ない（計）」（「あまりない」と「ほとんどない」の合計）は 84.1%となっている。





行政施策に意見が反映されている実感（性別、年齢別）



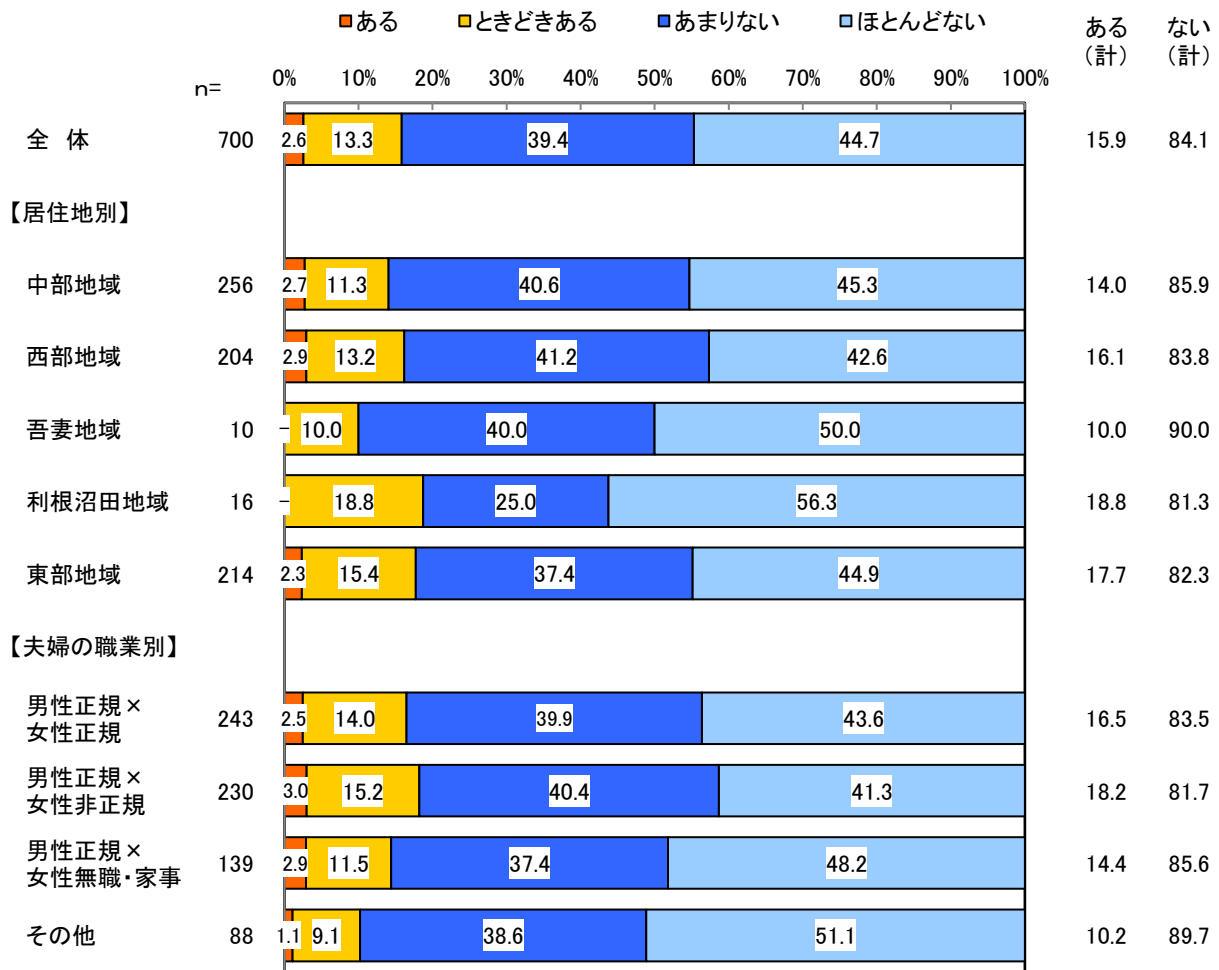
【性別】

性別でみると、男女間に大きな差はみられない。

【年齢別】

年齢別でみると、「ない（計）」は30歳代で86.7%と高くなっている。

行政施策に意見が反映されている実感（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

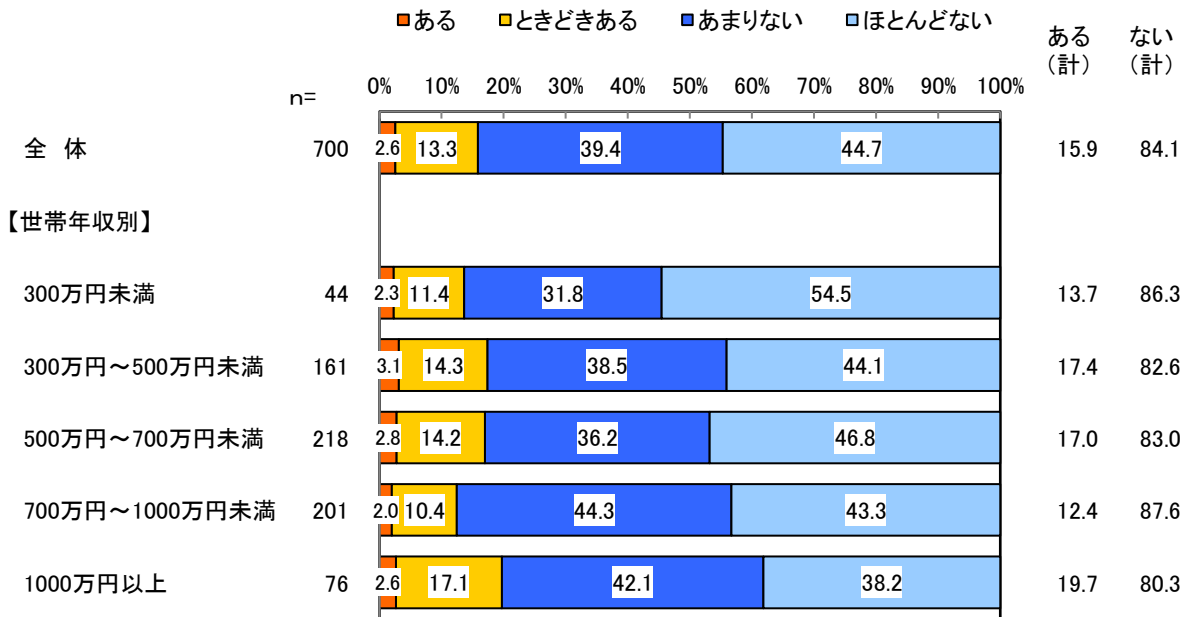
**【居住地別】**

居住地別でみると、「ない（計）」は中部地域で85.9%と高くなっている。

**【夫婦の職業別】**

夫婦の職業別でみると、「ある（計）」は男性正規×女性非正規で18.2%とやや高くなっている。

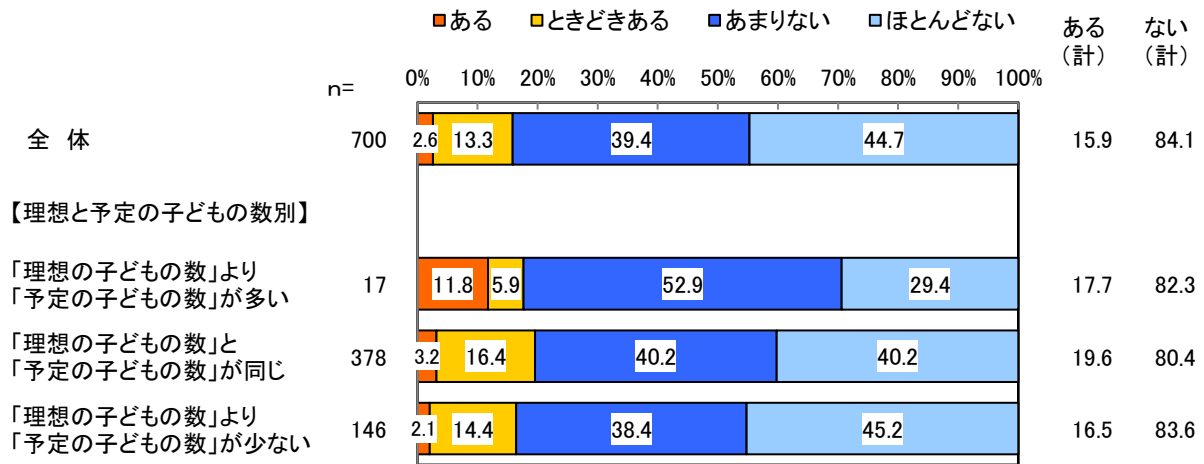
行政施策に意見が反映されている実感（世帯年収別）



【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「ない (計)」は700万円～1000万円未満で87.6%と高くなっている。

行政施策に意見が反映されている実感（理想と予定の子どもの数別）



※母数が 20 未満の項目は参考値とする。

【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別でみると、「ない (計)」では大きな差はないが、「ほとんどない」は“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”で 45.2%と高くなっている。

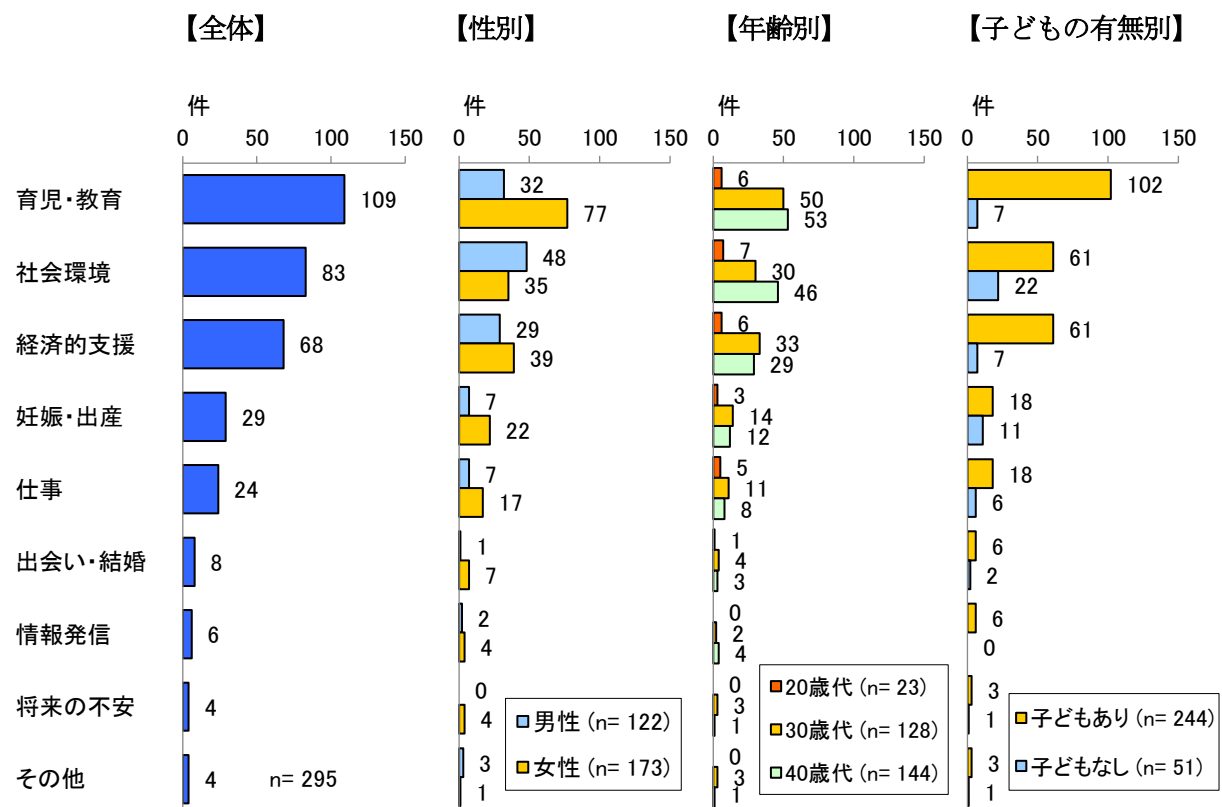
問 33 子育て支援や少子化対策について、日頃お考えのことや行政に対する要望等がありましたら  
ご自由にお書きください。(結婚支援、妊娠・出産支援、子育て支援に係る精神的支援など経済  
的支援以外の取組等)

日頃お考えのことや行政に対する要望等を自由に記入してもらったところ、295 名の方から回答があつた。1 名で複数の意見を記入している場合もあるため、延べ件数は 335 件となっている。意見の内容で 9 項目に分類したところ、全体でみると「育児・教育」についての意見が 109 件で最も多く、次いで「社会環境」が 83 件、「経済的支援」が 68 件となっている。

性別でみると、「育児・教育」と「経済的支援」は女性が男性よりも多くなっている。一方、「社会環境」は男性が女性よりも多くなっている。

年齢別でみると、「育児・教育」、「社会環境」、「経済的支援」はいずれも 30 歳代と 40 歳代で多くなっている。

子どもの有無別でみると、いずれの項目も子どもがいる世帯で多くなっている。



以下に代表的な意見を掲載する。

【育児・教育】

- ・小さいうちはあまりお金がかからないので、高校生以上の子どもの支援充実をはかってほしい。(男性 35～39 歳、子どもあり)
- ・地域に公園・室内遊戯場など子どもが遊べるような場所が少ない(公園があっても遊具が少ない)ので、もっと増やして充実させてほしいです。(女性 30～34 歳、子どもあり)
- ・保育園、幼稚園の副食費や小学校の給食費を無料にしてほしい。(女性 35～39 歳、子どもあり)

【社会環境】

- ・若年層の就職支援などの所得が上がる政策。(男性 40 歳代、子どもあり)

- ・住まいや働く場所を充実させるなど、まず若者が出て行かないようにし、生活を充実させれば、結婚や出産も増えていくと思う。(男性 40 歳代、子どもあり)
- ・昔に言われた 25 歳が結婚適齢期は一部表現は異なりますが、生殖器や子育てに対する体力の問題で最適な年齢ゾーンだと思います。不妊治療をしてやっと授かったからこそその意見です。女性は最適な年齢で出産すると、子育てや仕事への復帰、金銭的不安、親がまだ現役で働いていて協力をしづかいなどの不安もあります。時短で働く事の推進など、子育て問題に寄り添った取り組みが必要だと思います。(女性 40 歳代、子どもあり)

#### 【経済的支援】

- ・子どもを持つことによる財政優遇が必要。若い世代が子どもを持つことの経済的なデメリットが昔に比べ多すぎる。(女性 25～29 歳、子どもなし)
- ・子どもが 3 人以上いる家庭への経済の負担を減らしてほしい。第一子との年齢が離れているとの理由で、第三子なのに第二子の扱いで経済の負担が軽減されないことがあった。腑に落ちなかった。(女性 40 歳代、子どもあり)
- ・非課税世帯やひとり親世帯への支援は手厚いが、税をしっかりと納めている子育て世帯には何も支援がない。我慢を強いられている。(女性 40 歳代、子どもあり)

#### 【妊娠・出産】

- ・出産にかかる費用を保険適用かつ支援や補助金等の拡充。(男性 25～29 歳、子どもあり)
- ・出産できる病院が少なく苦勞した。まず産める環境をもっと増やしてほしい。(女性 40 歳代、子どもあり)

#### 【仕事】

- ・夫婦で協力して子育てに取り組むたいが、仕事を休めないことや会社での立場に関して不安がある。仮に育児休業を取得した際に、収入が減ることは生活するのに厳しいので、収入が減らないよう支援が必要。(男性 40 歳代、子どもあり)
- ・子どもが産まれて保育園に通い始めると発熱で保育園からの呼び出しが本当に多いです。会社に対して理解してくれる環境を整えてもらえたり、そういうことを子育てしてる人以外にもわかってもらえる取り組みがあればいいと思います。またどうしても仕事抜け出せない時に子どもを見てもらえる施設(保育園内や近くなど)があればいいのになと思います。(女性 40 歳代、子どもあり)

#### 【出会い・結婚】

- ・まず若者の晩婚化、非婚化をなんとかしないといけないと思う。(女性 30～34 歳、子どもあり)
- ・結婚支援で使えるお金がわからなかったことと、後にわかって結婚式など多額のお金がかかるため、あまり支援してもらっている実感がないと思った。(女性 30～34 歳、子どもあり)
- ・結婚応援パスポートは取得したが、利用できる期間も短く、利用できるお店も限られていたので、ほとんど使う機会が無かった。結婚一時金のようなお祝いがあると嬉しいと思った。(女性 35～39 歳、子どもあり)

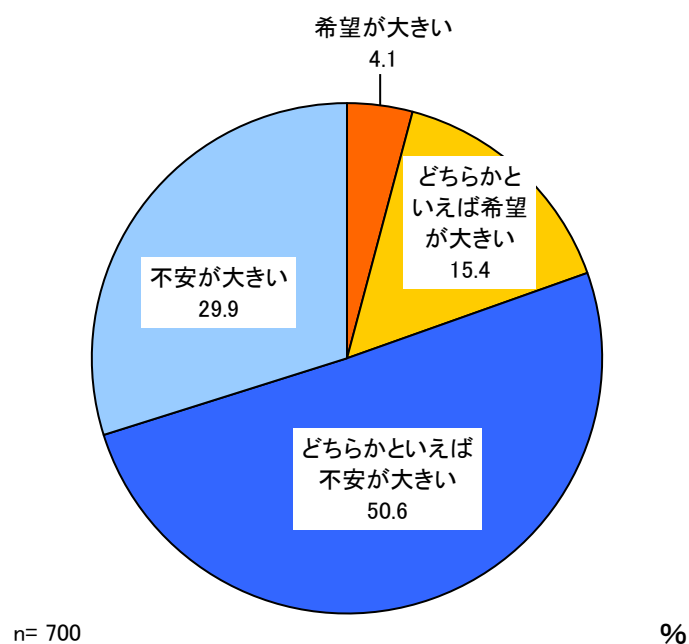
#### 【情報発信】

- ・まず出産のハードルが高いと思います。身の回りにも不妊で悩んでいるケースが多々あり、妊娠に対する正しい知識を得る機会が少ないと思います。年齢を重ねるとともに妊娠率が低下することから、性教育の中に将来子どもを持ちたいと思う人が早くから取り組めることについての具体策を盛り込んだ方が、選択肢が広がり不妊で悩む人も減るのではないかと思います。(女性 35～39 歳、子どもあり)
- ・「子育て罰」がなくなることを願います。PTAや地域役員など、強制的にボランティアをやらなくてはならず辛いです。「うちは子ども 1 人だから良かった」という声をけっこう聞きます。前例踏襲主義の組織なので、行政がガイドラインなどを示して改善してほしいです。(女性 40 歳代、子どもあり)

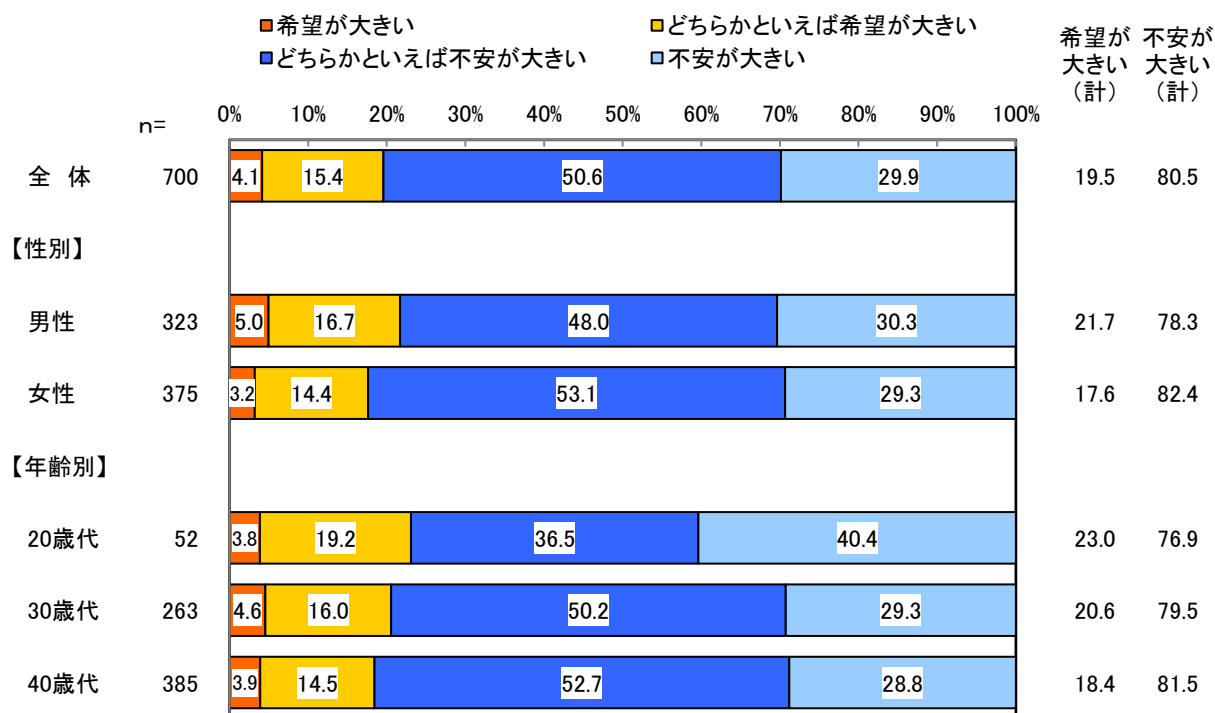
## 8 子どもの未来について

問 34 10年後、20年後のあなたのお子さんたち（又はあなたの周囲のお子さんたち）の住む未来についてどのように思いますか。

10年後、20年後の子どもたちの住む未来は、「どちらかといえば不安が大きい」が50.6%で最も高く、次いで「不安が大きい」が29.9%、「どちらかといえば希望が大きい」が15.4%となっている。「希望が大きい（計）」（「希望が大きい」と「どちらかといえば希望が大きい」の合計）は19.5%、「不安が大きい（計）」（「どちらかといえば不安が大きい」と「不安が大きい」の合計）は80.5%となっている。



### 子どもたちの10年後、20年後の未来（性別、年齢別）



#### 【性別】

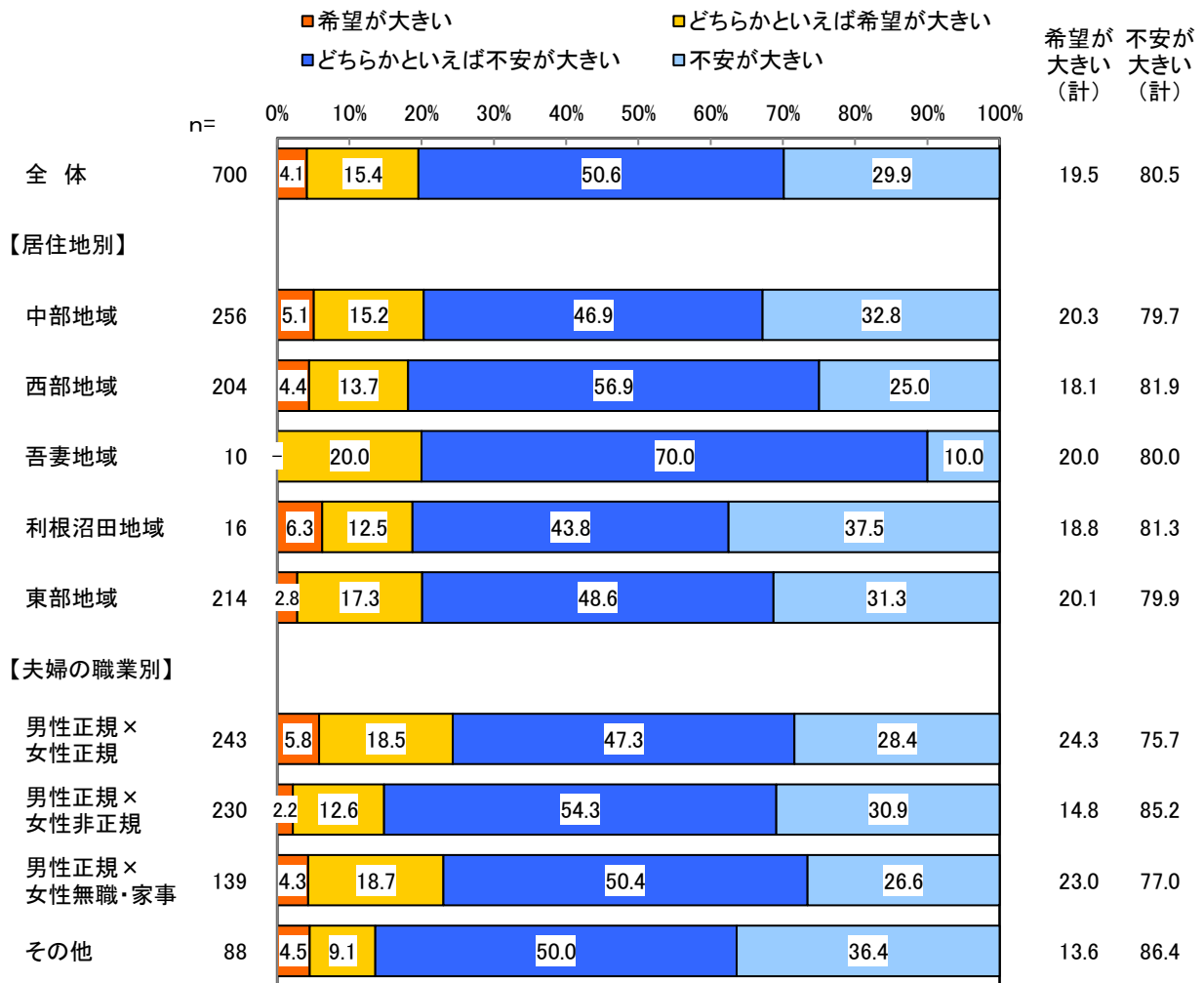
性別でみると、女性は男性よりも「不安が大きい（計）」が4.1ポイント高くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別でみると、「不安が大きい（計）」は年齢が上がるほど高くなり、40歳代で81.5%となっている。一方、「希望が大きい（計）」は20歳代で23.0%となっている。



子どもたちの10年後、20年後の未来（居住地別、夫婦の職業別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

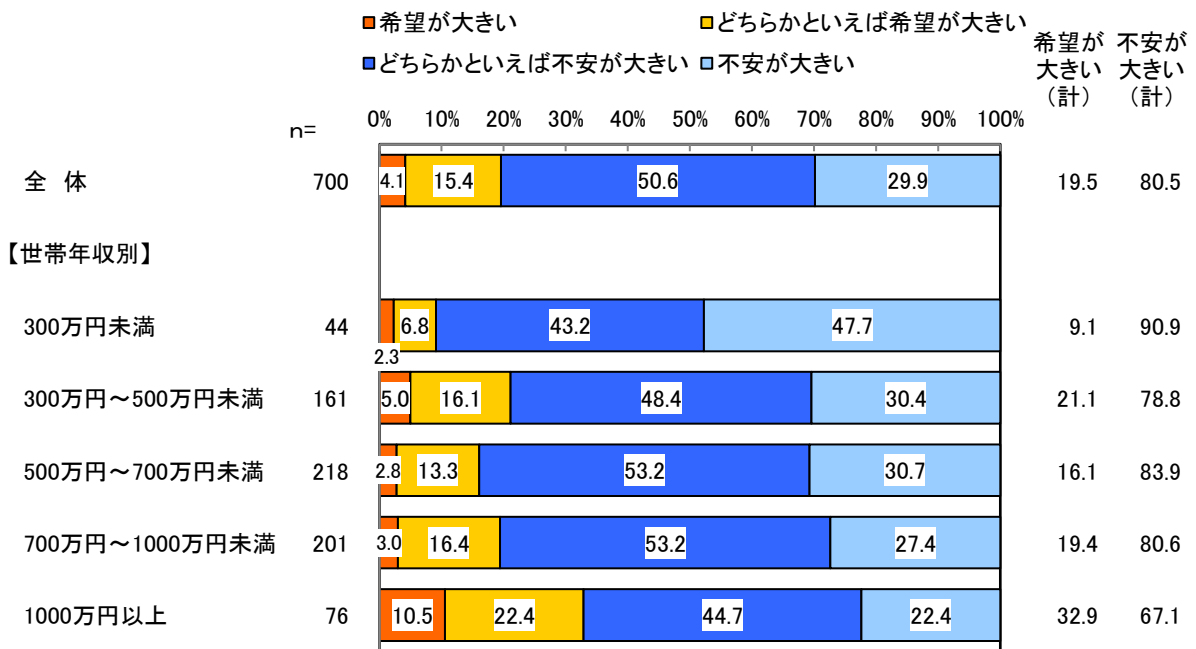
【居住地別】

居住地別でみると、「不安が大きい（計）」は西部地域で81.9%と高くなっている。

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「不安が大きい（計）」はその他で86.4%、男性正規×女性非正規で85.2%と高くなっている。一方、「希望が大きい（計）」は男性正規×女性正規で24.3%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の未来（世帯年収別）

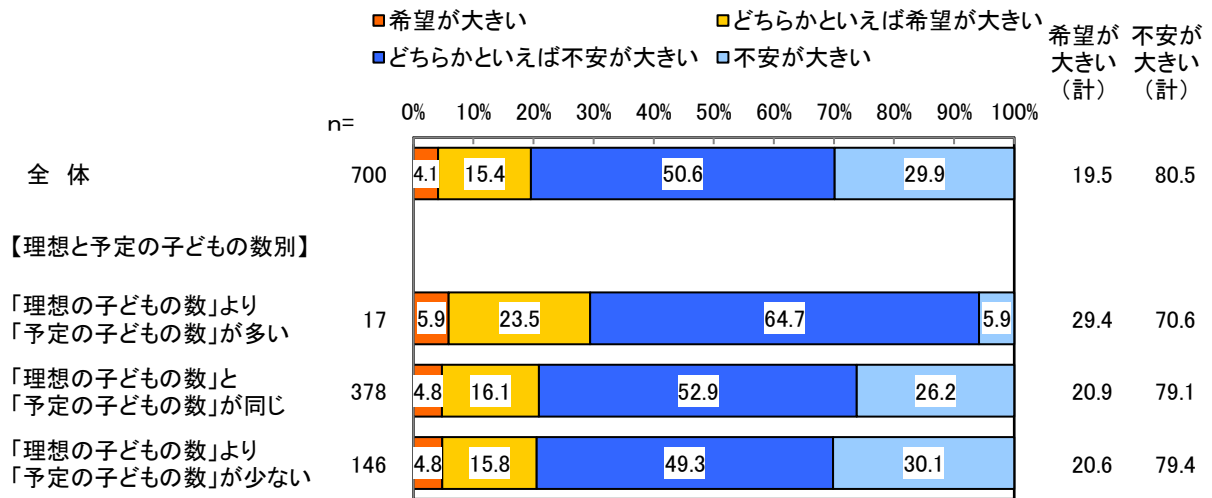


※母数が20未満の項目は参考値とする。

【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「不安が大きい（計）」は300万円未満で90.9%と高くなっている。一方、「希望が大きい（計）」は1000万円以上で32.9%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の未来（理想と予定の子どもの数別）



※母数が20未満の項目は参考値とする。

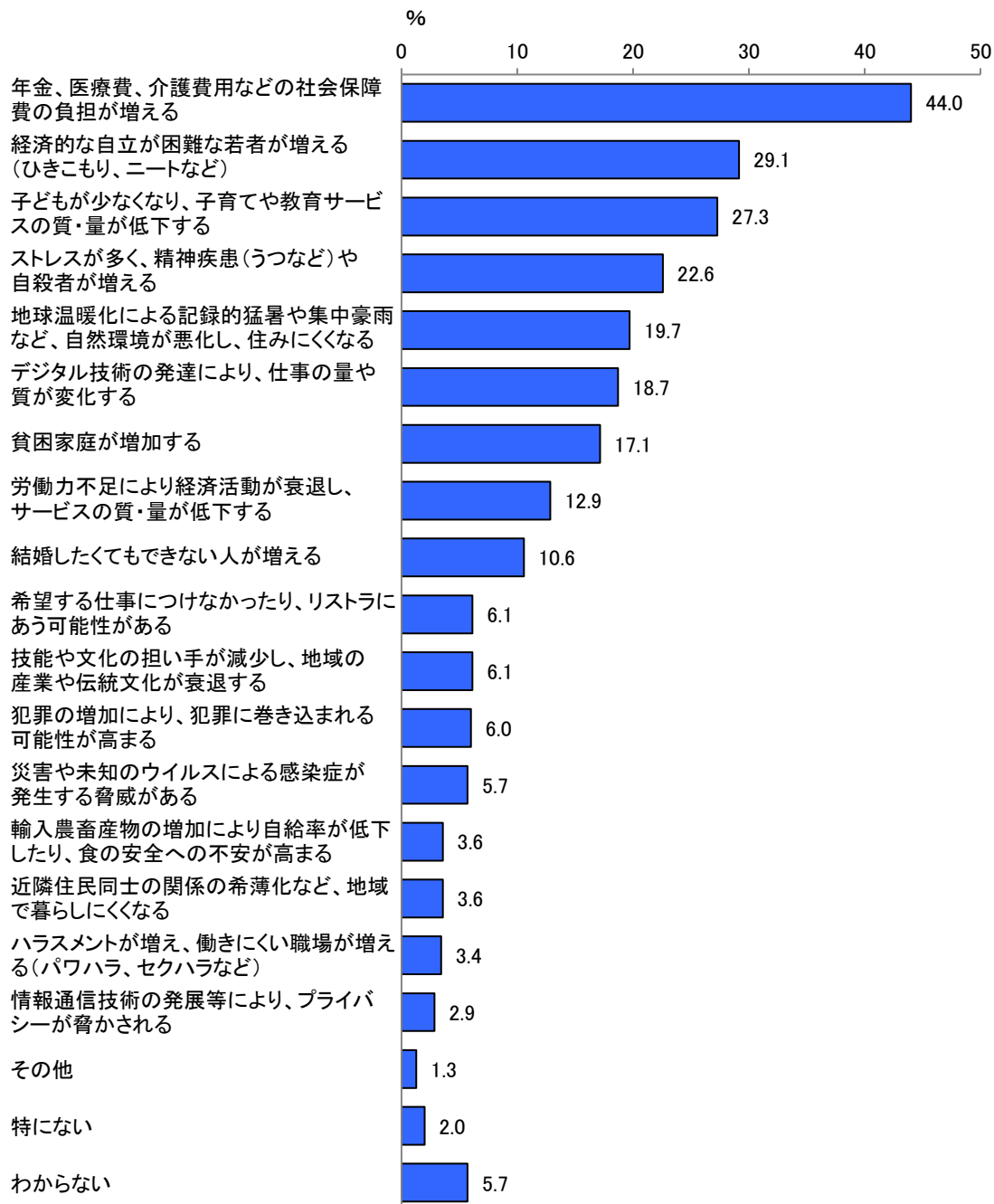
【理想と予定の子どもの数別】

理想と予定の子どもの数別でみると、大きな差はみられない。

問 35 10年後、20年後のあなたのお子さんたち（又はあなたの周囲のお子さんたち）の住む未来に不安があるとすれば、どんなことだと思いますか。（回答は3つまで）

10年後、20年後の子どもたちの住む未来の不安は、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」が44.0%で最も高く、次いで「経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）」が29.1%、「子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する」が27.3%となっている。

n= 700



子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／性別、年齢別）

(%)

	n	年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える	経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）	子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する	ストレスが多く、精神疾患（うつなど）や自殺者が増える	地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる
全体	700	44.0	29.1	27.3	22.6	19.7
【性別】						
男性	323	38.7	28.8	22.9	20.7	12.7
女性	375	48.8	29.3	30.9	24.3	25.9
【年齢別】						
20歳代	52	46.2	23.1	36.5	21.2	21.2
30歳代	263	47.1	28.1	32.3	20.5	19.0
40歳代	385	41.6	30.6	22.6	24.2	20.0

(%)

	n	デジタル技術の発達により、仕事の量や質が変化する	貧困家庭が増加する	労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する	結婚したくてもできない人が増える	希望する仕事につけなかったり、リストラにあう可能性がある
全体	700	18.7	17.1	12.9	10.6	6.1
【性別】						
男性	323	18.3	17.6	18.3	12.1	7.7
女性	375	18.9	16.8	8.3	9.3	4.8
【年齢別】						
20歳代	52	15.4	26.9	5.8	13.5	3.8
30歳代	263	20.5	14.4	12.5	11.4	7.2
40歳代	385	17.9	17.7	14.0	9.6	5.7

【性別】

性別で見ると、女性は男性よりも「地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる」が13.2ポイント、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」が10.1ポイント、「子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する」が8.0ポイント高くなっている。一方、男性は女性よりも「労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する」が10.0ポイント高くなっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、「経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）」は年齢が上がるほど高くなり、40歳代で30.6%となっている。一方、「子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する」は20歳代で36.5%と高く、年齢が上がるほど低くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／居住地別）

(%)

	n	年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える	経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）	子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する	ストレスが多く、精神疾患（うつなど）や自殺者が増える	地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる
全体	700	44.0	29.1	27.3	22.6	19.7
【居住地別】						
中部地域	256	43.4	24.6	27.3	23.4	19.5
西部地域	204	49.5	26.5	28.9	19.6	21.1
吾妻地域	10	40.0	50.0	40.0	20.0	10.0
利根沼田地域	16	31.3	37.5	43.8	12.5	12.5
東部地域	214	40.7	35.5	23.8	25.2	19.6

(%)

	n	デジタル技術の発達により、仕事の量や質が変化する	貧困家庭が増加する	労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する	結婚したくてもできない人が増える	希望する仕事につけなかったり、リストラにあう可能性がある
全体	700	18.7	17.1	12.9	10.6	6.1
【居住地別】						
中部地域	256	19.1	17.6	14.8	13.7	7.0
西部地域	204	19.6	16.7	12.7	11.3	4.9
吾妻地域	10	20.0	20.0	10.0	10.0	20.0
利根沼田地域	16	12.5	12.5	6.3	18.8	-
東部地域	214	17.8	17.3	11.2	5.6	6.1

※母数が20未満の項目は参考値とする。

【居住地別】

居住地別でみると、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」は西部地域で49.5%と高くなっている。「経済的な自立が困難な若者が増える（ひきこもり、ニートなど）」は東部地域で35.5%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／夫婦の職業別）

(%)

	n	年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える	経済的な自立が困難な若者が増える(ひきこもり、ニートなど)	子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する	ストレスが多く、精神疾患(うつなど)や自殺者が増える	地球温暖化による記録的猛暑や集中豪雨など、自然環境が悪化し、住みにくくなる
全体	700	44.0	29.1	27.3	22.6	19.7
【夫婦の職業別】						
男性正規×女性正規	243	44.4	30.9	27.6	21.8	17.3
男性正規×女性非正規	230	40.4	30.4	29.6	27.0	20.0
男性正規×女性無職・家事	139	50.4	23.7	30.2	21.6	21.6
その他	88	42.0	29.5	15.9	14.8	22.7

(%)

	n	デジタル技術の発達により、仕事の量や質が変化する	貧困家庭が増加する	労働力不足により経済活動が衰退し、サービスの質・量が低下する	結婚したくてもできない人が増える	希望する仕事につけなかったり、リストラにあう可能性がある
全体	700	18.7	17.1	12.9	10.6	6.1
【夫婦の職業別】						
男性正規×女性正規	243	18.9	15.6	12.8	12.3	6.2
男性正規×女性非正規	230	20.9	13.9	14.8	11.7	5.7
男性正規×女性無職・家事	139	18.0	19.4	10.8	7.9	9.4
その他	88	13.6	26.1	11.4	6.8	2.3

【夫婦の職業別】

夫婦の職業別でみると、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」は男性正規×女性無職・家事で50.4%と高くなっている。「ストレスが多く、精神疾患(うつなど)や自殺者が増える」は男性正規×女性非正規で27.0%と高くなっている。

子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／世帯年収別）

(%)

	n	年金、医療費、 介護費用などの 社会保障費の 負担が増える	経済的な自立 が困難な若者 が増える(ひき こもり、ニートな ど)	子どもが少なく なり、子育てや 教育サービスの 質・量が低下す る	ストレスが多く、 精神疾患(うつ など)や自殺者 が増える	地球温暖化に よる記録的猛暑 や集中豪雨な ど、自然環境が 悪化し、住みに くくなる
全体	700	44.0	29.1	27.3	22.6	19.7
【世帯年収別】						
300万円未満	44	34.1	22.7	15.9	11.4	18.2
300万円～500万円未満	161	41.0	26.7	23.0	24.8	20.5
500万円～700万円未満	218	48.6	30.7	32.6	22.0	18.8
700万円～1000万円未満	201	45.3	32.3	29.9	19.9	20.9
1000万円以上	76	39.5	25.0	21.1	32.9	18.4

(%)

	n	デジタル技術の 発達により、仕 事の量や質が 変化する	貧困家庭が増 加する	労働力不足に より経済活動が 衰退し、サービ スの質・量が低 下する	結婚したくても できない人が増 える	希望する仕事に つけなかったり、 リストラにある 可能性がある
全体	700	18.7	17.1	12.9	10.6	6.1
【世帯年収別】						
300万円未満	44	18.2	25.0	2.3	9.1	2.3
300万円～500万円未満	161	14.3	23.0	11.2	11.8	6.8
500万円～700万円未満	218	24.3	17.0	10.1	9.6	7.8
700万円～1000万円未満	201	15.4	13.4	19.9	10.0	4.5
1000万円以上	76	21.1	10.5	11.8	13.2	6.6

【世帯年収別】

世帯年収別でみると、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」は500万円～700万円未満で48.6%と高くなっている。「子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する」も500万円～700万円未満で32.6%と高くなっている。「ストレスが多く、精神疾患（うつなど）や自殺者が増える」は1000万円以上で32.9%と高くなっている。



子どもたちの10年後、20年後の不安（上位10項目／理想と予定の子どもの数別）

(%)

	n	年金、医療費、 介護費用などの 社会保障費の 負担が増える	経済的な自立 が困難な若者 が増える（ひき こもり、ニートな ど）	子どもが少なく なり、子育てや 教育サービスの 質・量が低下 する	ストレスが多 く、精神疾患（う つなど）や自殺 者が増える	地球温暖化に よる記録的猛 暑や集中豪雨 など、自然環境 が悪化し、住み にくくなる
全 体	700	44.0	29.1	27.3	22.6	19.7
<b>【理想と予定の子どもの数別】</b>						
「理想の子どもの数」より 「予定の子どもの数」が多い	17	11.8	35.3	23.5	29.4	17.6
「理想の子どもの数」と 「予定の子どもの数」が同じ	378	46.3	27.2	25.4	22.8	19.8
「理想の子どもの数」より 「予定の子どもの数」が少ない	146	39.7	32.2	32.9	21.9	24.0

(%)

	n	デジタル技術 の発達により、 仕事の量や質 が変化する	貧困家庭が増 加する	労働力不足に より経済活動 が衰退し、サー ビスの質・量が 低下する	結婚したくても できない人が 増える	希望する仕事 につけなかつた り、リストラにあ う可能性がある
全 体	700	18.7	17.1	12.9	10.6	6.1
<b>【理想と予定の子どもの数別】</b>						
「理想の子どもの数」より 「予定の子どもの数」が多い	17	11.8	11.8	-	5.9	11.8
「理想の子どもの数」と 「予定の子どもの数」が同じ	378	19.8	15.9	13.5	9.3	7.7
「理想の子どもの数」より 「予定の子どもの数」が少ない	146	20.5	11.6	15.1	11.6	3.4

※母数が20未満の項目は参考値とする。

**【理想と予定の子どもの数別】**

理想と予定の子どもの数別でみると、「年金、医療費、介護費用などの社会保障費の負担が増える」は“「理想の子どもの数」と「予定の子どもの数」が同じ”で46.3%と高くなっている。一方、「子どもが少なくなり、子育てや教育サービスの質・量が低下する」は“「理想の子どもの数」より「予定の子どもの数」が少ない”で32.9%と高くなっている。